Panasonic

取扱説明書

SDカーナビステーション

Strada

品番 CN-F1D

ご使用前に、「安全上のご注意」(P.6～9)を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。

下記サイトで「ユーザー登録」をお願いします

PC http://panasonic.jp/navi/

- ユーザー登録と同時に、自動的に「ナビcafe」の会員登録が行われ、インターネットでの各種サービスをご利用いただけます。

VICS WIDE / Blu-ray Disc / DVD VIDEO / COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT / SDHC / 地デジ DIGITAL

dts 2.0+Digital Out / DOLBY AUDIO / Bluetooth / HDMI / Java POWERED

AVCHD / AVCREC / srs CS Auto

Made for iPod iPhone / androidauto

gracenote

保証書別添付

車内に調和するスリムなフォルム

薄型のディスプレイと奥行きのあるデザインで、浮遊感を演出。
いろいろな車種に取り付け可能な構造です。

大画面 9V型ディスプレイ

大きな画面で見やすい地図表示。
使いやすいタッチキーで操作もスムーズに行えます。

Blu-ray Disc™再生機能

市販のBlu-ray Discを、高音質・高画質で再生。
車内でも迫力ある映像をお楽しみいただけます。

本書の読みかた

●タッチキーとディスプレイユニットのボタンを、下記のように描き分けています。

例）案内スタート　決定：タッチキー

AUDIO　MENU　MAP：ディスプレイユニットのボタン（本体のボタン）

もくじ

安全上のご注意 6

はじめに P.10

使用上のお願い..... 10
各部のなまえとはたらき 12
タッチパネルの操作について 14
基本操作・準備（確認・調整）..... 15
取り付け・配線の確認 19
初期設定をする..... 21
ステアリングスイッチの設定をする..... 23
メニュー画面の操作..... 24
セキュリティの設定をする 27

ナビゲーション P.28

地図の紹介 30
地図の見かた 34
ランチャーメニューで操作する 38
ルート・案内・地図・VICSをアレンジする（ストラーダチューン）..... 40
地図の操作 42
行き先までのルートを作るには 50
行き先を探す 52
ルートを探索する..... 57
全ルート図から設定・確認する..... 58
ルートを編集する..... 60
ルートを保存する..... 62
渋滞データバンク探索をする 63
ルート探索について..... 64
ルート案内中に..... 66
地点を登録する（登録地）..... 70
VICS情報を見る..... 74

オーディオ P.80

オーディオの基本操作..... 82
テレビを見る 84
ラジオを聞く 91
交通情報を聞く..... 91
ディスクを再生する..... 92
BLUETOOTH Audioを再生する 103
SDメモリーカードに音楽CDを録音する ... 104
本機で録音した音楽データを再生する 106
本機で録音した音楽データを編集する 108
SDメモリーカード・USBメモリーを再生する 116
iPodを再生する 120
音質・音場を調整する（オーディオチューン）..... 124
映像を調整する..... 130
現在地画面にオーディオ映像を表示する ... 131

BLUETOOTH® P.132

BLUETOOTH対応機器を本機に登録する 134
BLUETOOTH対応機器を手動で本機と接続する..... 136
BLUETOOTH対応機器の詳細情報を見る 138
本機の本体情報を見る..... 139
ハンズフリーで通話する 140
Drive P@ssを利用する（スマートフォン連携）..... 144
おでかけナビサポート ここいこ♪（スマートフォン連携）..... 150
スマートフォンをリモコンとして使う（スマートフォン連携）..... 151
音声認識で目的地を検索する 152

その他 P.155

■ その他の機能
Android Auto™を利用する..... 156
ecoドライブ機能を使う 158
メンテナンス情報を設定する 159
地図更新について..... 160
バージョンアップする..... 162
■ 別売品
別売品と組み合わせて使う 162
■ 設定
利用に応じた設定に変える 174
■ 困ったとき
よくあるお問い合わせ..... 180
故障かな!?..... 181
■ 必要なとき
文字入力のしかた..... 195
ディスクについて..... 196
お手入れ 198
SDメモリーカード・USBメモリーについて 199
データ作成時の留意点..... 200
BLUETOOTHについて..... 203
言語コード一覧表..... 204
ナビゲーションシステムとは 205
VICSについて 208
地図ソフトについて..... 210
市街地図の収録エリア..... 214
ジャンル一覧 216
さくいん..... 218
商標などについて..... 222
ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて..... 224
仕　様..... 232
保証とアフターサービス 234

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

⚠ 警告

❗ **本機はDC12 V⊖アース車専用です**
DC24 V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの⊖端子を外す
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

サイドブレーキコードを正しく配線する
安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品*の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
*ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど

フィルムアンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける
視界不良による事故の原因となります。

取り付けや配線をするとき

⚠ 警告

❗ **取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する**
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

⃠ **適合車種以外には、絶対に取り付けない**
視界や運転の妨げにより、交通事故やけがの原因となります。適合車種については、Webサイト(http://panasonic.jp/car/navi/f1d-taioushashu/)をご覧ください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

視界や運転を妨げる場所*、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない
交通事故やけがの原因となります。
*ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない
カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグでナビゲーションや部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、車の保安部品*を使わない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。
*ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コードを破損しない
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。
- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように配線してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

分解禁止

分解や改造をしない
特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

安全上のご注意 必ずお守りください

取り付けや配線をするとき

⚠ 注意

必ず、付属品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

しっかり確実に取り付ける
走行中の脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。
取り付ける場所の水気や汚れ（ほこりや油など）は、取り除いてください。
取り付けの状態（接着やねじのゆるみなど）を、ときどき点検してください。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

本機の通風孔をふさがない
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

ご使用になるとき

⚠ 警告

ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う
交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。
ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に依頼してください。

スピーカーは、本機の仕様に適合したもの*を使用する
火災や発煙、発火、故障の原因となります。
＊最大入力が50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ω～8 Ω

医療用電気機器などへの影響を確認する
本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない
必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

大きな音量で使用しない
車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。

ご使用になるとき

⚠ 警告

故障や異常な状態のまま使用しない
画像が映らない、音が出ない、異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。事故や火災、感電の原因となります。お客様による修理は、絶対におやめください。

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に、水や異物を入れない
特に、傘による雨水や、飲み物などがかからないようご注意ください。
水や、湿気・ほこり・油煙、金属物や燃えやすいものなどが機器内部に入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。

接触禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない
落雷による感電のおそれがあります。

⚠ 注意

ディスプレイの温度を確認してから起倒や角度調整をする
日光やヒーターの熱風などが長時間直接あたっていた場合や長時間連続使用した場合などは、本機が高温になり、やけどをするおそれがあります。
その場合、温度が低下するまで使用を控えるようにしてください。

本機を車載用以外には、使用しない
発煙や発火、感電、けがの原因となります。

ディスプレイを前に倒した状態のまま運転しない
車の衝突、および急ブレーキやカーブなどで衝撃を受けて身体が本機と接触した場合、けがをするおそれがあります。

可動部やディスク挿入口に手や指を入れない
特に、ディスプレイの起倒や角度調整の際にご注意ください。
けがの原因となります。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない
故障や火災の原因となります。

ディスプレイや可動部に負荷を与えない
脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。

使用上のお願い

エンジンをかけてご使用ください

●エンジンを止めて長時間使用すると、バッテリーが消耗します。なお、アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例等に従ってください。

他の機器と接続する場合は

●接続する機器の説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

携帯電話を使用する場合は

●電話の位置や向きにより、映像や音声などに不具合が生じることがあります。その場合は、本機からの距離などを変えてご使用ください。

液晶ディスプレイについて

●先端が硬いもの(ボールペン、ピン、爪の先など)は使わず、必ず指で触れて操作してください。また指でたたいたり、強く押さないでください。傷、破損、誤動作の原因となります。
●表面の汚れなどは、市販のクリーニングクロスを使い、指の腹で軽く拭いてください。
●車から離れるとき(本機を使用しないとき)は、本機に直射日光が当たらないように、車のサンシェードなどをお使いください。
●低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。
●冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露(水滴)で、正しく動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
●高温になると、画面の明るさを自動調整したり、本機の起動を停止する場合があります。
●液晶ディスプレイの画素は、99.99 %の精度で管理されていますが、0.01 %以下で画素欠けするものがあります。
そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。
●液晶の保護シートを使用する場合は、必ず別売の低反射シート(CA-ZND090D)を使用してください。他の保護シートを使用すると、視認性や操作性が損なわれる場合があります。

免責事項について

●火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
●本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
●本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
●プライバシー保護のため、本機に登録した個人情報(登録地の位置や電話番号など)は、お客様の責任において取り扱いや管理を行ってください。
当社は一切の責任を負いかねます。
●番組表などの地上デジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合により、これらの情報が消失した場合、復元できません。また、その内容の補償はできません。
●次の場合、補償はできません。
・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報が変化・消失した場合

大切な情報(登録地など)は、万一に備えてメモなどをとっておくことをおすすめします。

著作権などについて

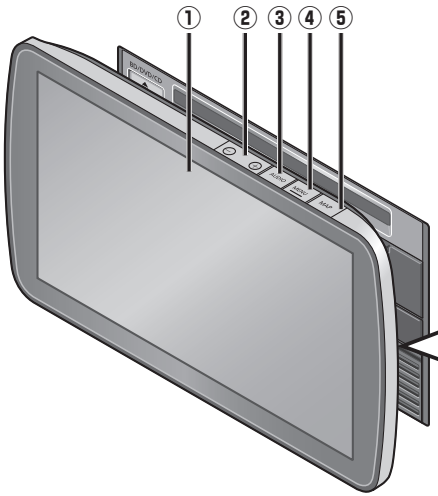
●著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
●本製品はコピー防止技術を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されております。分解したり、改造することも禁じられております。
●本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。

地上デジタル放送の受信について

●受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズや音声の途切れ、静止画面や黒画面となり音声が出なくなることがあります。
●家庭用に比べて受信エリアは狭くなり、また、車の場所や方向、速度などにより受信状態も変化します。
●著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニターへ出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。
●本機の仕様は、ARIB(電波産業会)規格に基づいています。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
●本製品は、B-CASカードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できる新RMP方式*を採用しているため、B-CASカードを付属しておりません。

＊新RMP方式とは、地上デジタル放送のコンテンツ権利保護専用方式です。
詳しくは、下記サイトをご覧ください。
一般社団法人地上放送RMP管理センター
http://www.trmp.or.jp/

各部のなまえとはたらき

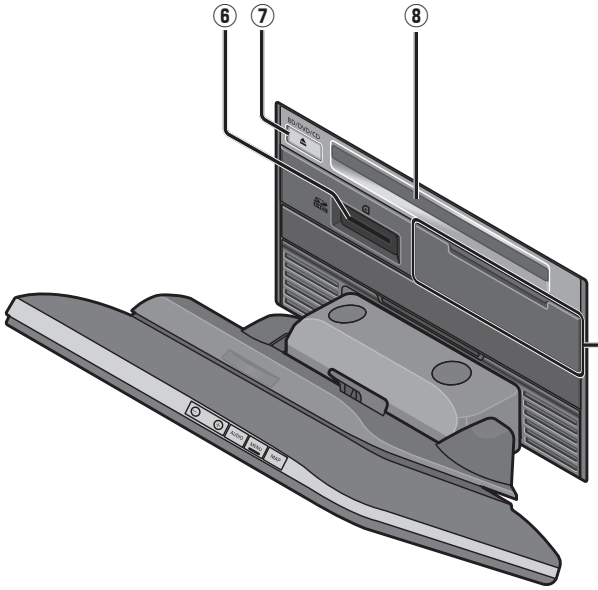


ディスプレイ

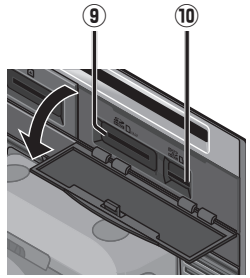
位置や角度の調整ができます。(手動)

- 上下位置を調整する →P.18
- 角度を調整する →P.18

ディスプレイを倒した状態



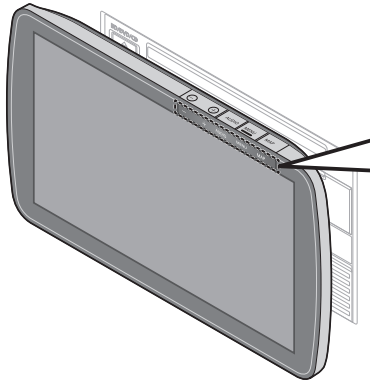
ふたを開けた状態



①	**タッチパネル**	●タッチ操作時に使用
②	**音量ボタン(− ＋)**	●音量を調整
③	**AUDIO**(オーディオ)	●オーディオ画面に切換 ●オーディオメニューを表示 ●オーディオOFF/ON(2秒以上押す)
④	**MENU**(メニュー)	●ツートップメニューを表示 ●音声認識を開始(1秒以上押す)
	Blu-ray Disc DVD	●タッチキーを表示 (タッチキーを表示していないときに押す) ●ツートップメニューを表示 (タッチキー表示中に押す)
⑤	**MAP**(マップ)	●自車位置(現在地)を表示 ●画質調整画面を表示(2秒以上押す)
⑥	**SDメモリーカード挿入口**	●市販のSDメモリーカード(P.116、199)を挿入する
⑦	**ディスク取り出しボタン(⏏)**	●ディスクを本機から取り出す
⑧	**ディスク挿入口**	●ディスクを挿入する
⑨	**地図SDHCメモリーカード挿入口**	●付属の地図SDHCメモリーカード(P.161)が挿入されています
⑩	**microSDHCメモリーカード挿入口**	●市販のmicroSDHCメモリーカード(Blu-ray用→P.93)を挿入する

ボタンシール(添付品)について

ディスプレイユニットのボタン配置が確認しやすくなります。必要に応じてご使用ください。



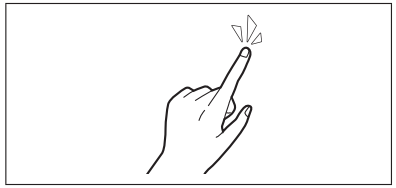
シール貼付位置

- シールは、本説明書の入ったポリ袋の中に入っています。
- ディスプレイユニットのボタンの位置と合わせてください。
- 表示部(タッチパネル)に重ならないように貼ってください。
- 貼り直しはできません。

- シールの上に低反射シート(別売品)を貼ると、重なった部分の段差に空気が入ります。使用する場合は、低反射シートの上にシールを貼ってください。

タッチパネルの操作について

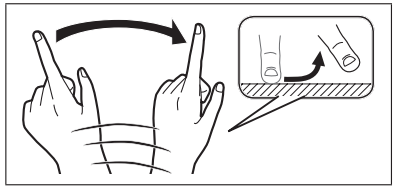
本機のタッチパネルの操作のしかたは、下記のとおりです。



■タッチ

指で画面に軽く触れる。

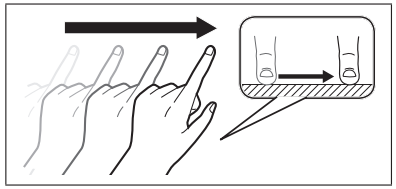
- 本書で「○○**を選ぶ**」と記載している場合は、タッチで項目を選んでください。
- 本書で「**○秒以上タッチする**」「**タッチし続ける**」と記載している場合は、長くタッチしてください。



■フリック

指で画面をはらう。

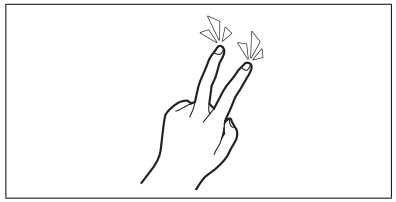
- **メニュー画面**をフリックした方向に切り換える。
- **リストの項目**をフリックした方向に移動させる。
- **地図画面**をフリックした方向にスクロールする。



■ドラッグ

指で画面をタッチしたまま、なぞる。

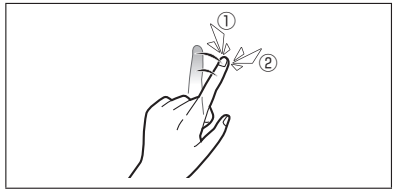
- **メニュー画面**をドラッグした方向に切り換える。
- **リストの項目**をドラッグした方向に移動させる。
- **地図画面**をドラッグした方向にスクロールする。



■2点タッチ（同時に2カ所をタッチ）

同時に2カ所をタッチする。

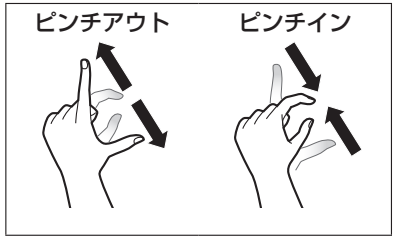
- 地図の縮尺を「広域」に切り換える。



■ダブルタップ（連続して2回タッチ）

同じ場所を連続して2回タッチする。

- 地図の縮尺を「詳細」に切り換える。



■ピンチ

2本の指で、間隔を広げる/狭めるようになぞる。

- **ピンチアウト（広げる）**
  地図の縮尺を「詳細」に切り換える。
  ・指の間をぴったりつけずに、指1本分くらい間隔をあけてください。
- **ピンチイン（狭める）**
  地図の縮尺を「広域」に切り換える。

基本操作・準備（確認・調整）

電源を入れる

1 車のエンジンをかける（ACCをONにする）

- 本機の電源が入ります。
- セキュリティコード入力画面が表示されたら→P.27

2 警告画面の注意事項を確認して、確認を選ぶ

- 現在地画面(自車位置)が表示されます。
- オーディオ画面が表示されたときは、MAPを押すとナビゲーション画面（現在地）に切り換わります。
- 約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。
- 別売のETC2.0*1車載器を接続すると、ETCカードの状態などをお知らせします。
- BLUETOOTH対応機器を本機に接続しているときは、本機の電源を入れるとBLUETOOTH対応機器との接続確認のメッセージが表示される場合があります。
- メンテナンス情報の設定をすると、本機の電源を入れたときに、メンテナンス情報の案内画面が設定された条件で表示されます。(P.159)

電源を切るには

車のエンジンを止める（ACCをOFFにする）

- 本機の電源が切れます。
- ETC2.0*1車載器を接続している場合は、カード抜き忘れ案内をお知らせします。(P.178)
- iPodを接続している場合は、iPod抜き忘れ案内をお知らせします。(P.178)
- 盗難多発地点でエンジンを止めた場合は、盗難多発地点音声案内と表示案内をお知らせします。(P.178)

＊1 従来の「DSRC」という呼称が「ETC2.0」に、「ITSスポットサービス」という呼称が「ETC2.0サービス」に改称されました。
本書では、「ETC2.0対応DSRC車載器」のことを「ETC2.0車載器」と表記しています。

自車位置を確認する

初めて本機を起動したときは、自車位置と異なる地図が表示されますが、GPS衛星からの信号を受信し、しばらくすると自車位置付近の地図（現在地画面）が表示されます。見晴らしの良い場所で下記の操作を行ってください。

1 GPSを受信していることを確認する

GPSを受信すると方位マークの灰色の部分が黄色に変わります。

2 見晴らしの良い道路を、そのまましばらく走行する（60分以上）

- 地図画面上の自車マークの位置と実際の自車位置との誤差が補正されます。

お知らせ

- **しばらくたっても自車位置が表示されないときは、GPS情報(P.16)から受信状態を確認してください。**

GPS情報を確認する

1 ツートップメニュー（P.24）から **情報・設定** を選ぶ

2 情報・設定メニュー（P.25）から **情報** を選ぶ

3 情報メニュー（P.25）から **GPS情報** を選ぶ

4 GPS情報を確認する

- 緯　　度：現在位置の緯度を表示
- 経　　度：現在位置の経度を表示
- 捕 捉 数：測位に使用している衛星の数を表示
- 年 月 日：現在の日付を表示
- 現在時刻：現在時刻を表示

自車位置を変更する

通常は、この操作は必要ありません。

1 ツートップメニュー（P.24）から **情報・設定** を選ぶ

2 情報・設定メニュー（P.25）から **ナビ設定** を選ぶ

3 ナビ設定画面から **表示** を選ぶ

4 自車位置の **修正する** を選ぶ

5 位置を調整し、**セット** を選ぶ

- **微調整**：位置の微調整ができます。

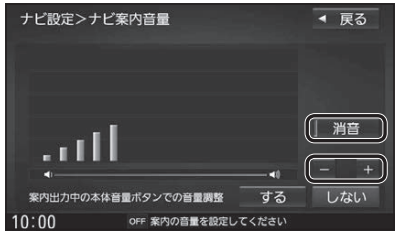
6 ↑↓で自車マークを進行方向に合わせ、**セット** を選ぶ

ナビゲーションの音量を調整する

1 情報・設定メニュー（P.25）から **ナビ設定** を選ぶ

2 ナビ設定画面（P.16）から **ナビ案内音量** を選ぶ

3 ナビ案内音量画面から ナビゲーションの音量を調整する



- **−**/**＋**：音量を調整する（15段階）[お買い上げ時の設定：5]
- **消音**：音声案内なし

■本体の音量ボタンで調整するには

ナビ案内音量画面（上記）から 音量調整 **する**/**しない** を選ぶ

- **する** に設定すると、ナビゲーションの音声案内中に本体の音量ボタン（− ＋）で、ナビゲーションの音量を調整できます。[お買い上げ時の設定：しない]

お知らせ

- 音声案内の詳細な項目（出力するスピーカー、高速走行時の音量など）を設定するには →P.176
- 音声案内および操作音は、リアスピーカーからは出力されません。

オーディオの音量を調整する

− **＋** を押して調整する（64段階）

お知らせ

- 音量は、オーディオごとに記憶されます。

オーディオの音量を一時的に消音する（ミュート）

ランチャーメニューからミュートする

準 備

- ランチャーメニューに **消音** タッチキーを表示させてください。（P.38）

1 現在地画面で **LAUNCHER** を選ぶ

2 ランチャーメニューから **消音** を選ぶ

ステアリングスイッチでミュートする

準 備

- ステアリングスイッチにミュート機能を割り当ててください。（P.23）

MUTEを割り当てたステアリングスイッチを押す

- もう一度押すと解除されます。

お知らせ

- 消音時は、「消音」と表示されます。
- ナビゲーションの音声案内や、音声認識のトークバックなどはミュートされません。
- ハンズフリーの音声（通話音・発着信音）はミュートされません。
- オーディオをOFFにするには →P.83

基本操作・準備（確認・調整）

画面を一時的に消す

情報・設定メニュー（P.25）から
画面OFFを選ぶ

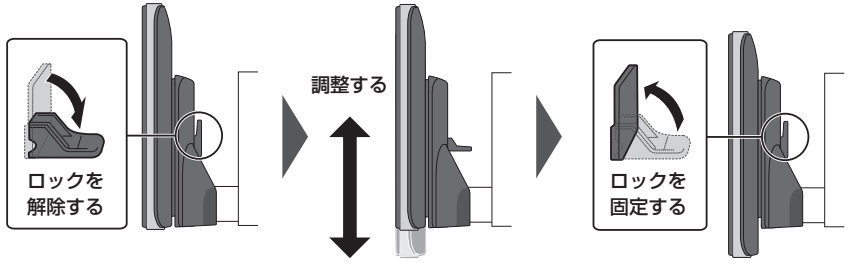
画面を表示するには

AUDIO MENU MAP のいずれかを
押すか、画面をタッチする

ディスプレイの位置と角度を調整する

ディスプレイの上下位置を調整する

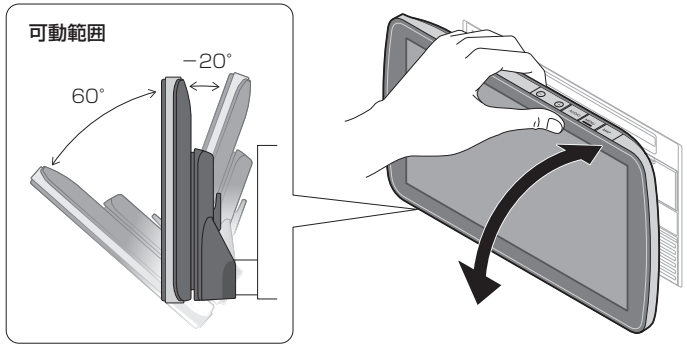
- ディスプレイを起こして、調整してください。
- ロックを固定する前に手を放すと、重みでディスプレイが下がってしまいます。
  ディスプレイを手で持ったまま、ロックを固定してください。



ディスプレイの角度を調整する

ディスプレイの上側をしっかりと持ち、手動で角度を調整する

- 電源が入っているときは、できるだけ操作部（タッチパネル、ボタン）を持たないでください。



お願い

- **ディスプレイは、必ず起こした状態で使用してください。**

お知らせ

- 左右方向の調整はできません。

取り付け・配線の確認

車両信号情報を確認する

1 情報メニュー（P.25）から 車両信号情報 を選ぶ

2 車両信号情報を確認する（下記）

センサー学習値初期化
学習レベルを初期化します。
初期化後は、車のエンジンを止め（ACC OFF）、約10秒以上過ぎてから再度電源を入れてください。

項　目	確認内容
走行状態（パーキングブレーキ）	パーキングブレーキ*1を引くと、「停車」に、解除すると「走行」に変わりますか？
リバース	シフトレバーをリバース（R）に入れると「ON」、解除すると「OFF」に変わりますか？
スモールランプ	車のスモールランプを点灯させると「ON」、消灯させると「OFF」に変わりますか？
車速パルス	走行後、数字が変化していますか？
+B電圧	バッテリーの電圧が表示されます。 12 V（11 V～16 V）になっていますか？
学習レベル	走行後、数字が変化していますか？ ●距離：Level 1～Level 5 ●回転：Level 1-1～Level 5-5 ●3D：Level 1～Level 5

＊1本書では、「パーキングブレーキ」「サイドブレーキ」「フットブレーキ」「ハンドブレーキ」などのことを、「パーキングブレーキ」と呼称して、表記しています。

お知らせ

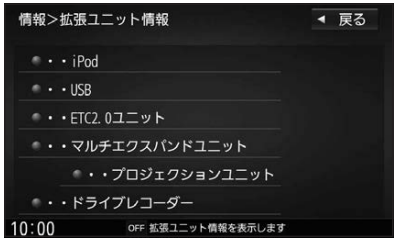
- 次のようなコースでは、補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。
  ・渋滞・停車を頻繁に繰り返す　・右左折が多い
  ・右左折が極端に少ない　・GPS信号を受信しにくい
- 次の場合にも「センサー学習値初期化」をしてください。
  ・別の車に本機を載せかえた　・タイヤを交換した　・タイヤをローテーションした
- 本機は普段使用する道を学習しており、ルート設定では学習した道を優先的に探索するため、他の効率の良い道が見つかっても、ルート設定に反映されない場合があります。そのときは「ルート学習結果の初期化」（P.179）をして、学習しなおすことをおすすめします。
- 「車速信号が検出できません」と表示された場合は、車速信号（中継）コードの接続を確認してください。
- 車種によっては、速度を上げると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。

取り付け・配線の確認

拡張ユニット情報を確認する

1 情報メニュー（P.25）から **拡張ユニット情報** を選ぶ

2 拡張ユニット情報を確認する（下記）



項　目	確認内容
iPod＊1	iPodを接続している場合、ON表示になっていますか？
USB＊1	市販のUSBメモリーを接続している場合、ON表示になっていますか？
ETC2.0ユニット	別売のETC2.0車載器を接続している場合、ON表示になっていますか？
マルチエクスパンドユニット	別売のフロントインフォディスプレイ（CY-DF100D）を接続している場合、ON表示になっていますか？ ●フロントインフォディスプレイの「**マルチエクスパンドユニット**」と「**本機**」の接続を確認します。
プロジェクションユニット	別売のフロントインフォディスプレイ（CY-DF100D）を接続している場合、ON表示になっていますか？ ●フロントインフォディスプレイの「**プロジェクションユニット**」と「**マルチエクスパンドユニット**」の接続を確認します。
ドライブレコーダー	別売のドライブレコーダー（CA-DR01D）を接続している場合、ON表示になっていますか？

＊1 同時には接続できません。

初期設定をする

車種を設定する

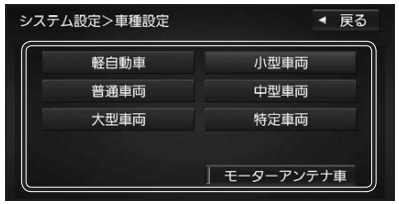
車種を設定すると、有料道路の料金計算に利用されます。

1 情報・設定メニュー（P.25）から **システム設定** を選ぶ

2 システム設定画面から **その他設定** を選ぶ

3 **車種設定** を選ぶ

4 車種を選ぶ



- **軽自動車** ● **小型車両**[お買い上げ時の設定]
- **普通車両** ● **中型車両**
- **大型車両** ● **特定車両**
- **モーターアンテナ車** を選ぶごとに、ON/OFFが切り換わります。[お買い上げ時の設定：OFF]

■モーターアンテナ車の場合＊1
ONに設定する。（インジケーター**点灯**）
- オーディオのON/OFFに連動して、アンテナが伸縮します。

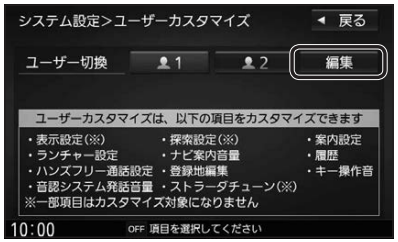
■モーターアンテナ車以外の場合
OFFに設定する。（インジケーター**消灯**）

＊1モーターアンテナ車の留意点
- オーディオをOFFにするとアンテナが収納されるため、FM-VICS情報が受信できなくなります。
- モーターアンテナ車の設定をOFFにすると、アンテナが伸びたままになりますので、立体駐車場など天井の低い場所に入るときはご注意ください。

ユーザー名を設定する

1 システム設定画面（P.21）から **ユーザーカスタマイズ** を選ぶ

2 ユーザーカスタマイズ画面から **編集** を選ぶ



- ユーザー切換
  [お買い上げ時の設定：ユーザー1]

3 ユーザー名を入力し、**決定** を選ぶ
- 全角4文字（半角8文字）まで
- 文字入力のしかた→P.195

ユーザーを切り換える

ユーザーカスタマイズ画面（上記）から **1** / **2** を選び、**はい** を選ぶ
- 選んだユーザーに切り換わります。
- ユーザーごとに、下記の項目を記憶させることができます。
  - 車種設定
  - 表示設定（昼夜切換は記憶されません）
  - 探索設定（到着予想は記憶されません）
  - 案内設定
  - ランチャー設定
  - ビーコン割込み設定
  - 渋滞情報保存時間設定
  - ナビ案内音量
  - 履歴
  - ハンズフリー通話設定
  - 登録地編集
  - キー操作音
  - 音認システム発話音量
  - ストラーダチューン
    （ガイダンスの事故多発地点案内の設定は記憶されません）

初期設定をする

自宅を登録する

目的地メニューから登録する

1 自宅が登録されていない状態で、目的地メニュー(P.25)から 自宅 を選ぶ

2 はい を選ぶ

3 自宅の場所を検索する
- 検索のしかたは、「行き先を探す」と同じです。(P.52～56)

4 自宅登録 を選ぶ
- カーソルの地点が、自宅として登録されます。
- 引き続き、自宅へのルートを探索できます。
- 自宅に出入口の情報がある場合は、メッセージが表示されます。 はい を選ぶと、出入口の位置が自宅として登録されます。

登録地編集画面から登録する

1 自宅が登録されていない状態で、ナビ設定画面(P.16)から 登録地編集 を選ぶ

2 自宅編集<登録されていません> を選ぶ

3 自宅の場所を検索する
- 検索のしかたは、「行き先を探す」と同じです。(P.52～56)

4 自宅登録 を選ぶ
- カーソルの地点が、自宅として登録されます。
- 出入口の情報がある場合は、メッセージが表示されます。 はい を選ぶと、出入口の位置が自宅として登録されます。

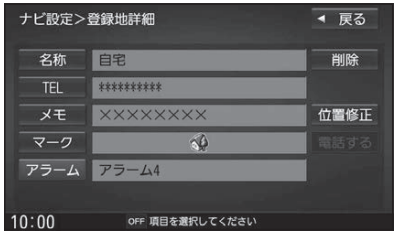
お知らせ
- 登録した自宅を呼び出すには→P.55
- 自宅を別の地点に変更するときは、自宅を削除(P.22)してから、再度登録してください。

自宅を編集するには

1 ナビ設定画面(P.16)から 登録地編集 を選ぶ

2 自宅編集 を選ぶ
- 自宅の登録地詳細画面が表示されます。

3 自宅の登録地詳細画面から自宅を編集する



- 編集のしかたは、「登録地を編集する」と同じです。(P.72～73)

自宅を削除するには

1 自宅の登録地詳細画面(上記)から 削除 を選ぶ

2 はい を選ぶ
- 自宅が削除されます。

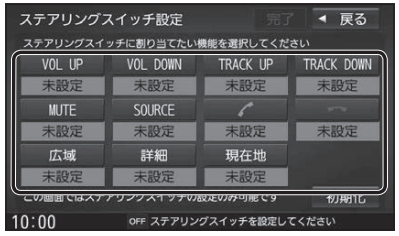
ステアリングスイッチの設定をする

純正ステアリングスイッチを装備している車の場合、ステアリングスイッチに本機の機能を割り当てて、操作できます。

1 情報・設定メニュー(P.25)から システム設定 を選ぶ

2 システム設定画面から ステアリングスイッチ を選ぶ

3 設定したい機能を選ぶ



割り当て可能な機能	対応する本体ボタン/タッチキー
VOL UP	＋ 大
VOL DOWN	－ 小
TRACK UP *1	▶▶ 次へ
TRACK DOWN *1	◀◀ 前へ
MUTE	消音 オーディオの音声を一時的に消音*2
SOURCE	—*3 ● オーディオの種類を切換(切り換わりかた→P.82) ● 音声認識を起動(1秒以上押す)
📞	電話に出る 電話に出る
📞	電話を切る 電話を切る(通話中)/電話に出ない(着信中)
広域	広域 縮尺を広域に切り換える
詳細	詳細 縮尺を詳細に切り換える
現在地	MAP 現在地画面に切り換える

- 初期化 : 設定を初期化

＊1 オーディオがTVのときは、チャンネルの切り換えができます。
＊2 対応する本体ボタンはありませんが、機能を割り当てることができます。ナビゲーションの音声案内や、音声認識のトークバックなどはミュートされません。
＊3 対応する本体ボタンはありませんが、機能を割り当てることができます。

4 車のステアリングスイッチで、機能を割り当てたいスイッチを1秒以上押す
- 手順**3**～**4**を繰り返し、ステアリングスイッチに機能を割り当ててください。

5 すべての機能を割り当てたら、完了 を選ぶ
- ステアリングスイッチの設定が完了します。

お願い
- **すべてのステアリングスイッチに機能を登録してください。機能が登録されていないステアリングスイッチがあると、正しく動作しない場合があります。**

お知らせ
- 車種やグレードによっては、操作可能な機能が異なる場合があります。詳しくは下記サイトをご覧ください。
  http://panasonic.jp/navi/
- ひとつのスイッチに複数の機能を割り当てることはできません。
- ステアリングスイッチ設定画面を表示中は、ステアリングスイッチで本機の操作はできません。

メニュー画面の操作

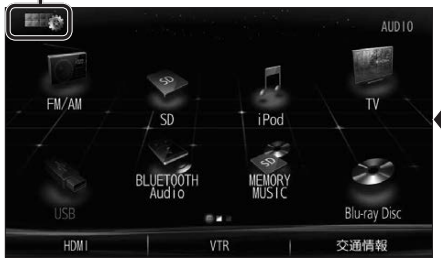
ツートップメニューを表示する

MENU を押す
- ツートップメニューが表示されます。

- Blu-ray Disc・DVD画面では、タッチキーが表示されていない状態でMENUを押すとタッチキーが表示されます。
  タッチキーが表示された状態でもう一度MENUを押すと、ツートップメニューが表示されます。

オーディオメニュー

カスタマイズ (P.26)



- TV P.84
- FM/AM P.91
- Blu-ray Disc/DVD/CD ..... P.94～102
- MEMORY MUSIC*1 ..... P.106
- SD*2 ..... P.117
- iPod P.122
- USB*2 ..... P.117
- BLUETOOTH Audio P.103
- HDMI*3 ..... P.173
- VTR*3 ..... P.173
- 交通情報*3 ..... P.91

*1 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データの再生
*2 PCなどで保存したデータ(音楽/静止画/動画)の再生
*3 オーディオショートカットへの登録はできません。

ツートップメニュー

オーディオショートカット　音声認識 (P.152)　目的地ショートカット

- AUDIO ON(OFF) P.83
- ハンズフリー P.141
- Drive P@ss*4 .... P.148
- Android Auto*4 ... P.156
- 情報・設定 P.25
- ルート P.58

お知らせ
- 目的地ショートカットおよびオーディオショートカットの項目を変更できます。(P.26)

*4 同時には利用できません。

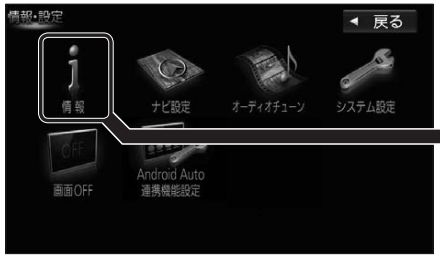
目的地メニュー

カスタマイズ (P.26)

- 名称 P.52
- 電話番号 P.52
- 履歴 P.53
- 周辺施設 P.53
- 住所 P.54
- ジャンル P.54
- 登録地 P.55
- 自宅 P.55
- マップコード*3 ..... P.55
- 緯度・経度*3 ..... P.55
- 郵便番号*3 ..... P.55

*3 目的地ショートカットへの登録はできません。

情報・設定メニュー



- 情報 ..... 右記
- ナビ設定 P.174
- オーディオチューン P.124
- システム設定 P.178
- 画面OFF P.18
- Android Auto連携機能設定 P.156

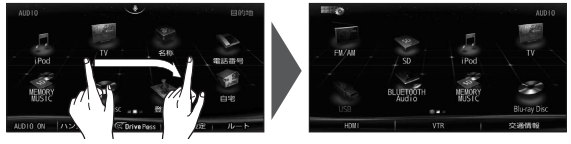
情報メニュー

- 渋滞情報 P.75
- 渋滞データバンク P.79
- GPS情報 P.16
- ETC情報 P.165
- ecoドライブ P.158
- ドライブレコーダー P.166
- システム情報:ナビID、地図更新IDを表示
- バージョン情報:ソフトのバージョンを表示
- 車両信号情報 P.19
- 拡張ユニット情報 P.20

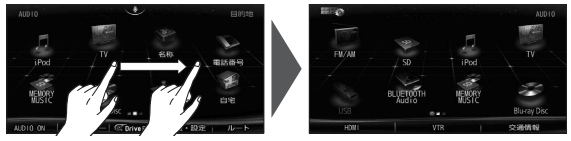
ツートップメニュー/目的地メニュー/オーディオメニューの切り換えかた

左右にフリック/ドラッグすると、フリック/ドラッグした方向に切り換わります。

フリック



ドラッグ



メニュー画面の操作

ツートップメニューに表示させる項目を変更する

オーディオメニューの並びを変更する

1 オーディオメニュー(P.24)から を選ぶ

2 カスタマイズ画面から
入れ換えたい項目を選ぶ

例：
「TV」のかわりに「FM/AM」をツートップメニューに表示するには
① TV を選ぶ
② FM/AM を選ぶ

- AUDIO初期化
  オーディオメニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。
- 全初期化
  目的地メニュー・オーディオメニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。

●選んだ項目が入れ換わります。

オーディオショートカットとして
ツートップメニューに表示されます。

目的地メニューの並びを変更する

1 目的地メニュー(P.25)から を選ぶ

2 カスタマイズ画面から
入れ換えたい項目を選ぶ

例：
「名称」のかわりに「履歴」をツートップメニューに表示するには
① 名称 を選ぶ
② 履歴 を選ぶ

- 目的地初期化
  目的地メニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。
- 全初期化
  目的地メニュー・オーディオメニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。

●選んだ項目が入れ換わります。

目的地ショートカットとして
ツートップメニューに表示されます。

セキュリティの設定をする

万一盗難にあった場合でも、セキュリティコードを設定していれば、盗難後の使用や個人情報の漏洩を防ぐことができます。

> セキュリティコードを忘れた場合、本機を使用できなくなります。
> お近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。
> セキュリティコード解除に生じる費用は、お客様のご負担になります。

セキュリティコードを設定する

セキュリティコードは、忘れないようにメモしておいてください。

1 情報・設定メニュー(P.25)から
システム設定 を選ぶ

2 システム設定画面から
セキュリティ を選ぶ

3 セキュリティ画面から
セキュリティ設定 する を選ぶ

4 OK を選ぶ

5 (初めて設定する場合のみ)
初期パスワード「9876」を入力する

6 セキュリティコードを入力し、
決定 を選ぶ

- 修正：1文字削除
- 文字種：数字・A～Fの大文字
- 文字数：3文字～12文字

7 はい を選ぶ

●セキュリティコードが設定されます。

本機を起動時にセキュリティコード入力画面が表示されたら

バッテリー交換時など、バッテリーコードが外されたあとに本機を起動した場合のみ、セキュリティコード入力画面(下記)が表示されます。
セキュリティコードを入力してください。

セキュリティコードを入力し、
決定 を選ぶ

●ロックが解除され、本機が再起動します。

セキュリティコードの設定を解除する

他人に譲渡する場合などは、セキュリティ設定を解除してください。

1 セキュリティ画面(左記)から
セキュリティ設定 しない を選ぶ

2 OK を選ぶ

3 セキュリティコードを入力し、
決定 を選ぶ

●セキュリティ設定が解除されます。

セキュリティに関する案内の設定をする

セキュリティ画面(左記)から
各項目の する / しない を選ぶ
(P.178)

ナビゲーション

地図の紹介 30
市街地図 30
広域地図 30
標高地図 30
案内図表示 31
拡大図表示 32

地図の見かた 34
地図画面 34
現在地画面 36
地図モード画面 36
ルート案内中の画面 37
安心運転サポート情報 37

ランチャーメニューで操作する 38
ランチャーメニューの項目を変更する 38

ルート・案内・地図・VICSをアレンジする（ストラーダチューン） 40
ルート 40
ガイダンス 40
マップ 40
ＶＩＣＳ 40

地図の操作 42
地図を動かす（スクロール） 42
縮尺を切り換える 43
向きを切り換える（ノースアップ/ヘディングアップ/3D） 44
3Dの地図を操作する 44
右画面を表示する（2画面） 45
SA/PAの情報を表示する 45
走行軌跡を表示する 46
表示するランドマークを選ぶ 47
ランドマークを表示する 47
地点メニューから操作する 47
地図上に表示されるVICS情報（レベル3） 48

行き先までのルートを作るには 50
ルート案内を中止する 51
ルートを削除する 51

行き先を探す 52
施設の名称で探す 52
電話番号で探す 52
目的地・経由地の履歴から探す 53
周辺の施設から探す 53
住所で探す 54
ジャンルから探す 54
登録地から探す 55
自宅へ帰る 55
マップコードで探す 55
緯度経度で探す 55
郵便番号で探す 55
施設の出入口・提携駐車場を探す 56

ルートを探索する 57
目的地に設定する 57
経由地に設定する 57

全ルート図から設定・確認する 58
手動で全ルート図を表示させる 58
5つの条件のルートから選ぶ 58
ルート情報を見る 59
ルートをシミュレーションする 59

ルートを編集する 60
経由地・目的地を追加する 60
区間ごとの探索条件を変更する 60
出発地・経由地・目的地を変更する 61
迂回するルートに設定する 61
出発地・経由地・目的地を削除する 61
経由地・目的地を並べ換える 61

ルートを保存する 62
ルートを保存する 62
保存したルートを呼び出す 62
保存したルートを削除する 62

渋滞データバンク探索をする 63
現在時刻の渋滞データバンク探索をする 63
日時を指定して渋滞データバンク探索をする 63

ルート探索について 64
探索条件について 64
細街路探索について 64
横付け探索について 64
曜日時間規制探索について 64
VICS考慮について 65
渋滞DB考慮について 65
スマートICを通るルートについて 65

ルート案内中に 66
一般道路走行中の音声案内 66
高速道路・有料道路走行中の音声案内 66
トンネルに入ると 66
前方が渋滞していたら（VICS案内） 67
経由地・目的地の音声案内 67
ルート案内中の曜日時間規制探索 67
ルート案内中のVICS自動再探索（スイテルート案内） 67
新しいルートと前のルートを比較する（新旧ルート比較） 67
安心運転サポート情報の案内（一部地域のみ） 68
ルートから外れたときの自動再探索 69
休憩メッセージ案内 69
次の交差点などの音声案内を聞く 69
もう一度ルートを探索する 69
走行中の道路を誤って認識したとき（道路切換） 69

地点を登録する（登録地） 70
登録地について 70
カーソルの地点を登録する 70
現在地を登録する 70
登録地をフォルダで管理する 70
お気に入り地点を登録する 71
登録地の情報を見る 72
登録地を編集する 72

VICS情報を見る 74
VICSとは 74
VICS情報を受信するFM放送局を設定する 75
文字表示型（レベル1）・図形表示型（レベル2）のVICS情報を受信すると 76
画像・音声情報のVICS情報を受信すると（ETC2.0） 76
地図表示型（レベル3）のVICS情報を受信すると 77
事象・規制マークの内容を確認する 77
VICS情報を確認する 77
緊急情報（特別警報）を受信すると 78
渋滞データバンクを見る 79

地図の紹介

市街地図

縮尺
5 m
12 m
25 m
50 m *1

建物の形まで、詳細に表示されます。
（一部地域のみ）

3D表示に切り換える（P.44）と、建物が立体的に表示されます。

広域地図

縮尺
50 m *1
100 m
⋮
250 km

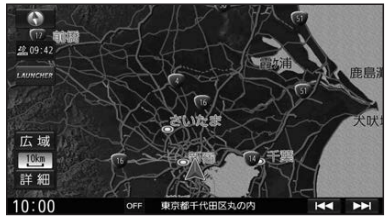
道路を線で表した、シンプルな地図が表示されます。

- 道幅が5.5 m以上の道路を走行中は、細街路は表示されません。
- 走行中に地図を動かすと、細街路は表示されません。
- 標高地図を表示「する」に設定されている場合は、縮尺を5 ㎞～100 ㎞に切り換えると標高地図が表示されます。

＊1「50 m市街地図を表示」（P.175）の設定により地図画面表示が変わります。
・「す　る」：縮尺が50 mのときに、市街地図が表示されます。[お買い上げ時の設定]
・「しない」：縮尺が50 mのときに、広域地図が表示されます。

標高地図

縮尺
5 km
⋮
100 km



衛星写真のようなリアルな地図が表示されます。

- 標高地図色が「季節連動」に設定されている場合は、季節に連動して、地図の色が切り換わります。（P.174）
- 3Dでの表示はできません。
- 表示する/しないの設定→P.174

案内図表示

■方面看板

一般道を走行中に、交差点の方面看板と進むべき方向の矢印が表示されます。

- 常時表示/ルート案内中のみ表示/常時非表示を選べます→P.176

■ルート情報

ルート案内時、道路名・交差点の名称、進むべき方向、距離などが表示されます。
高速道路走行中は、自動的にハイウェイマップに切り換わります。

- ▲▲ ▼▼：スクロール
- 現在区間：現在の区間に戻る
- 表示する/しないの設定→P.176

SA・PAの施設情報が表示されます。

■ハイウェイマップ

都市高速、都市間高速道路、一部の有料道路を走行すると自動的に表示されます。
SA・PA・IC・JCT・料金所の名称、自車からの距離、SA・PAの施設がわかりやすく表示されます。

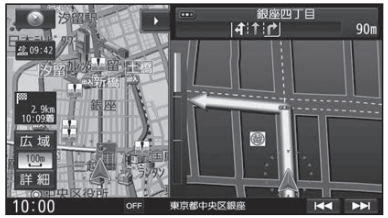
- ▲▲ ▼▼：スクロール
- 現在区間：現在の区間に戻る
- SA/PA：SA・PAのみを表示
- 詳：SA・PA・料金所の詳細な情報を表示
- ルート情報の表示が「しない」に設定された状態で、ハイウェイモードの表示を「しない」に設定すると、ハイウェイマップは表示されません。（P.176）
- SA・PAに近づくと、SA/PA情報表示が表示されます。（P.45）

地図の紹介

拡大図表示

●ルート案内中に自動的に表示されます。
●地図データの整備上、拡大図や看板などは表示されない場合があります。

一般道路では



■交差点拡大図
交差点までの距離、交差点名称、曲がる方向が表示されます。
●約300 m手前から
●直進でも表示される場合があります。
●表示する/しないの設定→P.176

■ 側道拡大図
側道のある分岐点で表示されます。
●約300 m手前から
●直進でも表示される場合があります。
●交差点拡大図の表示の設定に連動して、表示する/しないの設定が切り換わります。(P.176)

■リアル3D表示
複雑な交差点では、リアルなビル表示とともに、交差点までの距離、曲がる方向が表示されます。
●約300 m手前から
●直進でも表示される場合があります。
●表示する/しないの設定→P.176

■ハイウェイ入口案内
都市高速の入口付近で表示されます。
●約300 m手前から
●直進でも表示される場合があります。
●交差点拡大図の表示の設定に連動して、表示する/しないの設定が切り換わります。(P.176)

補助地図
●地図スクロール(P.42)と向きの切り換えができます。(P.44)

高速道路では

■ジャンクションビュー
高速道路や主要有料道路を走行中に、ジャンクションまでの距離、方面案内、分岐方向が表示されます。
●約2 ㎞手前から
●直進でも表示される場合があります。
●表示する/しないの設定→P.176

■SA・PA入口案内
高速道路や主要有料道路を走行中に、SA・PAまでの距離と進入方向が表示されます。
●約2 ㎞手前から
●JCTビューの表示の設定に連動して、表示する/しないの設定が切り換わります。(P.176)

■ ETCレーン案内
料金所手前でレーン拡大図が表示されます。
●約2 ㎞手前から
●表示する/しないの設定→P.175
※表示は実際のレーン運用と異なる場合があります。必ず、実際の状況に従って運転してください。

拡大図を消去・再表示するには

■ 消去するには
補助地図(P.32)**から▶を選ぶ**
●拡大図が消去されます。

■再表示するには
現在地画面(P.36)**から◀を選ぶ**
●拡大図が表示されます。

地図の見かた

地図画面

方位マーク（地図の向きを表示）
タッチするごとに、地図の向きが切り換わる
ノースアップ（北が上/2D）
↓
ヘディングアップ（進行方向が上/2D）
↓
3D（進行方向が上/3D）

GPS受信状態
現在地の測位の状態を方位マークの色で表示
- 黄色：測位完了
- 灰色：測位未完了（測位計算中）

VICS WIDEマーク
VICSの情報が提供された時刻を表示（P.48）
ルート案内中にタッチすると、渋滞/規制の地点の地図に切り換わる

吹き出し表示
交差点・高速出入口などを吹き出しで表示
- 表示する/しないの設定 →P.174

縮尺表示
地図の縮尺が切り換わる（P.43）
広域 50m 詳細
広域 現在の縮尺を表示
詳細

事故多発地点
- 表示する/しないの設定→P.40

冠水注意ポイント
- 表示する/しないの設定→P.175

盗難多発地点
- 表示する/しないの設定→P.178

自車マーク
自車位置と進行方向を表示
- 種類と色を変更するには→P.40

情報バー
以下の情報やタッチキーを表示
- 現在時刻
- 現在地またはカーソル付近の地名・道路名称
- マップコード
- 再生中のオーディオ
- ハンズフリー通話中
- ETCカード挿入済
- 録音中
- ドライブレコーダーの録画状態
- VICS緊急情報タッチキー

お知らせ
- 表示する項目の設定→P.175

ランドマーク
目印となる施設などを地図上にマークで表示（縮尺5 m～200 mで表示）
- 表示させるランドマークを選ぶには→P.47

立体ランドマーク
全国の有名施設を地図上に立体ランドマークで表示（縮尺100 mで表示）
- 「50 m市街地図を表示」（P.175）が「しない」に設定されているときは、縮尺が50 mのときにも表示されます。

凡例

表示	内容
	都道府県庁舎
	市役所・特別区庁舎
	町村役場・政令指定都市区役所庁舎
	官公署・市町村役場支所（出張所）
	消防署（含む：分署・支署・出張所）
	自衛隊
	学校
	病院
	警察署・交番・駐在所
	図書館
	海水浴場・（湖水、池）水泳場
	デパート・スーパー・ショッピング施設
S	スーパーマーケット・その他ショップ
H	ホテル・旅館・宿泊施設
	史跡・旧跡、観光名所
	神社
	寺院（仏閣、地蔵）
	教会
	城跡
	美術館
	博物館

表示	内容
〒	郵便局
	銀行
	飛行場・空港
	港
	フェリーターミナル
	ファミリーレストラン
	山頂
	工場
	一方通行記号
	交差点
SA	サービスエリア
PA	パーキングエリア
IC	インターチェンジ
JCT	ジャンクション
¥	料金所
出入	ランプ（出入口）
出	ランプ（出口専用）
P	駐車場
	運動施設
	サッカースタジアム
	墓地

表示	内容
	冬季通行止め
	その他目標施設
	ウインズ
	ガソリンスタンド
	展望タワー
	動物園
	植物園
	水族館
	ゴルフ場
	温泉
	スキー場
	遊園地・テーマパーク
	テーマパークゲート
	キャンプ場
	スタジアム
	公園
	マリーナ
	事故多発地点
	冠水注意ポイント
	盗難多発地点警告（赤色、黄色、青色）

- 地図データの整備上、全ての施設等を表示していません。
- 改善のため予告なく変更することがあります。

地図の見かた

現在地画面

MAP を押すと、現在地画面が表示されます。

LAUNCHER

LAUNCHER ランチャーメニューを表示(P.38)
(地図画面の種類によっては、表示されない画面があります。)

交差点情報表示
交差点名称、レーン、踏切などの情報を表示
●常時表示/ルート案内中のみ表示/常時非表示を選べます。→P.175

Tune/Track タッチキー
オーディオ操作に使用する

地図モード画面

現在地からスクロール(P.42)すると地図モード画面になります。

現在地の方向を赤い直線で表示

微調整
微調整 カーソルの位置を微調整(P.42)

地図の中心にカーソルを表示

緯度・経度
●表示する/しないの設定→P.175

設定
設定 地点メニューを表示(P.47)

マップコード→P.207
●表示する/しないの設定→P.175

ルート案内中の画面

経由地マーク
経由地(P.57)に設定した場所を表示

案内ルート
目的地までの案内ルートを表示

交差点情報表示
交差点の通るべき車線を黄色で表示
●常時表示/ルート案内中のみ表示/常時非表示を選べます。→P.175

目的地マーク
目的地(P.57)に設定した場所を表示

目的地方向直線表示
現在地から目的地の方向を赤い直線で表示
経由地を設定している場合は、次の経由地の方向を表示
●表示する/しないの設定ができます。(P.176)

残距離/到着時刻表示
目的地または経由地までの距離と、到着する予想時刻を表示
●残距離/到着時刻を、目的地までにするか経由地までにするかを選べます。(P.175)

安心運転サポート情報

運転中の状況に応じて表示と音声で注意を促し、運転をサポートします。

地図画面での割り込み表示

拡大図表示中の割り込み表示

凡例

表示	内容
止まれ 20m	一時停止
20m	指定方向外禁止
点灯	ライト点灯
40	制限速度 速度超過
	事故多発地点

表示	内容
	カーブ
	踏切
	合流
	高速レーン減少

お知らせ
●音声では案内されない情報もあります。
●安心運転サポート情報の案内について→P.68
●割り込み表示のしかたを設定できます。(P.40)

ランチャーメニューで操作する

現在地画面で **LAUNCHER** を選ぶと、ランチャーメニューが表示されます。

- ランチャーメニューによく使う機能を登録しておくと、ランチャーメニューから直接その機能を呼び出すことができます。
- ランチャーメニューの項目は、変更できます。(右記)
- カメラ付きリアモニター(CA-RMC900D)を本機に接続し、オプションカメラ機能を「ON」に設定すると、ランチャーメニューのタッチキーに「オプションカメラ」の項目が表示されます。
  (オプションカメラ→P.163)

ランチャーメニューの項目を変更する

1 ランチャーメニューから **設定** を選ぶ

2 LAUNCHERメニュー配置から項目を変更したいタッチキーを選ぶ

- **TUNE** は変更できません。
- **解　除**：選んだ項目を解除
- **全解除**：すべての項目を解除

3 メニュー候補(P.39)から変更する項目を選ぶ

- 複数の項目を変更する場合は、手順 **2**～**3** を繰り返してください。

お買い上げ時の設定に戻すには

初期化 を選ぶ

■ランチャーメニュー機能一覧

[**太字**：お買い上げ時の設定]

変更できる項目	
項　目	**機　能**
自宅	●未登録：自宅を登録する(P.22) ●登録済：自宅へ帰る(P.55)
お気に入り地点	●未登録：お気に入り地点を登録する(P.71) ●登録済：お気に入り地点を目的地にしてルート探索する(P.71)
登録地	登録地から行き先を探索する(P.55)
周辺施設	周辺施設検索をする(P.53)
地点を登録	現在地を登録地として登録する(P.70)
登録・履歴消去	登録地・目的地履歴・走行軌跡・登録ルートを削除する
右画面表示	右画面に表示する項目を設定する(P.45)
再探索	再探索を開始する(P.69)
案内スタート/ストップ	ルート案内を開始/中止する(P.51)
ルート編集	ルート編集画面を表示する(P.60)
ルートの全表示	全ルート画面を表示する(P.58)
ナビ案内音量	ナビ案内音量を設定する(P.17)
渋滞地点	渋滞している地点を表示する
渋滞データバンク探索	渋滞データバンク探索画面を表示する(P.63)
VICS文字情報	VICS文字情報を表示する(P.76)
VICS図形情報	VICS図形情報を表示する(P.76)
ETC2.0受信情報	ETC2.0受信情報を表示する(P.76)
ETC情報	ETC情報画面を表示する(P.165)
走行軌跡	走行軌跡の設定をする(P.46)
ランドマーク表示/消去	ランドマークを表示/消去する(P.47)
ランドマーク	ランドマークの設定画面を表示する(P.47)
道路切換	自車位置を別の道路に切り換える(P.69)
FID ON/OFF	別売のフロントインフォディスプレイのON/OFFを切り換える(P.170)
FID入力切換	フロントインフォディスプレイの入力を切り換える(P.170)
リダイヤル	リダイヤルする(P.141)
携帯電話登録一覧	ハンズフリーの登録機器一覧を表示する(P.138)
ユーザー切換	ユーザー1/2を切り換える(P.21)
消音	オーディオの音声をミュートする(P.17)
画面OFF	画面を一時的に消す(P.18)
音声認識	音声認識を起動する(P.152)
ドライブレコーダー動画録画	ドライブレコーダーで動画の録画を開始する/終了する(P.168)
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダーで静止画を撮影する(P.167)

変更できない項目	
項　目	**機　能**
TUNE	ストラーダチューンを行う(P.40)

ルート・案内・地図・VICSをアレンジする（ストラーダチューン）

1 ランチャーメニュー（P.38）から、**TUNE**を選ぶ

2 各項目を設定する（下記）

＊1 探索条件が「おまかせ」（P.64）の場合のみ考慮されます。
＊2 狭い道や未舗装の道を案内する場合があります。
＊3 必ず学習した内容でルート探索することを保証するものではありません。
＊4 別売のETC2.0車載器接続時のみ

［**太字**：お買い上げ時の設定］

ルート

1 **ルート**を選ぶ

2 ルート探索条件を設定する（右記）

- **有料道路優先**＊1
  少しでも節約するか、割高でも有料道路を利用するかの度合いを設定する［**中**］
- **道幅優先**＊1
  できるだけ距離優先にするか、多少遠回りでも車線の多い道を優先するかの度合いを設定する＊2［**中**］
- **渋滞回避**＊1
  渋滞データバンク、VICSの渋滞情報を考慮する度合いを設定する［**中**］
- **ルート学習**
  本機が探索したルート以外を通ったときなどに、ルートを学習して次回の探索に反映させる度合いを設定する＊3［**する**］
- **VICS考慮**
  VICS情報を考慮する/しないを設定する［**する**］
  ETC2.0広域を選ぶと、自車位置周辺の道路と前方の高速道路の情報を利用して探索します。＊4
- **スマートIC考慮**
  スマートICを考慮して探索する/しないを設定する［**ON**］
- **季節規制考慮**
  季節規制区間を避けて探索する/しないを設定する［**ON**］
- **渋滞DB考慮**
  渋滞データバンクを考慮して探索する/しないを設定する［**OFF**］

ガイダンス

1 **ガイダンス**を選ぶ

2 案内について設定する（右記）

- **分岐案内頻度**
  IC・JCT・交差点・踏切・料金所・目的地付近などでの案内の頻度を設定する［**高**］
- **標識拡大表示**
  安心運転サポートの割り込み表示を拡大表示する/しないを設定する［**ON**］

ON

OFF

各案内を、常時する/ルート案内中のみする/しないを設定する

- **一時停止案内**［**常時**］（P.68）
- **合流案内**［**常時**］（P.68）
- **踏切案内**［**常時**］（P.68）
- **制限速度案内**［**常時**］（P.68）

各案内をする/しないを設定する

- **指定方向外禁止案内**［**ON**］（P.68）
- **ライト点灯案内**［**ON**］（P.68）
- **高速レーン減少案内**［**ON**］（P.68）
- **カーブ案内**［**ON**］（P.68）
- **事故多発地点案内**［**OFF**］（P.68）
- **有料道速度超過警告**［**ON**］（P.68）
- **一般道速度超過警告**［**ON**］（P.68）

マップ

1 **マップ**を選ぶ

2 地図表示について設定する（右記）

地図表示の設定をする

- **地図色（昼）**
- **地図色（夜）**
  昼画面・夜画面の地図の色を設定する［**ノーマル**］
- **文字サイズ**
  地図の文字サイズを設定する［**標準**］
- **自車マーク**
  自車マークの種類と色を設定する［**赤矢印（大）**］

地図色について

- **ノーマル**
  通常の地図

- **道路メイン**
  道路が見やすい地図

- **ポップ**
  地域を色分けした地図

- **ハイコントラスト**
  夕暮れや夜間など、暗い車内で見やすい白基調の地図

VICS

1 **VICS WIDE**を選ぶ

2 VICSについて設定する（右記）

- **情報点滅**
  VICS情報を点滅する/しないを設定する［**ON**］
- **有料道**
  有料道のVICS情報を表示する/しないを設定する［**ON**］
- **一般道**
  一般道のVICS情報を表示する/しないを設定する［**ON**］
- **駐車場**
  駐車場情報を表示する/しないを設定する［**ON**］

規制情報の表示を設定する

- **規制**
  規制情報を表示する/しないを設定する［**ON**］
- **範囲**
  範囲情報のある規制を表示する/しないを設定する［**ON**］

渋滞情報の表示を設定する

- **渋滞混雑**
  渋滞・混雑の情報を表示する/しないを設定する［**ON**］
- **渋滞なし**
  渋滞の無い道路の情報を表示する/しないを設定する［**OFF**］
- **統計情報**
  統計情報を表示する/しないを設定する［**ON**］

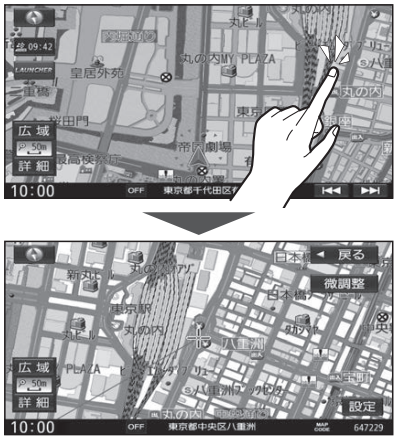
地図の操作

地図を動かす（スクロール）

タッチ、フリック、ドラッグ操作で地図をスクロールできます。(タッチパネルの操作→P.14)

タッチでスクロールする

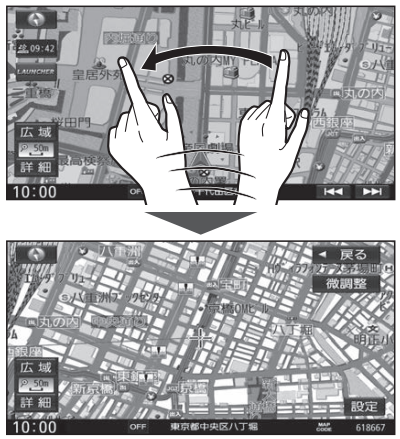
地図画面をタッチする



- タッチした地点が画面の中心になります。
- タッチし続けると、タッチしている方向にスクロールし続けます。

フリックでスクロールする

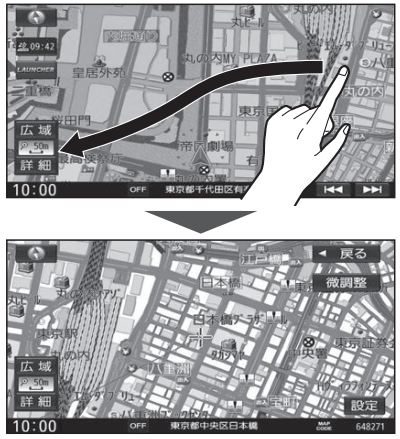
スクロールしたい方向にフリックする



- フリックした方向にスクロールします。

ドラッグでスクロールする

スクロールしたい方向にドラッグする



- 指の動きに合わせてスクロールします。

位置を微調整する

1 地図をスクロールさせ、**微調整**を選ぶ

2 位置を微調整し、**調整終了**を選ぶ

お知らせ

- 地図モード画面で、地図の向き・縮尺を切り換えても、現在地画面に戻すと、もとの設定に戻ります。
- 走行中はスクロールできません。市街地図(P.30)、3D地図(P.44)以外では、走行中もタッチ操作によるスクロールができます。(フリック/ドラッグでは操作できません。)
- スクロールさせた3Dの地図は、回転させることができます。(P.44)
- フリック/ドラッグでスクロール中は、画面上で他の操作はできません。
- 指の動きより遅れてスクロールする場合があります。

縮尺を切り換える

タッチ、2点タッチ/ダブルタップ、ピンチ操作で縮尺を切り換えられます。
(タッチパネルの操作→P.14)

- 縮尺の範囲：5 m～250 km

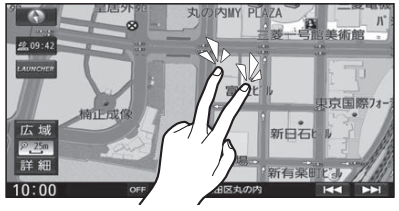
タッチキーで縮尺を切り換える

詳細/**広域**を選ぶ

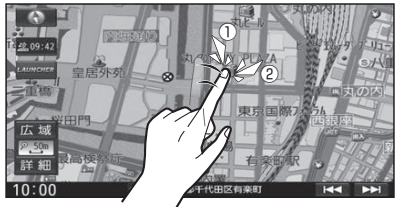
- タッチし続けると、ズームアウト/ズームインのイメージで縮尺が切り換わります。
- 縮尺バーにタッチすると、タッチした縮尺に切り換わります。

2点タッチ/ダブルタップで縮尺を切り換える

■ 広域に切り換えるには
2点タッチする

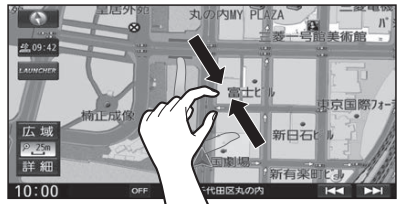


■ 詳細に切り換えるには
ダブルタップする

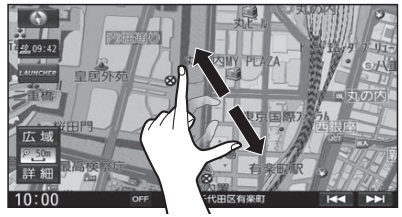


ピンチで縮尺を切り換える

■ 広域に切り換えるには
ピンチインする



■ 詳細に切り換えるには
ピンチアウトする



- 指の間をぴったりつけずに、指1本分くらい間隔をあけてください。

お知らせ

- 走行中にピンチ操作で縮尺を切り換えることはできません。

向きを切り換える（ノースアップ/ヘディングアップ/3D）

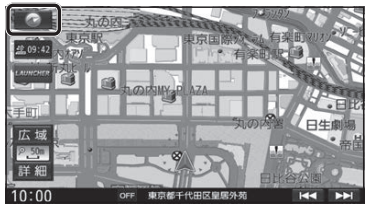
方位マーク（P.34）にタッチすると、地図の向きを切り換えられます。

方位マーク（P.34）にタッチする

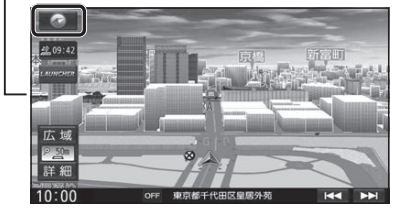
●タッチするごとに、地図の向きが切り換わります。

ノースアップ（北が上/2D）

ヘディングアップ（進行方向が上/2D）



3D（進行方向が上/3D）



お知らせ

●3Dの地図の傾きを調整できます。（右記）

3Dの地図を操作する

地図を回転させる

3Dの地図をスクロールさせると、回転させることができます。

をタッチする

時計回り　反時計回り

お知らせ

●3Dの地図を回転させた状態でヘディングアップに切り換えると、3Dの地図の奥行方向が上向きの2D地図に切り換わります。

傾きを調整する

メイン画面（1画面・左画面）、右画面（P.45）で、異なる傾きを設定できます。（10段階）

1 ナビ設定画面（P.16）から 表示 を選ぶ

2 ■ メイン画面の傾きを調整する

メイン画面用地図設定の3D視角調整の をタッチする

■ 右画面の傾きを調整する

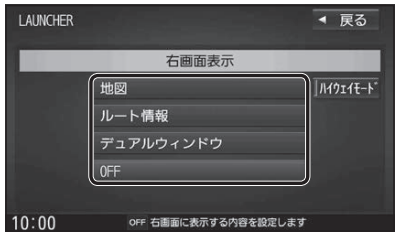
右画面用地図設定の3D視角調整の をタッチする

右画面を表示する（2画面）

1 現在地画面（P.36）で LAUNCHER を選ぶ

2 ランチャーメニューから 右画面表示 を選ぶ

3 右画面表示設定画面から右画面に表示させる画面を選ぶ



●地　図：地図を表示

・右画面は縮尺と向きを切り換えられます。

●ルート情報：ルート情報を表示（P.31）

●デュアルウィンドウ：オーディオを表示（P.131）

●ハイウェイモード：ハイウェイモードの表示をする/しないを設定する（P.176）

1画面に戻すには

右画面表示設定画面（上記）から OFF を選ぶ

●1画面の地図に戻ります。

お知らせ

●ナビ設定から右画面を表示させることもできます。
・右画面に地図表示→P.174
・ルート情報の表示→P.176
・デュアルウィンドウを表示→P.175

SA/PAの情報を表示する

SA/PAに立ち寄った場合、SA/PAの詳細情報を確認できます。

SA/PA情報表示 をタッチする

●SA/PA情報画面が表示されます。

走行軌跡を表示する

走行軌跡の記録を開始するには

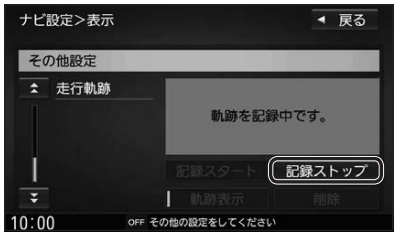
1 ナビ設定画面(P.16)から
表示を選ぶ

2 表示設定画面から
走行軌跡の**記録スタート**を選ぶ

- 走行軌跡が表示されます。
- 走行軌跡の記録を開始します。

走行軌跡の記録を停止するには

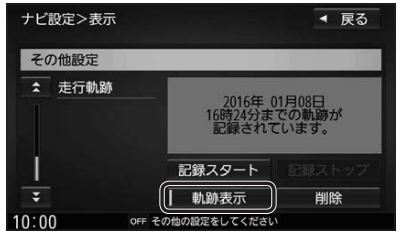
表示設定画面(上記)から走行軌跡の
記録ストップを選ぶ



- 走行軌跡の記録を停止します。

走行軌跡の表示/非表示を切り換える

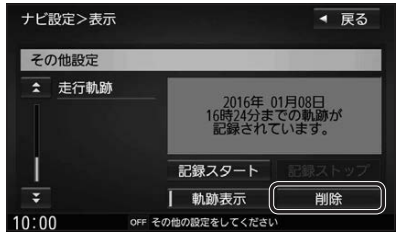
走行軌跡の記録が停止した状態で、
表示設定画面(左記)から走行軌跡の
軌跡表示を選ぶ



- 選ぶごとに表示/非表示が切り換わります。

走行軌跡の記録を削除するには

1 走行軌跡の記録が停止した状態で、
表示設定画面(左記)から走行軌跡の
削除を選ぶ



2 **はい**を選ぶ

- 走行軌跡の情報が削除されます。

お知らせ

- 走行軌跡が記録されていないときは、**軌跡表示**を選べません。そのときは、走行軌跡の記録を開始してください。
- 走行軌跡は500 kmまで記録できます。500 kmを超えると、古いものから削除されます。
- 走行軌跡を非表示にしても、走行軌跡の記録は残ります。走行軌跡の記録を削除するには、表示設定画面から走行軌跡の**削除**を選んでください。
- 走行軌跡の記録中は非表示にしたり、記録を削除できません。非表示にしたり削除する際には、走行軌跡の記録を停止してください。

表示するランドマークを選ぶ

最大300件選択できます。

1 表示設定画面(P.46)から
ランドマークの**設定する**を選ぶ

2 表示したいランドマークを選ぶ

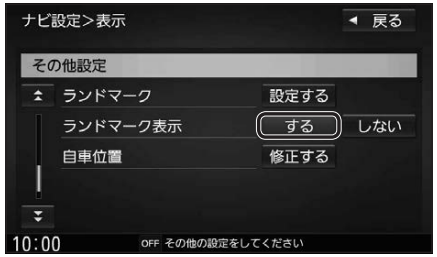
- **全解除**: 選択をすべて解除
- **全選択**: すべての項目を選択

ランドマークを表示する

表示設定画面(P.46)から
ランドマーク表示**する**を選ぶ

- ランドマークが表示されます。

[お買い上げ時の設定: する]



ランドマークを消去するには

表示設定画面(P.46)から
ランドマーク表示**しない**を選ぶ

- ランドマークが消去されます。

地点メニューから操作する

地点メニューから、目的地・経由地・出発地・登録地などを設定したり、施設の詳細情報を見ることができます。

地図モード画面(P.36)から
設定を選ぶ

- 地点メニューが表示されます。

- **ここに行く**
  カーソルの地点を目的地に設定して、ルート探索を開始する
- **5ルート**
  異なる条件で5ルートを探索する
- **立寄る**(ルート案内中のみ)
  カーソルの位置を経由地に設定して、ルート探索を開始する
- **地点登録**
  カーソルの地点を登録地として登録する
- **地点編集**
  (カーソルの地点が登録地の場合のみ)
  登録地詳細画面を表示する
- **施設詳細**
  施設の詳細情報が表示される
  (情報がある場合のみ)
- **テナント情報**
  施設のテナント情報が表示される
  (市街地図でテナント情報のある地点にカーソルを合わせて地点メニューを表示させた場合のみ)
- **周辺検索**
  カーソルの周辺の施設を検索する
  周辺検索のしかた→P.53
- **閉じる**
  地図モード画面を表示

お知らせ

- 表示されるタッチキーは、状況によって異なります。

地図上に表示されるVICS情報(レベル3)

VICSマーク

タイムスタンプ

情報が提供された時刻を表示

- 受信した時刻ではありません。
- ルート案内中にタイムスタンプにタッチすると、渋滞・規制のある地点の地図を表示します。

お知らせ

- 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0のVICS情報を受信できます。
- 別売の光ビーコン対応ETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0のほかに、光ビーコンからのVICS情報も受信できます。
- 遠方の渋滞情報は表示されません。

ハイウェイマップ/ルート情報表示中は

- **規制情報:**
  区間ごとにマークを表示(2件まで)

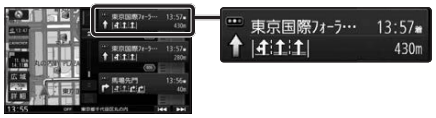
- **渋滞・混雑区間:**
  道路を色分けして表示

車線ごとの渋滞情報表示

車線ごとの渋滞情報が、色分けして本数で地図上に表示されます。
(該当の情報が配信されているエリアのみ)

色	車線ごとの渋滞情報	渋滞度
赤	(三本線)	渋滞
橙	(二本線)	混雑
緑	(一本線)	渋滞なし

- **ルート情報表示中は**



気象・災害情報表示

気象(1時間あたり50 ㎜以上の大雨など)の情報を受信すると、地図にVICSマークが表示され、対象となる範囲が表示されます。

渋滞情報

色	リアルタイム情報 従来の渋滞情報	リアルタイム情報 リアルプローブ情報	統計情報	渋滞度
赤	━━▶	═══▷	======	渋滞
橙				混雑
緑				渋滞なし

- 表示のしかたを設定できます。(P.40)

- **従来の渋滞情報(リアルタイム情報)**
  道路に設置の車両感知器などで収集した現在の情報
- **リアルプローブ情報(リアルタイム情報)**
  タクシーなどから収集した現在の情報
- **統計プローブ情報(統計情報)**
  タクシーなどから収集した情報のデータを統計処理し、渋滞を予測した情報

※プローブ情報とは
走行している車から直接収集される「位置」と「時刻」のデータ(走行履歴)です。

駐車場マーク・SA/PAマーク

色	一般駐車場	SA	PA	状態
青	P	SA	PA	空車
橙				混雑
赤				満車
黒				不明
赤	P	SA	PA	閉鎖

- 表示する/しないを設定できます。(P.40)

VICS情報マーク(例)

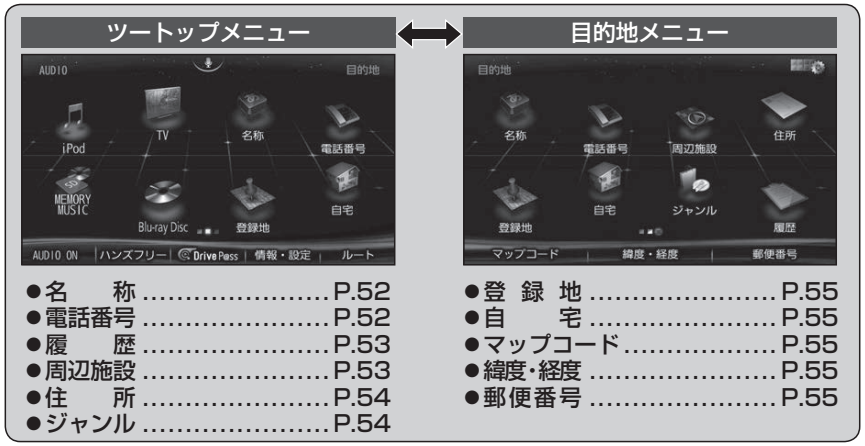
道路上の事象・規制がマークで表示されます。

マーク	内容	マーク	内容
	事　故		チェーン規制
	故障車		凍　結
	路上障害		速度規制
	工　事		徐　行
	作　業		進入禁止
	片側交互通行		通行止め
	対面通行		大型通行止め
	車線規制		雨
	入口制限		雪
	入口閉鎖		災害速報
	行事等		気象警戒情報
	火　災		特別警報

- マークの内容を確認できます。(P.77)
- 表示する/しないの設定→P.40

行き先までのルートを作るには

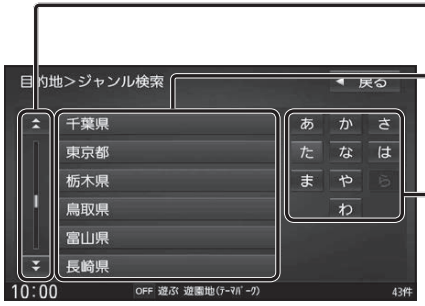
1 行き先を探す



- 名　称 P.52
- 電話番号 P.52
- 履　歴 P.53
- 周辺施設 P.53
- 住　所 P.54
- ジャンル P.54
- 登 録 地 P.55
- 自　宅 P.55
- マップコード P.55
- 緯度・経度 P.55
- 郵便番号 P.55

例：ジャンル検索

検索方法によって、表示される画面や選択できるタッチキーは異なります。



スクロールタッチキー

- リストをスクロールします。
- リストをフリック/ドラッグしてもスクロールできます。(枠内でフリック/ドラッグしてください。)

あかさたなタッチキー

50音順に並んだリストで表示されます。

- 「あ」「か」「さ」「た」「な」「は」「ま」「や」「ら」「わ」の行ごとにリストを切り換えます。
- 同じタッチキーを連続して選ぶと、選ぶごとに、段(あ→い→う→え→お)が切り換わります。

検索結果画面(例：ジャンル)

リストから施設を選び、決定を選ぶ

- 距離順：現在地から近い順に並び換え
- 50音順：50音順に並び換え
- 絞込み：地域・ジャンルで絞り込み
- 詳　細：施設の詳細情報を表示
- 出入口：施設の出入口の情報がある場合、出入口を表示

- 検索した施設に提携駐車場や複数の出入口の情報がある場合はメッセージが表示されます。はいを選ぶと出入口のリストが表示されます。(P.56)

2 行き先に設定する

地点メニューからここに行くを選ぶ

- ルート探索を開始します。
- 地点メニューの操作→P.47

ルート探索が完了し、全ルート図が表示されたら、案内スタートを選ぶ

- 案内を開始します。
- 全ルート図→P.58～59
- 車を発進させても案内を開始します。
- ルート探索完了後、全ルート図を表示する/しないを設定できます。(P.175)
  ルートの全表示「しない」に設定すると、ルート探索完了後、自動的にルート案内を開始します。

全ルート図

ルート案内を中止する

1 ツートップメニュー(P.24)からルートを選ぶ

2 ルートメニューから案内ストップを選ぶ

ルート案内を中止し、ルート表示が消去されます。

- ルートそのものは削除されません。

ルート案内を再開するには

ルートメニューから案内スタートを選ぶ

ルート案内が再開されます。

ルートを削除する

1 ルートメニュー(上記)からルート削除を選ぶ

2 はいを選ぶ

ルートそのものが削除されます。

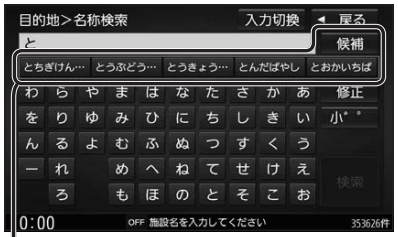
行き先を探す

施設の名称で探す

1 目的地メニュー(P.25)から **名称** を選ぶ

2 名称を入力し、**検索** を選ぶ

- **修正**：1文字削除
- ひらがなのみ入力できます。
- 候補が10 000件を超える場合、**検索** は選べません。



- 入力した履歴から、候補が5件まで表示されます。候補をタッチするか、**候補** を選んでリストから候補を選ぶと、その名称が入力欄に表示されます。

3 リストから施設を選び、**決定** を選ぶ

- **戻　る**：入力した名称を修正
- **距離順**：現在地から近い順に並び換え
- **50音順**：50音順に並び換え
- **詳　細**：施設の詳細情報を表示
- **出入口**：施設の出入口がある場合、出入口を表示
- **☎**：施設に電話をかける

施設を絞り込む

地域で絞り込むには

1 **絞込み** ▶ **地域** を選ぶ

2 都道府県▶市区町村を選ぶ

- **全国**：地域絞り込みを解除

ジャンルで絞り込むには

1 **絞込み** ▶ **ジャンル** を選ぶ

2 絞り込むジャンルを選ぶ

- **全ジャンル**：ジャンル絞り込みを解除

地図が表示されます。(P.57)

電話番号で探す

1 目的地メニュー(P.25)から **電話番号** を選ぶ

2 電話番号を市外局番から入力し、**検索** を選ぶ

- **修正**：1文字削除
- 該当する施設が複数ある場合は、リストから選んでください。
- 市内局番までしかわからない場合は、市内局番までを入力して **検索** を選びます。
- 11桁の電話番号の場合は、10桁まで入力すると、該当する電話番号のリストが表示されます。(10件まで)
  リストから施設を選んでください。

3 (個人宅の電話番号を検索したときのみ)
名字を入力し、**検索** を選ぶ

- **修正**：1文字削除
- ひらがなのみ入力できます。

地図が表示されます。(P.57)

目的地・経由地の履歴から探す

1 目的地メニュー(P.25)から **履歴** を選ぶ

- 以前目的地・経由地に設定した場所のリストが新しい順に100件まで表示されます。

2 リストから履歴を選び、**決定** を選ぶ

- **削　除**：選んだ履歴を削除
- **全削除**：すべての履歴を削除

地図が表示されます。(P.57)

お知らせ

- 履歴は100件まで自動的に保存され、100件を超えると古いものから自動的に削除されます。

周辺の施設から探す

現在地、目的地周辺や、ルート沿いの施設を検索できます。(最大100件)

- ジャンル一覧→P.216

1 目的地メニュー(P.25)から **周辺施設** を選ぶ

2 検索方法を選ぶ

- **地図周辺**：地図の中心周辺の施設
- **ルート沿い**：ルート沿いの施設*1
- **目的地周辺**：目的地周辺の施設

＊1 現在地からルート沿いに左右約100 m、進行方向に約10 ㎞以内を検索

3 ジャンルを選ぶ

リストから選ぶ

リストから
ジャンル▶中分類▶小分類を選び、**検索** を選ぶ

- 中分類・小分類は、複数の項目を選ぶことができます。選んだ項目には、チェックマーク(✔)が付きます。
- リストに▶が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。
- **全選択**：すべての項目を選択する
- **全解除**：すべての項目を解除する

ジャンル名を入力して選ぶ

1 **ジャンル名入力** を選ぶ

2 ジャンル名を入力し、**検索** を選ぶ

3 リストから項目を選ぶ

4 リストから施設を選び、**決定** を選ぶ

地図が表示されます。(P.57)

行き先を探す

住所で探す

リストから検索する

1 目的地メニュー(P.25)から 住所 を選ぶ

2 都道府県▶市区町村▶町名▶丁目を選ぶ
- 市区町村を選んだあと、大字・小字を選ぶ場合があります。
- 住所が部分的にしかわからないときは、○○代表地点を選ぶと、その地域の地図を表示します。

3 数字キーで番地・号を入力し、検索 を選ぶ
- 番地・号は、「−」で区切ってください。
- 修正 : 1文字削除
- リストから番地・号を選ぶこともできます。

地図が表示されます。(P.57)

住所を入力して検索する

住所の一部を入力しても検索できます。

1 目的地メニュー(P.25)から 住所 を選ぶ

2 地名部分入力 を選ぶ

3 地名を入力し、検索 を選ぶ

4 リストから地名を選ぶ

5 以下の住所を選び、検索 を選ぶ

地図が表示されます。(P.57)

ジャンルから探す

ジャンルから施設を検索できます。
(最大100件)
- ジャンル一覧→P.216

1 目的地メニュー(P.25)から ジャンル を選ぶ

2 ジャンルを選ぶ

リストから選ぶ

リストから
ジャンル▶中分類▶小分類を選ぶ

ジャンル名を入力して選ぶ

1 ジャンル名入力 を選ぶ

2 ジャンル名を入力し、検索 を選ぶ

3 リストから項目を選ぶ

3 検索する範囲の中心となる地点を選び、決定 を選ぶ
- 地図周辺 : 地図の中心周辺の施設
- 目的地周辺 : 目的地周辺の施設
- ルート周辺 : ルート周辺の施設*1
- 都道府県 : 選んだ都道府県の施設
- 地域/路線 : 選んだ地域/路線の施設*2

*1 現在地からルート沿いに左右約100 m、進行方向に約10 km以内を検索
*2 交通機関 ▶ 高速・都市高速・有料道路施設 ▶ IC / SA / PA 選択時のみ

4 リストから施設を選び、決定 を選ぶ

地図が表示されます。(P.57)

登録地から探す

準備
- 地点を登録してください。(P.70)

1 目的地メニュー(P.25)から 登録地 を選ぶ

2 リストから登録地を選び、決定 を選ぶ
- マーク順 : マーク(P.72)順で表示
- 登録順 : 登録された順で表示

フォルダのリストから選ぶ

1 フォルダ を選ぶ
- フォルダ→P.70

2 メインフォルダ、フォルダ1 〜 フォルダ20 を選ぶ
- 選んだフォルダの登録地のリストが表示されます。
- フォルダ名は変更できます。(P.70)
- 全表示 : すべてのフォルダの登録地のリストを表示

3 リストから登録地を選び、決定 を選ぶ

地図が表示されます。(P.57)

自宅へ帰る

準備
- 自宅を登録していない場合は、自宅を登録する画面が表示されます。(P.22)

1 目的地メニュー(P.25)から 自宅 を選ぶ

2 (ルートが設定されている場合のみ) はい を選ぶ

現在地から自宅までのルートが探索され、全ルート図が表示されます。(P.58)

マップコードで探す

マップコードについて、詳しくはP.207をご覧ください。

1 目的地メニュー(P.25)から マップコード を選ぶ

2 マップコードを入力し、検索 を選ぶ
- 修正 : 1文字削除

地図が表示されます。(P.57)

お知らせ
- 本機は標準マップコードに対応しています。(高分解能マップコードには対応していません。)

緯度経度で探す

1 目的地メニュー(P.25)から 緯度・経度 を選ぶ

2 緯度経度を入力し、検索 を選ぶ
- 修正 : 1文字削除

地図が表示されます。(P.57)

郵便番号で探す

1 目的地メニュー(P.25)から 郵便番号 を選ぶ

2 郵便番号を入力し、検索 を選ぶ
- 修正 : 1文字削除

地図が表示されます。(P.57)

お知らせ
- 4桁以上入力してください。
- 入力の途中で 検索 を選ぶと、該当する郵便番号のリストが表示されます。リストから郵便番号を選ぶと、周辺の地図が表示されます。

行き先を探す

施設の出入口・提携駐車場を探す

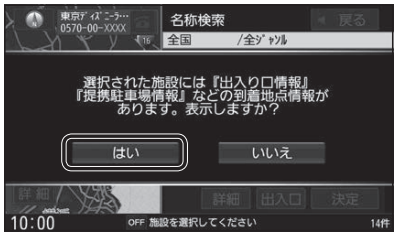
検索した施設に出入口の情報がひとつある場合は、自動的に出入口へのルートを探索します。

検索した施設に提携駐車場や複数の出入口の情報がある場合は、メッセージが表示されます。下記の手順で出入口・提携駐車場などを選択してください。

1 施設を検索する

●検索のしかた→P.52～55

2 メッセージが表示されたら、**はい**を選ぶ



3 リストから出入口・提携駐車場などを選び、**決定**を選ぶ

地図が表示されます。(P.57)

お知らせ

●検索結果画面から 出入口 を選んでも、出入口のリストが表示されます。

ルートを探索する

目的地に設定する

1 地点を検索する

●検索のしかた→P.52～56

2 地点メニューから**ここに行く**を選ぶ

●カーソルの地点を目的地に設定し、ルート探索を開始します。

●検索した施設に出入口や提携駐車場の情報がある場合や、有料道路、盗難多発地点がある場合は、メッセージで案内される場合があります。

3 **案内スタート**を選ぶ

●ルート案内を開始します。

●走行を始めても、ルート案内を開始します。

●全ルート図を表示後、約1分間何も操作しないと、ルート案内を開始します。

●ルート探索完了後、全ルート図を表示する/しないを設定できます。(P.175)ルートの全表示「しない」に設定すると、ルート探索完了後、自動的にルート案内を開始します。

お知らせ

●ルートが設定されている場合、現在のルートは削除されます。

経由地に設定する

1 地点を検索する

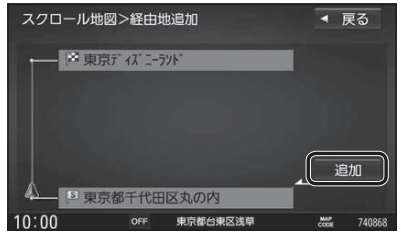
●検索のしかた→P.52～56

2 地点メニューから**立寄る**を選ぶ

●カーソルの地点を次の経由地に設定し、ルート探索を開始します。

●検索した施設に出入口や提携駐車場の情報がある場合や、有料道路がある場合は、メッセージで案内される場合があります。

3 経由地を追加する区間の、**追加**を選ぶ



●ルート探索を開始します。

4 **案内スタート**を選ぶ

●ルート案内を開始します。

●走行を始めても、ルート案内を開始します。

お知らせ

●経由地の順番を入れ換えるには→P.61

全ルート図から設定・確認する

ルート探索が完了すると、全ルート図が表示されます。

●ルート探索完了後、全ルート図を表示する/しないを設定できます。(P.175)
ルートの全表示「しない」に設定した場合は、手動で全ルート図を表示させてください。(下記)

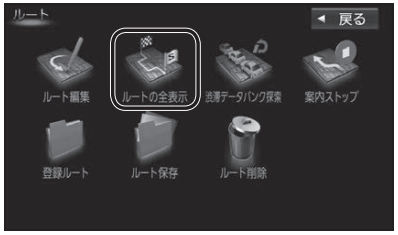
全ルート図

●別ルート ..... 右記
●詳細情報 P.59
●シミュレーション P.59

手動で全ルート図を表示させる

1 ツートップメニュー(P.24)から **ルート** を選ぶ

2 ルート画面から **ルートの全表示** を選ぶ



●全ルート図が表示されます。

5つの条件のルートから選ぶ

1 全ルート図(左記)から **別ルート** を選ぶ

●5つのルートが表示されます。
●同じルートが表示される場合があります。
●経由地(P.57)を設定したときは、別ルート探索できません。
●地点メニュー、ルート編集画面から、**5ルート** を選んでも、別ルート探索できます。

2 ルートを選ぶ

●**おまかせ**:高速道路・有料道路/一般道路の使用を自動で判断したルート
●**有料優先**:高速道路・有料道路を優先して通るルート
●**一般優先**:一般道路を優先して通るルート
●**eco**:燃料消費と有料道路料金をトータルで節約するルート
●**距離優先**:距離が短くなるルート

ルートごとの走行距離、料金、所要時間などを比較できます。

3 **案内スタート** を選ぶ

●ルート案内を開始します。

お知らせ

●ルート画面(左記)から **ルートの全表示** を選んで表示させた全ルート画面からは、別ルート探索できません。

ルート情報を見る

1 全ルート図(P.58)から **詳細情報** を選ぶ

●通過する道路名とその距離が表示されます。

2 ルート詳細情報を確認する

▲:目的地方向に進む
▼:出発地方向に戻る

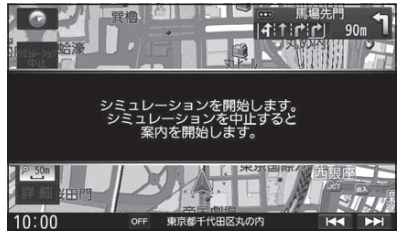
ルート案内を開始するには

MAP を押す

ルートをシミュレーションする

1 全ルート図(P.58)から **シミュレーション** を選ぶ

●シミュレーションを開始します。



シミュレーションを終了するには

シミュレーション中に **シミュレーション中止** を選ぶ

●シミュレーションを終了します。
●MENUを押してもシミュレーションを中止します。

お知らせ

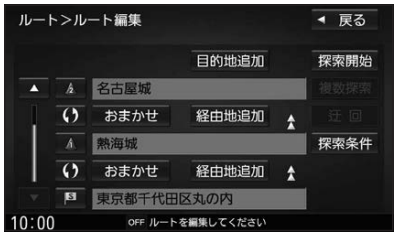
●長距離のシミュレーションには時間がかかります。

ルートを編集する

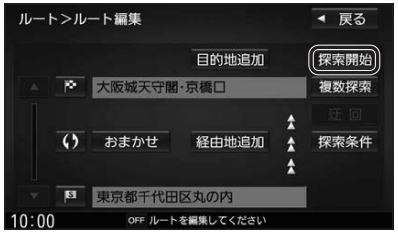
1 ツートップメニュー(P.24)から
ルートを選ぶ

2 ルート画面から
ルート編集を選ぶ

3 ルート編集画面から
ルートを編集する→P.60～61



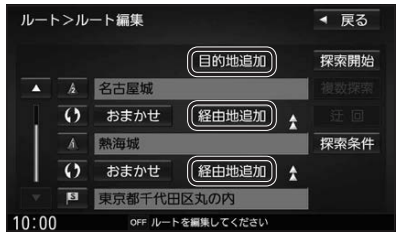
4 **探索開始**を選ぶ



●ルート探索を開始し、完了すると全ルート図が表示されます。

経由地・目的地を追加する

1 ルート編集画面(左記)から
経由地・目的地を追加したい場所の
経由地追加/**目的地追加**を選ぶ

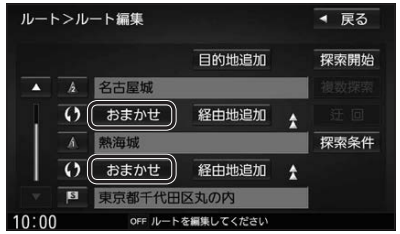


2 経由地・目的地にしたい場所を
検索する(P.52～56)

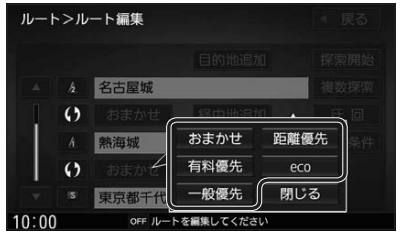
●検索した地点が、経由地・目的地として追加されます。

区間ごとの探索条件を変更する

1 ルート編集画面(左記)から
変更したい探索条件を選ぶ



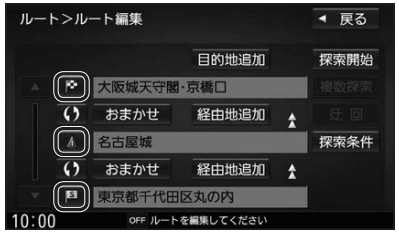
2 探索条件を設定する(P.64)



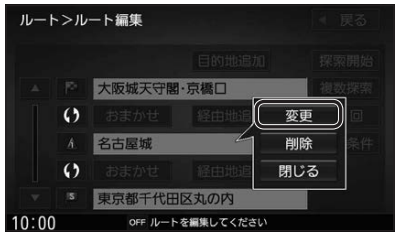
●検索条件が変更されます。

出発地・経由地・目的地を変更する

1 ルート編集画面(P.60)から
変更したい出発地・経由地・目的地
を選ぶ



2 **変更**を選ぶ

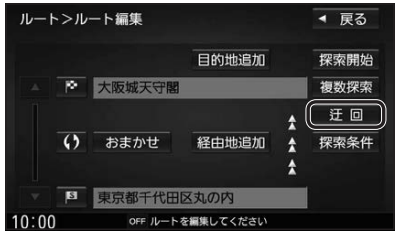


3 変更したい場所を検索する(P.52～56)

●出発地・経由地・目的地の場所が変更されます。

迂回するルートに設定する

1 ルート編集画面(P.60)から**迂回**を選ぶ



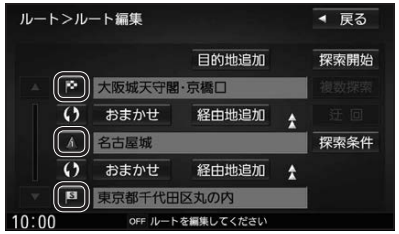
2 迂回する距離を選ぶ

●設定範囲：1 km /2 km /5 km /10 km
●設定された距離を迂回するルートを探索します。
●次の経由地または目的地までの距離が設定した距離より短い場合、設定した距離にかかわらず、次の経由地または目的地までを迂回するルートを探索します。

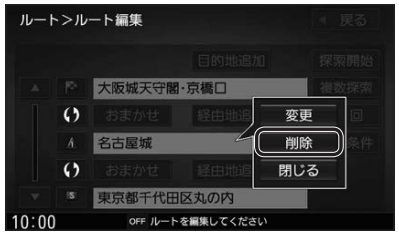
出発地・経由地・目的地を削除する

1 ルート編集画面(P.60)から
削除したい出発地・経由地・目的地
を選ぶ

●経由地が設定されている場合は、出発地と目的地が削除できます。



2 **削除**を選ぶ

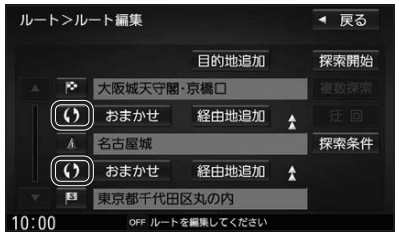


3 **はい**を選ぶ

●出発地・経由地・目的地が削除されます。

経由地・目的地を並べ換える

ルート編集画面(P.60)から
並べ換えたい区間の**◊**を選ぶ



●選んだ区間で順番が入れ換わります。

ルートを保存する

ルートを保存する

探索したルートを登録しておいて、必要なときに呼び出せます。(20ルートまで)

1 ルート画面(P.60)から
ルート保存を選ぶ

●現在のルートが保存されます。

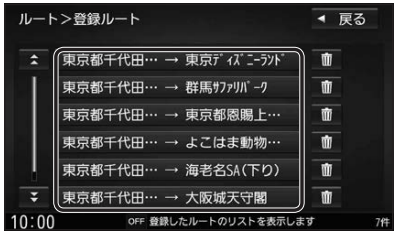
お知らせ

●すでに20ルート登録されている場合は、ルートを保存できません。不要なルートを削除してください。

保存したルートを呼び出す

1 ルート画面(P.60)から
登録ルートを選ぶ

2 登録ルートのリストから
呼び出したいルートを選ぶ



●選択したルートが呼び出されます。

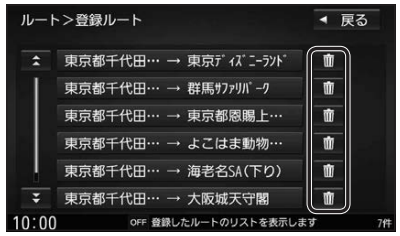
3 (すでにルートがある場合)
はいを選ぶ

●前のルートが削除され、選択したルートが呼び出されます。

保存したルートを削除する

1 ルート画面(P.60)から
登録ルートを選ぶ

2 登録ルートのリストから
削除したいルートの🗑を選ぶ



3 **はい**を選ぶ

●選んだルートが削除されます。

渋滞データバンク探索をする

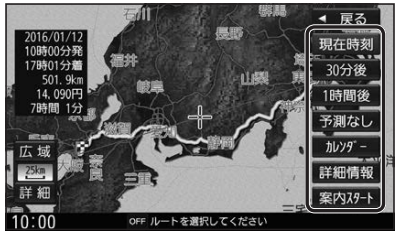
本機に収録されている統計交通情報をもとに、設定したルート上の渋滞を予測して回避するルート探索をすることができます。
表示された参考ルートの中から出発する日時によって、所要時間やルートの違いを確認することができます。

現在時刻の渋滞データバンク探索をする

1 ルート画面(P.60)から
渋滞データバンク探索を選ぶ

2 渋滞データバンク探索画面から
現在時刻探索を選ぶ

3 出発時刻を選ぶ



- **現在時刻**:現在時刻に出発
- **30分後**:現在時刻の30分後に出発
- **1時間後**:現在時刻の1時間後に出発
- **予測なし**:渋滞データバンクを考慮しない
- **カレンダー**:日時を指定する(右記)
- **詳細情報**:ルート詳細情報を表示(P.59)
- **案内スタート**:ルート案内を開始

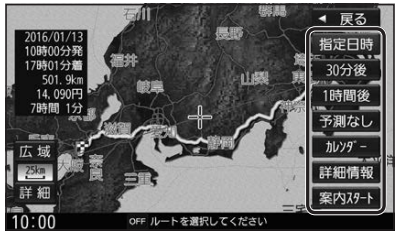
日時を指定して渋滞データバンク探索をする

1 渋滞データバンク探索画面(左記)から、**日時指定探索**を選ぶ

2 カレンダーから年月日を選ぶ

3 探索したい時刻を入力し、
探索を選ぶ

4 出発時刻を選ぶ



- **指定日時**:指定した日時に出発
- **30分後**:指定日時の30分後に出発
- **1時間後**:指定日時の1時間後に出発
- **予測なし**:渋滞データバンクを考慮しない
- **カレンダー**:日時を指定する(手順**2**)
- **詳細情報**:ルート詳細情報を表示(P.59)
- **案内スタート**:ルート案内を開始

ルート探索について

探索条件について

おまかせ：高速道路・有料道路／一般道路の使用を自動で判断したルート（通常はおまかせで探索します。）

有料優先：高速道路・有料道路を優先して通るルート

一般優先：一般道路を優先して通るルート

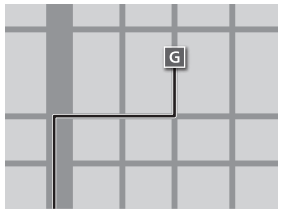
eco　：燃料消費量と有料道路料金をトータルで節約するルート

距離優先：距離が短くなるルート

お知らせ

- 一般優先で探索しても、有料道路を含むルートを探索する場合があります。
- 探索条件を変更するには→P.60、69
- 「eco」で探索したルートを走行しても、道路条件や運転のしかたで、燃料消費量が多くなる場合があります。
- 「eco」で探索されるルートの算出には、パナソニック独自の技術を使用しています。

細街路探索について



出発地・経由地・目的地周辺は、道幅3 m以上5.5 m未満の細い道路も含めてルートを探索します。

走行できない道路、または交通規制により通行を禁止している道路も含めたルートを探索する場合があります。必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

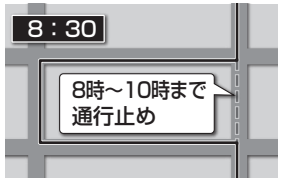
- 細街路上のルートは、一般道のルートとは異なる色で表示されます。

横付け探索について

目的地が中央分離帯のある道路に隣接している場合、施設の前に到着するように（施設が自車の左側になるように）ルートを探索します。

- 横付け探索することによりルートが遠回りになる場合、横付け探索しないことがあります。

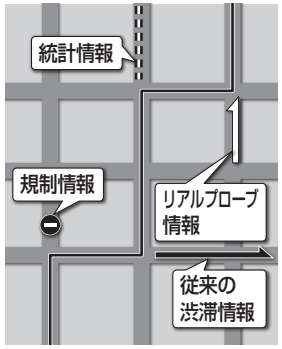
曜日時間規制探索について



月・曜日・時間による規制を考慮したルートを探索します。

規制があっても案内することがありますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

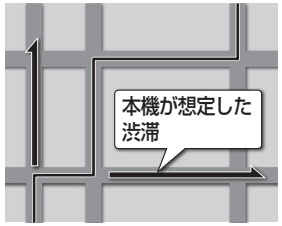
VICS考慮について



FM-VICSの渋滞／規制情報をもとに、渋滞／規制を避けたルートを探索します。

- 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0の渋滞／規制情報も考慮して、渋滞／規制の場所を避けたルートを探索します。
- 別売の光ビーコン対応ETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0のほかに、光ビーコンのVICS情報も受信できます。
- 現在地から遠く離れた場所の渋滞／規制の情報は、考慮されない場合があります。
- 渋滞／規制情報をもとにVICS考慮する／しないの設定ができます。（VICS考慮→P.40）

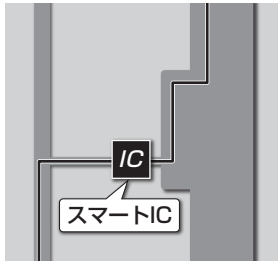
渋滞DB考慮について



過去のVICS情報などから、年月日・曜日・時間などと渋滞の相関を割り出して作成したデータベースから、将来起こるであろう渋滞を予測し、その結果を考慮したルートを探索します。

- 渋滞DB考慮で探索されたルートを通っても、早く着くとは限りません。
- 渋滞DB考慮する／しないの設定ができます。（渋滞DB考慮→P.40）

スマートICを通るルートについて



スマートICの利用を考慮したルートを探索します。
その際、通行できる時間帯や入口/出口の情報は考慮されますが、**通行できる車種の情報は考慮されません。また、ETC車載器、ETC2.0車載器を搭載していない車両や、ETCカードを挿入していない場合でも、スマートICを通るルートが探索される場合があります。必ず、実際のスマートICの状況に従って通行してください。**

- スマートIC考慮する／しないの設定ができます。（スマートIC考慮→P.40）

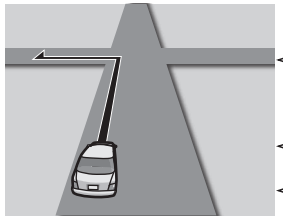
お願い

- **スマートICは、ETC専用のインターチェンジです。ETC車載器、ETC2.0車載器を搭載していない車両の場合は、スマートIC考慮を「しない」に設定してください。**

ルート案内中に

音声案内の「**太字の下線**」部は、走行するルートによって案内が異なります。

一般道路走行中の音声案内



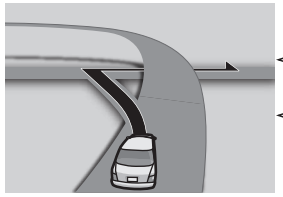
■ 交差点に近づくと

およそ**300 m**先、
大手町を**左方向**です。

まもなく**大手町**を**左方向**です。

左方向です。

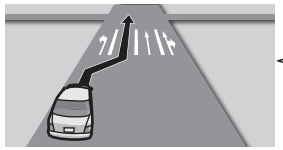
● 細街路でも交差点で音声分岐案内されます。



■ 側道では

まもなく、**左方向**、**側道**です。

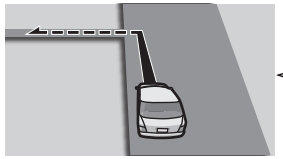
左方向です。



■ レーンのある道路では

およそ**300 m**先、**左折専用車線**に注意してください。

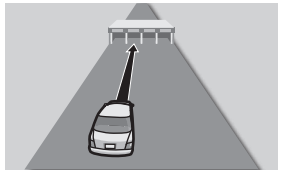
● 専用レーン案内の設定
→P.176



■ 狭い道に入るときは

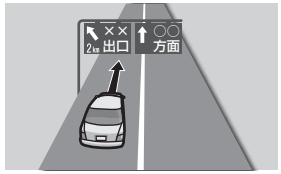
左方向です。
この先、実際の交通規制に従って走行してください。

高速道路・有料道路走行中の音声案内



■ 料金所付近では

まもなく、**料金所**です。

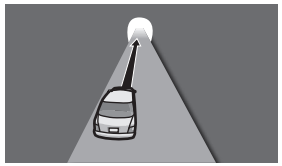


■ 分岐地点に近づくと

およそ**2 km**先、
左方向、**外苑出口**です。

まもなく、**左方向**、**外苑出口**です。

トンネルに入ると



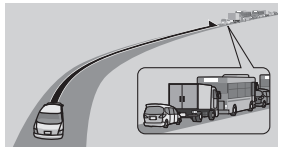
およそ**600 m**先、
トンネル出口です。

● トンネル出口案内の設定
→P.176
● 距離の短いトンネルでは案内されない場合があります。
● 別の案内がある場合、案内されない場合があります。

前方が渋滞していたら（VICS案内）

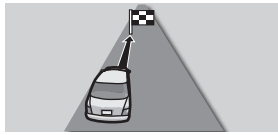
ルート上の渋滞や交通規制などのVICS情報が案内されます。（前方約10 km以内）

● VICS案内の設定
→P.176



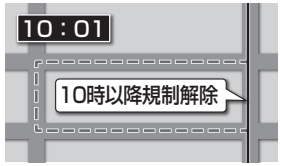
およそ、**3 km**先、
渋滞しています。

経由地・目的地の音声案内



目的地に到着しました。
ルートガイドを終了します。

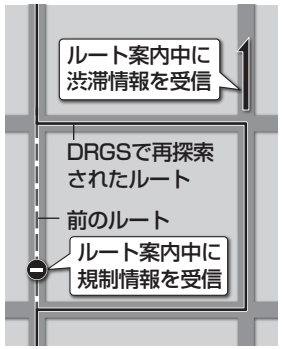
ルート案内中の曜日時間規制探索



ルート上の現在地周辺の月･曜日･時間による規制を常に確認し、それを考慮したルートに変更します。

規制があっても案内することがありますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

ルート案内中のVICS自動再探索（スイテルート案内）



FM-VICSの渋滞/規制情報（P.49）を受信すると、渋滞/規制を考慮したルートに変更します。（DRGS*1）

- 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0の渋滞/規制情報も考慮して、渋滞/規制を避けたルートを探索します。
- 別売の光ビーコン対応ETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0のほかに、光ビーコンのVICS情報も受信できます。
- 実際の道路状況によっては、早く着くとは限りません。
- 渋滞/規制情報をもとにVICS考慮する/しないの設定ができます。（VICS考慮→P.40）

＊1 DRGS：ダイナミックルートガイダンスシステム

新しいルートと前のルートを比較する（新旧ルート比較）

曜日時間規制探索やDRGSで新しいルートが再探索されたとき、変更前のルートも通行できる場合は、変更後のルートと変更前のルートを約8秒間表示します。（新旧ルート比較）表示が消えるまで何も操作しないと、変更後のルートで案内を開始します。

表示中に旧ルートに戻すを選ぶと、変更前のルートで案内します。

- 新旧ルート比較をしない場合があります。
  - ･変更前のルートを通行できないとき（通行止め、規制など）
  - ･現在地から約30 km以上離れた場所のルートが変更されたとき
- 新旧ルート比較する/しないの設定
→P.177

ルート案内中に

音声案内の「**太字の下線**」部は、走行するルートによって案内が異なります。

安心運転サポート情報の案内（一部地域のみ）

■ 急なカーブに近づくと*1

この先、カーブです。

● カーブ案内の設定→P.40

■ 制限速度を超過して走行しているときは*2*3

速度超過です。

● 有料道速度超過警告/一般道速度超過警告の設定→P.40

■ 一般道で一時停止が必要な地点に近づくと*2

一時停止です。

● 一時停止案内の設定→P.40

■ レーンのある高速道路では

この先、**左車線**が減少します。

● 高速レーン減少案内の設定→P.40

■ 高速道路で注意の必要な合流地点に近づくと*4

この先、**左から**の合流車両に注意してください。

● 合流案内の設定→P.40

■ 踏切付近では

まもなく、踏切です。

● 踏切案内の設定→P.40

■ ライト点灯が必要になったら*5

トンネルに入ったときや日没時に案内されます。

ライトの点灯を確認してください。

● ライト点灯案内の設定→P.40

■ 制限速度が変わる場合は*2

制限速度を表示します。

● 制限速度案内の設定→P.40

■ 一般道の指定方向外進行禁止の交差点では*2*6*7

指定方向外進行禁止の標識を表示します。

● 指定方向外禁止案内の設定→P.40

■ 一般道の事故多発地点に近づくと

この先、事故多発地点です。注意してください。

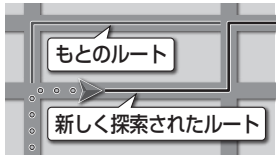
● 事故多発地点案内の設定→P.40

＊1 カーブの形状や走行する速度によっては、案内されない場合があります。
＊2 情報のある区間・地点のみ
＊3 制限速度を超過していても、案内されない場合があります。
＊4 一部の一般道でも案内される場合があります。
＊5 距離の短いトンネルでは、案内されない場合があります。
＊6 時間規制や車線規制がある標識や、複雑な形状の標識は案内されません。
＊7 ルート案内中は表示されません。

お知らせ

- 複数の安心運転サポート情報がある地点では、情報のいずれか1つが案内されます。
- 割り込み表示のしかたを設定できます。(P.40)

ルートから外れたときの自動再探索



ルートを外れても、自動的に再探索します。

● 自動再探索する/しないの設定→P.177

休憩メッセージ案内

長時間の運転中、音声で休憩を促します。

例：長時間運転している場合、

そろそろ休憩しませんか。

● 休憩メッセージ案内の設定→P.176

次の交差点などの音声案内を聞く

ルート案内中に、MAPを押す

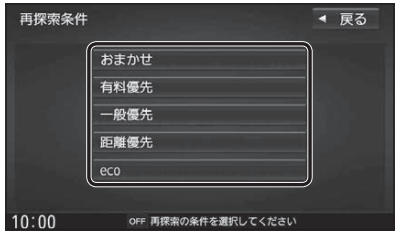
● 次の分岐交差点などが案内されます。

もう一度ルートを探索する

1 ランチャーメニュー(P.38)から再探索を選ぶ

● 経由地がある場合は、次の経由地までのルートが再探索されます。

2 再探索条件を選ぶ



● 選んだ条件で再探索します。

走行中の道路を誤って認識したとき（道路切換）

高速道路と一般道路が平行にあるときは、道路を取り違えることがあります。
(例えば、自車が高速道路を走行中なのに自車マークは一般道路を走行中と表示されている場合など)
このような場合に、地図のマッチングを手動で切り換えて、正しい位置に修正します。

ランチャーメニュー(P.38)から道路切換を選ぶ

- 自車位置の道路(高速道路/一般道路)を切り換えて再探索されます。
- 道路切換は、隣接して平行な道路を対象としています。

地点を登録する（登録地）

登録地について

1ユーザーにつき最大900件まで登録できます。（自宅、お気に入り地点を含む）

●登録された地点は、📌マークで表示されます。

カーソルの地点を登録する

登録したい場所にカーソルを合わせ、地点メニュー（P.47）から 地点登録 を選ぶ

●カーソルの位置（地点）が登録されます。

現在地を登録する

準 備

●ランチャーメニューに「地点を登録」が表示されるように設定してください。（P.38）

ランチャーメニュー（P.38）から 地点を登録 を選ぶ

●現在地が登録地として登録されます。

登録地をフォルダで管理する

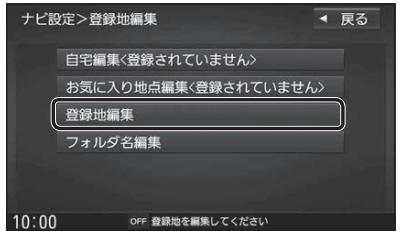
登録地をフォルダごとにまとめて管理できます。（20フォルダ＋メインフォルダ）
フォルダ名は、変更することもできます。

フォルダを移動する

1 情報・設定メニュー（P.25）から ナビ設定 を選ぶ

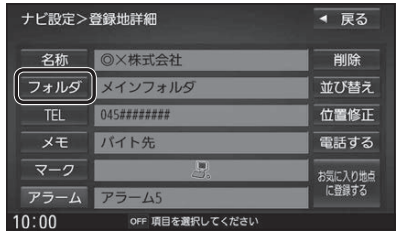
2 ナビ設定メニューから 登録地編集 を選ぶ

3 登録地編集画面から 登録地編集 を選ぶ



4 登録地のリストから登録地を選ぶ

5 登録地詳細画面から フォルダ を選ぶ



6 移動先のフォルダを選ぶ

●選んだフォルダに移動します。

フォルダ名を変更する

1 登録地編集画面（上記）から フォルダ名編集 を選ぶ

2 名称を編集するフォルダを選ぶ

3 フォルダ名を入力し、決定 を選ぶ

●全角14文字（半角29文字）まで
●文字入力のしかた→P.195

お気に入り地点を登録する

よく使う地点をお気に入り地点として登録すると、ランチャーメニューからかんたんに呼び出して、目的地に設定できます。（1件のみ）

お気に入り地点を登録する

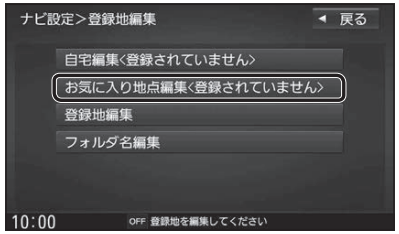
準 備

●お気に入り地点にしたい地点を登録地として登録してください。（P.70）

1 情報・設定メニュー（P.25）から ナビ設定 を選ぶ

2 ナビ設定メニューから 登録地編集 を選ぶ

3 お気に入り地点が登録されていない状態で登録地編集画面から お気に入り地点編集<登録されていません> を選ぶ



●すでに登録されている場合は、登録地詳細画面（P.72）が表示されます。

4 リストからお気に入り地点にしたい登録地を選ぶ

●お気に入り地点が登録されます。

お知らせ

●登録地詳細画面（P.72）から お気に入り地点に登録する を選んでも、お気に入り地点に登録できます。

お気に入り地点を解除するには

1 お気に入り地点が登録された状態で、登録地編集画面（上記）から お気に入り地点編集 を選ぶ

2 お気に入り地点の登録地詳細画面から お気に入り地点を解除する を選ぶ

3 はい を選ぶ

●お気に入り地点が解除されます。

お気に入り地点を呼び出す

準 備

●お気に入り地点を登録してください。（左記）
●ランチャーメニューに「お気に入り地点」が表示されるように設定してください。（P.38）

1 ランチャーメニュー（P.38）から お気に入り地点 を選ぶ

●お気に入り地点を目的地に設定し、ルート探索を開始します。

2 （ルートが設定されている場合のみ） はい を選ぶ

地点を登録する（登録地）

登録地の情報を見る

地点メニューから情報を見る

1 登録地にカーソルを合わせ、**設定**を選ぶ

2 地点メニュー（P.47）から**地点編集**を選ぶ
- 登録地詳細画面が表示されます。

情報・設定メニューから情報を見る

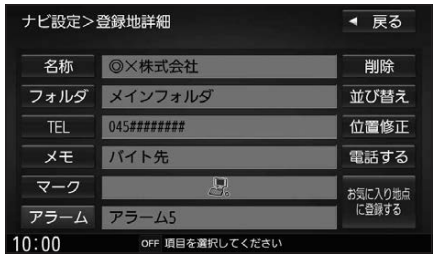
1 情報・設定メニュー（P.25）から**ナビ設定**を選ぶ

2 ナビ設定メニューから**登録地編集**を選ぶ

3 登録地編集画面から**登録地編集**を選ぶ

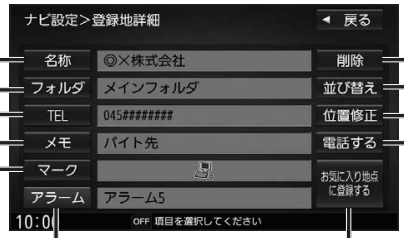
4 リストから登録地を選ぶ
- 選んだ登録地の登録地詳細画面が表示されます。
- **全削除**：すべての登録地を削除
- **全表示**：すべての登録地をリスト表示
- **フォルダ**：フォルダのリストを表示
- **登録順**：登録された順に並べ換え
- **マーク順**：マーク順に並べ換え

登録地詳細画面



登録地を編集する

登録地詳細画面



名称を編集する

1 **名称**を選ぶ

2 名称を入力し、**決定**を選ぶ
- 全角12文字（半角25文字）まで
- 文字入力のしかた→P.195

フォルダを移動する→P.70

電話番号を編集する

1 **TEL**を選ぶ

2 電話番号を入力する
（携帯電話・PHSの番号も可）

3 **決定**を選ぶ

メモを編集する

1 **メモ**を選ぶ

2 メモを入力する
- 全角16文字（半角32文字）まで
- 文字入力のしかた→P.195

3 **決定**を選ぶ

マークを変更する

1 **マーク**を選ぶ

2 リストからマークを選ぶ

3 **戻る**を選ぶ

お気に入り地点を登録する（P.71）

アラームを設定する

設定した方向から、設定した距離まで近づくと、アラームでお知らせします。

1 **アラーム**を選ぶ

2 アラームの種類を選ぶ
- アラームを鳴らさないようにするには**OFF**を選びます。

3 案内距離を選ぶ

4 **進入角度**を選ぶ
- 進入角度を設定しない場合は、全方位が対象となります。

5 進入角度を調整し、**セット**を選ぶ

登録地を削除する

一度削除するともとに戻せません。
削除は十分確認のうえ行ってください。

1 **削除**を選ぶ

2 **はい**を選ぶ

- 登録地が削除されます。

リストの並び順を変更する

1 **並び替え**を選ぶ

2 移動先の**挿入**を選ぶ

登録地の位置を修正する

1 **位置修正**を選ぶ

2 変更したい場所にスクロールさせる

3 **セット**を選ぶ
- **微調整**：位置の微調整ができます。

登録地の番号に電話をかける

- BLUETOOTH接続中のみ

電話するを選ぶ
- 登録地の電話番号に電話をかけます。

- 通話中の操作について→P.140

VICS情報を見る

VICSとは

渋滞・事故などの影響による規制、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。VICSはVehicle Information and Communication System（道路交通情報通信システム）の略です。

- **本機では、FM-VICSを受信できます。**
- **ETC2.0車載器（別売）を接続すると、ETC2.0のVICS情報を受信できます。**
- **光ビーコン対応ETC2.0車載器（別売）を接続すると、ETC2.0および光ビーコンからのVICS情報を受信できます。**

■ ETC2.0とは

これまでITSスポットサービスと呼ばれていたサービスを、「ETC2.0サービス」と呼ぶことになりました。
従来のETC（料金収受）や渋滞回避、安全運転支援などの情報提供サービスに加え、ITSスポットを通して収集される経路情報を活用した新たなサービスが導入される予定です。

交通情報の表示について

文字表示型（レベル1）

図形表示型（レベル2）

- 縮尺や表示は切り換えられません。

地図表示型（レベル3）

画像・音声情報（ETC2.0のみ）

（例：多目的情報）

- **受信する情報の内容**

優先情報	安全運転支援情報 緊急メッセージ情報 注意警戒情報	
一般情報	電子標識情報 多目的情報 長文読み上げ情報 センタ・ネットワーク障害通知	広域文字情報 簡易図形情報

- ETC2.0の一般情報を割り込み表示する/しないの設定→P.177

お知らせ

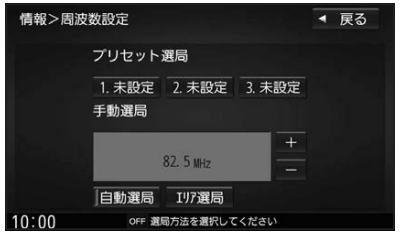
- 提供されるVICS情報は、あくまでも参考です。最新情報でない場合があります。
- 提供された情報と異なる場合は、実際の交通規制や道路状況に従ってください。

VICS情報を受信するFM放送局を設定する

1 情報メニュー（P.25）から **渋滞情報** を選ぶ

2 渋滞情報画面から **周波数設定** を選ぶ

3 周波数設定画面から放送局の設定をする（右記）



お知らせ

- GPS信号で現在時刻の情報を受信していないときは、FM-VICSの情報を受信できません。

自車位置に応じて自動で選局する（自動選局：推奨）

周波数設定画面（左記）から **自動選局** を選ぶ

- 選ぶごとに、ON/OFFが切り換わります。
- 自動選局がONのときにエリア選局、手動選局、プリセット選局をすると、自動選局はOFFに切り換わります。

自車位置周辺の放送局から選ぶ（エリア選局）

1 周波数設定画面（左記）から **エリア選局** を選ぶ

- 自車位置周辺の放送局のリストが表示されます。

2 リストから放送局を選ぶ

- 選んだ放送局のFM-VICSを受信します。

周波数で選局する（手動選局）

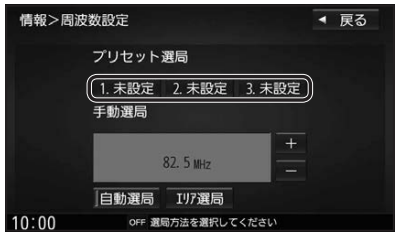
周波数設定画面（左記）から **＋**/**－** で周波数を調整する

よく使う放送局を記憶させて選局する（プリセット選局）

■ 記憶させる

1 周波数設定画面（左記）から記憶させたい放送局を選局する

2 記憶させたいプリセット番号を1秒以上タッチする



■ 呼び出す

周波数設定画面（左記）から呼び出したいプリセット番号を選ぶ

- 選んだ放送局に切り換わります。

VICS情報を見る

文字表示型(レベル1)・図形表示型(レベル2)のVICS情報を受信すると

FM多重で受信すると

受信しても、自動的に表示されません。ただし、FM-VICSで緊急情報を受信した際は、自動的に表示されます。

●受信した情報を見るには→P.77

ETC2.0車載器で受信すると

受信すると、地図画面に自動的に一定時間(7～15秒間)＊1割り込み表示されます。

●割り込みの設定→P.177

●表示中の画面によって、割り込み表示しない場合があります。

＊1 音声情報を含む場合は、それ以上の時間になることがあります。

画像・音声情報のVICS情報を受信すると(ETC2.0)

地図画面に、自動的に一定時間(7～15秒間)割り込み表示されます。
音声情報がある場合は、音声情報も再生されます。

割込画面(例)

[優先情報]:

安全運転支援情報/緊急メッセージ情報/注意警戒情報

●落下物情報や渋滞末尾情報など注意や警戒を促すための情報が提供されます。災害発生時は停車や避難等の行動指示のための情報も提供されます。

[一般情報]:

電子標識情報/多目的情報/長文読み上げ情報/広域文字情報/センタ・ネットワーク障害通知

●広域の所要時間を案内する広域道路情報や静止画による前方状況情報などが提供されます。

●**停止**:音声情報の停止
●**再生**:音声情報の再生
●**▲▼**:ページ切換
●**▶**:表示の消去

●ETC2.0の設定→P.177

お知らせ

●表示中の画面(拡大図表示など)によって、割り込み表示や音声情報再生を中断したり、表示しない場合があります。

●ETC2.0割込みする/しないの設定で一般情報の割り込み表示を設定できます。(P.177)

地図表示型(レベル3)のVICS情報を受信すると

渋滞、規制、駐車場、SA・PA情報(レベル3)を受信すると、自動的に表示されます。

お知らせ

●新しい情報を受信すると、情報が更新されます。
●遠方の渋滞情報は表示されません。
●VICS表示設定→P.40
●レベル3情報の見かた→P.48～49

事象・規制マークの内容を確認する

事象・規制マークにカーソルを合わせる

●情報が表示されます。

詳細を選ぶと、詳細な情報が表示されます。

VICS情報を確認する

1 渋滞情報画面(P.75)から見たい情報を選ぶ

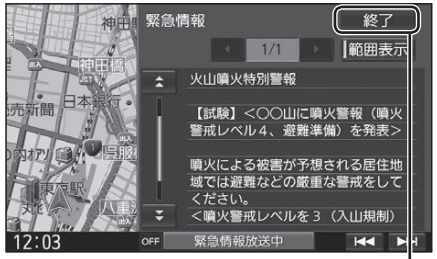
2 (FM-VICSの文字情報・図形情報の場合)見たい情報の番号を選ぶ

●**▲** **▼**:ページ切換
●**目 次**:もくじを表示

VICS情報を見る

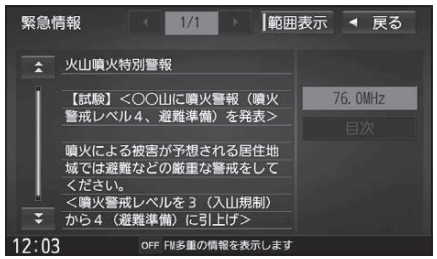
緊急情報（特別警報）を受信すると

地図画面を表示中に受信するとただちに表示されます。



終了を選ぶと、緊急情報画面が消去され、地図画面に戻ります。

地図画面で情報バーの**緊急情報放送中**を選ぶと、緊急情報画面（詳細情報）が表示されます。



- ◀ ▶：ページ切換
- ▲ ▼：行を戻す/送る
- 渋滞情報画面(P.75)から**緊急情報**を選んでも、緊急情報画面に切り換わります。
- 走行中は、ページ切換できません。
- 情報自体の提供が無い場合は表示されません。

渋滞データバンクを見る

お好みの日時/場所の渋滞データバンクの情報を表示できます。

■渋滞データバンクについて

過去のVICS情報などから、年月日・曜日・時間などと渋滞の相関を割り出して作成したデータベースから、将来起こるであろう渋滞を考慮します。そのため、渋滞データバンクの内容は、実際の渋滞状況とは異なる場合があります。

1 情報メニュー(P.25)から**渋滞データバンク**を選ぶ

2 年月日を選ぶ

- **前 月**：ひとつ前の月へ移動
- **今 月**：今月へ移動
- **翌 月**：ひとつ次の月へ移動

3 時刻を入力し、**検索**を選ぶ

- 指定した年月日の渋滞データバンク情報が表示されます。

前日/翌日の情報に切り換えるには

前日/**翌日**を選ぶ

時刻を変更するには

▲/▼を選ぶ

オーディオ

オーディオの基本操作 82
オーディオに切り換える 82
オーディオの種類を選ぶ 82
オーディオの音声を出力したまま
ナビゲーションに切り換える 83
オーディオをOFFにする 83

テレビを見る 84
テレビ初期設定を行う 84
テレビの基本操作 86
テレビの受信や信号の設定をする 88
視聴予約を確認・編集する 88
ソフト情報を見る 88
デバイスID表示 88
テレビのシステム設定をする 90

ラジオを聞く 91
受信中の放送局をリストに
記憶させる（プリセットメモリー） 91
記憶させた放送局を選ぶ
（プリセット選局） 91
FM/AMを切り換える 91
自車位置に応じて放送局を
切り換える（エリアモード） 91
周波数から選局する 91

交通情報を聞く 91

ディスクを再生する 92
再生できるディスク 92
ディスクを挿入する 92
microSDメモリーカードを挿入する 93
BDMV・BDAV・AVCHD・AVCRECを
再生する 94
BDMV・BDAV・AVCHD・AVCRECの
設定を変える 97
DVD-Video・DVD-VRを再生する 98
DVD-Video・DVD-VRの
初期設定を変える 100
音楽CD（CD-DA）を再生する 101
MP3/WMAを再生する 102

BLUETOOTH Audioを再生する 103

**SDメモリーカードに
音楽CDを録音する 104**
録音に関する設定をする 104
録音する 104

本機で録音した音楽データを再生する 106

本機で録音した音楽データを編集する 108
アルバムの情報を編集する 108
曲の情報を編集する 108
再生中のアルバム・曲をお気に入りに
登録する 110
アルバム・曲をお気に入りに登録する 110
お気に入りフォルダの名称を変更する 110
お気に入りに登録したアルバム・曲を
削除する 110
ジャケット写真を登録する 111
アルバム・曲を再生する/しないを
設定する 111
再生中のアルバム・曲にジャンルを
登録する 111
アルバム・曲を削除する 111
パソコンでGracenoteデータベースを
更新する（ローカルアップデート） 112
パソコンでタイトル情報を個別に
更新する（カスタムアップデート） 113
スマートフォンでタイトル情報を
個別に更新する 114
SDメモリーカード内の録音状況を
確認する 115
録音した音楽データを初期化する 115

**SDメモリーカード・
USBメモリーを再生する 116**
SDメモリーカードを挿入する 116
USBメモリーを本機と接続する 116
音楽（MP3/WMA/AAC）を再生する 117
静止画を再生する 118
動画を再生する 119

iPodを再生する 120
音楽を再生する 122
ビデオを再生する 123

**音質・音場を調整する
（オーディオチューン） 124**
オーディオチューンのモードを選ぶ 124
FADE/BALANCEの
出力レベルを調整する 124
音響効果「音の匠」を設定する 125
SRS CS Autoの設定をする 126
DSPの設定をする 127
車速連動音量を補正する 127
より自然な音で聞く
（ビット・周波数拡張） 127
Gracenoteをアップデートする 127
イコライザーの設定をする 128
スピーカーの設定をする 129

映像を調整する 130
画質を調整する 130
映像の画面表示サイズを切り換える 130

**現在地画面にオーディオ映像を
表示する 131**

オーディオの基本操作

●走行中は、TV、Blu-ray Disc、DVD、SD動画、USB動画、iPodビデオ、HDMI、VTR、Drive P@ss（動画など）の映像は表示されません。
安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いてご覧ください。
●走行中でも、後席用のモニターには映像が出力されます。
後席用のモニターに出力される映像について→P.162

オーディオに切り換える

AUDIOを押す

●オーディオ画面に切り換わります。

オーディオの種類を選ぶ

オーディオメニューから

切り換えたいオーディオを選ぶ

●選んだオーディオに切り換わります。

お知らせ

●オーディオの音量を調整するには→P.17

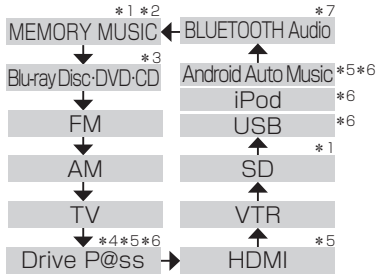
ステアリングスイッチで

準 備

●ステアリングスイッチ設定をしてください。（P.23）

SOURCE（ソース）を割り当てたステアリングスイッチを押す

●押すごとにオーディオが切り換わります。



●オーディオOFF時はMEMORY MUSICに切り換わります。
●交通情報時は、TVに切り換わります。
●ステアリングスイッチで交通情報に切り換えることはできません。

＊1 SDメモリーカード挿入時のみ
＊2 本機で録音した音楽データの再生
＊3 ディスク（CD・MP3/WMA・DVD・Blu-ray Disc）挿入時のみ
＊4 スマホ連携時のみ
＊5 後席用モニターに出力できません。
＊6 USBメモリー、iPodまたはAndroid Auto接続時のみ
（同時には接続できません。）
＊7 BLUETOOTH Audio機器接続時のみ

オーディオの音声を出力したままナビゲーションに切り換える

オーディオ画面表示中にMAPを押す

●オーディオ画面に戻るには、AUDIOを押してください。
●ナビゲーションの音声・映像のみを出力したいときは、オーディオOFFにしてください。（右記）

●現在地画面を表示

●オーディオ画面と同じ操作ができます。
●オーディオがTVのときは、⏮⏭でチャンネルの切り換えができます。

お知らせ

●ナビゲーションの現在地画面に、オーディオ映像を表示させることができます。（P.131）

オーディオをOFFにする

本体ボタンで

AUDIOを2秒以上押す

■ オーディオをONにするには

オーディオOFFの状態で、AUDIOを2秒以上押す

ツートップメニューから

AUDIO OFFを選ぶ

●オーディオの音声・映像が消去されます。（オーディオOFF）

■ オーディオをONにするには

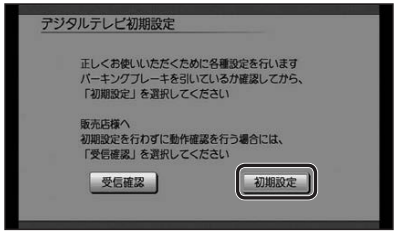
ツートップメニューからAUDIO ONを選ぶ

テレビを見る

[TV]に切り換えるには
→P.82「オーディオの種類を選ぶ」

テレビ初期設定を行う

初めてテレビに切り換えたときは、テレビ初期設定画面が表示されます。地上デジタル放送をご覧になる前に、必ずテレビ初期設定をしてください。



1 初期設定を選ぶ

- 販売店にて初期設定を行わずに動作確認を行う場合には、受信確認を選んでください。
  - 受信確認中は、◀▶で物理チャンネルを変更できます。

郵便番号設定

2 お住まいの地域の郵便番号を入力し、決定を選ぶ

県域設定

3 お住まいの都道府県を選ぶ

伊豆、小笠原諸島、南西諸島鹿児島県地域を設定するには

■伊豆、小笠原諸島地域

1. 沖縄・その他の島部を選ぶ
2. 東京都島部を選ぶ

■南西諸島鹿児島県地域

1. 沖縄・その他の島部を選ぶ
2. 鹿児島県島部を選ぶ

4 次へを選ぶ

ホームモードのチャンネル設定

5 地域を確認して、決定を選ぶ

- 受信可能なチャンネルの検索が完了すると、一覧表が表示されます。
- 地域によっては、検索に時間がかかる場合があります。(約5分)
- ◀▶: 地域の変更

6 各チャンネルの放送局を確認して、決定を選ぶ

- 検索できない放送局があった場合は、初期設定終了後に再スキャンを行ってください。(P.90)

チャンネル番号

放送局名

同じ系列局で受信できるチャンネル
- 複数ある場合があります。
- ワンセグは青色で表示されます。

▲▼でチャンネル番号を選び、◀▶で放送局を選ぶと、手動でチャンネルを修正できます。

7 終了を選ぶ

- これで準備完了です。地上デジタル放送をご覧になれます。

テレビ初期設定を変更・再確認するには

テレビ初期設定画面(P.84)は、一度設定すると、出荷状態に戻す(P.179)またはTVの初期化(P.179)をするまで表示されません。引越しで受信地域が変わったなどの理由で、テレビ初期設定の項目を変更したい場合は、下記から設定してください。

- 郵便番号設定.....P.90「郵便番号」
- 県域設定 .....P.90「県域」
- ホームモードのチャンネル設定.....P.90「ホームチャンネル」

■ 周波数再編(リパック)について

周波数再編により、これまで視聴できたチャンネルが映らなくなった場合は、再スキャン(P.90)を行ってください。

■ 緊急警報放送(EWS)について

緊急警報放送(EWS)とは、大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。
EWSは緊急警報放送システム(**E**mergency **W**arning **S**ystem)の略です。

緊急警報放送(EWS)を受信したら

自動的に緊急警報放送に切り換わります。

- テレビ以外のオーディオを選んでいても、緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送に切り換わる場合があります。
- 緊急警報放送が終了しても、テレビ画面のままになります。(もとのオーディオには戻りません。)
  もとに戻すには、手動で切り換えてください。
- 走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いてご覧ください。
- 視聴中の放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的には切り換わりません。

テレビを見る

[TV]に切り換えるには
→P.82「オーディオの種類を選ぶ」

テレビの基本操作

テレビ視聴中に画面をタッチすると、選局パネル(下記)**が表示されます。**

●約10秒間何も操作しないと、選局パネルは自動的に消去されます。

(ホームモード)/(おでかけモード)を表示

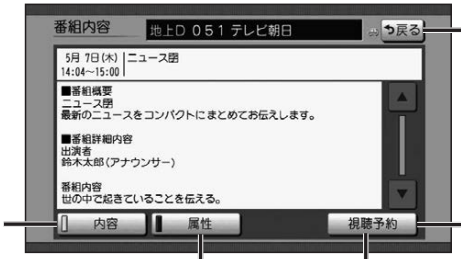
選局パネルを消去

選局する

カーソルパネルを表示(P.87)

テレビメニューを表示(P.88)

番組内容を見る



選局パネル/番組表に戻る

放送中の番組の場合は 今すぐ見る タッチキーが表示されます。タッチすると、選んだ番組に切り換わります。

番組内容画面を見る

属性画面(詳細な情報)を見る

番組表を見る

別の日の番組表を見る　チャンネルを選ぶ

選局パネルに戻る

視聴中の番組の番組内容を見る(上記)

時間帯を選ぶ

番組表の拡大/縮小

番組表を消去

選んだチャンネルに切り換える

緑線部分: 放送時間の短い番組があります。選ぶと番組が表示されます。

選んだ番組の番組内容を見る(上記)

●電源を入れた直後は、番組表が表示されるまで約1分かかる場合があります。
●受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、その局を選ぶと表示されます。(数分かかることがあります。)
●地上デジタル放送は7日分まで、ワンセグは10番組まで表示されます。
●番組表表示形式を設定できます。(P.90)

カーソルパネルの操作

選局パネル(P.86)**から** d操作 **を選ぶと、カーソルパネル**(下記)**が表示されます。**

項目を選択

◀▶▲▼: 項目の選択/ 決定 : 選んだ項目に決定

カーソルパネルを消去
●再度カーソルパネルを表示させるには、選局パネル(P.86)を表示させて、d操作を選んでください。

カーソルパネルを移動

位置▶
もとの位置に戻す

数字パネルに切換

操作
カーソルパネルに戻す

視聴予約をする

視聴予約したい番組の番組内容画面(P.86)**を表示させ、視聴予約を選ぶ**

●選んだ番組の視聴予約がセットされます。
●予約した時間になると、自動的にテレビに切り換わり、予約した番組が表示されます。
●受信モードが自動切換になっていない場合、視聴予約した番組に切り換えられない場合があります。
●同じ時間に開始する番組を複数予約することはできません。
●放送開始時刻が変更になっても、予約時刻は自動では変更されません。
●視聴予約した番組が終了しても、もとのオーディオ、チャンネルには戻りません。
●緊急警報放送中は、視聴予約が実行されません。
●予約した番組(チャンネル)が受信できない場合は、自動的に中継局や系列局をサーチして、受信できた局に切り換わります。
●視聴予約を確認するには→P.88

データ放送を見る

カーソルパネル(上記)**から** d **を選ぶと、データ放送が表示されます。**

●情報量が多いときは、表示に時間がかかる場合があります。
●再度 d を選ぶとデータ放送が消去され、通常の放送に戻ります。

お知らせ

●双方向データサービスやワンセグのデータ放送には対応していません。

■ 画面キーボードが表示されたら

画面キーボードで文字を入力する

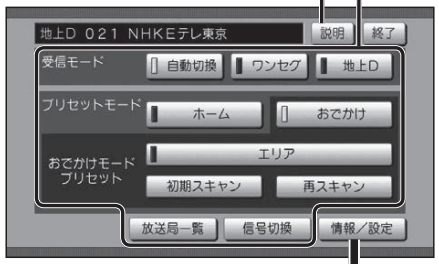
●本機の画面ではなく、番組独自のキーボードが表示された場合は、データ放送の画面の説明に従ってください。

テレビを見る

選局パネル(P.86)から
デジタルTVメニューを選ぶと、
テレビメニューが表示されます。

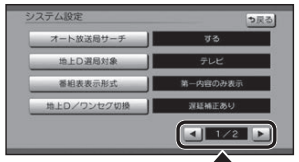
テレビメニューの説明を表示

テレビメニュー



情報/設定画面

システム設定画面



(1/2)

(2/2)

テレビの受信や信号の設定をする

1 設定したい項目を選ぶ

2 設定する(P.89)

視聴予約を確認・編集する

視聴予約を選ぶ

●視聴予約一覧が表示されます。

視聴予約を取り消す

1 視聴予約一覧(上記)から
取り消したい視聴予約にチェック(✔)する

2 **取消**を選ぶ

3 **はい**を選ぶ

●選んだ視聴予約が取り消されます。

ソフト情報を見る

1 **ソフト情報表示**を選ぶ

2 情報を確認する

デバイスID表示

通常は、この操作は必要ありません。

デバイスID表示を選ぶ

●受信機(本機)の情報が表示されます。

●お問い合わせの際に必要な場合があります。

[**太字**:お買い上げ時の設定]

項　目		設定内容
受信モード 受信状態が良くないときは、ワンセグに切り換えると、比較的安定した画像を見ることができます。		「**自動切換**」:受信状態に応じて地上デジタル放送/ワンセグを自動的に切換 ● 番組のタイトル表示・チャンネル表示に(AUTO)と表示されます。 「ワンセグ」:受信状態に関わらずワンセグを受信 「地 上 D」:受信状態に関わらず地上デジタル放送を受信 ● 受信状況によっては、切り換え時に数秒間映像が途切れることがあります。 ● 放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグの番組内容が異なる時間帯があるため、地上デジタル放送/ワンセグを切り換えた際、異なる番組になる場合があります。
プリセットモード ホームモード/おでかけモードを切り換えます。		「ホ ー ム」:ホームモードに切換 「**おでかけ**」:おでかけモードに切換 **■ホームモード** テレビ初期設定の「ホームモードのチャンネル設定」(P.84)で設定された、自宅周辺で受信できるチャンネルを選べます。 ● 放送局を変更するときは、「ホームスキャン」を行ってください。(P.90) ● ホームモード設定中におでかけモードプリセット(下記)を行うと、ホームモードは解除され、おでかけモードに切り換わります。 **■おでかけモード** ホームモードの放送局が受信できない旅行先などでは、ホームモードとは別に、旅行先で受信できるチャンネルを登録できます。(下記「おでかけスキャン」) また、自車位置に応じて放送局のリストを自動的に切り換えることもできます。(下記「エリアプリセット」)
おでかけモードプリセット **■おでかけスキャンについて** ● 放送局の系列は、ホームモード時のチャンネル設定に合わせます。 ● おでかけモードでは、チャンネルの修正はできません。 ● おでかけ初期スキャン/おでかけ再スキャンするとエリアプリセットは解除されます。		「エ リ ア」:自車位置に応じて放送局リストを自動的に切り換えます。(エリアプリセット) ● 再度選ぶと解除されます。 「初期スキャン」:現在受信できるチャンネルが検索され、以前のリストに上書きされます。(おでかけ初期スキャン) ● スキャン完了後、放送局一覧が表示されます。(約10秒間) 「再スキャン」:新たに受信できたチャンネルが追加されます。(おでかけ再スキャン) ● 以前おでかけモードに登録されていたチャンネルは残ります。(削除・上書きなどはされません。) ● スキャン完了後、放送局一覧が表示されます。(約10秒間)
放送局一覧	**放送局一覧**を選ぶ	**放送局一覧を確認する** ● 本機に設定された受信可能なチャンネルが一覧表示されます。 ● ワンセグは青色で表示されます。
信号切換	**信号切換**を選ぶ	**各項目を設定する** 「マルチビュー」:マルチビュー放送のときに選択できます。 ● マルチビュー放送とは、同一のチャンネルで主番組と副番組の複数映像が送られる放送のことです。 「映 像」:映像が複数あるときに選択できます。 「音 声」:音声が複数あるときに選択できます。 「二 重 音 声」:二重音声の音声を選択できます。 「字 幕」:字幕の言語を選択できます。 「文字スーパー」:文字スーパーの言語を選択できます。 ● 文字スーパーとは、視聴者にお知らせしたい情報を、番組放送中の画面上に文字で表示させたものです。

テレビを見る

テレビのシステム設定をする

1 システム設定画面（P.88）から設定したい項目を選ぶ

2 設定する（下記）

［**太字**：お買い上げ時の設定］

項　目	設定内容/操作		
オート放送局サーチ 移動などで受信状態が悪くなった場合に、自動的に受信状態の良い中継局、または同じ系列の放送局に切り換えます。	「**す　る**」：オート放送局サーチする 「**しない**」：オート放送局サーチしない ● 県境を越えて移動した場合など、オート放送局サーチ設定中でも放送局を切り換えられない場合があります。そのときは、手動で選局してください。（P.86「テレビの基本操作」） ● 放送局によっては、同じ系列でも、番組内容が異なる時間帯があるため、オート放送局サーチで放送局を切り換えた際、異なる番組になる場合があります。		
地上D選局対象＊1 テレビサービスのみを選局するか、テレビサービスと独立データサービスの両方を選局するかを設定します。	「**テ　レ　ビ**」：テレビサービスのみ選局する＊2 「テレビ/データ」：テレビサービスと独立データサービスを選局する ＊1 地上デジタル放送のみ設定できます。ワンセグに対しては設定できません。 ＊2 番組表もテレビサービスのみ表示されます。		
番組表表示形式 番組表の表示のしかたを設定します。	「**第一内容のみ表示**」：同じチャンネルで同じ時間に複数の番組がある場合、代表の１番組だけ番組表に表示する ● 代表以外の番組を視聴中は、代表の番組と視聴中の番組の２つが表示されます。 「全内容を表示」：同じチャンネルで同じ時間に複数の番組がある場合、すべての番組を番組表に表示する		
地上D/ワンセグ切換 地上デジタル放送/ワンセグを切り換えたときのズレを、補正する/しないを設定します。	「**遅延補正あり**」：ズレを補正する 「遅延補正なし」：ズレを補正しない		
郵便番号	**お住まいの地域の郵便番号を入力する**		**決定**を選ぶ
県域	P.84**「テレビ初期設定を行う」手順3と同じ操作でお住まいの都道府県を選ぶ**		
ホームチャンネル	**ホームモードで使用するチャンネルを設定する（ホームスキャン）** 準備 ● ホームモードに切り換えてください。（P.89）		
放送局を上書きしてチャンネルを記憶する（初期スキャン）	**初期スキャン**を選ぶ	**◀▶**で地域を選び、**決定**を選ぶ ● 現在受信できるチャンネルが検索され、以前のリストに上書きされます。	**内容を確認し、決定を選ぶ** ● チャンネルを修正するには →P.84手順**6**
引越しなどで受信地域が変わり、ホームモードを再設定するときに行ってください。			
放送局リストにチャンネルを追加する（再スキャン）	**再スキャン**を選ぶ ● 新たに受信できたチャンネルが追加されます。 ● 以前ホームモードに登録されていたチャンネルは残ります。（削除・上書きなどはされません。）		**内容を確認し、決定を選ぶ** ● チャンネルを修正するには →P.84手順**6**
自宅付近に新しく開設された放送局や、自宅に隣接した地域で受信できる放送局を追加するときなどに行ってください。			
設定したチャンネルを修正する（マニュアル）	**マニュアル**を選ぶ	**チャンネルを修正する** →P.84 手順**6**	**決定**を選ぶ
バージョンアップ	テレビチューナーの内部ソフトウェアバージョンアップの際に使用します。		

ラジオを聞く

［FM/AM］に切り換えるには →P.82「オーディオの種類を選ぶ」

ラジオ画面

オーディオチューン（P.124～129）

受信中の放送局をリストに記憶させる（プリセットメモリー）

1 プリセットのリスト（**P1**/**P2**）を選ぶ

2 **◀◀ ▶▶**で周波数から選局する（右記）

3 保存したい枠を２秒以上タッチする
- 受信している放送局が選んだ枠に記憶されます。

記憶させた放送局を選ぶ（プリセット選局）

1 プリセットのリストから放送局を選ぶ
- 選んだ放送局に切り換わります。
- **P1**/**P2**を選ぶと、プリセットのリストが切り換わります。

2 放送局を選ぶ
- 選んだラジオ放送を受信します。

FM/AMを切り換える

FM/AMを選ぶ

お知らせ
- AMステレオには対応していません。

自車位置に応じて放送局を切り換える（エリアモード）

エリアを選ぶ
- 自車位置周辺の放送局のリストが表示されます。（12局まで）

自車位置周辺の放送局を更新するには

エリアモードで**エリア更新**を選ぶ
- 自車位置周辺の放送局のリストに更新されます。

周波数から選局する

◀◀ ▶▶をタッチする
- １秒以上タッチして離すと選局を始め、受信すると止まります。（シーク選局）

お知らせ
- 本機は、ワイドFM（FM補完放送）に対応しています。
- 地域によっては、リストに実際とは異なる放送局名が表示されたり、周波数のみが表示される場合があります。
- 周波数再編により、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。

交通情報を聞く

［交通情報］に切り換えるには →P.82「オーディオの種類を選ぶ」

交通情報画面

オーディオを交通情報に切り換えると、交通情報を聞くことができます。
［お買い上げ時の設定：1620 kHz］

周波数を選ぶ

お知らせ
- オーディオを交通情報に切り換えると、ビット・周波数拡張の設定がONの場合、設定はOFFになります。他のオーディオを選ぶと、設定はONに戻ります。

ディスクを再生する

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。
「ディスクについて」(P.196)も併せてご覧ください。

ディスク＼フォーマット	BDMV	BDAV	AVCHD*3	AVCREC*3	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3*4	WMA*4
Blu-ray	○	—	—	—	—	—	—	—	—
BD-R/RE	○	○	○	—	—	—	—	—	—
DVD	—	—	—	—	○	—	—	—	—
DVD-R/RW*1	—	—	○	○	○	○	—	—	—
CD	—	—	—	—	—	—	○	—	—
CD-R/RW*2	—	—	—	—	—	—	○	○	○

操作のしかた	P.94～97	P.98～100	P.101	P.102

＊1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。
＊2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。
＊3 AVCHD、AVCREC形式のDVD-R/RWを本機に挿入すると、Blu-ray Discのアイコンが表示されます。
＊4 MP3 PRO、MP3i、WMA Professional、WMA Loss-less、WMA Voiceには対応していません。

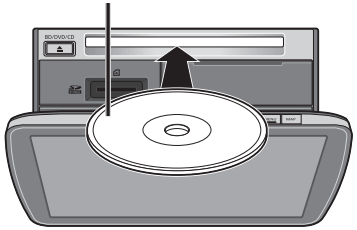
お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。
  詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。

ディスクを挿入する

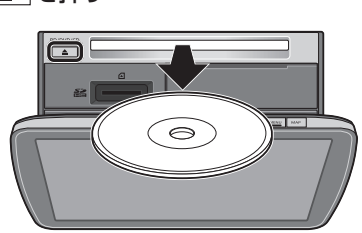
1 ディスプレイを十分に倒して、ディスクを挿入する

ラベル面を上に



取り出すには

ディスプレイを十分に倒して、
[⏏]を押す



- ディスクが排出されます。

2 ディスプレイを起こす

お願い

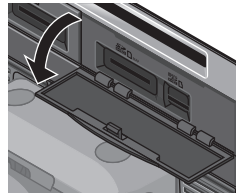
- ディスクを取り出すときは、必ず停車してください。
  道の起伏(砂利道など)で振動していると、排出されない場合があります。
- 必ずディスプレイを十分に倒してから、ディスクを挿抜してください。
  ディスプレイの倒しかたが不十分な場合、ディスクが排出されません。

microSDメモリーカードを挿入する

BDMVには、ローカルストレージにディスクの付加情報を保存して、再生時に利用することができるものがあります。

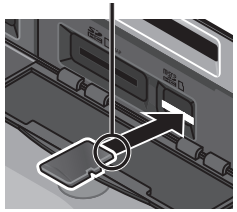
- 本機で使用できるmicroSDメモリーカードについては、P.199をご覧ください。
- 挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
- 正常に動作しないときは、再度カードを抜き差ししてください。

1 ディスプレイを十分に倒して、ふたを開く



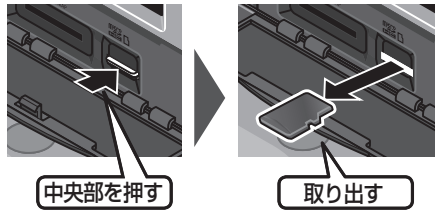
2 microSDHCメモリーカードを奥までまっすぐに挿入する

角がカットされた側を右に

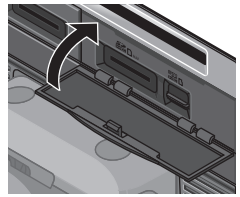


- カチッと音がするまで差し込みます。

取り出すには



3 ふたを閉じてから、ディスプレイを起こす



お願い

- 必ずSD挿入口のふたを閉じてから、ディスプレイを起こしてください。
  ふたが開いたままディスプレイを起こすと、ふたが破損するおそれがあります。

ディスクを再生する

● [Blu-ray Disc]に切り換えるには→P.82「オーディオの種類を選ぶ」
● ディスクの出し入れ→P.92

BDMV・BDAV・AVCHD・AVCRECを再生する

●本機で再生できるディスクについて
→P.92、196

ディスク再生画面(BDMV・BDAV・AVCHD・AVCREC)

本編再生中に画面をタッチすると、再生操作タッチキーが表示されます。

設定を変える(P.97)

タッチキーを消去

各種切換を選ぶと、
各種切換タッチキーが表示されます。

●操作のしかた→P.96

お知らせ

- ディスクによっては、パスワード入力をしないと再生できないよう設定されているものがあります。パスワード確認入力画面が表示された場合は、パスワードを入力してください。
- 2枚以上セットになっているBDMVは、1枚目を見終わってディスクを取り出したあと、次のディスクを挿入するよう指示する表示が出たままになる場合があります。
- ディスクまたは本機で禁止されている操作をした場合は、⃠が表示されます。

トップメニューを表示する

BDMV AVCHD

トップメニューを選ぶ

ポップアップメニューを表示する

BDMV

ポップアップメニューを選ぶ

タイトルリストを表示する

BDAV AVCREC

タイトルを選ぶ

プレイリストを表示する

BDAV AVCREC

プレイリストを選ぶ

一時停止

再生中に▶II を選ぶ

- 再度選ぶと、再生を開始します。

停止

再生中に■を選ぶ

- ▶II を選ぶと、停止した位置から再生を開始します。(リジューム再生)
- 続き再生解除:リジューム再生開始位置の情報を解除(P.96)
- BD-Jはリジューム再生非対応です。

タッチキーの位置を切り換える

ボタン移動を選ぶ

- タッチするごとに切り換わります。

ディスクによっては、メニューなどを直接タッチして操作できません。カーソル・カラーボタン・10キーで項目を選んでください。

カーソルで操作する

▲▼◀▶でカーソルを移動し、実行を選ぶ

色や10キーで選ぶ

1 **色/10キー**を選ぶ

2 カラーボタン/10キーで項目を選ぶ

- ボタン移動:タッチキーを上下に移動
- ボタン消:タッチキー消去

早送り・早戻し

⏮ ⏭をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生

一時停止中(P.94)**に⏭をタッチし続ける**

- 離すと、通常の再生に戻ります。

チャプターの頭出し

⏮ ⏭をタッチする

BDMV・BDAV・AVCHD・AVCRECを再生する（続き）

各種切換タッチキー（P.95）

タッチキーを消去

再生時間を表示する

タイム を選ぶ

- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
  再生経過時間→タイトル/チャプター
  ↑表示なし←

音声を切り換える

音声 を選ぶ

- 選ぶごとに、音声が切り換わります。

主音声/副音声を切り換える

BDAV AVCREC

主/副 を選ぶ

- 選ぶごとに、主音声/副音声が切り換わります。

字幕の切換/消去

BDMV AVCHD

1 **字幕** を選ぶ

2 ■ 字幕の切換
字幕切換 を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕言語が切り換わります。

■ 字幕の表示/消去
字幕ON/OFF を選ぶ

- 選ぶごとに、表示/消去が切り換わります。

BDMV

スタイル切換 を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕スタイルが切り換わります。

アングルを切り換える

BDMV BDAV AVCREC

アングル を選ぶ

- 選ぶごとに、アングルが切り換わります。

タイトル/チャプターを選ぶ

1 **サーチ** を選ぶ

2 番号を入力し、**実行** を選ぶ

- **切換**：タイトル/チャプターを切り換え
- **修正**：1文字消去

副映像を切り換える BDMV

1 **副映像** を選ぶ

2 ■ 副映像を切り換える
映像切換 を選ぶ

- 選ぶごとに、副映像が切り換わります。

■ 副映像を消去する
映像ON/OFF を選ぶ

■ 副映像用音声を切り換える
音声切換 を選ぶ

- 選ぶごとに、副映像用音声が切り換わります。

■ 副映像用音声を消去する
音声ON/OFF を選ぶ

トップメニューから元の再生に戻る（リジューム） BDMV*1 AVCHD

リジューム を選ぶ

＊1 BD-Jは非対応です。

BDMV・BDAV・AVCHD・AVCRECの設定を変える

1 再生操作タッチキー（P.94）から **設定** を選ぶ

2 各項目を設定する（下記）

［**太字**：お買い上げ時の設定］

項　目	設定内容/操作		
BDMV、AVCHDの言語を設定する 言語コードを入力して、音声・字幕・メニューの言語を切り換えます。	**言語設定** を選ぶ	設定したい項目の **言語を選択** を選ぶ ［お買い上げ時の設定：日本語］ ● **オリジナル**：ディスクで優先されている言語に切換 ● **初期値**：すべての言語設定をお買い上げ時の設定に戻す ● **OFF**：字幕表示しない	言語コードを入力し、**決定** を選ぶ ● 言語コード一覧表→P.204 ● **クリア**：全文字削除 設定した言語がコンテンツに収録されていない場合や、コンテンツに優先言語が設定されている場合などは、本機の設定どおりに再生されない場合があります。
音声ダイナミックレンジで圧縮する＊1 （ドルビーデジタル再生時のみ）	**ダイナミックレンジ圧縮** を選ぶ		●「**O　N**」：圧縮する ●「**OFF**」：圧縮しない
	＊1 音声ダイナミックレンジについて ノイズに埋もれてしまわない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮する機能です。小さい音声が大音量の効果音などで消えてしまわないように設定できます。		
後席用モニター用HDMI出力の音声出力フォーマットの切り換えを行う	**HDMI出力音声** を選ぶ		●「**ビットストリーム**」：音声をビットストリーム出力する＊2 ●「LPCM」：音声をLPCM出力する ＊2 接続先機器がビットストリームに対応していない場合は本機からの出力は自動的にLPCMになります。
副映像の音声とコンテンツの操作音を出力する	**副映像用音声・操作音** を選ぶ		●「**O　N**」：出力する ●「**OFF**」：出力しない
再生できるBlu-ray Discを制限する（レベル0～255） ● 制限したい年齢の下限を目安に設定してください。 ● レベル255は制限解除です。	**視聴年齢制限** を選ぶ	視聴年齢制限を入力する	パスワード（4桁）を入力し、**決定** を選ぶ ● **クリア**：全文字削除
	● パスワードは、忘れないようにメモなどを取ってください。もしパスワードを忘れたときは、お買い上げ時のパスワード「0000」を入力すると解除できます。		
パスワードを変更する ● パスワードは4桁の数字で設定してください。	**パスワード変更** を選ぶ		「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「パスワード再入力」を入力し、**決定** を選ぶ ● **クリア**：全文字削除 ● お買い上げ時のパスワードは「0000」に設定されています。
ワイドサイズの映像を後席用モニターの画面サイズに合わせる 本設定は本機の表示にも反映されます。設定が適切でないと、映像が不自然に見える場合があります。	**モニター設定** を選ぶ		●「**ワイド**」（16：9） ●「レターボックス」（4：3） ●「パン&スキャン」（4：3） 通常は「ワイド」（16：9）に設定してください。
microSDメモリーカードに保存されたBlu-ray Discのデータを削除する	**BDデータ消去** を選ぶ		**はい** を選ぶ
本機に記録された履歴を削除する	**BD履歴消去** を選ぶ		**はい** を選ぶ

お知らせ

- 言語設定、ダイナミックレンジ圧縮、パスワード変更、モニター設定、HDMI出力音声は、DVDでの設定と共通です。（P.100）

ディスクを再生する

● [DVD]に切り換えるには→P.82「オーディオの種類を選ぶ」
● ディスクの出し入れ→P.92

DVD-Video・DVD-VRを再生する

●本機で再生できるディスクについて
→P.92、196

ディスク再生画面(DVD)

本編再生中にMENUを押すと、
基本操作タッチキーが表示されます。

基本操作タッチキー画面1

タッチキーを消去

基本操作タッチキー画面2

設定を変える(P.100)

タッチキーを消去

タイトルメニューを表示する DVD-Video

タイトル を選ぶ

トップメニューを表示する DVD-Video

メニュー を選ぶ

タイトルリストを表示する DVD-VR

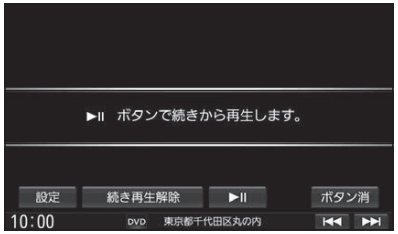
タイトル を選ぶ

プレイリストを表示する DVD-VR

メニュー を選ぶ

停止

再生中に**■**を選ぶ



●**▶II**を選ぶと、再生を開始します。

● 続き再生解除 : リジューム再生開始位置の情報を解除(右記)

一時停止

再生中に**▶II**を選ぶ

●再度選ぶと、再生を開始します。

音声を切り換える

音声 を選ぶ

●選ぶごとに、音声が切り換わります。

字幕の切り換え/消去

■字幕を切り換える DVD-Video

字幕 を選ぶ

●選ぶごとに、字幕が切り換わります。

■字幕を消去する DVD-VR

字幕 を選ぶ

●選ぶごとに、字幕の表示/非表示が切り換わります。

アングルを切り換える DVD-Video

アングル を選ぶ

●選ぶごとに、アングルが切り換わります。

トップメニュー/タイトルメニューから元の再生に戻る(リジューム) DVD-Video

リジューム を選ぶ

早送り・早戻し

⏮ ⏭ をタッチし続ける

●離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生

一時停止中(P.98)に
⏮ ⏭ をタッチし続ける

●離すと、通常の再生に戻ります。
●**⏮** : DVD-Video のみ

チャプターの頭出し

⏮ ⏭ をタッチする

再生時間を表示する

タイム を選ぶ

●選ぶごとに下記のように切り換わります。
再生経過時間→タイトル/チャプター
↑表示なし←

メニューなどをカーソルで操作する

1 **操作** を選ぶ

2 **▲▼◀▶** でカーソルを移動し、**実行** を選ぶ

● ボタン移動 : タッチキーを左右に移動
● ボタン消 : タッチキー消去
●DVD-Videoは、トップメニュー/タイトルメニューの画面を直接タッチして操作できます。(ダイレクトタッチ)

1つ前の画面に戻る

リターン を選ぶ

項目を番号で選ぶ

1 **10キー** を選ぶ

2 10キーで番号を入力する

● ボタン移動 : タッチキーを上下に移動
● ボタン消 : タッチキー消去

タイトル/チャプターを番号で選ぶ(サーチ)

1 **サーチ** を選ぶ

2 **切換** で、サーチの対象を選ぶ

●選ぶごとに、タイトル/チャプターが切り換わります。

3 番号を入力し、**実行** を選ぶ

●入力したタイトル/チャプターの先頭から再生を開始します。

項目を決定する

エンター を選ぶ

お知らせ

●ディスクまたは本機で禁止されている操作をした場合は、⃠が表示されます。

ディスクを再生する

DVD-Video・DVD-VRの初期設定を変える

1 基本操作タッチキー画面2（P.99）から **設定** を選ぶ

2 各項目を設定する（下記）

［**太字**：お買い上げ時の設定］

項　目	設定内容/操作		
言語を設定する 言語コードを入力して、音声・字幕・メニューの言語を切り換えます。	**言語設定** を選ぶ	設定したい項目の **言語を選択** を選ぶ ［お買い上げ時の設定：日本語］ ● **オリジナル**：ディスクで優先されている言語に切換 ● **初期値**：すべての言語設定をお買い上げ時の設定に戻す ● **OFF**：字幕表示しない	言語コードを入力し、**決定** を選ぶ ● 言語コード一覧表→P.204 ● **クリア**：全文字削除 設定した言語がDVDに収録されていない場合や、DVDに優先言語が設定されている場合などは、本機の設定どおりに再生されない場合があります。
音声ダイナミックレンジで圧縮する＊1 （ドルビーデジタル再生時のみ）	**ダイナミックレンジ圧縮** を選ぶ		●「**O　N**」：圧縮する ●「**OFF**」：圧縮しない
＊1 **音声ダイナミックレンジについて** ノイズに埋もれてしまわない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮する機能です。小さい音声が大音量の効果音などで消えてしまわないように設定できます。			
ワイドサイズの映像を後席用モニターの画面サイズに合わせる **本設定は本機の表示にも反映されます。設定が適切でないと、映像が不自然に見える場合があります。**	**モニター設定** を選ぶ		●「**ワイド**」（16：9） ●「レターボックス」（4：3） ●「パン＆スキャン」（4：3） **通常は「ワイド」（16：9）に設定してください。**
後席用モニター用HDMI出力の音声出力フォーマットの切り換えを行う	**HDMI出力音声** を選ぶ		●「**ビットストリーム**」：音声をビットストリーム出力する＊2 ●「LPCM」：音声をLPCM出力する ＊2 接続先機器がビットストリームに対応していない場合は本機からの出力は自動的にLPCMになります。
再生できるDVDを制限する 設定範囲： （強）1～8（弱）、**制限なし** ● 視聴制限が収録されていないDVDの場合は、本機で再生を制限することはできません。	**視聴制限レベル** を選ぶ	**視聴制限レベル** を選ぶ	**パスワード（4桁）を入力し、決定** を選ぶ ● **クリア**：全文字削除
	● 視聴制限を解除する場合は、**制限なし** を選びます。 ● パスワードは、忘れないようにメモなどを取ってください。もしパスワードを忘れたときは、お買い上げ時のパスワード「0000」を入力すると解除できます。		
パスワードを変更する ● パスワードは4桁の数字で設定してください。	**パスワード変更** を選ぶ		**「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「パスワード再入力」を入力し、決定** を選ぶ ● **クリア**：全文字削除 ● お買い上げ時のパスワードは「0000」に設定されています。

お知らせ

●言語設定、ダイナミックレンジ圧縮、モニター設定、パスワード変更、HDMI出力音声はBlu-ray Discでの設定と共通です。（P.97）

音楽CD（CD-DA）を再生する

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、AUDIOを押してください。

●**本機で再生できるディスクについて**→P.92、196

ディスク再生画面（CD-DA）

録音を開始する/停止する（P.105）

録音設定（P.104）

オーディオチューン（P.124～129）

リストから選曲する

1 を選ぶ

2 リストから曲を選ぶ
●選んだ曲を再生します。

曲の情報を表示する

を選ぶ
●曲の情報が表示されます。

再生モード切換（リピート/ランダム/スキャン）

1 **再生モード** を選ぶ

2 再生モードを切り換える
●選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
●再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生（リピート）

リピート を選ぶ
●再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生（ランダム）

ランダム を選ぶ
●全曲を順不同に再生します。

曲を探す（スキャン）

スキャン を選ぶ
●全曲を約10秒ずつ再生します。

早送り・早戻し

をタッチし続ける
●離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

をタッチする

タイトル表示について

音楽CDを挿入すると、本機内の音楽データベース＊1（以降Gracenote®データベース）を検索し、情報があれば、アルバム名・曲名などを表示します。

●CD-TEXT情報がある場合は、CD-TEXT情報が優先的に表示されます。
●本機のGracenoteデータベースに一致する情報がないときはタイトル情報は表示されません。異なるタイトル情報を表示する場合もあります。
●タイトルを表示して再生するまで、しばらく時間がかかる場合があります。

＊1 Gracenote音楽認識サービスのデータベースの抜粋

お知らせ

●録音中は、リストからの選曲と再生モード切換や早送り・早戻し、曲の頭出しはできません。
●タイトル、Artist、Album、Genreの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。

ディスクを再生する

● [CD] に切り換えるには
→P.82「オーディオの種類を選ぶ」
● ディスクの出し入れ→P.92

MP3/WMAを再生する

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、AUDIOを押してください。

●本機で再生できるディスクについて→P.92、196
●再生順序やタイトル表示・データ作成時の留意点について→P.200

ディスク再生画面（MP3/WMA）

再生モード切換（リピート/ランダム/スキャン）

1 再生モードを選ぶ

2 再生を切り換える
- 選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生（リピート）

リピートを選ぶ
- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
  リピートトラック→リピートフォルダ
  ↑通常再生←

順不同に再生（ランダム）

ランダムを選ぶ
- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す（スキャン）

スキャンを選ぶ
- 再生中のリストの中の全曲を約10秒ずつ再生します。

フォルダを選ぶ

フォルダ⊖/フォルダ⊕を選ぶ
- 選んだフォルダ内の先頭の曲から再生を開始します。

オーディオチューン
（P.124～129）

リストから選曲する

1 を選ぶ

2 リストから曲を選ぶ
- 選んだ曲を再生します。

曲の情報を表示する

を選ぶ
- 曲の情報が表示されます。

早送り・早戻し

⏮ ⏭をタッチし続ける
- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮ ⏭をタッチする

お知らせ
- タイトル、Artist、Album、Folderの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。

BLUETOOTH Audioを再生する

[BLUETOOTH Audio] に切り換えるには
→P.82「オーディオの種類を選ぶ」

準備
- BLUETOOTH対応機器を本機に登録してください。（P.134）

BLUETOOTH Audio再生画面

オーディオチューン
（P.124～129）

リストから選曲する

1 を選ぶ

2 リストから曲を選ぶ
- 選んだ曲を再生します。
- を選ぶと、BLUETOOTH Audio再生画面が表示されます。

早送り・早戻し

⏮ ⏭をタッチし続ける
- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮ ⏭をタッチする

選曲モードから選曲する

1 選曲モードを選ぶ

2 選曲方法を選ぶ
- 「曲」を選んだ場合→手順**4**

3 リストからフォルダを選ぶ

4 リストから曲を選ぶ
- 選んだ曲を再生します。
- 再生中画面：BLUETOOTH Audio再生画面に戻る

再生モード切換（リピート/ランダム）

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える
- 選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生（リピート）

リピートを選ぶ
- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生（ランダム）

ランダムを選ぶ
- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

一時停止

再生中に⏸を選ぶ
- ▶を選ぶと、再生を開始します。

お知らせ
- 接続機器によっては、音声出力や画面表示に時間がかかる場合があります。
- 接続機器によっては、音楽プレーヤーを起動する必要があります。また、音楽プレーヤー再生中でないと正しく操作できない場合があります。
- 接続機器によっては、画面表示が更新されない場合があります。
- 接続機器によっては、タイトル、Artist、Albumが表示されない場合があります。
- 接続機器や使用する音楽プレーヤーによっては、ナビゲーションから操作できない場合があります。その場合は、接続機器で操作してください。
- 接続するスマートフォンで複数のアプリを起動している場合、ナビゲーションから操作できなかったり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、BLUETOOTH Audioに切り換える前に全てのアプリを終了して、BLUETOOTH Audioを接続しなおしてください。
- 接続機器やナビゲーションとの接続状況によっては、BLUETOOTH Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。
  例：iPhoneにて、ケーブル接続している場合
- タイトル、Artist、Albumの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。

SDメモリーカードに音楽CDを録音する

音楽CDをSDメモリーカードに録音し、再生することができます。

●本機で録音した音楽データは、本機のみで再生可能な音楽データのため、本機以外の機器（パソコンなど）では再生できません。

録音に関する設定をする

1 オーディオメニュー（P.24）**から CD を選ぶ**

2 録音設定 を選ぶ

3 録音設定画面から、録音に関する設定をする

■ 録音管理

- **自動録音**：録音していない曲を、自動的に全て録音
  [お買い上げ時の設定]
- **手動録音**：曲を選んで録音

■ 音質

◀/▶で音質を選ぶ

[お買い上げ時の設定：256 kbps]

●録音曲数の目安*1

- 320 kbps：約1 748曲
- 256 kbps：約2 185曲
- 192 kbps：約2 913曲
- 128 kbps：約4 369曲
- 96 kbps：約5 825曲

4 戻る を選ぶ

＊1 空き容量が16 GBのSDHCカードに、4分程度の曲を録音した場合。（ファイル管理上は、最大10 000曲/10 000アルバムまで保存できます。）

お知らせ

●録音中は設定を変更できません。録音完了後または録音を停止（P.105）したあとに設定を変更してください。

録音する

音楽CDの録音について

●録音中にCD以外のオーディオ、Drive P@ssやAUDIO OFFに切り換えても録音は継続されます。その場合、**本機の動作状態に応じて、録音速度は自動で切り換わります。（4倍速～8倍速）**

●CD以外のオーディオに切り換えた状態で録音しているときは、音楽CD再生の音声は聞こえません。

●アルバム/曲の情報は、本機のGracenoteデータベースから検索したタイトル情報が付与されます。

●タイトル情報が付与されない（本機のGracenoteデータベースにない）場合は、タイトルを手動で編集（P.108）、パソコンの専用アプリ「Title Finder」を使用してインターネット経由で取得（P.113）、またはスマートフォン向けアプリDrive P@ss（P.114）の「Title Finder」を使用して取得できます。「Title Finder」については、下記サイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/navi/

●ディスクに保存されたMP3/WMAファイルは、録音できません。

●ノンストップCDを録音した場合、再生時に曲間で音が途切れます。

●録音したものは、オリジナルと音質が異なる場合や、ノイズが発生する場合があります。ご容赦ください。

●高温時は、録音できない場合があります。

●録音済みの曲は、録音の音質を変更しても、重複して録音できません。

●dtsCDは録音できません。

お願い

●録音中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

準備

●音楽CDの録音に関する設定→P.104

●本機で初期化したSDメモリーカードを挿入してください。（P.116、179）

1 音楽CDを挿入する（P.92）

2 録音設定が「自動録音」の場合

音楽CDの再生とともに、自動的に録音を開始します。

録音中に表示されます

■ 録音を停止するには

録音中画面から 録音中止 を選ぶ

録音設定が「手動録音」の場合

■ 全曲を録音する場合

1 録音 を選ぶ

2 全曲録音 を選ぶ

3 録音開始 を選ぶ

●未録音の曲を全て録音します。

■ 選んだ曲を録音する場合

1 録音 を選ぶ

2 選択曲録音 を選ぶ

3 リストから曲を選び、決定 を選ぶ

4 録音開始 を選ぶ

■ 録音を停止するには

録音中画面（左記）**から 録音中止 を選ぶ**

お知らせ

●1曲でも録音済みの曲がある場合は、録音設定にかかわらずその音楽CDの自動録音は行いません。録音を開始するには、手動録音の全曲録音（上記）を行ってください。

お願い

●SDメモリーカードの「RECAUDIO」フォルダの内容を、変更・削除しないでください。録音したデータが正しく再生されない場合があります。

音楽CD録音時の制限について

●本機の動作が遅くなる場合があります。

●録音中に車のACCをOFFにすると、録音は停止されます。録音を停止された曲のデータは破棄されます。次回車のACCをONにしたとき、停止したところから録音を再開します。

●録音中は音楽 CDに対して下記の操作ができません。＊1

- 頭出し
- 再生モード切換（リピート/ランダム/スキャン）
- 早送り/早戻し
- タイトル情報検索のための音楽情報の出力と更新
- 録音設定

●連続複製防止システム（SCMS）の信号が付与された曲はCD-Rなどからは、録音できません。

＊1 録音終了時点に再生されている曲が終わるまで、早送り/早戻し、再生モード（リピート/ランダム/スキャン）の切換などの操作はできません。

本機で録音した音楽データを再生する

[MEMORY MUSIC]に切り換えるには→P.82「オーディオの種類を選ぶ」

準 備 ●本機で音楽CDをSDメモリーカードに録音してください。(P.105)

MEMORY MUSIC再生画面

編集メニューを表示(P.108)

お気に入りやジャンルに登録する(P.110、111)

録音データ初期化や録音状況を表示(P.115)

オーディオチューン(P.124～129)

リストから選曲する

1 リストに表示させる項目を選ぶ
- : アルバム/アーティスト/ジャンルのリストを表示
- : 曲のリストを表示
- を選ぶと、MEMORY MUSIC再生画面が表示されます。

2 (アルバムリストの場合のみ) リストからアルバムを選ぶ

3 リストから曲を選ぶ
- 選んだ曲の再生を開始します。

早送り・早戻し

⏮ ⏭をタッチし続ける
- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮ ⏭をタッチする

再生モード切換 (リピート/ランダム/スキャン)

1 再生モードを選ぶ

2 再生を切り換える
- 選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

リピートを選ぶ
- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(ランダム)

ランダムを選ぶ
- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す(スキャン)

スキャンを選ぶ
- 再生中のリストの中の全曲を約10秒ずつ再生します。

お 願 い
- SD再生中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが読めなくなる、破損するおそれがあります。

お 知 ら せ
- タイトル、Artist、Album、Genreの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。

選曲モードを選ぶと、選曲画面が表示されます。

お気に入りを選んで再生する

準 備
- お気に入りを登録してください。(P.110)

1 お気に入りを選ぶ

2 リストからお気に入りアルバム/お気に入りトラックのフォルダを選ぶ
- 再生中画面: MEMORY MUSIC再生画面に戻る

3 (お気に入りアルバムのフォルダを選んだ場合のみ) リストからアルバムを選ぶ

4 リストから曲を選ぶ
- 選んだ曲を再生します。

全ての曲から選んで再生する

1 全曲を選ぶ
- SDメモリーカードに録音された全曲のリストが表示されます。

2 リストから曲を選ぶ
- 選んだ曲を再生します。
- 録音日の新しい順に表示されます。
- 再生中画面: MEMORY MUSIC再生画面に戻る

アルバムから選んで再生する

1 アルバムを選ぶ

2 リストからアルバムを選ぶ
- 名前順: 50音順に並べ換え
- 登録順: 録音日の新しい順に並べ換え
- 再生中画面: MEMORY MUSIC再生画面に戻る

3 アルバムから曲を選ぶ
- 選んだ曲を再生します。

アーティストを選んで再生する

1 アーティストを選ぶ

2 リストからアーティストを選ぶ
- 名前順: 50音順に並べ換え
- 登録順: 録音日の新しい順に並べ換え
- 再生中画面: MEMORY MUSIC再生画面に戻る

3 リストからアルバムを選ぶ

4 アルバムから曲を選ぶ
- 選んだ曲を再生します。

ジャンルを選んで再生する

1 ジャンルを選ぶ
- ジャンル情報のないトラックは、その他に分類されます。

2 リストからジャンルを選ぶ
- 再生中画面: MEMORY MUSIC再生画面に戻る

3 リストから曲を選ぶ
- 選んだ曲を再生します。

本機で録音した音楽データを編集する

- タイトルが付与されていなかったり、誤ったタイトルが付与されているアルバムは、パソコンやスマートフォンを使用してGracenoteデータベースを更新すると、正しい情報が付与される場合があります。(P.112～114)
- それでも正しい情報が付与されない場合は、下記の手順から手動で編集することもできます。

お知らせ

- 録音中は編集できません。
- 文字入力のしかた→P.195

アルバムの情報を編集する

1 MEMORY MUSIC再生画面(P.106)から**編集**を選ぶ

2 編集メニューから、**曲管理**を選ぶ

- **現在のアルバム**：再生中のアルバムのアルバム編集画面を表示
- **現在の曲**：再生中の曲の情報編集画面を表示
- 再生中は**はい**を選んで再生を停止してください。

3 曲管理画面から編集したいアルバムを選び、**アルバム編集**を選ぶ

4 アルバム編集画面からアルバムの情報を編集する(右記)

項目	操作		
アルバム名を編集する	アルバム名にタッチする	アルバム名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで	**決定**を選ぶ
アルバムのよみを編集する	アルバムよみにタッチする	アルバムのよみを入力する ● 全角32文字まで	
アーティスト名を編集する	アーティストの**アルバム内の曲をすべて編集**を選ぶ	アーティスト名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで	
アーティストのよみを編集する	アーティストよみの**アルバム内の曲をすべて編集**を選ぶ	アーティストのよみを入力する ● 全角32文字まで	
ジャンルを変更する	**ジャンルカスタマイズ**を選ぶ	ジャンルを選ぶ	
アルバムの情報を保存する(P.113)	**アルバム情報保存**を選ぶ	● カスタムアップデート時、アルバムの情報がSDメモリーカード・USBメモリーに書き出されます。(P.113)	
アルバムの情報を更新する(P.112～113)	**データベース再検索**を選ぶ	(複数の候補がある場合のみ) リストからアルバム名を選ぶ	

お知らせ

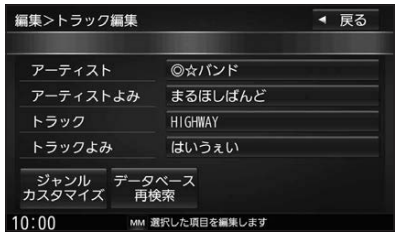
- データベース再検索を行うと、手動で編集したタイトルは、録音時に自動で付与されたタイトルに戻ります。
- タイトル情報を編集しても、本機のGracenoteデータベースは更新されません。そのため、SDメモリーカードに録音したアルバム・曲情報は更新されますが、CD再生時は編集されていない情報が表示されます。

曲の情報を編集する

1 曲管理画面(上記)から編集したい曲が収録されたアルバムを選び、**トラック表示**を選ぶ

2 編集したい曲を選び、**トラック編集**を選ぶ

3 トラック編集画面から曲の情報を編集する(右記)



項目	操作		
アーティスト名を編集する	アーティスト名にタッチする	アーティスト名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで	**決定**を選ぶ
アーティストのよみを編集する	アーティストのよみにタッチする	アーティストのよみを入力する ● 全角32文字まで	
曲名を編集する	曲名にタッチする	曲名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで	
曲のよみを編集する	曲のよみにタッチする	曲のよみを入力する ● 全角32文字まで	
ジャンルを変更する	**ジャンルカスタマイズ**を選ぶ	ジャンルを選ぶ	
曲の情報を更新する(P.112～113)	**データベース再検索**を選ぶ	(複数の候補がある場合のみ) リストから曲名を選ぶ	

本機で録音した音楽データを編集する

再生中のアルバム・曲をお気に入りに登録する

1 MEMORY MUSIC再生画面(P.106)から[登録]を選ぶ

2 [お気に入り]を選ぶ
- 再生中は[はい]を選んで再生を停止してください。

3 **再生中のアルバムを登録する場合**
アルバムを登録する
お気に入りフォルダを選ぶ
- 1フォルダあたり200アルバムまで
- フォルダ名は編集できます。
  ・お買い上げ時のフォルダ名:
  [お気に入りアルバム1]～[お気に入りアルバム4]

再生中の曲を登録する場合
曲を登録する
お気に入りフォルダを選ぶ
- 1フォルダあたり200曲まで
- フォルダ名は編集できます。
  ・お買い上げ時のフォルダ名:
  [お気に入りトラック1]～[お気に入りトラック4]

アルバム・曲をお気に入りに登録する

1 曲管理画面(P.108)から登録するアルバム・曲を選ぶ

2 [お気に入り登録]を選ぶ

3 登録するお気に入りフォルダを選ぶ
- お気に入りアルバム:1フォルダあたり200アルバムまで
- お気に入りトラック:1フォルダあたり200曲まで

お気に入りフォルダの名称を変更する

1 MEMORY MUSIC再生画面(P.106)から[編集]を選ぶ

2 [お気に入り管理]を選ぶ
- 再生中は[はい]を選んで再生を停止してください。

3 名称を変更したいお気に入りフォルダを選ぶ

4 [フォルダ名編集]を選ぶ

5 名称を入力し、[決定]を選ぶ
- 全角32文字(半角64文字)まで

お気に入りに登録したアルバム・曲を削除する

1 MEMORY MUSIC再生画面(P.106)から[編集]を選ぶ

2 [お気に入り管理]を選ぶ
- 再生中は[はい]を選んで再生を停止してください。

3 削除したいアルバム・曲のあるお気に入りフォルダを選び、[フォルダ内表示]を選ぶ
- [削除]を選ぶと、お気に入りフォルダ内の曲を一括で削除します。

4 削除したいアルバム・曲を選び、[削除]を選ぶ

5 [はい]を選ぶ
- 選んだアルバム・曲が削除されます。
- お気に入りフォルダから削除されたアルバム・曲は、通常のアルバム・曲として残ります。(SDメモリーカード内のアルバム・曲は削除されません。)

ジャケット写真を登録する

最大1 024×1 024ピクセルのJPEG形式の画像を登録できます。

1 曲管理画面(P.108)から登録するアルバムを選ぶ

2 [ジャケット写真]を選ぶ

3 ジャケット写真が保存されたメディア([SDカード]/[USB])を選び、[ジャケット写真を選択する]を選ぶ

4 フォルダを選ぶ

5 画像を選ぶ
- 選んだアルバムに、選んだ画像がジャケット写真として登録されます。

アルバム・曲を再生する/しないを設定する

1 曲管理画面(P.108)から[再生選択]を選ぶ

2 再生しないアルバム・曲を選んでチェック(✔)を外し、[決定]を選ぶ
- チェックを外したアルバム・曲が再生されなくなります。
- チェックを入れると、再度再生されるようになります。
- [全選択]:すべてのアルバム・曲にチェックを入れる
- [全解除]:すべてのアルバム・曲のチェックを外す

再生中のアルバム・曲にジャンルを登録する

1 MEMORY MUSIC再生画面(P.106)から[登録]を選ぶ

2 [ジャンル]を選ぶ
- 再生中は[はい]を選んで再生を停止してください。

3 **再生中のアルバムを設定する場合**
[アルバム単位]を選ぶ

再生中の曲を設定する場合
[トラック単位]を選ぶ

4 ジャンルを選ぶ

アルバム・曲を削除する

1 曲管理画面(P.108)から削除するアルバム・曲を選ぶ

2 [削除]を選ぶ

3 [はい]を選ぶ
- 選んだアルバム・曲が削除されます。

本機で録音した音楽データを編集する

パソコンでGracenoteデータベースを更新する（ローカルアップデート）

WEBサイトから更新データをダウンロードして、本機のGracenoteデータベースを更新できます。詳しくは、右記サイトをご覧ください。 http://panasonic.jp/navi/

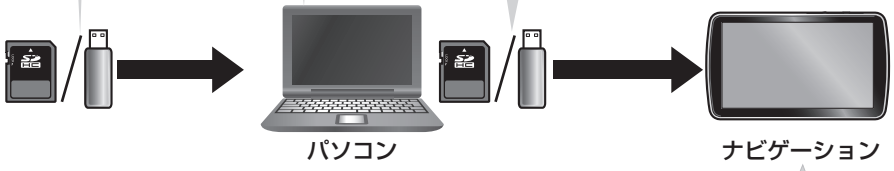
お知らせ

- Gracenoteデータベースはパブリックなデータベースですので、データベースの内容を100 %保証するものではありません。

1 SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンに挿入する

2 WEBサイトから、Gracenoteデータベースの更新データをダウンロードして、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存する

3 SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンから取り出し、本機に挿入する



4 Gracenoteデータベースを更新する

① オーディオチューン画面（P.124）から**gracenote**を選ぶ
② **ローカルアップデート（定期更新）**を選ぶ
③ SD、USB、MEMORY MUSIC再生中のみ、**はい**を選ぶ
④ 更新データを保存したメディア（**SDカード**/**USB**）を選び、**更新開始**を選ぶ
- **更新履歴**：ローカルアップデートの更新履歴を表示

⑤ **はい**を選ぶ
- 本機のGracenoteデータベースが更新されます。

5 タイトル情報を更新する

① 情報を取得したアルバムのアルバム編集画面/曲編集画面から**データベース再検索**を選ぶ（P.109）
- 取得したタイトル情報に更新されます。

パソコンでタイトル情報を個別に更新する（カスタムアップデート）

新譜など、本機のGracenoteデータベースにないタイトル情報を、個別にGracenote音楽認識サービスから検索して取得できます。

準 備（初回のみ）

- 専用アプリ「Title Finder」をWEBサイトからダウンロードして、パソコンにインストールしてください。詳しくは、右記サイトをご覧ください。 http://panasonic.jp/navi/

1 SDメモリーカードまたはUSBメモリーにアルバム情報を書き出す

① 情報を取得したいアルバムのアルバム編集画面（P.108）から、**アルバム情報保存**を選ぶ
- 複数ある場合は、この手順を繰り返し、アルバム情報を保存してください。

② オーディオチューン画面（P.124）から**gracenote**を選ぶ
③ **カスタムアップデート（個別更新）**を選ぶ
④ SD、USB、MEMORY MUSIC再生中のみ、**はい**を選ぶ
⑤ アルバム情報を書き出すメディア（**SDカード**/**USB**）を選び**書き出し**を選ぶ
⑥ **はい**を選ぶ
- アルバム情報ファイル「export.dat」が、SDメモリーカードの「NVDATA」フォルダに出力されます。
- 手順①で保存されたアルバム情報が、すべて書き出されます。

2 SDメモリーカードまたはUSBメモリーを本機から取り出し、パソコンに挿入する

3 Title Finderを起動しGracenote音楽認識サービスからタイトル情報をダウンロードして、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存する

4 タイトル情報取得が完了したら、SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンから取り出し、本機に挿入する

5 タイトル情報を更新する

① オーディオチューン画面（P.124）から**gracenote**を選ぶ
② **カスタムアップデート（個別更新）**を選ぶ
③ SD、USB、MEMORY MUSIC再生中のみ、**はい**を選ぶ
④ タイトル情報を取り込むメディア（**SDカード**/**USB**）を選び**取り込み**を選ぶ
⑤ **はい**を選ぶ
- タイトル情報が取り込まれます。

⑥ 情報を取得したアルバムのアルバム編集画面/曲編集画面から**データベース再検索**を選ぶ（P.109）
- 取得したタイトル情報に更新されます。

本機で録音した音楽データを編集する

スマートフォンでタイトル情報を個別に更新する

スマートフォンの通信機能を利用して、新譜など、本機のGracenoteデータベースにないタイトル情報を、個別にGracenote音楽認識サービスから検索して取得できます。

準 備(初回のみ)

- 「Drive P@ss」(P.144)をスマートフォンにインストールしてください。
- 詳しくは、アプリ内の操作ガイド、または下記サイトをご覧ください。
  http://panasonic.jp/navi/

1 スマートフォンを本機に機器登録し、スマホ連携接続する(P.145)

2 Drive P@ssに切り換える(P.148)

3 アプリ選択画面から**Title Finder**を選ぶ

4 **検索する**を選ぶ

- 本機からスマートフォンへタイトル情報を出力し、Gracenoteサーバーにアクセスして、タイトル情報を取得します。
- タイトル情報を取得すると、タイトルリストが表示されます。

5 タイトルリストから**設定する**を選ぶ

- タイトル情報が更新されます。

タイトル情報に複数の候補がある場合は

タイトル情報に複数の候補がある場合は、「複数候補あり」と表示されます。
候補から、正しいタイトル情報を選んでください。

1 リストから「複数候補あり」と表示されたタイトルを選ぶ

- 候補のリストが表示されます。

2 リストからタイトルを選び、**確定する**を選ぶ

- 選んだタイトルがタイトルリストに反映されます。
- 「複数候補あり」と表示されたタイトルがほかにもある場合は、再度手順**1**～**2**を行ってください。

3 **設定する**を選ぶ

- タイトル情報が更新されます。

6 **終了する**を選ぶ

- Title Finderを終了します。

SDメモリーカード内の録音状況を確認する

1 MEMORY MUSIC再生画面(P.106)から**情報**を選ぶ

2 **SDカード情報**を選ぶ

- 再生中は**はい**を選んで再生を停止してください。
- SDメモリーカードの使用済み割合・空き容量・録音可能時間・設定中の録音音質が表示されます。

録音した音楽データを初期化する

1 MEMORY MUSIC再生画面(P.106)から**情報**を選ぶ

2 **録音データ初期化**を選ぶ

- 再生中は**はい**を選んで再生を停止してください。

3 **はい**を選ぶ

- 録音した音楽データがすべて削除されます。

SDメモリーカード・USBメモリーを再生する

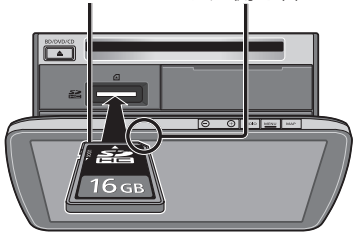
● [SD][USB]に切り換えるには→P.82「オーディオの種類を選ぶ」
● 本機では、SD-Audio規格準拠の音楽データは再生できません。

●本機では、SDメモリーカード・USBメモリーを使用して、PCなどで保存した音楽(MP3/WMA/AAC)、静止画(JPEG)、動画(MPEG4)のデータを再生できます。
●データ作成時の留意点については、→P.200～202をご覧ください。

SDメモリーカードを挿入する

●挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
●正常に動作しないときは、再びカードを抜き差ししてください。

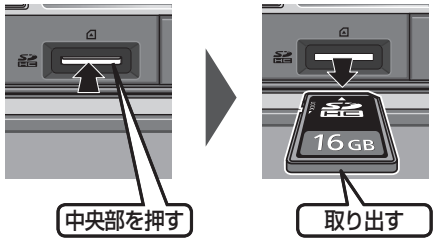
1 ディスプレイを十分に倒して、奥までまっすぐに挿入する



●カチッと音がするまで差し込みます。

2 ディスプレイを起こす

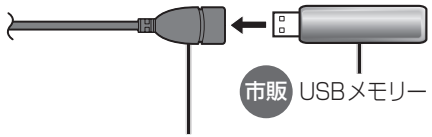
取り出すには



お願い

●再生中にSDメモリーカード・USBメモリーを抜かないでください。
データが破損するおそれがあります。

USBメモリーを本機と接続する



別売 iPod/USB接続用中継ケーブル (CA-LUB200D)

お願い

●オーディオがUSBのときに、USBメモリーの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
●コネクターは確実に差し込んでください。
●USBメモリーの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
●USBメモリーおよびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を妨げないように固定してください。
●USBメモリーを車内の温度が高くなる場所に長時間放置しないでください。
●正しく動作しないときは、USBメモリーを本機から外して、約10秒たってから再度接続してください。

お知らせ

●USBメモリーとiPodは、同時には接続できません。
●長時間使用すると、USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

音楽(MP3/WMA/AAC)を再生する

準 備

●音楽が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、音楽が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.116)

音楽再生画面(例:SD)

オーディオチューン (P.124～129)

フォルダを選んで選曲する

1 を選ぶ

2 フォルダを選ぶ
●選んだフォルダの1曲目からを再生します。
●を選ぶと、音楽再生画面が表示されます。

再生中のフォルダのリストから選曲する

1 を選ぶ

2 リストから曲を選ぶ
●選んだ曲を再生します。
●を選ぶと、音楽再生画面が表示されます。

早送り・早戻し

をタッチし続ける
●離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

をタッチする

お知らせ

●タイトル、Artist、Album、Genre、Folderの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。

選曲モードから選曲する

1 選曲モード を選ぶ

2 選曲する方法を選ぶ
● 全　曲 : 全フォルダの全曲から選ぶ
● フォルダ : 選んだフォルダから選ぶ

3 (「フォルダ」の場合のみ)
リストからフォルダを選ぶ

4 リストから曲を選ぶ
●選んだ曲を再生します。
● 再生中画面 : 音楽再生画面に戻る

再生モード切換(リピート/ランダム/スキャン)

1 再生モード を選ぶ

2 再生モードを切り換える
●選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
●再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

リピート を選ぶ
●再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(ランダム)

ランダム を選ぶ
●再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す(スキャン)

スキャン を選ぶ
●再生中のリストの中の全曲を約10秒再生します。

音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

1 モード切換 を選ぶ

2 音楽ファイル / 画像ファイル / 動画ファイル を選ぶ

SDメモリーカード・USBメモリーを再生する

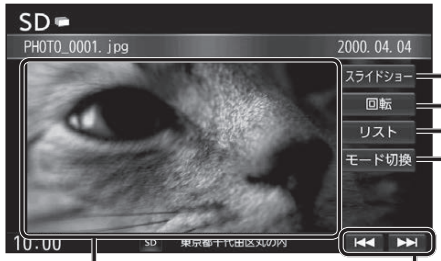
[SD][USB]に切り換えるには
→P.82「オーディオの種類を選ぶ」

静止画を再生する

準 備

●画像が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、画像が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.116)

画像操作画面(例:SD)



画像をスライドショーで再生する

スライドショー を選ぶ

●画像をスライドショーで表示します。

スライドショーを停止するには

スライドショーの画面をタッチする

- 再生間隔 : 再生間隔を設定 3秒[お買い上げ時の設定]/10秒/30秒/1分
- 開　始 : スライドショーを開始
- 終　了 : スライドショーを終了

画像を回転させる

回転 を選ぶ

●画像を右方向に90度回転します。

画像を全画面で表示する

画像再生画面をタッチする

●全画面で表示します。
●もう一度画面をタッチすると、画像操作画面が表示されます。
●画像操作画面で約10秒間何も操作しないと、全画面表示になります。

次/前の画像に切り替える

全画面表示中に、左右にフリックする

●次/前の画像に切り換わります。
●⏮ ⏭ を押しても切り換わります。

リストから選ぶ

1 リスト を選ぶ

2 フォルダを選ぶ

●サムネイル画面が表示されます。

3 サムネイルから画像を選ぶ

音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

1 モード切換 を選ぶ

2 音楽ファイル / 画像ファイル / 動画ファイル を選ぶ

動画を再生する

準 備

●動画が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、動画が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.116)

再生画面にタッチすると、動画操作画面が表示されます。

動画操作画面(例:SD)

一時停止

▶II を選ぶ

●再度選ぶと、再生を再開します。

リストから選ぶ

1 再生リスト を選ぶ

2 リストからファイルを選ぶ

●選んだ動画を再生します。

■ 再生中のフォルダ以外から選ぶには

1 再生リスト を選ぶ

2 リスト変更 を選ぶ

3 選択する方法を選ぶ

- 全ファイル : 全フォルダの全ファイルから選ぶ
- フォルダ : 選んだフォルダから選ぶ

4 (「フォルダ」の場合のみ) **リストからフォルダを選ぶ**

5 リストからファイルを選ぶ

●選んだ動画を再生します。
● 再生中画面 : 動画再生画面に戻る

動画を全画面で表示する

動画操作画面をタッチする

●全画面で表示します。
●もう一度画面をタッチすると、動画操作画面が表示されます。
●動画操作画面で約10秒間何も操作しないと、全画面表示になります。

早送り・早戻し

⏮ ⏭ をタッチし続ける

●離すと、通常の再生に戻ります。

動画の頭出し

⏮ ⏭ をタッチする

音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

1 モード切換 を選ぶ

2 音楽ファイル / 画像ファイル / 動画ファイル を選ぶ

iPodを再生する

[iPod]に切り換えるには
→P.82「オーディオの種類を選ぶ」

適合機種(2016年2月現在 接続確認済み)

Made for

iPhone 6s Plus	iPod touch 第6世代	iPod nano 第7世代
iPhone 6s	iPod touch 第5世代	iPod nano 第6世代
iPhone 6 Plus	iPod touch 第4世代	iPod nano 第5世代
iPhone 6	iPod touch 第3世代	iPod nano 第4世代
iPhone 5s	iPod touch 第2世代	iPod nano 第3世代
iPhone 5c	iPod touch 第1世代	iPod nano 第2世代
iPhone 5	iPod classic	iPod nano 第1世代
iPhone 4s		
iPhone 4		
iPhone 3GS		
iPhone 3G		

最新の適合機種および接続情報については、下記サイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/navi/

※本書では特にことわりのない限り、上記のiPod/iPhoneを「iPod」と表記しています。

お願い

- **iPodは、電源を入れたうえで本機と接続してください。**
- **iPodのリモコンやヘッドホンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。**
- **オーディオがiPodのときに、iPodの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。**
- **コネクターは確実に差し込んでください。**
- **iPodの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。**
- **iPodおよびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を妨げないように固定してください。**
- **iPodを車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。**
- **ACCをOFFにしたあとは、必ずiPodを取り外してください。iPodの電源が切れず、iPodの電池を消耗することがあります。**
- **iPodが正しく動作しないときは、本機からiPodを取り外してリセットし、再度接続してください。**
- **iPodに楽曲を追加する操作を行う場合は、iPodを本機から取り外してください。**
- **iPodの説明書もよくお読みください。**

お知らせ

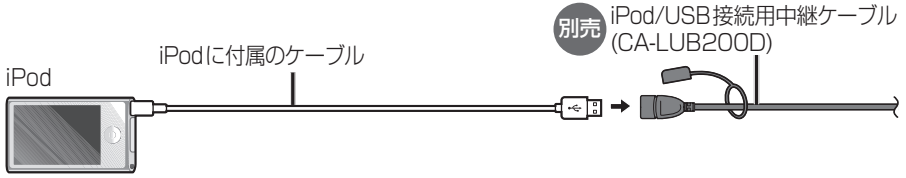
- iPodとUSBメモリーは、同時には接続できません。
- iPodの動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- iPodの動作やバージョンアップされるiPod、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続してiPodを使用中に、iPodのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPodまたはiPhoneをP.121のとおりに接続すると、そちらの接続が優先されるため、iPhoneで「ここいこ♪」、「CarAV remote」、「音声認識」を利用することはできません。
- ケーブルで接続するiPhoneをBLUETOOTH Audio機器としても登録している場合は、iPhoneを操作して音声出力先を「Dockコネクタ」に設定してください。機種やOSのバージョンによっては、音声出力先の設定を切り換えられない場合があります。

準 備

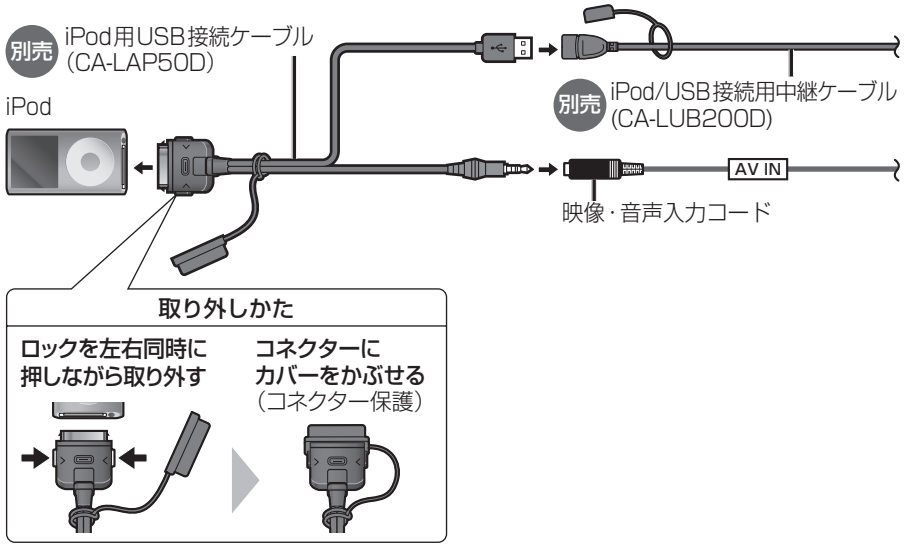
- iPodを本機に接続してください。

- **必ず別売のiPod/USB接続用中継ケーブル(CA-LUB200D)で接続してください。他のナビゲーションに付属されているケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。**
- **iPodに付属のUSBケーブルで接続した場合、iPodビデオを視聴できません。本機でiPodビデオを視聴するには、別売のiPod用USB接続ケーブル(CA-LAP50D)で接続してください。他のケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。**
- **Lightningコネクターを持つiPodは、iPodビデオ再生には対応していません。**

ミュージック再生の場合



ビデオ再生の場合



iPodを再生する

[iPod]に切り換えるには
→P.82「オーディオの種類を選ぶ」

音楽を再生する

アルバムアートワーク

表示サイズは、iPodの仕様により異なります。

●下記の場合は表示されません。

- アルバムアートワークがない
- アルバムアートワーク取得中
- 本機でアルバムアートワークを表示できないiPodを接続している

iPodミュージック再生画面

オーディオチューン
(P.124～129)

リストの種類を切り換える

リストの種類を選ぶ

- : ジャンルリスト
- : アーティストリスト
- : アルバムリスト

リストから選曲する

再生する曲を選ぶ

●選んだ曲を再生します。

曲の情報を表示する

を選ぶ

●曲の情報が表示されます。

●を選ぶと、リスト表示に戻ります。

早送り・早戻し

⏮ ⏭をタッチし続ける

●離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮ ⏭をタッチする

選曲モードから選ぶ

1 選曲モードを選ぶ

2 選曲する方法を選ぶ

- 全曲
- ジャンル
- アルバム
- プレイリスト
- アーティスト
- 作曲者
- ポッドキャスト

3 トラック/エピソードのリストが表示されるまで、リストの項目を選ぶ

- すべて：表示している全項目の下の階層を表示

4 リストから曲を選ぶ

●選んだ曲を再生します。

- 再生中画面：iPodミュージック再生画面に戻る

一時停止

▶II を選ぶ

●再度選ぶと、再生を開始します。

再生モード切換(リピート/シャッフル)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

●選択した再生モードのインジケーターが点灯します。

●再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

リピートを選ぶ

●再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(シャッフル)

シャッフルを選ぶ

●選ぶごとに下記のように切り換わります。

シャッフルトラック*1→シャッフルアルバム
↑——通常再生←——┘

＊1 リストの内容は、選曲方法(上記)によって異なります。

iPodビデオ再生に切り換える

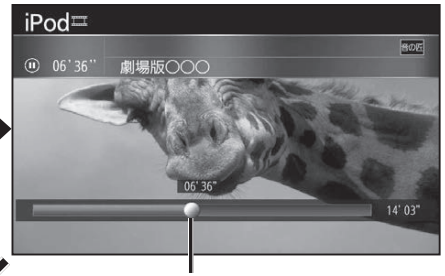
ビデオを選ぶ

ビデオを再生する

●iPodビデオを再生するには、別売のiPod用USB接続ケーブル(CA-LAP50D)が必要です。

iPodミュージック再生画面から**ビデオ**を選ぶと、iPodビデオ再生画面になります。

再生画面をタッチすると、タイムバー表示画面に切り換わります。



タイムバー上の●をドラッグすると、頭出しができます。

ビデオファイルリストから**全画面**を選ぶと、iPodビデオ再生画面になります。

タイムバー表示画面をタッチすると、ビデオファイルリストに切り換わります。

リストから動画を選ぶ

再生する動画を選ぶ

●選んだ動画を再生します。

早送り・早戻し

⏮ ⏭をタッチし続ける

●離すと、通常の再生に戻ります。

動画の頭出し

⏮ ⏭をタッチする

動画リストを変更する

1 リスト変更を選ぶ

2 リストから動画の種類を選ぶ

3 再生するファイルを選ぶ

●選んだ動画を再生します。

- 再生中画面：iPodビデオ再生画面に切り換わる

一時停止

▶II を選ぶ

●再度選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する(リピート)

1 再生モードを選ぶ

2 リピートを選ぶ

●再生中の動画を繰り返し再生します。

●インジケーターが点灯します。

●再度選ぶと、解除されます。

iPodミュージック再生に切り換える

ミュージックを選ぶ

お知らせ

●再生中にACCをOFFにすると、次回iPodビデオに切り換えたときに続きから再生されない場合があります。

●iPodのテレビ出力設定を「OFF」に設定していても、本機から取り外すと「ON」に切り換わっている場合があります。

音質・音場を調整する（オーディオチューン）

オーディオチューンのモードを選ぶ

用途に応じて、オーディオチューンのモードを選んでください。

1 **情報・設定メニュー**（P.25）**から** **オーディオチューン** **を選ぶ**

- FM/AM、CD、BLUETOOTH Audio、MEMORY MUSIC、SD（音楽）、USB（音楽）、iPod（ミュージック）から Sound を選んでも、オーディオチューン画面を表示します。

2 **オーディオチューン画面から、モードを選ぶ**

- **高音質モード**
  高音質でオーディオを楽しむのに適したモードです。音声がLPCMで記録されたBlu-ray Discは、192 kHzの高音質で再生されます。また、通常の音質の音源も、補完してより自然な音で再生できます。
  （ビット・周波数拡張→P.127）
- **エフェクトモード**
  様々な音響効果を楽しむのに適したモードです。Blu-ray Discの高音質の音源なども、通常の音質（48 kHz）に変換されて再生されます。

お知らせ

- オーディオチューンの設定は、高音質モード・エフェクトモードでそれぞれ別に記憶されます。

FADE/BALANCEの出力レベルを調整する

1 **オーディオチューン画面**（左記）**から FADE/BALANCEの状態表示部をタッチする**

2 **▲▼◀▶で調整する**

- センター を選ぶと、値が0になります。

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- エフェクトがSRS CS Autoのときは、FADE/BALANCEを調整しても効果がありません。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、FADE/BALANCEの設定が有効になります。

音響効果「音の匠」を設定する

音の匠とは

レコーディングエンジニア集団MIXER'S LAB（ミキサーズラボ）が監修した音質で音楽を楽しめます。

- **「匠　TAKUMI マスターサウンド」[お買い上げ時の設定]：**
  レコーディングやマスタリングを手がける音のプロがチューニングした、よりスタジオサウンドに近い音を再現します。（2 wayスピーカー向き）
- **「極　KIWAMI 高域強調」：**
  音楽性を重視して高域補正した、メリハリのある感じで音楽を楽しめるモード（フルレンジスピーカー向き）
- **「和　NAGOMI 会話重視」：**
  人の会話と周波数がぶつからないようにチューニングした、音楽を聞きながら車内の会話が楽しめるモード

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。

高音質モードの場合

1 **オーディオチューン画面**（P.124）**から ◀▶で「音の匠」を選ぶ**

- 「OFF」を選ぶと、設定が解除されます。

2 **◀▶でサラウンドを選ぶ**

エフェクトモードの場合

1 **オーディオチューン画面**（P.124）**から ◀▶で「音の匠」を選ぶ**

- 選ぶたびに、音響効果が切り換わります。
  音の匠→SRS CS Auto→DSP→OFF

2 **◀▶でサラウンドを選ぶ**

お知らせ

- 音の匠、DSP、SRS CS Autoを同時に設定することはできません。

音質・音場を調整する（オーディオチューン）

SRS CS Autoの設定をする

エフェクトモードでのみ設定できます

SRS CS Auto™とは

Circle Surroundデコーダーによる車載用に特化したサラウンドシステムです。また、センタースピーカーやサブウーファーを使用せずに、5.1 chに相当する音場を再現できます。

1 オーディオチューン画面（P.124）から ◀ ▶で「SRS CS Auto」を選ぶ

- 選ぶたびに、音響効果が切り換わります。
  音の匠→SRS CS Auto→DSP→OFF

2 詳細設定 を選ぶ

3 設定する項目を選ぶ

- **FOCUS**
  感覚的に耳の高さから音が聞こえるように設定できます。
- **TruBass**
  低音の強さを設定できます。
  サブウーファー使用時は重低音を楽しめます。
- **MixToRear**
  フロントチャンネルにセリフとBGM、リアチャンネルに効果音などが収録されているDVDなどは、後席ではセリフが聞き取りにくい場合があります。Mix To Rearを設定すると、リアスピーカーにフロントチャンネルの成分（セリフなど）もあわせて出力されるので、サラウンドの臨場感を保ったまま、後席でもセリフなどを聞きやすくできます。

4 各項目を設定する

［**太字**：お買い上げ時の設定］

- **FOCUS**：調整範囲：0～**4**～8

- **TruBass**：調整範囲：0～**4**～8

- **MixToRear**：調整範囲：0～**4**～8

お知らせ

- AUDIO OFFや、高音質モードの状態では設定できません。
- 音の匠、DSP、SRS CS Autoを同時に設定することはできません。
- エフェクトがSRS CS Autoのときは、FADE/BALANCEを調整しても効果がありません。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、FADE/BALANCEの設定が有効になります。
- エフェクトをSRS CS Autoに切り換えると、イコライザーは自動的に「OFF」に切り換わり、設定できなくなります。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、イコライザーを設定できるようになります。
- SRS CS Auto設定時にスピーカー設定を調整しても、効果がありません。

DSPの設定をする

エフェクトモードでのみ設定できます

1 オーディオチューン画面（P.124）から ◀ ▶で「DSP」を選ぶ

- 選ぶたびに、音響効果が切り換わります。
  音の匠→SRS CS Auto→DSP→OFF

2 ◀ ▶でサラウンドを選ぶ

- ＨＡＬＬ：コンサートホール風の音場
- STADIUM：スタジアム風の音場
- CHURCH：教会風の音場
- ＬＩＶＥ：ライブハウス風の音場

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- 音の匠、DSP、SRS CS Autoを同時に設定することはできません。

車速連動音量を補正する

車両が走行する速度に連動してオーディオの音量を自動的に補正します。

オーディオチューン画面（P.124）から 車速連動VOL補正の程度を選ぶ

- HIGH（補正大） MID（補正中） LOW（補正小） OFF（補正なし）

より自然な音で聞く（ビット・周波数拡張）

高音質モードでのみ設定できます

音源を補完して、より自然な音で再生します。

オーディオチューン画面（P.124）から ビット・周波数拡張 ON を選ぶ

- ビット・周波数拡張がONになります。
- OFF を選ぶと、設定が解除されます。

お知らせ

- 音源によっては、効果（音の変化）を感じ取りにくい場合があります。
- 車両の状態や環境によっては、効果（音の変化）を感じ取りにくい場合があります。
- ハイレゾ音源のBlu-ray Discを再生するときは、余分な信号が音質に影響を与えないよう「OFF」にしてください。
- オーディオが交通情報の場合は、設定できません。

Gracenoteをアップデートする

1 オーディオチューン画面（P.124）から g racenote を選ぶ

2 Gracenoteをアップデートする

■ **定期更新**→P.112
ローカルアップデート（定期更新） を選ぶ

■ **個別更新**→P.113
カスタムアップデート（個別更新） を選ぶ

■ **データベースの初期化**
初期化 ▶ はい ▶ はい を選ぶ

- ローカルアップデート・カスタムアップデートの内容がすべて削除されます。

音質・音場を調整する（オーディオチューン）

イコライザーの設定をする

イコライザープリセットを切り換える

あらかじめ設定されている内容を呼び出して、かんたんにイコライザーを調整できます。

1 オーディオチューン画面（P.124）から呼び出したいイコライザーを選ぶ

- VOCAL：中音域から高音域にかけて強調した音質
- ROCK：中音域をやや抑え、低音域・高音域を強調した音質
- JAZZ：中音域をやや抑え、低音域・高音域をやや強調した音質
- USER：お好みで調整した音質（右記）
- OFF：±0のフラットな音質

イコライザーを詳細に設定する

イコライザーを、お好みの数値に設定することができます。

1 オーディオチューン画面（P.124）からイコライザーの詳細を選ぶ

2 USERを選び、各周波数の値を▲ ▼で設定する

- 初期化：選んだイコライザーの設定をお買い上げ時の状態に戻す。
- VOCAL ROCK JAZZを選ぶと、選んだ項目の詳細設定ができます。（OFFは詳細設定できません）

3 登録を選ぶ

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- エフェクトをSRS CS Autoに切り換えると、イコライザーは自動的に「OFF」に切り換わり、設定できなくなります。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、イコライザーを設定できるようになります。

スピーカーの設定をする

［太字：お買い上げ時の設定］

スピーカー出力レベルの調整をする

1 オーディオをFMまたはAMに切り換える

2 放送局が無い周波数に合わせる

- ラジオの「ザー」という音が聞こえることを確認してください。

3 オーディオチューン画面（P.124）からスピーカー設定を選ぶ

4 スピーカー設定画面からスピーカー出力レベルを選ぶ

5 ◀ ▶で各スピーカーの出力レベルを調整する

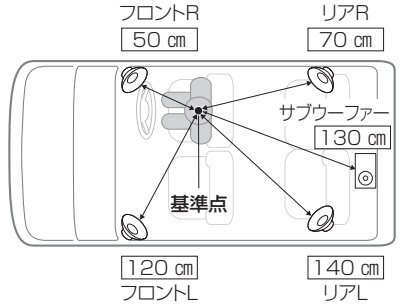
- 調整範囲：－12 dB～**±0 dB**～+12 dB
- ラジオの「ザー」という音が、最も小さく聞こえるスピーカーを基準にして、他のスピーカーが同じ音量に聞こえるように調整してください。

スピーカーディレイを設定する

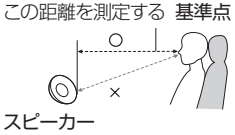
1 スピーカー設定画面（左記）からスピーカーディレイを選ぶ

2 ◀ ▶で各スピーカーの距離を調整する

- 調整範囲：0 ㎝～**100** ㎝～500 ㎝（2 ㎝刻み）
- 距離を設定すると、基準点から最も離れたスピーカーに合わせて、他のスピーカーの音声出力タイミングを遅らせます。（10 ㎝あたり約0.3 ms）



- 視聴位置を基準点としてください。
- 距離は、水平に計測してください。



サブウーファーを設定する

1 スピーカー設定画面（左記）からサブウーファー出力を選ぶ

2 ◀ ▶で周波数を調整する

- 調整範囲：60 Hz～**120 Hz**～200 Hz
- サブウーファー側に同様の設定がある場合は、サブウーファー側の設定を最大（最も高い周波数）に設定してください。

映像を調整する

画質を調整する

1 **画質調整画面または画面調整画面が表示されるまで、MAPを2秒以上押す**

- カメラ画質を調整する場合は、カメラスケール表示の調整画面を表示させてください。(P.172)
- オプションカメラの画質を調整する場合は、設置位置確認画面を表示させてください。(P.163)

2 TV Blu-ray Disc DVD iPodビデオ SD(動画) USB(動画) VTR HDMIの場合のみ

画面調整画面から画質調整を選ぶ

- 画質調整画面が表示されます。

3 **画質を調整する**

色合い[*1]
- ▶: 緑みが強くなる
- ◀: 赤みが強くなる

色の濃さ[*1]
- ▶: 濃くなる
- ◀: 薄くなる

コントラスト
- ▶: 明暗の差が大きくなる
- ◀: 明暗の差が小さくなる

明るさ
- ▶: 明るくなる
- ◀: 暗くなる

ダイナミックガンマ[*1]
- ONにすると、本機が自動的に色彩やコントラストを調整します。
- 選ぶごとに、ON/OFFが切り換わります。

お買い上げ時の設定に戻すには

初期値を選ぶ

映像の画面表示サイズを切り換える

画面調整画面(上記)**から画面表示サイズを選ぶ**

[お買い上げ時の設定:フル]

ワイド 16:9(横:縦)の画面(左右が少し黒くなる)
- 4:3の映像は、横方向に引き伸ばされます。

フル 映像が画面全体になるように横方向に伸ばした画面
(どの位置も伸ばす比率は同じ)

シネマ ノーマル画面の比率のまま、左右に合わせて拡大した画面
(上下が少しカットされる)
- Blu-ray Disc DVDのみ

ノーマル 4:3(横:縦)の画面(左右が黒くなる)
- 16:9の映像は、横方向に圧縮されます。

*1 ナビゲーション画面では調整・設定できません。

現在地画面にオーディオ映像を表示する

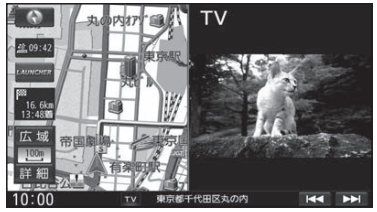
現在地画面に、TV Blu-ray Disc DVD SD(動画) USB(動画) iPodビデオ VTR HDMI Drive P@ssの映像を表示できます。

1 **現在地画面で**
LAUNCHERを選ぶ

2 **ランチャーメニューから**
右画面表示を選ぶ

3 **右画面表示設定画面から**
デュアルウィンドウを選ぶ

- 現在地画面にオーディオ映像が表示されます。



- 右画面(オーディオ画面)をタッチすると、オーディオが全画面表示されます。

お知らせ

- ナビ設定からも、デュアルウィンドウの設定ができます。(P.175)

お知らせ

- 走行中は、オーディオ映像は非表示になります。
  地図上にオーディオ映像を表示させるときは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキを引いてご覧ください。
- 拡大図(P.32)表示中や地図モード画面(P.36)、渋滞・規制情報の割り込み表示中(P.76、77)は、オーディオ映像は表示されません。
- 現在地画面のオーディオ映像は、表示位置の変更ができません。

BLUETOOTH通信を利用して、BLUETOOTH Audio（P.103）、ハンズフリー通話（P.140）、おでかけナビサポート ここいこ♪（P.150）、Drive P@ss（P.144）、CarAV remote（P.151）、音声認識（P.152）の機能を利用できます。

■ ハンズフリー用携帯電話を4台まで登録でき、2台同時に接続できます。
■ BLUETOOTH Audioを2台まで登録でき、1台に接続できます。
■ スマートフォン連携機器は、ハンズフリー用に登録された機器から、1台接続できます。

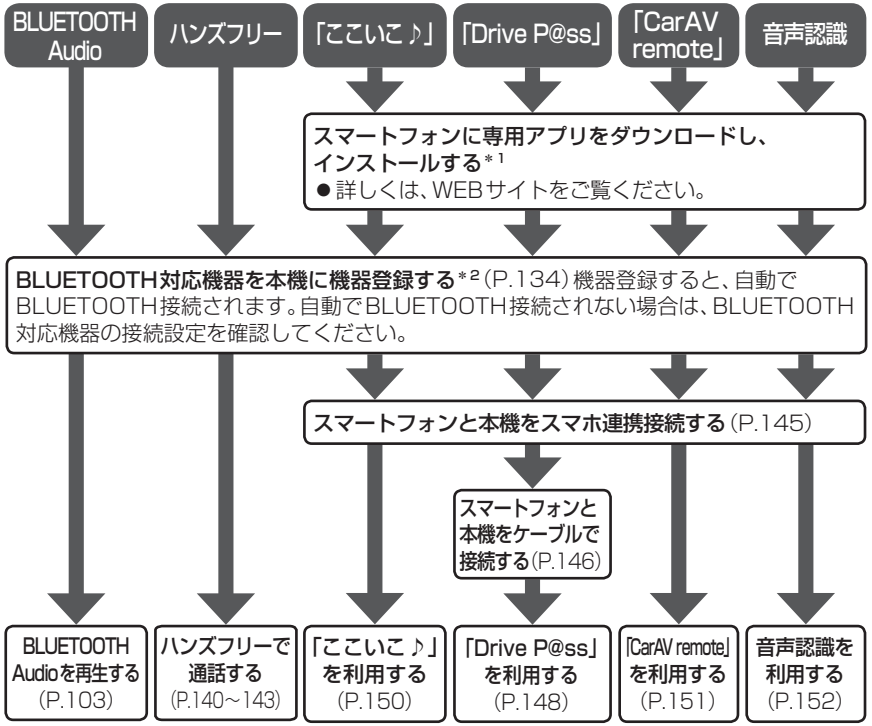
- すでに最大数登録しているときは、不要な登録データを削除してください。（P.135）
- 本書では、BLUETOOTH対応機器の操作を、docomo P-01Gを例に説明しています。
- 適合機種については、下記サイトをご覧ください。
  http://panasonic.jp/navi/
- **操作方法は対応機器によって異なります。**
  詳しくは、BLUETOOTH対応機器の説明書をご覧ください。

■ 本機で利用できるプロファイルについて

サービス		プロファイル
ハンズフリー	ハンズフリー通話	Hands-Free Profile（HFP）
	電話帳転送	Object Push Profile（OPP） Phone Book Access Profile（PBAP）
BLUETOOTH Audio		Advanced Audio Distribution Profile（A2DP） Audio/Video Remote Control Profile（AVRCP）
「ここいこ♪」*1		Serial Port Profile（SPP）
「Drive P@ss」*1		
「CarAV remote」*1		
音声認識*1		Serial Port Profile（SPP） Hands-Free Profile（HFP）

＊1 アプリは、予告なく機能が変更されたり、サービスが終了となることがあります。

■ ご利用の流れ



＊2 初回利用時のみ

BLUETOOTH®

登録・接続

BLUETOOTH対応機器を本機に登録する 134
本機の準備をする 134
BLUETOOTH対応機器を本機に機器登録する 134
BLUETOOTH対応機器の登録データを削除する 135

BLUETOOTH対応機器を手動で本機と接続する 136
ハンズフリー用の携帯電話を手動で接続する 136
スマートフォン連携用のスマートフォンを手動で接続する 136
BLUETOOTH Audio機器を手動で接続する 137

BLUETOOTH対応機器の詳細情報を見る 138
ハンズフリー用の携帯電話の詳細情報を見る 138
BLUETOOTH Audio機器の詳細情報を見る 138

本機の本体情報を見る 139
本機のデバイス名とパスキーを変更する 139

ハンズフリー

ハンズフリーで通話する 140
電話がかかってきたら 140
通話中の操作 140
電話番号を入力して電話をかける 141
リダイヤルする 141
発着信履歴から電話をかける 141
アドレス帳を登録する 142
アドレス帳から電話する 142
アドレス帳を削除する 143
ハンズフリー通話の設定をする 143

スマートフォン

Drive P@ssを利用する（スマートフォン連携） 144
Drive P@ssとは 144
スマートフォンの準備をする（初回利用時のみ） 144
本機の準備をする（初回利用時のみ） 144
スマートフォンを本機に機器登録する（初回利用時のみ） 145
スマートフォンと本機をスマホ連携接続する 145
スマートフォンと本機をケーブルで接続する 146
Drive P@ssを利用する 148

おでかけナビサポート ここいこ♪（スマートフォン連携） 150
おでかけナビサポート「ここいこ♪」とは 150
「ここいこ♪」で検索した地点をすぐに本機に送信する 150
「ここいこ♪」で検索した地点を日時指定して本機に送信する 150

スマートフォンをリモコンとして使う（スマートフォン連携） 151
CarAV remoteとは 151
CarAV remoteを利用する 151

音声認識

音声認識で目的地を検索する 152
いろいろな音声認識（例） 153
検索結果画面の操作のしかた 153

BLUETOOTH対応機器を 本機に登録する

「BLUETOOTHについて」(P.203)をよくお読みください。

初回利用時のみ必要な設定です。

本機の準備をする

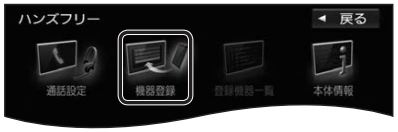
例：BLUETOOTH対応携帯電話を本機とハンズフリー接続する場合

1 本機での操作

情報・設定メニュー(P.25)から **システム設定** を選ぶ

2 システム設定画面から **BLUETOOTH** を選ぶ

3 BLUETOOTH設定画面から **機器登録** を選ぶ

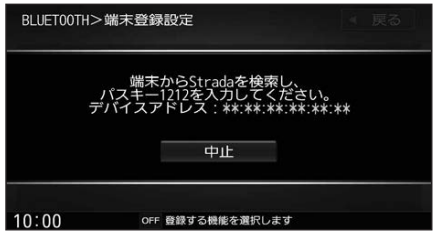


4 **ハンズフリー** を選ぶ

- BLUETOOTH Audio機器として接続する場合は、**BLUETOOTH Audio** を選んでください。

5 (すでにBLUETOOTH対応機器が本機にBLUETOOTH接続されている場合)
はい を選ぶ

- 端末登録設定画面が表示されます。
- BLUETOOTH対応機器と本機とのBLUETOOTH接続が、すべて切断されます。



お知らせ

- BLUETOOTH設定画面は、下記の方法でも表示できます。
  - ツートップメニューから **ハンズフリー** ▶ **設定** を選ぶ
  - BLUETOOTH Audio機器が登録されていない状態で、BLUETOOTH Audio画面から **設定** を選ぶ

BLUETOOTH対応機器を本機に機器登録する

6 BLUETOOTH対応機器での操作

周辺のBLUETOOTH機器(本機)を探す

❶ メニュー を押す
❷ 便利ツール を選ぶ
❸ Bluetooth を選ぶ
❹ 新規機器登録 を選ぶ
❺ OK を選ぶ
- しばらくすると、本機の名称(お買い上げ時の設定：「Strada」)が表示されます。

❻ 検索された機器リストから本機を選ぶ
❼ YES を選ぶ
❽ 本機のハンズフリーパスキーを入力し、確定 を選ぶ
(お買い上げ時の設定：1212)
❾ ハンズフリー を選ぶ
❿ 引き続きBLUETOOTH Audio機器としても登録する場合は、YES を選ぶ

本機での操作

⓫ 本機に「引き続きBLUETOOTH Audioも登録しますか？」というメッセージが表示されたら、**はい** を選ぶ
- P-01Gの場合は、❶～⓫の手順で、ハンズフリーを利用する携帯電話として登録・接続されます。

お知らせ

- ハンズフリー用携帯電話を4台まで登録でき、2台同時に接続できます。
- BLUETOOTH Audioを2台まで登録でき、1台に接続できます。
- スマートフォン連携機器は、ハンズフリー用に登録された機器から、1台接続できます。

BLUETOOTH対応機器の登録データを削除する

一度削除するともとに戻せません。(再度登録が必要になります。)
削除は十分確認のうえ行ってください。

ハンズフリー用の携帯電話を削除するには

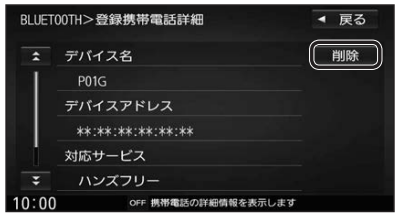
1 本機での操作

BLUETOOTH設定画面(P.134)から **登録機器一覧** を選ぶ

2 **ハンズフリー** を選ぶ

3 削除したい機器を選ぶ

4 **削除** を選ぶ



5 **はい** を選ぶ

- 削除完了のメッセージが表示されるまで、本機の電源を切らないでください。登録データの削除が正しく行われない場合があります。

BLUETOOTH Audio機器を削除するには

1 本機での操作

BLUETOOTH設定画面(P.134)から **登録機器一覧** を選ぶ

2 **BLUETOOTH Audio** を選ぶ

3 削除したい機器の、**削除** を選ぶ

4 **はい** を選ぶ

- 削除完了のメッセージが表示されるまで、本機の電源を切らないでください。登録データの削除が正しく行われない場合があります。

お知らせ

- 再度登録する場合には、BLUETOOTH対応機器側の登録も解除してください。

BLUETOOTH対応機器を 手動で本機と接続する

ハンズフリー用の携帯電話を手動で接続する

1 BLUETOOTH設定画面(P.134)から 登録機器一覧 を選ぶ

2 ハンズフリー を選ぶ

3 接続したい携帯電話の「電話1」または「電話2」を選ぶ

- 選んだ携帯電話が本機とハンズフリー接続されます。
- 接続が完了するまで、約20秒かかります。
- 2台まで接続できます。
- 一度手動で接続すると、次回から自動で接続されます。*1

お知らせ

- ハンズフリー接続中は、地図画面に接続機器の電波状態と電池残量が表示されます。ただし、端末によっては電波状態が正しく表示されない場合があります。

接続確認案内の設定をするには

■接続確認案内について

本機の電源がONになったとき、接続設定された携帯電話に接続できなかった場合に案内されます。
案内されるまでの時間は、接続した携帯電話の台数により異なります。

携帯電話登録一覧(上記)から 接続確認案内 する / しない を選ぶ

接続を解除するには

携帯電話登録一覧(上記)から 接続中の「電話1」または「電話2」を選ぶ

- 接続が解除されます。

スマートフォン連携用のスマートフォンを手動で接続する

準備

- 専用アプリケーション(無料)の「ここいこ♪」/「Drive P@ss」/「CarAV remote」をインストールして、起動してください。(P.144、150、151)
- スマートフォン連携用に接続したいスマートフォンを、本機にハンズフリー機器として登録してください。(P.134)
- 音声認識を利用する場合は、スマホ連携接続するスマートフォンをハンズフリー接続してください。(P.136)

1 BLUETOOTH設定画面(P.134)から 登録機器一覧 を選ぶ

2 ハンズフリー を選ぶ

3 接続したいスマートフォンの「スマホ連携」を選ぶ

- 選んだ携帯電話が本機とスマホ連携接続されます。
- 一度手動で接続すると、次回から自動で接続されます。*1

接続を解除するには

携帯電話登録一覧(上記)から 接続中の「スマホ連携」を選ぶ

- 接続が解除されます。

BLUETOOTH Audio機器を手動で接続する

1 BLUETOOTH設定画面(P.134)から 登録機器一覧 を選ぶ

2 BLUETOOTH Audio を選ぶ

3 接続したいBLUETOOTH Audio機器の 接続する を選ぶ

- 選んだBLUETOOTH Audio機器が本機とBLUETOOTH Audio接続されます。
- 接続が完了するまで、約20秒かかります。
- 一度手動で接続すると、次回から自動で接続されます。*1

接続を解除するには

登録機器一覧(上記)から 接続中のBLUETOOTH Audio機器の 接続する を選ぶ

- 接続が解除されます。

*1 自動接続されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

BLUETOOTH対応機器の詳細情報を見る

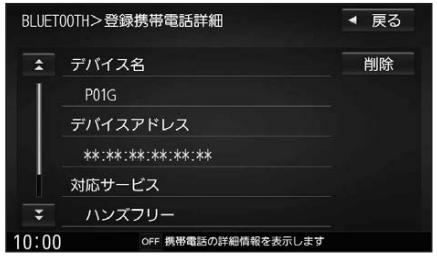
ハンズフリー用の携帯電話の詳細情報を見る

1 BLUETOOTH設定画面(P.134)から **登録機器一覧** を選ぶ

2 **ハンズフリー** を選ぶ

3 情報を見たい携帯電話を選ぶ

●携帯電話の詳細情報を表示



項　目	内　容
デバイス名	BLUETOOTH対応機器の名称を表示
デバイスアドレス	BLUETOOTH対応機器の固有のデバイスアドレス(12桁の英数字)を表示
対応サービス	本機が対応しているBLUETOOTH対応機器サービスを表示 ● プロファイルについては、P.132も併せてご覧ください。
自局番号	BLUETOOTH対応機器の自局の電話番号を表示

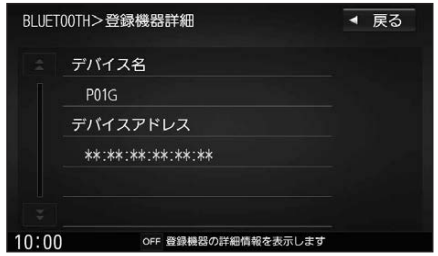
BLUETOOTH Audio機器の詳細情報を見る

1 BLUETOOTH設定画面(P.134)から **登録機器一覧** を選ぶ

2 **BLUETOOTH Audio** を選ぶ

3 情報を見たいBLUETOOTH Audio機器の **詳細** を選ぶ

●BLUETOOTH Audio機器の詳細情報を表示



項　目	内　容
デバイス名	BLUETOOTH対応機器の名称を表示
デバイスアドレス	BLUETOOTH対応機器の固有のデバイスアドレス(12桁の英数字)を表示

本機の本体情報を見る

BLUETOOTH設定画面(P.134)から **本体情報** を選ぶ

●本体情報画面を表示

項　目	内　容
デバイス名	本機の名称を表示
デバイスアドレス	本機固有のデバイスアドレス(12桁の英数字)を表示
ハンズフリーパスキー	本機のハンズフリーパスキーを表示
BLUETOOTH Audioパスキー	本機のBLUETOOTH Audioパスキーを表示

本機のデバイス名とパスキーを変更する

本体情報画面(上記)**から各項目を設定する**

[**太字**:お買い上げ時の設定]

項　目	設定内容/操作		
デバイス名変更	**本機のデバイス名を入力する** ● 半角英数24文字まで ● お買い上げ時の設定:「**Strada**」		**決定を選ぶ**
パスキー変更	ハンズフリーパスキーを変更する場合 **ハンズフリー を選ぶ**	**ハンズフリーパスキー(4～6桁の数字)を入力する** [お買い上げ時の設定:**1212**] ● **修正**:1文字削除	
	BLUETOOTH Audioパスキーを変更する場合 **BLUETOOTH Audio を選ぶ**	**BLUETOOTH Audioパスキー(4～6桁の数字)を入力する** [お買い上げ時の設定:**0000**] ● **修正**:1文字削除	

■パスキーとは

BLUETOOTHによる接続を他人に許可なく使われないためのパスワードです。
携帯電話によっては、あらかじめ設定されていて変更できない場合や、接続時にパスキーが不要な場合があります。

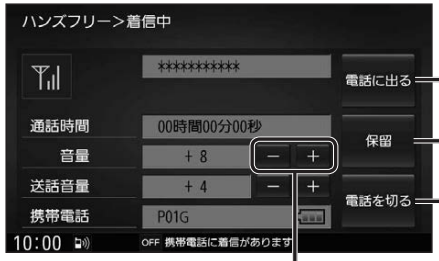
ハンズフリーで通話する

安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いてご使用ください。

- 通話が聞き取りやすいように、車の窓を閉めてください。
- マイクに向かって大きな声ではっきりと話してください。

電話がかかってきたら

自動的に着信画面に切り換わります。



電話に出る

電話に出るを選ぶ

- 通話を開始します。

応答保留する*1

保留を選ぶ

- **通話**を選ぶと通話を開始します。

＊1 電話機側が対応している場合のみ

電話に出ずに切る(着信拒否)

電話を切るを選ぶ

- 着信が切れます。

着信音量を調整する

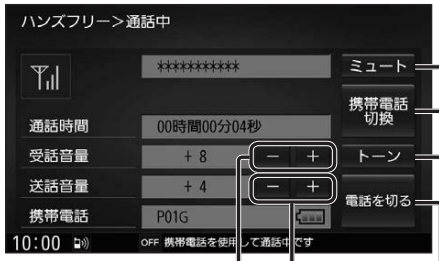
＋:音量が大きくなる
－:音量が小さくなる

- 調整範囲:1～15[お買い上げ時の設定:8]

お知らせ

- 携帯電話の機種によっては、着信中に**電話を切る**を選んでも電話に出る場合があります。

通話中の操作



送話音を消音する

ミュートを選ぶ

- **通話**を選ぶと、解除されます。

通話を携帯電話に切り換える

携帯電話切換▶**はい**を選ぶ

- **ハンズフリー切換**▶**はい**を選ぶと、ハンズフリー通話に戻ります。

トーン信号(ピッポッパ)を送る

1 **トーン**を選ぶ

2 数字を選び、トーン信号を送る
- プッシュホンサービスなどを利用できます。

電話を切る

電話を切るを選ぶ

- 通話を終了します。

受話音量を調整する

＋:音量が大きくなる
－:音量が小さくなる

- 調整範囲:1～15[お買い上げ時の設定:8]

送話音量を調整する

＋:音量が大きくなる
－:音量が小さくなる

- 調整範囲:1～7[お買い上げ時の設定:4]

お知らせ

- 携帯電話を待受画面にしないとハンズフリー通話ができない場合があります。
- 携帯電話によっては、本書の説明どおりに動作しない場合があります。
- 携帯電話によっては、本機とBLUETOOTH接続中に、携帯電話を操作して電話をかけても(電話に出ても)ハンズフリー通話になる場合があります。

電話番号を入力して電話をかける

1 ツートップメニュー(P.24)から**ハンズフリー**を選ぶ

2 ハンズフリー画面から携帯電話(**電話1**/**電話2**)を選び、**ダイヤル**を選ぶ

3 電話番号を入力し、**発信**を選ぶ

- 入力した電話番号に電話をかけます。
- **修正**:1文字削除

リダイヤルする

1 ハンズフリー画面(左記)から携帯電話(**電話1**/**電話2**)を選び、**リダイヤル**を選ぶ

2 **はい**を選ぶ
- 前回発信した相手にリダイヤルします。

発着信履歴から電話をかける

1 ハンズフリー画面(左記)から携帯電話(**電話1**/**電話2**)を選び、**発信履歴**(**着信履歴**)を選ぶ
- 発信履歴(または着信履歴)のリストが表示されます。

2 リストからかける相手を選ぶ

- **全削除**:履歴をすべて削除

3 **発信**を選ぶ

- 電話をかけます。
- **削除**:選んだ履歴を削除

ハンズフリーで通話する

アドレス帳を登録する

1 ハンズフリー画面(P.141)から携帯電話(電話1/電話2)を選び、携帯メモリ読み出しを選ぶ

2 ■PBAP接続に対応していない携帯電話の場合

はいを選ぶ

携帯電話を操作して電話帳データを転送します。本機にすでに電話帳データが保存されている場合、追加保存/上書き保存を選んでください。

- 追加保存:登録済みの電話帳データを残して追加登録
- 上書き保存:登録済みの電話帳データを削除して新たに登録

■PBAP接続の場合

携帯電話でPBAP転送の許可操作を行ってください。

- 全件の電話帳が転送されます。
- 自動で上書きされます。追加登録はできません。

3 終了を選ぶ

- アドレス帳の登録が完了します。

お知らせ

- **本機に登録した電話帳の内容(電話帳、氏名など)を編集することはできません。電話帳の内容を変更するときは、編集したい通話先をいったん削除(P.143)し、携帯電話で編集のうえ、再度登録しなおしてください。**
- **BLUETOOTH接続している携帯電話の電話帳から転送した分の登録データのみ使用できます。(BLUETOOTH接続している携帯電話以外のデータは表示されません。)**

アドレス帳から電話する

準備

携帯電話のアドレス帳を転送して本機に登録してください。(左記)

1 ハンズフリー画面(P.141)から携帯電話(電話1/電話2)を選び、アドレス帳を選ぶ

2 アドレス帳から、相手を選ぶ

名前順リスト

- あ~わ:選んだ読みに移動
- その他:アルファベット・数字などで始まる名称に移動
- メモリ順:メモリ番号順に切り換え

メモリ番号順リスト

- 1~0:メモリ番号を入力
- 修正:1文字削除
- 名前順:名前順に切り換え

3 番号1に発信(または番号2に発信)を選ぶ

- 選んだ番号に電話をかけます。

アドレス帳を削除する

1件削除する場合

1 アドレス帳(P.142)から削除したいアドレスを選ぶ

2 削除を選ぶ

3 はいを選ぶ

- 選んだアドレスが削除されます。

全件削除する場合

1 アドレス帳(P.142)から全削除を選ぶ

2 はいを選ぶ

- すべてのアドレスが削除されます。

ハンズフリー通話の設定をする

1 BLUETOOTH設定画面(P.134)から通話設定を選ぶ

2 各項目を設定する

項 目	設定内容/操作
着信音量	+/−で調整する ● 調整範囲:1~15 ● お買い上げ時の設定:8
受話音量	+/−で調整する ● 調整範囲:1~15 ● お買い上げ時の設定:8
送話音量	+/−で調整する ● 調整範囲:1~7 ● お買い上げ時の設定:4
ノイズキャンセル	ON:ノイズキャンセルを有効にする OFF:ノイズキャンセルしない
通話中の着信拒否	する: 本機に携帯電話が2台接続されているとき、片方の携帯電話で通話中(または発信中・着信中)のときに、もう一方の携帯電話に着信があっても着信拒否する しない: 通話中の着信を拒否しない
自動応答保留	する: 着信が入ると、自動的に応答保留する しない: 自動応答保留しない

Drive P@ssを利用する(スマートフォン連携)

Drive P@ssとは

当社が提供するスマートフォン向けアプリケーションです。
スマートフォンと本機を接続して、スマートフォン専用のアプリケーション「Drive P@ss」を起動すると、本機を操作してスマートフォンに収録された音楽を再生したり、本機の画面でインターネットのニュースを見ることができます。

走行中は、安全のためDrive P@ssの操作が一部制限されます。
安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いてご使用ください。

スマートフォンの準備をする(初回利用時のみ)

1 スマートフォンでの操作
スマートフォンに アプリをダウンロードし、インストールする

お知らせ

- スマートフォンによっては、Drive P@ssを利用できません。
- Drive P@ssのダウンロードやスマートフォンの適合機種、およびMiracast®での接続などについては、下記サイトをご覧ください。
  http://panasonic.jp/navi/

本機の準備をする(初回利用時のみ)

2 本機での操作
情報・設定メニュー(P.25)**から** **システム設定** **を選ぶ**

3 **システム設定画面から** **BLUETOOTH** **を選ぶ**

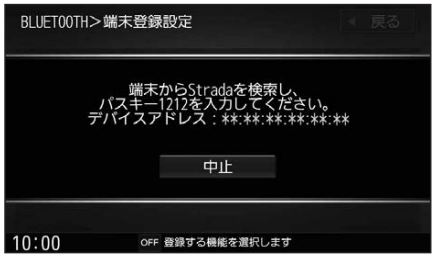
4 **BLUETOOTH設定画面から** **機器登録** **を選ぶ**

5 **ハンズフリー** **を選ぶ**

- BLUETOOTH Audio機器として接続する場合は、BLUETOOTH Audio を選んでください。

6 (すでにBLUETOOTH対応機器が本機にBLUETOOTH接続されている場合)
はい **を選ぶ**

- 端末登録設定画面が表示されます。
- BLUETOOTH対応機器と本機とのBLUETOOTH接続が、すべて切断されます。



お知らせ

- ツートップメニューから ハンズフリー ▶ 設定 を選んでも、BLUETOOTH設定画面を表示できます。

スマートフォンを本機に機器登録する(初回利用時のみ)

7 スマートフォンでの操作
周辺のBLUETOOTH機器(本機)を探す(P.134手順**6**)

8 本機での操作
はい **を選ぶ**

- ハンズフリー用の携帯電話として本機に登録されます。

9 (登録した携帯電話を、BLUETOOTH Audio機器としても登録する場合)
はい **を選ぶ**

- 携帯電話が、BLUETOOTH Audio機器として本機に登録されます。

スマートフォンと本機をスマホ連携接続する

P.146 に続く

10 スマートフォンでの操作
Drive P@ssを起動する

11 本機での操作
携帯電話登録一覧から 接続したいスマートフォンの 「スマホ連携」を選ぶ

本機とスマートフォンがスマホ連携接続されます。

- スマホ連携接続中は、スマートフォンを操作しないでください。

P.145の続き

スマートフォンと本機をケーブルで接続する

P.148に続く

お願い

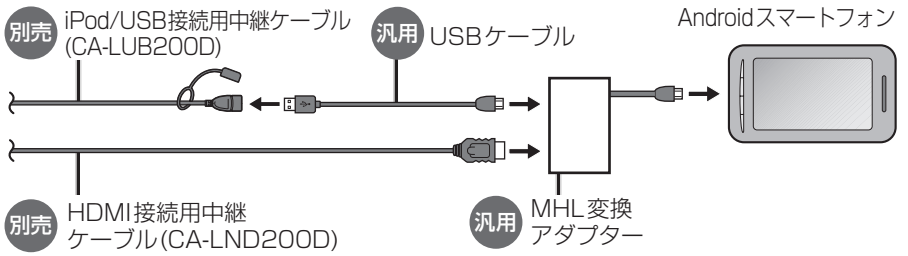
- スマートフォンは、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- スマートフォンのヘッドホンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- Drive P@ss利用中に、スマートフォンの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- スマートフォンの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- スマートフォンおよびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を妨げないように固定してください。
- スマートフォンを車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。
- ACCをOFFにしたあとは、必ずスマートフォンを取り外してください。
- スマートフォンが正しく動作しないときは、本機からスマートフォンを取り外して電源を入れなおし、再度接続してください。
- スマートフォンに楽曲を追加する操作を行う場合は、スマートフォンを本機から取り外してください。
- スマートフォンの説明書もよくお読みください。

お知らせ

- スマートフォンの機種やHDMI接続に使用する機器（アダプターなど）によっては、スマートフォンの充電ができない場合があります。
- スマートフォンの動作やバージョンアップされるスマートフォン、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続してスマートフォンを使用中に、スマートフォンのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- iPhoneは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

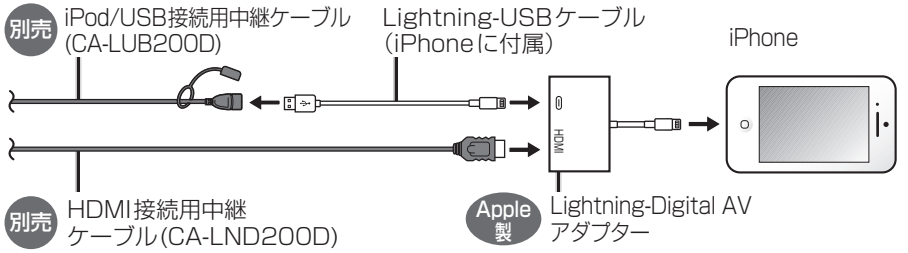
- 必ず別売のiPod/USB接続用中継ケーブル（CA-LUB200D）を使用してください。
- 下記以外の方法では接続できません。

Androidスマートフォンを接続する場合



- 接続するスマートフォンに適合したMHL変換アダプターやUSBケーブルをご使用ください。

iPhoneを接続する場合



- Drive P@ssを利用しながらiPodミュージックを再生することはできません。Drive P@ss利用中は、Drive P@ss用のアプリ「Music Player for Drive P@ss」を使ってiPhone内の音楽を再生するか、配線を変えてiPodミュージックを再生してください。（P.121）
- Lightningコネクターを持つiPhoneのみ接続できます。

P.147の続き

Drive P@ssを利用する

1 スマートフォンでの操作

Drive P@ssを起動する

2 本機での操作

ツートップメニュー（P.24）**から Drive P@ss を選ぶ**

- Drive P@ssに切り換わります。
- 接続するスマートフォンによっては Drive P@ss を選んでから画面が切り換わるまで、しばらく時間がかかる場合があります。
- スマートフォンがロック状態のときは、Drive P@ssには切り換わりません。スマートフォンのロックを解除して、再度 Drive P@ss を選んでください。（ただし、Android端末の場合、Drive P@ssの常時通信設定がONに設定されていると、スマートフォンがロック状態でもDrive P@ssを起動できます。）

3 **アプリ選択画面から起動したいアプリを選ぶ**

- アプリの操作については、各アプリの操作説明をご覧ください。

例：Music Player

- 選んだアプリに切り換わります。

Drive P@ssアプリの音声を出力したままナビゲーションに切り換える

アプリの画面（Music Playerなど）を表示中に MAP を押す

- Drive P@ssアプリの画面に戻るには、AUDIOを押すかツートップメニュー（P.24）から Drive P@ss を選んでください。
- ナビゲーションの音声・映像のみを出力したいときは、Drive P@ssをOFFにしてください。（下記）

Drive P@ssをOFFにするには

オーディオをOFFにすると、Drive P@ssアプリの音声・映像が消去されます。

オーディオをOFFにする（P.83）

Drive P@ssをONにするには

オーディオをONにする（P.83）

お願い

- **Drive P@ss利用時は、スマートフォンを操作しないでください。正しく表示されなくなることがあります。**

お知らせ

- Drive P@ssに切り換えたときに、アプリ選択画面ではなく最後に起動したアプリの画面が表示される場合があります。そのときは、 を選ぶとアプリ選択画面に切り換わります。
- ステアリングスイッチ（P.23）や、本体ボタンによる操作は、利用できない場合があります。
- 本機で操作できるのは、表示されているアプリだけです。
  （例：Music Playerで音楽を再生したままYahoo!ニュースを起動させると、音楽は聞けますが曲の頭出しや早戻しはできません。）
- 画面表示サイズ（P.130）は「フル」に固定されます。
- Drive P@ssは、後席用モニターに出力できません。

おでかけナビサポートここいこ♪（スマートフォン連携）

おでかけナビサポート「ここいこ♪」とは

当社が提供するスマートフォン向けアプリケーションです。
BLUETOOTH通信を利用して、スマートフォン専用のアプリケーションおでかけナビサポート「ここいこ♪」(無料)から検索したスポットを、本機へ送信してルートを探索します。

- 「ここいこ♪」のダウンロードやスマートフォンの適合機種など、詳しくは下記サイトをご覧ください。
  http://panasonic.jp/navi/

準 備

- スマートフォンにアプリ「ここいこ♪」をインストールして、本機とDrive P@ss接続してください。(P.136)
- 「ここいこ♪」を利用する場合は、スマートフォンと本機をケーブルで接続する必要はありません。
- iPodまたはiPhoneをP.121の図のとおり接続すると、そちらでの接続が優先されるため、iPhoneで「ここいこ♪」を利用する場合は、iPodまたはiPhoneを取り外してください。

「ここいこ♪」で検索した地点をすぐに本機に送信する

スマートフォンでの操作

「ここいこ♪」から、地点を検索し、目的地・経由地として本機に送信する

本機で地点情報を受信し、ルート探索を開始します。

「ここいこ♪」のルート探索について

- 現在地がルートの出発点に設定されます。
- 探索条件(P.64)「おまかせ」で探索されます。
- すでに通過した経由地がある場合、通過した経由地を解除してルートを探索します。
- 実際とは異なる道路種別で表示される場合があります。
- スマートフォンから受信した地点は、本機の目的地履歴(P.53)に保存されます。
  登録地(P.70)には保存されません。

「ここいこ♪」で検索した地点を日付指定して本機に送信する

Android™版

1 Android端末での操作

「ここいこ♪」から、地点を検索し、送信する日付を予約する

予約した日付になると、Android端末と本機がBLUETOOTH接続されたときに自動的に予約内容が本機に送信されます。*1

2 本機での操作

ルート設定の確認画面が表示されたら 設定する を選ぶ

- 設定する :
  送信されたルートは削除されますが、スマートフォン側の予約は残ります。
- このルートは不要 :
  送信されたルートを削除し、スマートフォン側の予約も削除されます。

ルート探索を開始します。

iPhone版

1 iPhoneでの操作

「ここいこ♪」から、地点を検索し、送信する日付を予約する

予約した日付になると、iPhoneにお知らせのメッセージが表示されます。

2 iPhoneでの操作

メッセージに従って、予約した内容を本機に送信する

ルート探索を開始します。

＊1「ここいこ♪」で常時通信設定をONに設定している場合のみ

スマートフォンをリモコンとして使う（スマートフォン連携）

CarAV remoteとは

当社が提供するスマートフォン向けアプリケーションです。
BLUETOOTH通信を利用して、スマートフォン専用のアプリケーション「CarAV remote」(無料)で本機のオーディオを操作できます。

- 「CarAV remote」のダウンロードやスマートフォンの適合機種など、詳しくは下記サイトをご覧ください。
  http://panasonic.jp/navi/

準 備

- スマートフォンにアプリ「CarAV remote」をインストールして、本機とDrive P@ss接続してください。(P.136)
- 「CarAV remote」を利用する場合は、スマートフォンと本機をケーブルで接続する必要はありません。
- iPodまたはiPhoneをP.121の図のとおり接続すると、そちらでの接続が優先されるため、iPhoneで「CarAV remote」を利用する場合は、iPodまたはiPhoneを取り外してください。

CarAV remoteを利用する

現在選択中のオーディオ

オーディオの種類を選ぶ

をタッチする

- タッチするごとにオーディオが切り換わります。
- 切り換わりかたは、ステアリングスイッチのSOURCEを割り当てたボタンで操作したときと同じです。(P.82)

頭出し/早送り・早戻し/選局する

≪≫をタッチする

アプリの情報(バージョン、利用規約、操作ガイド)を表示

音量を調整する

＋－をタッチする

- ＋:大きくなる
- －:小さくなる

オーディオの音量を消音する

をタッチする

- もう一度タッチすると解除します。
- ミュート時の動作について→P.17

音声認識で目的地を検索する

音声で入力された施設などをクラウド上のデータベースから検索し、「**行き先を設定できる**」機能です。

準 備

- スマートフォンを本機とハンズフリー接続し、スマホ連携接続してください。(P.136)
- 音声認識を利用する場合は、スマートフォンと本機をケーブルで接続する必要はありません。
- スマートフォンがロック状態のときは、音声認識を起動できません。スマートフォンのロックを解除してください。(ただし、Android端末の場合、Drive P@ssアプリの常時通信設定がONに設定されていると、スマートフォンがロック状態でも音声認識を起動できます。)
- iPodまたはiPhoneをP.121の図のとおり接続すると、そちらでの接続が優先されるため、iPhoneで音声認識を利用する場合は、iPodまたはiPhoneを取り外してください。

1 音声認識を起動する

下記のいずれかの操作で起動できます。

- **SOURCE(ソース)を割り当てたステアリングスイッチを1秒以上押す**
- **本体のMENUを1秒以上押す**
- **ツートップメニュー(P.24)から🎤を選ぶ**
- **ランチャーメニュー(P.38)から 音声認識 を選ぶ**

2 マイクに発声して、音声で操作する

- 効果音が鳴ってから、続けて発声してください。

凡例
- 🎤 利用者の音声操作
- 🔊 本機の音声案内

例：

- 🔊 こんにちは。どちらまで行きますか？
- 🎤 **近くのガソリンスタンド**
- 🔊 この付近のガソリンスタンドをお調べします。
- 🔊 20件のガソリンスタンドが見つかりました。近い順に 1.○○石油××SS/2.△△石油××SS/3.□□石油××SS です。
- 検索結果画面(P.153)が表示されます。
- 🎤 **3番**＊1
- 🔊 □□石油××SSを目的地に設定しますか？
- 🎤 **はい、一般優先で**＊2
- 🔊 □□石油××SSを目的地に設定します。一般優先で探索します。

＊1「□□石油××SS」と名称で選択することもできます。
＊2「電話をかける」と発声すると、選択した施設に電話をかけることができます。

お知らせ

- 運転者以外が音声認識をする場合は、スマートフォンのマイクに向かって発声できます。その場合は、
  - ・本機をDrive P@ssに切り換えないでください。
  - ・Drive P@ssアプリの🎤をタッチして、音声認識を利用してください。
  - ・詳しくはDrive P@ssアプリの説明書をご覧ください。

いろいろな音声認識(例)

■ 周辺の施設を検索する

🎤 **新横浜駅周辺のファミレス**

■ 住所から検索する

🎤 **神奈川県横浜市都筑区池辺町4261**

■ 施設の名称から検索する

🎤 **パナソニックセンター東京**

■ 自宅を検索する

🎤 **自宅に帰る**

- 本機に登録した自宅を検索できます。

■ ルート沿いの施設を検索する

🎤 **ルート沿いのコンビニ**

■ Drive P@ssの音声認識機能から登録した登録ポイントを検索する

🎤 **おじいちゃんの家**

- Drive P@ssアプリの音声認識機能で登録した文言を発声してください。
- 本機の登録地は検索できません。

■ 条件を詳細に設定する

🎤 **横浜で駐車場のあるイタリアンを経由地に、一般道優先で**

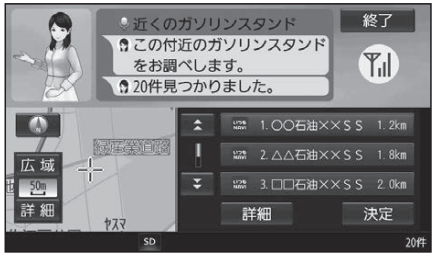
■ 検索をやりなおす

🎤 **言い直し**

- 番号の選択をやりなおすときは、番号を言いなおしてください。

検索結果画面の操作のしかた

音声認識で施設を検索すると、下記のような検索結果画面が表示されます。
音声またはタッチ操作してください。



■ 施設の詳細情報を聞く

🎤 **3番の詳細情報**

- 施設名称・住所・情報が案内されます。
- 番号で選択してください。(詳細情報を聞く施設は、名称では選択できません。)

■ 次の候補に切り換える

🎤 **次のページ**

- 次の候補を3件表示します。

■ タッチ操作するには

リストから施設を選び、決定を選ぶ

- 現在地から選んだ施設までのルートを探索します。
- 詳細：施設の詳細情報を表示

お知らせ

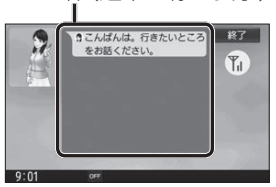
- 検索結果画面をタッチ操作すると、音声認識は終了します。以降の操作はタッチで行ってください。

認識率をよくするために

適正な音量で、はっきりと発声してください。

- 声が大きすぎると、枠の色が赤に変化します。
- 声が小さすぎると認識されません。
- 枠が表示されないときは、マイクの接続を確認してください。
- 車の窓を閉めてください。(周囲の雑音による誤認識を防ぐため)
- 同乗者に会話を控えてもらってください。(同乗者の声による誤認識を防ぐため)

枠(通常は緑で表示)



その他

その他の機能

Android Auto™を利用する……156
Android Autoとは……156
Android Auto連携機能を設定する……156
ルート案内の音量を設定する……156
本機とAndroid端末を接続する……157
Android Autoを起動する……157
Android Auto音声認識を起動する……157
音楽を再生する
(Android Auto Music)……157
ecoドライブ機能を使う……158
ecoドライブ機能とは……158
ecoドライブを開始する……158
メンテナンス情報を設定する……159
地図更新について……160
無料地図更新サービス
(Webダウンロード限定)……160
地図SDHCメモリーカードの
出し入れ……161
バージョンアップする……162

別売品

別売品と組み合わせて使う……162
後席用モニターと組み合わせる……162
カメラ付きリアモニターと
接続して使う……163
ETC2.0車載器と接続して使う……164
ドライブレコーダーと接続して使う……166
フロントインフォディスプレイと
接続して使う……170
リアビューカメラと組み合わせる……172
ビデオカメラと組み合わせる……173

設定

利用に応じた設定に変える……174
表示の設定をする……174
案内の設定をする……175
探索条件の設定をする……177
渋滞情報(VICS)の設定をする……177
ETCの設定をする……178
システムの設定をする……178
各種設定をお買い上げ時の
状態に戻す……179

困ったとき

よくあるお問い合わせ……180
故障かな!?……181
●電源・共通……181
●ナビゲーション……182
●オーディオ[TV]……183
●オーディオ[FM/AM]……184
●オーディオ[Blu-ray Disc] [DVD]……184
●オーディオ[MEMORY MUSIC]……186
●オーディオ
[MP3/WMA(CD-R/CD-RW)]/
[SD]/[USB]……185
●オーディオ[iPod]……187
●BLUETOOTH……187
●音声認識……191
●Android Auto……192
●こんなメッセージが出たときは……193
●こんなメッセージが出たときは……194
●結露について……194
●万一、故障や異常が起こったら……194

必要なとき

文字入力のしかた……195
ディスクについて……196
お手入れ……198
**SDメモリーカード・
USBメモリーについて……199**
データ作成時の留意点……200
BLUETOOTHについて……203
言語コード一覧表……204
ナビゲーションシステムとは……205
VICSについて……208
地図ソフトについて……210
市街地図の収録エリア……214
ジャンル一覧……216
さくいん……218
商標などについて……222
**ソフトウェア、およびオープンソース
ソフトウェアについて……224**
仕　様……232
保証とアフターサービス……234

Android Auto™を利用する

Android Autoとは

Android端末と本機を接続し、Android端末から送信されるAndroid Auto専用画面を本機に表示したり、音声を出力します。
また、本機のディスプレイのタッチ操作をAndroid端末側に送り、Android Autoを操作できます。

準 備(初回のみ)

- アプリをスマートフォンにインストールしてください。

Android Auto連携機能を設定する

1 **情報・設定メニュー**(P.25)**から** **Android Auto連携機能設定** **を選ぶ**

2 **Android Auto連携機能設定画面から** **Android Autoの利用の** **する** **を選ぶ**

- **しない**: USBを利用します。

ルート案内の音量を設定する

Android Autoを使用してルート案内するときの案内音量を設定します。

Android Auto連携機能設定画面(左記)**からルート案内の音量を調整する**

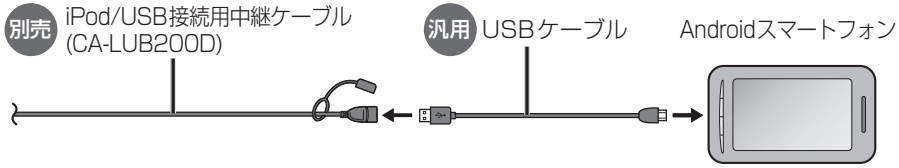
- **−** **+**: 音量を調整する(15段階)
  [お買い上げ時の設定:5]
- **消音**: 音声案内なし

お知らせ

- Android端末を接続すると、別のBLUETOOTH対応機器の接続は切断されます。
- ハンズフリー用携帯電話がすでに4件登録されている場合は、携帯電話登録一覧(P.136)から登録データを削除してください。
- Android Auto起動中に電話を着信した場合は、Android Autoでハンズフリー通話ができます。
- Android Auto起動中は、以下の機能は利用できません。
  SDメモリーカード再生、USBメモリー再生、BLUETOOTH Audio、BLUETOOTH機器登録、Drive P@ss、ここいこ♪、音声認識(Drive P@ss)
- 画面表示サイズ(P.130)は「フル」に固定されます。
- Android Autoは、後席用モニター、フロントインフォディスプレイに出力できません。
- Android Autoの利用を「する」に設定していても、カメラ割込みを「ON」に設定している場合は、リアビューカメラの映像が表示されます。(P.172)
- Android AutoはGoogle Inc.が提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 走行中はAndroid Autoの動作が制限される場合があります。
- スマートフォンの電波状態が悪い場合、Android Autoの動作が制限されることがあります。
- Android Autoアプリの制約により、音楽再生などの操作に制限がかかる場合があります。
- スマートフォンの機種や状態によっては、Android Autoの動作が制限されることがあります。

適合機種について
OS:Android　　OSバージョン:5.1以降　　※最新のOSを使用してください。
最新の適合機種および接続情報については、下記サイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/navi/

本機とAndroid端末を接続する



- Android端末と本機を接続すると、携帯電話登録一覧(P.136)に登録され、BLUETOOTH接続されます。

お知らせ

- 必ず、データ通信できるUSBケーブルを使用してください。
  データ通信できないUSBケーブル(充電専用品など)では、Android Autoを利用できません。

Android Autoを起動する

ツートップメニュー(P.24)**から** **Android Auto** **を選ぶ**

Android Auto画面が表示されます。

- 現在地 MENU AUDIOのいずれかを押すと、ナビゲーションの画面に切り換わります。

お知らせ

- 初回のみ、スマートフォン側に表示される内容をスマートフォン側で承諾する操作が必要です。

Android Auto音声認識を起動する*1

ナビゲーションのボタンで

MENU を1秒以上押す

ステアリングスイッチで

準 備

- ステアリングスイッチ設定をしてください。(P.23)

SOURCE(ソース)を割り当てた
ステアリングスイッチを1秒以上押す

音楽を再生する*1 (Android Auto Music)

準 備

- ステアリングスイッチ設定をしてください。(P.23)

SOURCE(ソース)を割り当てた
ステアリングスイッチを押して
切り換える(P.82)

お知らせ

- Android Auto Music再生中に車のエンジンを止め(ACC OFF)、再度車のエンジンをかけると(ACC ON)、曲が自動で再生されない場合があります。そのときは、手動で操作して再生してください。

*1 Android Autoを起動させ、タッチ操作で行うこともできます。

ecoドライブ機能を使う

ecoドライブ機能とは

急加速・急減速・アイドリング・速度の情報をもとに、環境に優しい「エコドライブ」ができているかどうか診断します。

お知らせ

- ドライブ診断の結果は目安であり、その内容を当社は保証するものではありません。

ecoドライブを開始する

1 情報メニュー(P.25)から **ecoドライブ** を選ぶ

2 ecoドライブ画面から **ecoドライブ開始** を選ぶ

- ecoドライブの診断を開始します。

ecoドライブを中止するには

ecoドライブの診断中に、ecoドライブ画面(左記)から ecoドライブ中止 を選ぶ

- ecoドライブの診断を中止します。

診断結果

エコマーク(🔥)が多いほど高評価です。(「🔥🔥🔥🔥🔥」が最高)

- **急　加　速**：急加速を行うと、エコマークが減少
- **急　減　速**：急減速を行うと、エコマークが減少
- **アイドリング**：長時間のアイドリングで、エコマークが減少
- **ｅｃｏ速度**：高速度での走行が多いと、エコマークが減少

総合評価

- 診断結果をもとに、ecoドライブの総合評価がA(最高)～E(最低)の５段階で表示されます。

お知らせ

- ecoドライブ画面を表示中は、診断結果は更新されません。
- ACC ON状態(エンジン OFF)でもアイドリング状態と診断されます。
- 「eco」(P.64)で探索したルートを走行しても、道路条件や運転のしかたで、ecoドライブの診断結果が悪くなる場合があります。
- 日付が変わり、本機の電源を OFFにした時点で、診断結果はリセットされます。

メンテナンス情報を設定する

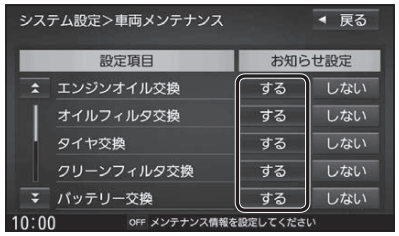
GPSからの日付情報と車速信号を使用して車のエンジンオイルや消耗部品の交換時期などがきたことを、音声と画面で案内します。

1 情報・設定メニュー(P.25)から **システム設定** を選ぶ

2 システム設定画面から **その他設定** を選ぶ

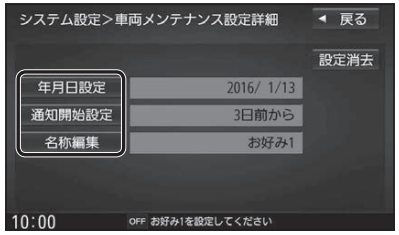
3 **車両メンテナンス** を選ぶ

4 車両メンテナンスの案内をさせたい項目の **する** を選ぶ



- 以下の項目が設定できます。
  [お買い上げ時の設定：しない]
  ・エンジンオイル交換
  ・オイルフィルタ交換
  ・タイヤ交換
  ・クリーンフィルタ交換
  ・バッテリー交換
  ・タイヤローテーション
  ・お好み１*1
  ・お好み２*1

5 項目の詳細を設定する

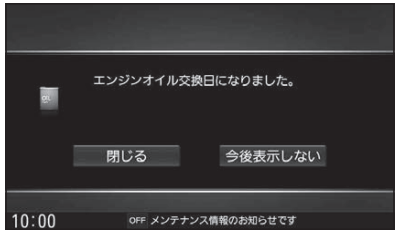


- **年月日設定**
  メンテナンスする年月日を入力
- **通知開始設定**
  メンテナンスの何日前に通知するかを設定
- **通知開始距離***2
  ＋/－で、メンテナンスの通知を開始する距離を設定
- **名称編集**
  お好み１、お好み２の名称を編集

メンテナンス情報の案内について

通知開始設定の日になった、設定日当日になった、設定日をすぎた、または設定をした距離を走行した場合は、本機を起動したときにそれぞれの画面でお知らせします。

例：エンジンオイル交換



お知らせ

- 今後表示しない を選ぶと、次回起動時からはお知らせしません。また、メンテナンス設定画面のお知らせ設定が しない に変更されます。
- お知らせするメンテナンス時期と実際にメンテナンスが必要な時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離が異なる場合があります。

メンテナンス情報を解除するには

メンテナンス設定画面から解除したい項目の しない を選ぶ

- 選んだ項目が解除されます。

＊1 名称を変更して、お好みの項目を登録できます。
例：「車検」の年月日を案内させるなど

＊2 項目によっては、設定しない場合があります。

地図更新について

無料地図更新サービス（Webダウンロード限定）

本機は、下記の無料地図更新ができます。
パソコンで地図更新アプリを使用し、地図データをダウンロードしてください。

http://panasonic.jp/car/navi/freemap/

※インターネットを利用できる環境などが必要です。詳しくは、当社サイトをご覧ください。
（通信費用はお客様のご負担となります。スマートフォンでのご利用はできません。）

有効期間：2016年8月 ～ 2019年8月中旬まで（予定）

- 全地図更新は、上記期間内に1回限りご利用可能です。
- 更新データの配信予定時期については、当社サイトをご覧ください。
- 上記期間以降の更新は、年度更新地図の販売をご利用ください。
（発売時期・販売方法については、決定しだい当社サイトにてご案内いたします。）

○ 更新されます　× 更新されません

内容＼方法	全地図更新（地図の全データ）	部分地図更新（全国の主要道路のみ）
道路地図（縮尺50 m ～250 km）　※細街路含む。	○	○
案内画像（リアル3D表示・ジャンクションビュー・方面看板など）	○	○
音声案内	○	○
地点検索データ（施設情報・電話番号情報など）	○	○
市街地図	○	×

■ご利用の流れ

準 備（初回のみ）

- 地図更新アプリを専用サイトからダウンロードして、パソコンにインストールしてください。

1 地図SDHCメモリーカードをナビゲーションから取り出し、パソコンに挿入する。

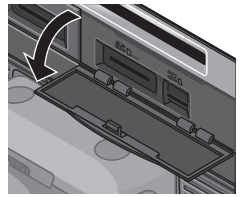
2 地図更新アプリを起動し、専用サイトから地図データをダウンロードして地図SDHCメモリーカードに保存する。

3 地図更新が完了したら、地図SDHCメモリーカードをパソコンから取り出し、ナビゲーションに挿入する。

地図SDHCメモリーカードの出し入れ

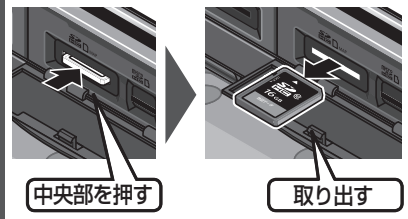
車のエンジンを止めた状態（ACC OFF）で行ってください。

1 ディスプレイを十分に倒して、ふたを開く



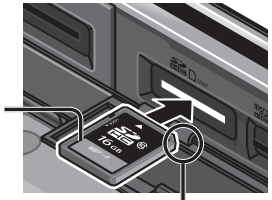
2 地図SDHCメモリーカードを出し入れする

取り出しかた



挿入のしかた

奥までまっすぐに挿入する



- カチッと音がするまで差し込みます。

3 ふたを閉じてから、ディスプレイを起こす

お願い

- 必ずSD挿入口のふたを閉じてから、ディスプレイを起こしてください。
ふたが開いたままディスプレイを起こすと、ふたが破損するおそれがあります。

バージョンアップする

本機のソフトウェアや、本機と接続したマルチエクスパンドユニット（別売のフロントインフォディスプレイに付属）のソフトウェアをバージョンアップできます。
マルチエクスパンドユニットのバージョンアップを促すメッセージが表示された場合は、下記方法でバージョンアップを行ってください。

準 備

- 下記サイトからダウンロードした更新プログラムが保存されたSDメモリーカードを本機に挿入してください。（P.116）
  http://panasonic.jp/navi/

1 情報・設定メニュー（P.25）から **システム設定** を選ぶ

2 システム設定画面から **その他設定** を選ぶ

3 **バージョンアップ** を選ぶ

4 ■ 本機のソフトウェアを更新する場合
アプリケーション を選ぶ

■ マルチエクスパンドユニットのソフトウェアを更新する場合
マルチエクスパンドユニット を選ぶ

5 **はい** を選ぶ

- バージョンアップを開始します。

別売品と組み合わせて使う

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

後席用モニターと組み合わせる

本機の映像*1を、後席用モニターに表示できます。

準 備

- 後席用モニターを、本機が接続されている入力モード（「ビデオ入力」など）に切り換えてください。

オーディオを切り換える（P.82）

- 本機および後席用モニターに、選んだオーディオが表示されます。
- MAP を押すと、後席用モニターに映像を出力したまま、本機のディスプレイを現在地画面に切り換えることができます。
- 後席用モニターには、走行中でも映像が出力されます。

*1 TV、Blu-ray Disc、DVD、iPodビデオ、VTR、SD(動画)、USB(動画)
（HDMI、Drive P@ss、Android Autoは、後席用モニターに出力できません。）

後席用モニターへのHDMI出力について

- BDMV、BDAV、AVCHD、AVCRECの映像を後席用モニターで見る場合は、後席用モニターをHDMI入力のモードに切り換えてください。
（VTRでは視聴できません。）
- VTRまたはiPodビデオの映像を後席用モニターで見る場合は、後席用モニターを映像入力（VTR）のモードに切り換えてください。（HDMIでは視聴できません。）
- HDMI接続用中継ケーブルの抜き差しをしたり、後席用モニターの電源をOFF/ONすると、画面が乱れる場合があります。
- 本機のHDMI出力端子と映像出力コードは、必ず1台の後席用モニターに接続してください。別のモニターに接続しても、本機の映像を同時に複数のモニターで視聴することはできません。

カメラ付きリアモニターと接続して使う

カメラ付きリアモニター（CA-RMC900D）の映像を、本機に割り込み表示させることができます。

カメラ付きリアモニターの設定をする

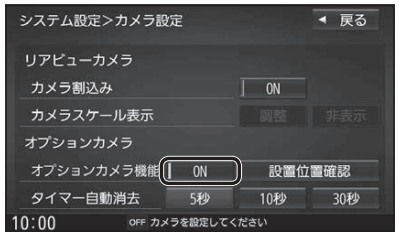
カメラ付きリアモニターをご利用になる前に、下記設定を行ってください。

1 情報・設定メニュー（P.25）から **システム設定** を選ぶ

2 システム設定画面から **その他設定** を選ぶ

3 **カメラ設定** を選ぶ

4 オプションカメラ機能 **ON** を選ぶ



- オプションカメラがONになります。
[お買い上げ時の設定：OFF]
- 再度選ぶと、OFFになります。

5 タイマー自動消去の時間を設定する

- カメラの映像に切り換えてから、もとの画面に戻るまでの時間（本機に映像が表示される時間）を設定します。
設定範囲：**5秒** **10秒** **30秒**
[お買い上げ時の設定：5秒]

6 **設置位置確認** を選ぶ

- カメラの映像が本機に表示されます。映像を見ながら、オプションカメラの設置位置の調整や画質の調整（P.130）を行ってください。

カメラ付きリアモニターの映像を見る

準 備

- 「オプションボタン」を「オプションカメラ」に設定してください。（P.174）

現在地画面で をタッチする

オプションカメラの映像が、本機に表示されます。

- タイマー自動消去（左記）で設定された時間カメラの映像を表示して、現在地画面に戻ります。

お知らせ

- ランチャーメニューからオプションカメラの映像を表示することもできます。（P.38）

終了するには

映像表示中に、MAP を押す または画面にタッチする

ETC2.0車載器と接続して使う

ETC2.0車載器を接続すると、VICSの情報提供サービスを受けたり、ETCとして有料道路で料金の自動支払いや通行ができます。

機種によっては、ETC2.0車載器側の機能が一部制限されます。

- **ETC2.0車載器の一部のボタンは操作できません。**
- **ETC2.0車載器からの音声案内は行いません。**
  ナビゲーションから音声または画面表示で案内されます。

お知らせ

- 機種によっては、ETC2.0車載器から音声案内される場合があります。
  ・ETCカードを入れたままエンジンをかけた(ACCをONにした)とき
  ・ETCカードを入れたままエンジンを止めた(ACCをOFFにした)とき

VICS情報提供サービス(ETC2.0)(P.74)

ITSスポット(道路に設置される路側無線装置)より電波ビーコン5.8 GHz VICS情報を受信し、ナビゲーションで活用できます。また、別売の光ビーコン対応ETC2.0車載器を接続すると、光ビーコンのVICS情報も受信できます。

- 高速道路上のETC2.0ではドライブ中の注意を促すため、落下物情報、渋滞末尾情報、前方静止画像情報を案内します。(P.76)
- 広域な道路交通情報や安全運転支援情報の内容を画像や簡易図形などでわかりやすく表示したり、音声で通知したりします。(P.76)
- 県境を越える広域の渋滞・規制情報*1を考慮したルート探索ができます。

*1 走行する道路により情報の提供範囲が異なります。

ETC2.0アップリンク

ETC2.0車載器に関する情報やナビゲーションで収集した情報(走行位置情報など)をITSスポットへ送信することをいいます。送信された情報は、道路交通情報の提供などに活用されます。

- 走行開始/終了地点など、個人情報に関わる情報は収集されません。
- アップリンクについては、ETC2.0車載器の説明書もご覧ください。
- ETC2.0アップリンクする/しないの設定ができます。(P.177)

ETC車載器として使う

ETC2.0車載器からの情報に連動して、本機から料金案内や、料金所で支払った料金の履歴を見ることができます。

- **ETC車載器は、本機に接続できません。**
- ETCカードまたはETC一体型クレジットカードをご使用ください。それ以外のカードを入れると、「ETCカードを確認してください。」と音声案内されます。
- ETC2.0車載器接続時は、カードを入れると情報バーにETCと表示されます。
- カード入れ忘れ案内を「する」に設定してください。(P.178)
- ETCレーンの表示を「する」に設定してください。(P.175)

お知らせ

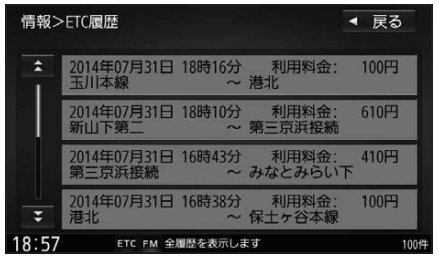
- 新しく設置されたETC料金所などでは、ETC拡大図が表示されない場合があります。そのときは、音声案内のみ行います。
- ETCゲートを通過してすぐに右左折するルートを通る場合などは、料金の音声案内を中断し、ルート音声案内を行う場合があります。
- 万一、利用できない場合は、「ETCを利用できません。」と音声案内されます。料金所に進入している場合、停車して料金所の係員の指示に従ってください。
- 表示金額は、割引などにより実際に請求される金額とは異なる場合があります。
- ETCカードの有効期限が近いまたは有効期限切れの場合、音声と画面表示でお知らせします。
  例:「ETCカードの有効期限は今月末です。カードを確認してください。」
  「ETCカードの有効期限は切れています。ETCカードを確認してください。」
- カードの有効期限は必ずカードを直接ご確認ください。
- 有効期限の案内は、ETCカードを挿入する、または挿入した状態で車のエンジンをかける(ACCをONにする)と行われます。

料金履歴を見る

1 情報メニュー(P.25)から ETC情報 を選ぶ

2 ETC情報画面から、ETC履歴 を選ぶ

- ETC履歴画面が表示されます。(履歴100件まで)
- 100件を超えると古い順に削除されます。
- 件数が多いと、表示に時間がかかります。



- ▲▼: ページの切換

お願い

- 料金所付近では、料金履歴を確認しないでください。ETC履歴を選んでETC履歴画面(上記)が表示されるまでは、ETC2.0車載器は路側アンテナと通信できません。料金所で開閉バーが開かず、事故の原因となります。

ETC管理情報を見る

1 情報メニュー(P.25)から ETC情報 を選ぶ

2 ETC情報画面から、ETC管理情報 を選ぶ

- ETC管理情報が表示されます。

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

ドライブレコーダーと接続して使う

走行中は、ドライブレコーダーのファイルは再生できません。
安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いてご覧ください。

別売のドライブレコーダー(CA-DR01D)を本機と接続して、運転の状況を記録できます。
録画した動画・撮影した静止画は、本機で確認できます。

ドライブレコーダーの設定をする

1 情報メニュー(P.25)**から**
ドライブレコーダー を選ぶ

- ドライブレコーダー画面が表示されます。
- 録画を停止します。

2 ドライブレコーダー画面から
設定 を選ぶ

3 各項目を設定する

[**太字**:お買い上げ時の設定]

項　目	設定内容/操作
画質	「**高 画 質**」:高画質で録画する 「標　　準」:標準画質で録画する
音声録音	「**す　　る**」:録画中、音声を録音する 「し な い」:録画中、音声を録音しない
手動録画の自動停止	「　**1 分**　」:手動録画開始後、1分で自動停止する 「　3 分　」:手動録画開始後、3分で自動停止する 「自動停止しない」:手動録画時に自動停止しない
動画情報表示	記録ファイル再生中に動画情報を表示する/しないを設定する
急加速・急減速	「**す　　る**」:急加速・急減速した場面で動画情報を表示する 「し な い」:急加速・急減速した場面で動画情報を表示しない
事故多発地点	「**す　　る**」:事故多発地点で動画情報を表示する 「し な い」:事故多発地点で動画情報を表示しない
合流地点	「**す　　る**」:合流地点で動画情報を表示する 「し な い」:合流地点で動画情報を表示しない
急カーブ	「**す　　る**」:急カーブで動画情報を表示する 「し な い」:急カーブで動画情報を表示しない
急加速・急減速の感度	**＋**/**－**で、急加速・急減速の測定感度を調整する 調整範囲:1～**3**～5
急加速・急減速の感知音	「**す　　る**」:急加速・急減速を記録すると、ブザーを鳴らす 「し な い」:急加速・急減速を記録しても、ブザーを鳴らさない
起動音	「**す　　る**」:ドライブレコーダーの電源が入ると、ブザーを鳴らす 「し な い」:ドライブレコーダーの電源が入っても、ブザーを鳴らさない
取付調整	**調整する**:自動的にドライブレコーダーの加速度センサーを最適化する ● ドライブレコーダー取り付け後、必ず行ってください。
SDカードの初期化	**初期化する**:ドライブレコーダーで使用しているmicroSDHCメモリーカードを初期化し、おおよその寿命などの管理ができる状態にする ● 初めてmicroSDHCメモリーカードを使用するときや、microSDHCメモリーカードを交換したときなどに行ってください。 ● SDカードの初期化をすると、microSDHC内のすべてのファイルが削除されます。
設定初期化	**初期化する**:ドライブレコーダーの設定をお買い上げ時の状態に戻す ● 録画・撮影された記録ファイルは削除されません。

お知らせ

- ドライブレコーダーは、後席用モニターに出力できません。

ドライブレコーダーのカメラの角度を調整する

1 ドライブレコーダー画面(P.166)**から、**
カメラモニター を選ぶ

- ドライブレコーダーのカメラの映像が表示されます。

2 カメラの映像を見ながら、角度を調整する

- 調整のしかたは、ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

3 調整が完了したら、戻る を選ぶ

- ドライブレコーダー画面に戻ります。

4 設定 を選ぶ

5 「取付調整」と「SDカードの初期化」を行う(P.166)

常時録画

ドライブレコーダーの電源が入ると、自動的に録画を開始し、1分ごとに記録ファイルをmicroSDHCメモリーカードへ保存します。
microSDHCメモリーカードの容量がなくなると、自動的に古い記録ファイルから順に自動削除して繰り返し保存し続けます。

お知らせ

- 手動録画した記録ファイル、保存フォルダに移動した記録ファイルは、自動削除されません。
- 常時録画で記録された、急加速・急減速情報のあるファイルは、通常は自動削除されません。ただし、microSDHCメモリーカードの空き容量がない状態で、新たに急加速・急減速情報のある映像を記録した場合は、古い急加速・急減速情報のある記録ファイルが自動削除される場合があります。

手動で静止画を撮影する

準 備

- 「オプションボタン」を「ドライブレコーダー静止画撮影」に設定してください。(P.174)

地図画面で をタッチする

- タッチした瞬間の静止画が撮影されます。

お知らせ

- ランチャーメニューから静止画撮影することもできます。(P.38)

ドライブレコーダーと接続して使う（続き）

手動で動画を録画する

準 備

●「オプションボタン」を「ドライブレコーダー動画録画」に設定してください。(P.174)

地図画面で をタッチする

●動画の録画を開始します。

「手動録画の自動停止」が「1分」/「3分」に設定されている場合は、設定された時間になると自動的に録画を停止します。

「手動録画の自動停止」が「自動停止しない」に設定されている場合は、手動で停止させるまで録画を継続します。

■ 手動で録画を終了させるには

録画中に、地図画面で を再度タッチする

●動画の録画を停止します。

お知らせ

●ランチャーメニューから動画録画開始/停止することもできます。(P.38)

保存したファイルを再生する

1 ドライブレコーダー画面(P.166)から、再生を選ぶ

2 ドライブレコーダー再生リストからファイルを選び、▶再生を選ぶ

全表示：自動録画・手動録画の両方のデータを表示
手動録画：手動録画のデータのみ表示

「保存フォルダ」のファイルリストに切換

動画/静止画を切り換える

ファイル名（記録日時）

：ページごとに切換
+1時間 −1時間：1時間ごとに切換

記録された動画情報をマークで表示

：手動録画された
：急加速・急減速情報がある
：事故多発地点情報がある
：合流地点情報がある
：急カーブ情報がある

選んだファイルの再生を開始します。

■ 再生画面の操作

動画ファイル

速度メーター
録画地点のおおよその速度をグラフ表示

録画日時/位置情報/動画情報

録画した地点

リストに戻る

再生中のファイルを削除する

再生/一時停止

前/次のファイルに切換

加速・減速メーター
録画地点の加速・減速（加速度）を、6段階の色の広がりでグラフ表示（加速度が強いほど色が広がる）

静止画ファイル

撮影日時/位置情報

撮影した地点

リストに戻る

再生中のファイルを削除する

撮影した地点を登録する

前/次のファイルに切換

撮影した地点を目的地に設定する

ファイルを保存フォルダへ移動する

自動削除されたくない記録ファイルを保存フォルダへ移動させます。
保存フォルダに保存されたファイルは、自動削除されなくなります。

※ドライブレコーダーの処理状況により、保存フォルダへの移動や削除が極端に遅くなる場合があります。移動や削除が完了するまでお待ちください。

1 ドライブレコーダー再生リスト(P.168)から、移動させたいファイルを選び、保存を選ぶ

2 はいを選ぶ

3 OKを選ぶ

●選んだファイルが保存フォルダへ移動します。

フォルダ内のファイルを全て削除する

1 ドライブレコーダー再生リスト(P.168)から、削除したいフォルダのリストを表示させ、全削除を選ぶ

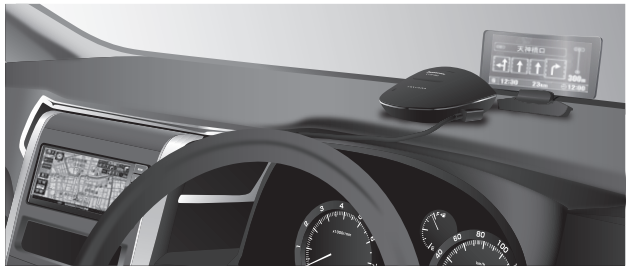
2 はいを選ぶ

●選んだフォルダ内の全ファイルが削除されます。

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

フロントインフォディスプレイと接続して使う

本機に連動したルートやVICSなどの案内情報画面を、別売のフロントインフォディスプレイ(CY-DF100D)に割り込み表示させることができます。



加速・減速すると、色を変化させて案内します。

フロントインフォディスプレイの設定をする

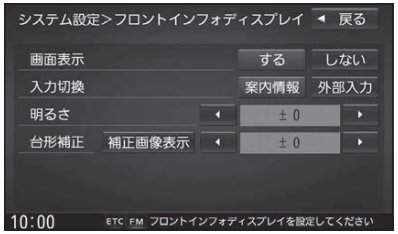
フロントインフォディスプレイをご利用になる前に、下記設定を行ってください。

1 情報・設定メニュー(P.25)から**システム設定**を選ぶ

2 システム設定画面から**その他設定**を選ぶ

3 **フロントインフォディスプレイ**を選ぶ

4 各項目を設定する



[**太字**:お買い上げ時の設定]

項　目	設定内容/操作
画面表示	「**す　　る**」:フロントインフォディスプレイに案内が表示される 「**し　な　い**」:フロントインフォディスプレイには何も表示されない
入力切換	「**案 内 情 報**」:本機の案内が表示される 「**外 部 入 力**」:フロントインフォディスプレイの外部入力接続端子に接続した機器の映像が表示される*1
明るさ	フロントインフォディスプレイの明るさを、◀/▶で調整する ● 調整範囲:−5〜**±0**〜+5(11段階)
台形補正	フロントインフォディスプレイの傾きを、◀/▶で補正する ● 調整範囲:−3〜**±0**〜+3(7段階) ● 上辺/底辺の長さを調整することで画像の見えかたを補正します。 ● **補正画像表示**を選ぶと、カラーバーがフロントインフォディスプレイに表示されます。カラーバー画面が長方形になるように調整してください。

*1 走行中は表示されません。(案内情報が表示されます。)外部入力機器の映像を見るには、安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いてご覧ください。

表示例

★印…ルート案内中のみ、表示されます。

■ 一般道路走行情報

道路名称、運転アドバイスマーク、到着予想時刻と残距離★、分岐地点までの距離★、分岐地点の交差点名称と進む方向★、渋滞または規制情報★などが、表示されます。

■ 通過交差点情報

通過する交差点の名称、レーン情報が、表示されます。

●レーンごとの渋滞情報が表示されます。
(該当の情報が配信されているエリアのみ)

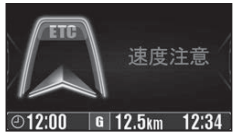
★

■ 分岐案内

分岐地点までの距離、分岐地点の名称、分岐方向などが、表示されます。一般道の場合には、レーン情報も表示されます。

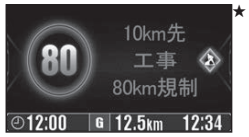
■ ハイウェイ案内

都市高速、都市間高速道路、一部の有料道路を走行すると、SA・PA・IC・JCTや料金所の名称、自車からの距離、運転アドバイスマーク、施設の情報、渋滞または規制情報★などが、表示されます。



■ ETC案内

料金所手前でETCレーンの情報が、表示されます。
(ETC2.0車載器接続時のみ)



★

■ VICS案内

ルート上の渋滞/規制情報がある地点に近づくと、表示されます。(約5秒間)

●VICS案内(P.176)を「する」に設定した場合のみ、表示されます。

■ 安心運転サポート情報

一時停止案内/合流案内/踏切案内/制限速度案内/指定方向外禁止案内/ライト点灯案内/高速レーン減少案内/カーブ案内/事故多発地点案内/速度超過警告が、表示されます。(約5秒間)

●各設定(P.40)に応じて表示されます。

●一時停止案内は、その地点を通過するまで表示され続けます。

★

■ 到着案内

目的地に近づくと、表示されます。

別売品と組み合わせて使う

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

リアビューカメラと組み合わせる

リアビューカメラの設定をする

リアビューカメラをご利用になる前に、下記設定を行ってください。

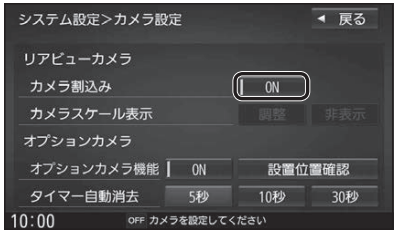
1 情報・設定メニュー(P.25)から**システム設定**を選ぶ

2 システム設定画面から**その他設定**を選ぶ

3 **カメラ設定**を選ぶ

4 カメラ割込み**ON**を選ぶ

- カメラ設定がONになります。
  [お買い上げ時の設定：OFF]
- 再度選ぶと、OFFになります。

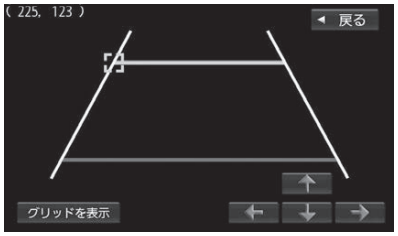


5 カメラスケール表示の**調整**を選ぶ

6 カメラスケールを調整する

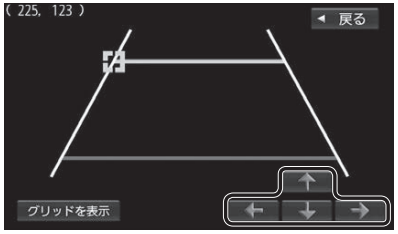
1 カメラスケールの調整したい点をタッチする

- 点の表示が[ ]に変わります。

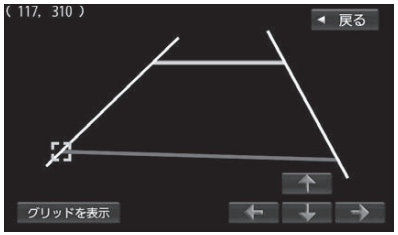


2 ← → ↑ ↓で位置を調整する

- **グリッドを表示**:
  調整の目安となるグリッドを表示します。



3 手順**6−1**～**6−2**を繰り返して、4点を調整する



リアビューカメラに切り換える

カメラの映像は、視野・距離感が目視時とは異なります。車両を移動させる際には、必ず目視でも確認してください。

準 備

- カメラ設定をしてください。(P.172)

車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる

- カメラの映像が表示されます。

お知らせ

- 車のシフトレバーを「R」に入れないと、カメラの映像は表示されません。
- カメラ映像が見にくいときは、「カメラスケール表示」の調整画面(P.172)を表示させ、画質を調整してください。(P.130)

ビデオカメラと組み合わせる

接続した入力モードに切り換えてください。

■ HDMIで接続している場合

オーディオメニュー(P.24)から**HDMI**を選ぶ

■ 映像・音声入力コードで接続している場合

オーディオメニュー(P.24)から**VTR**を選ぶ

- 接続した機器の映像と音声が出力されます。

利用に応じた設定に変える

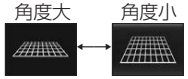
[**太字**：お買い上げ時の設定]

表示の設定をする

1 情報・設定メニュー（P.25）から**ナビ設定**を選ぶ

2 ナビ設定画面から**表示**を選ぶ

3 各項目を設定する

	項　目	設定内容
メイン画面用地図設定（1画面・左画面）	**地図モード** （P.44）	「北 向 き」：ノースアップで表示する 「**進行方向**」：ヘディングアップで表示する 「3　　D」：3D地図で表示する
	3D視角調整	3Dの地図の傾きを設定する 角度大　角度小
	吹き出しを表示 （P.34）	「**す　る**」：高速道路や交差点を吹き出しで表示する 「しない」：吹き出し表示しない
	標高地図を表示 （P.30）	「**す　る**」：広域縮尺の地図で、標高地図を表示する 「しない」：標高地図を表示しない
	オプションボタン （P.163、167、168）	**設定する**を選ぶ 「**ドライブレコーダー動画録画**」：ドライブレコーダーの動画録画タッチキーを表示（P.168） 「ドライブレコーダー静止画撮影」：ドライブレコーダーの静止画撮影タッチキーを表示（P.167） 「　オプションカメラ　」：オプションカメラタッチキーを表示（P.38） 「　　表示しない　　」：オプションボタンを表示しない
右画面用地図設定	**右画面に地図表示** （P.45）	「す　る」：右画面に地図を表示する 「**しない**」：右画面に地図を表示しない
	名称の文字サイズ	「**標　準**」：右画面の地図の文字を大きくする 「　小　」：右画面の地図の文字を小さくする
	吹き出しを表示 （P.34）	「**す　る**」：右画面に高速道路や交差点を吹き出しで表示する 「しない」：右画面に吹き出し表示しない
	標高地図を表示 （P.30）	「**す　る**」：右画面の広域縮尺の地図で、標高地図を表示する 「しない」：右画面に標高地図を表示しない
	地図モード （P.44）	「北 向 き」：右画面をノースアップで表示する 「進行方向」：右画面をヘディングアップで表示する 「**3　　D**」：右画面を3D地図で表示する
	3D視角調整	右画面の3Dの地図の傾きを設定する 角度大　角度小 
地図色設定	**昼夜切換**	「時 間 連 動」：時間に連動して、昼画面/夜画面を切り換える 「　　昼　　」：常に昼画面で表示する 「　　夜　　」：常に夜画面で表示する 「**スモール連動**」：車のスモールランプに連動して、昼画面/夜画面を切り換える
	標高地図色 （P.30）	「**季 節 連 動**」：季節に連動して、標高地図の色を切り換える 「春」：常に春の地図色で表示する　「夏」：常に夏の地図色で表示する 「秋」：常に秋の地図色で表示する　「冬」：常に冬の地図色で表示する 「　標　準　」：標準的な色彩の地図色で表示する

[**太字**：お買い上げ時の設定]

表示の設定をする（続き）

	項　目	設定内容
情報バー表示設定	**MAPCODEを表示** （P.36）	「**す　る**」：情報バーにマップコードを表示する 「しない」：情報バーにマップコードを表示しない
	地図情報を表示	「**住所名**」：情報バーに現在地の住所を表示する 「道路名」：情報バーに現在地の道路の名称を表示する
	AUDIO情報を表示 （P.34）	「す　る」：情報バーにオーディオの情報を表示する 「**しない**」：情報バーにオーディオの情報を表示しない
	残距離/到着時刻を表示 （P.37）	「**経由地**」：経由地までの残距離と到着予想時刻を表示する 「目的地」：目的地までの残距離と到着予想時刻を表示する
その他設定	**緯度・経度を表示** （P.36）	「す　る」：地図モード画面に緯度・経度を表示する 「**しない**」：緯度・経度を表示しない
	冠水注意ポイント表示	「**す　る**」：豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある地点を表示する 「しない」：冠水注意ポイントを表示しない
	市街地図での冠水注意ポイント表示	「**す　る**」：冠水注意ポイント表示「する」のとき、市街地図でも冠水注意ポイントを表示する 「しない」：市街地図で冠水注意ポイントを表示しない
	登録地を表示 （P.70）	「**す　る**」：地図に登録地を表示する 「しない」：地図に登録地を表示しない
	時計表示 （P.34）	「**す　る**」：時計を表示する 「しない」：時計を表示しない 「映像中はしない」：オーディオがTV、Blu-ray Disc、DVD、SD（動画）、USB（動画）、iPodビデオ、VTR、HDMI、Drive P@ssのとき、時計を表示しない（他の画面では表示する） ● 本機はGPSアンテナで受信した時刻を表示しているため、テレビ番組の時刻表示とは異なる時刻が表示される場合があります。
	デュアルウィンドウを表示 （P.45）	「す　る」：オーディオがTV、Blu-ray Disc、DVD、SD（動画）、USB（動画）、iPodビデオ、VTR、HDMI、Drive P@ssのとき、右画面にオーディオの映像を表示する 「**しない**」：デュアルウィンドウ表示しない
	50 m市街地図表示 （P.30）	「**す　る**」：50 m縮尺のとき、市街地図で表示する 「しない」：50 m縮尺のとき、広域地図で表示する
	ランドマーク	● 設定のしかた→P.47
	ランドマーク表示	● 設定のしかた→P.47
	自車位置（通常は必要ありません）	● 設定のしかた→P.16
	走行軌跡	● 設定のしかた→P.46

案内の設定をする

1 情報・設定メニュー（P.25）から**ナビ設定**を選ぶ

2 ナビ設定画面から**案内**を選ぶ

3 各項目を設定する

	項　目	設定内容
案内表示項目設定	**ルートの全表示** （P.58）	「**す　る**」：ルート探索後、全ルート図を表示する 「しない」：ルート探索後、全ルート図を表示しない
	交差点情報の表示 （P.36、37）	「**常　時**」：常に交差点情報を表示する 「案内中」：ルート案内中のみ交差点情報を表示する 「しない」：交差点情報を表示しない
	ETCレーンの表示 （P.33）	「**す　る**」：ETCレーン案内を表示する 「しない」：ETCレーン案内を表示しない

[**太字**：お買い上げ時の設定]

案内の設定をする（続き）

項　目		設定内容
案内表示項目設定（続き）	**JCTビューの表示** （P.33）	「**す　る**」：ジャンクションビューを表示する 「しない」：ジャンクションビューを表示しない
	目的地方向を表示 （P.37）	「**す　る**」：目的地方向直線を表示する 「しない」：目的地方向直線を表示しない
	ルート情報の表示 （P.31）	「す　る」：ルート案内中、専用レーン案内とハイウェイマップを表示する 「**しない**」：ルート情報を表示しない
	ハイウェイモードの表示 （P.31） ● ルート情報の表示が「しない」の場合のみ設定できます。	「**す　る**」：ハイウェイマップを表示する 「しない」：ハイウェイマップを表示しない
	交差点拡大図の表示 （P.32）	「**す　る**」：交差点拡大図を表示する 「しない」：交差点拡大図を表示しない
	リアル3D表示 （P.32）	「**す　る**」：複雑な交差点などを、リアルな3D図で表示する 「しない」：リアル3D表示しない
	方面看板の表示 （P.31）	「**常　時**」：常に方面看板を表示する 「案内中」：ルート案内中のみ方面看板を表示する 「しない」：方面看板を表示しない
	Audio画面中の案内割込み	「**す　る**」：オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内する 「しない」：オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内しない
	デュアルウィンドウ中の案内割込み	「**す　る**」：右画面にAudioの映像を表示させた地図（デュアルウィンドウ）に割り込んでルート案内する 「しない」：デュアルウィンドウ中に割り込んでルート案内しない
	EWS（緊急情報）の割込み （P.85）	「**す　る**」：TVのEWS（緊急情報）を受信したら、割り込み表示する 「しない」：EWS（緊急情報）の割り込み表示をしない
案内音声項目設定	**案内出力スピーカー** ● 本機の案内音声を出力するスピーカーを設定します。	「左　前」：左のフロントスピーカーから出力する 「**右　前**」：右のフロントスピーカーから出力する
	専用レーン案内 （P.66）	「**す　る**」：ルート案内中に右左折専用レーンがある場合、案内する 「しない」：専用レーン案内しない
	高速走行時の音量切換	「**す　る**」：高速走行時に、音量を自動的に上げる 「しない」：高速走行時も、音量を上げない
	案内時のAudio音量消音	「す　る」：ナビ音声案内時にオーディオの音量を下げる　案内出力スピーカー（上記）からのオーディオ音声は消音されます。 「**しない**」：ナビ音声案内時にオーディオの音量を消音しない
	VICS案内 （P.67）	「**す　る**」：渋滞/規制情報がある場合に音声案内する 「しない」：渋滞/規制情報の音声案内をしない
	休憩メッセージ案内 （P.69）	「**す　る**」：ルート案内中に長時間経過すると、休憩を促す音声案内を行う 「しない」：休憩メッセージ案内しない
	トンネル出口案内 （P.66）	「**す　る**」：トンネルに入ると音声で案内する 「しない」：トンネル出口案内しない

[**太字**：お買い上げ時の設定]

探索条件の設定をする

1 情報・設定メニュー（P.25）から**ナビ設定**を選ぶ

2 ナビ設定画面から**探索**を選ぶ

3 各項目を設定する

項　目		設定内容
詳細条件	**自動再探索** （P.69）	「**す　る**」：ルートから外れた道を走ると自動的に再探索する 「しない」：自動再探索しない
	フェリーを優先	「す　る」：フェリー航路を優先して通るルートを探索する 「**しない**」：フェリー航路を優先して通るルートを探索しない
	時間規制道路を考慮 （P.64、67）	「**す　る**」：時間規制を考慮したルートを探索する 「しない」：道路の時間規制を考慮しない
	VICS自動再探索＊1 （P.67）	「**す　る**」：VICS情報を考慮して、ルートを自動的に再探索する 「しない」：VICS自動再探索しない
	新旧ルート比較画面を表示 （P.67）	「**す　る**」：曜日時間規制探索やDRGSでルートが再探索されたとき、変更前のルートも通行可能であれば、新旧ルート比較画面を表示する 「しない」：新旧ルート比較画面を表示しない
	到着予想	「**自　動**」：VICS情報や統計交通情報を考慮して、自動的に到着予想時刻を計算する
		「手　動」：一般道・国道・有料道路の平均速度を手動で入力し、その数値をもとに到着予想時刻を算出する　**＋/－ で設定する** ● 一　般　道：5～**50**～60 km/h ● 国　　道：5～**65**～80 km/h ● 有料道路：5～**80**～100 km/h

＊1 ストラーダチューン（ルート）で、VICS考慮「しない」に設定されている場合は、選択できません。（P.40）

渋滞情報（VICS）の設定をする

1 情報・設定メニュー（P.25）から**ナビ設定**を選ぶ

2 ナビ設定画面から**渋滞情報**を選ぶ

3 各項目を設定する

項　目		設定内容
ビーコン割込み設定	**ビーコン受信音**	「**す　る**」：情報を受信すると、受信音を鳴らす 「しない」：情報を受信しても、受信音を鳴らさない
	ビーコン割込み	「**す　る**」：情報を受信すると、自動的に表示される 「しない」：情報は自動的に表示されない
渋滞情報保存時間設定		渋滞情報を保存する時間を設定する 調整範囲：15分/30分/**1時間**/2時間
ETC2.0設定	**ETC2.0受信音**	「**す　る**」：一般情報を受信すると、受信音を鳴らす 「しない」：一般情報を受信しても、受信音を鳴らさない
	ETC2.0割込み	「**す　る**」：一般情報を受信すると、自動的に表示される 「しない」：一般情報は自動的に表示されない
	ETC2.0自動音声再生	「**す　る**」：情報を受信すると、自動的に音声案内される 「しない」：情報は自動的に音声案内されない
	ETC2.0アップリンク	「**す　る**」：本機で収集した情報を、ITSスポットに自動的に送信する 「しない」：本機で収集した情報を、ITSスポットに送信しない

利用に応じた設定に変える

[**太字**：お買い上げ時の設定]

ETCの設定をする

1 情報・設定メニュー（P.25）から**ナビ設定**を選ぶ

2 ナビ設定画面から**ETC**を選ぶ

3 各項目を設定する

項　目	設定内容
ETC音声ガイド	「**す　る**」：利用料金などを、本機から音声で案内する 「しない」：ETC音声ガイドしない
カード入れ忘れ案内	「**す　る**」：本機の電源がONになったときにETCカードが挿入されていない場合、本機から音声で案内される*1 「しない」：カード入れ忘れ案内しない
カード抜き忘れ案内	「**す　る**」：本機の電源がOFFになったときにETCカードが取り出されずに車載器に残っている場合、本機から音声で案内される*1 「しない」：カード抜き忘れ案内しない
カード有効期限切れ案内*2	「**す　る**」：ETCカードの有効期限が切れている場合、本機の電源がONになったときに本機から音声で案内される*1 「しない」：カード有効期限切れ案内しない

＊1 ETC音声ガイドを「しない」に設定しても案内されます。
＊2 ETCカードの有効期限を確認するための補助手段です。
ETCを使用する前は、必ずETCカードに記載されている有効期限を確認してください。

システムの設定をする

1 情報・設定メニュー（P.25）から**システム設定**を選ぶ

2 各項目を設定する

項　目		設定内容
BLUETOOTH		設定のしかた→P.134～138
セキュリティ	**セキュリティ設定**（P.27）	「す　る」：セキュリティ設定をする 「**しない**」：セキュリティ設定をしない
	盗難多発地点音声案内（P.15）	「**す　る**」：盗難多発地点を音声で案内する 「しない」：盗難多発地点を音声で案内しない
	盗難多発地点表示案内（P.34）	「**す　る**」：盗難多発地点を表示で案内する 「しない」：盗難多発地点を表示で案内しない
	市街地図での盗難多発地点表示案内（P.34）	「**す　る**」：市街地図で盗難多発地点を表示で案内する 「しない」：市街地図で盗難多発地点を表示で案内しない
	iPod抜き忘れ案内（P.15）	「**す　る**」：iPodの抜き忘れ案内をする 「しない」：iPodの抜き忘れ案内をしない
ユーザーカスタマイズ		設定のしかた→P.21
画質調整		設定のしかた→P.130
キー操作音		「**す　る**」：キー操作音を鳴らす 「しない」：キー操作音を鳴らさない
ステアリングスイッチ		設定のしかた→P.23
その他設定	**車種設定**	設定のしかた→P.21
	車両メンテナンス	設定のしかた→P.159
	カメラ設定	設定のしかた→P.163、172
	バージョンアップ	設定のしかた→P.162
	フロントインフォディスプレイ	設定のしかた→P.170
	車速パルス検出レベル	「**標　　準**」：通常は「標準」に設定する 「低レベル」：「標準」では車速パルスが検出できないときに設定する （お買い上げの販売店にご相談ください）
	初期化	設定のしかた→P.179

各種設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 情報・設定メニュー（P.25）から**システム設定**を選ぶ

2 システム設定画面から**その他設定**を選ぶ

3 **初期化**を選ぶ

4 初期化する項目を選ぶ

項　目	内　容
SDカードの初期化	SDメモリーカード*1を初期化する ● 録音した音楽データも削除されます。 ＊1 NTFSファイルシステムは初期化できません。
登録データの初期化	登録・設定した内容（登録地・登録ルートなど）を初期化する
ルート学習結果の初期化	本機のルート学習機能を初期化する
入力履歴の初期化	名称検索で入力した履歴を削除する
TVの初期化	TVで設定した内容を初期化する
出荷状態に戻す	個人情報に関する設定をお買い上げ時の状態に戻す ● オーディオがOFFに切り換わります。

5 **はい**を選ぶ

6 **はい**を選ぶ

●選んだ項目が初期化されます。

●**初期化（削除）した項目は、もとに戻せません。**
誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。

7 **初期化が完了したら、車のエンジンを止め（ACC OFF）、約10秒間放置してから、再度車のエンジンをかける（ACC ON）**

●本機が再起動します。

お願い

●**初期化中は他の操作（オーディオを切り換えるなど）をしないでください。**
故障の原因となります。

お知らせ

●録音データの初期化はP.115、Gracenoteデータベースの初期化はP.127をご覧ください。

●他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報（登録地の住所や電話番号など）、登録ルートなどの登録情報を必ず削除してください。

●他人への譲渡または処分などの場合は、センサー学習値初期化をしてください。（P.19）

●バッテリー交換をした際には、下記の設定が初期化されます。
・CD再生モード
・FM/AM
・交通情報
・オーディオチューン（車速連動音量以外）
・音量調整
・映像調整
・画質調整

よくあるお問い合わせ

*斜体の項目*の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

自車マークが表示されない

●地図モード画面になっている。
→ MAP を押してください。(P.36)

自車位置が正しく表示されない

●ACC OFFの状態で車を移動した。(フェリーボート、駐車場のターンテーブルなど)
→しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
●GPS衛星からの信号の誤差が大きい。
→しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
●GPS信号を妨げる障害物などがないか確認してください。
●***GPSアンテナが、受信しにくい場所に付いていないか確認してください。***(取付説明書)
●距離、回転、3Dの補正が完了していない。
→「学習レベル」を確認してください。(P.19)
●***GPSアンテナのコードや、車速信号(中継)コード、リバースコードなどが、正しく接続されているか確認してください。***(取付説明書)
●GPSアンテナが、ナビゲーションユニットや別売のETC2.0車載器のアンテナの近くに取り付けられている。
→***GPSアンテナは、ナビゲーションユニットから20 cm以上、ETC2.0車載器のアンテナユニットから15 cm以上離して取り付けてください。***(取付説明書)

縮尺を切り換えたのに、元の縮尺に戻る

●地図モード画面で縮尺を切り換えている。
→地図モード画面で切り換えた縮尺は、現在地画面に反映されません。
現在地画面で 詳細 / 広域 を選び、縮尺を切り換えてください。(P.43)

ディスクやSDメモリーカードが正しく読めない

●ディスクやSDメモリーカードが汚れている。
→汚れを取り除いてください。
●ディスクが表裏逆に挿入された。
→正しい面で挿入しなおしてください。

地図の年度更新の方法について知りたい

●年度更新地図の発売時期・販売方法については、決定しだい、下記サイトにてご案内します。
http://panasonic.jp/navi/

故障かな!?

*斜体の項目*の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源・共通

	内　容	ページ
動作	**電源が入らない**	
	車のエンジンがかかっていない。 ●エンジンをかけて(ACCをONにして)ください。	15
	低温状態になっている。 ●故障ではありません。内部が温まると、自動的に起動します。 (オーディオに関する一部の情報や設定はお買い上げ時の状態に戻ります。)	—
	本機が動作しない	
	地図SDHCメモリーカードが正しく挿入されていない。 ●地図SDHCメモリーカードを正しく挿入して、電源を入れなおしてください。	15、161
	他の機器で使用した地図SDHCメモリーカードが挿入されている。 ●地図SDHCメモリーカードは、お買い上げ時に挿入されていた機器でのみ使用できます。地図SDHCメモリーカードを正しく挿入して、電源を入れなおしてください。	—
	ディスプレイの上下角度が調整できない	
	障害物などに当たっていたり、コードを挟み込んでいないかを確認してください。	—
	タッチパネルの反応が悪い/反応しない	
	フリック/ドラッグ/ピンチ/2点タッチ/ダブルタップ操作をしている。 ●画面によっては、上記の操作ができません。	14
	指の動きより遅れて反応する場合があります。故障ではありません。	—
	ステアリングスイッチが正しく動作しない	
	ステアリングスイッチ設定が、正しく完了していない。 ●ステアリングスイッチ設定画面で、登録可能なすべてのステアリングスイッチを登録後、完了を選んで設定を完了してください。	23
	本機が温かくなる	
	長時間連続して使用している。 ●正常に機能している場合は、故障ではありません。	—
	SDメモリーカードを挿入しても本機が認識しない	
	本機または専用フォーマッター以外でフォーマットしたSDメモリーカードは、本機では認識しない場合があります。 ●SDメモリーカードを本機で初期化するか、専用フォーマッターでフォーマットしてください。	179、199
画面/映像	**映像が暗い/白っぽい/色あいが悪い/色が薄い**	
	画質調整が適切でない。 ●各項目を調整してください。	130
	画面に赤、青または緑の点が表示される	
	液晶ディスプレイ特有の現象です。(故障ではありません。)	—
	ディスプレイに何も表示されない/ナビゲーションの映像が表示されない	
	オーディオがHDMI/VTRになっている。 ●他のオーディオに切り換えるなどして、HDMI/VTR以外の画面を表示させてください。	82
	一時的に画面を消している(画面消) ● AUDIO / MENU / MAP のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	18
	電源コード/接続ハーネスの接続をご確認ください。	取付説明書
	アクセサリーコード/電源コネクターのヒューズが切れている。 ***●お買い上げの販売店にご相談ください。***	取付説明書

電源・共通

	内　容	ページ
画面／映像	**音声は出るが、映像が出ない**	
	一時的に画面を消している(画面消) ● AUDIO /MENU /MAP のいずれかを押してください。	18
	パーキングブレーキを引いていない。 ● 安全な場所に停車して、パーキングブレーキを引いてください。	—
	サイドブレーキコードの接続が外れていないか確認してください。	取付説明書
音声	**ステレオのとき左右の音が逆になる**	
	スピーカーコードの接続を確認してください。	取付説明書
	左右前後のいずれかの音が出ない	
	FADE/BALANCEの設定を確認してください。	124
	各コードの接続を確認してください。	取付説明書
	音が悪い(音がとぶ)	
	Blu-ray Disc・DVD・CDなどの場合は、ディスクの汚れをクリーニングしてください。	198
	本機の取り付けを確認してください。 ***● 角度を40°以内に調整し、振動しないようにしっかりと取り付けてください。***	取付説明書
	雑音が出る	
	携帯電話などを本機から離してください。	—
	アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	取付説明書

ナビゲーション

	内　容	ページ
表示	**VICS情報が表示されない(FM VICS)**	
	VICSを放送している放送局を受信しているか確認してください。	75
	FMの電波が弱い。 ● 障害物(トンネルやビルの陰など)のない場所に移動してください。 ● 電波の強い周波数の放送局を選局してください。	— 75
	地図情報の保持時間が過ぎた。 ● 新しい情報を再度受信するまでお待ちください。	—
	VICSのサービス外の地図を表示している。 ● VICSのサービスを行っている圏内の地図を表示し確認してください。	—
	モーターアンテナ設定がONの状態で、AUDIO OFFに切り換えた。 ● モーターアンテナ設定がONの状態でAUDIO OFFに切り換えると、VICS情報を受信できません。AUDIO ONに切り換えてください。	21、83
	ラジオアンテナの接続を確認してください。	取付説明書
	VICS情報が表示されない(光ビーコン/ETC2.0) ※ 別売のETC2.0車載器が必要です。	
	ETC2.0車載器の取り付け状態が悪く受信できない。 ● アンテナの上に物を置かないでください。 ● 極端にフロントガラスが汚れている場合は、きれいにしてください。 ***● 取り付け位置や接続を確認してください。***	— — 取付説明書
	電波不透過ガラスや赤外線反射ガラス装着車両では、受信できない場合があります。 ***● お買い上げの販売店にご相談ください。***	—
動作	**登録地が登録されない/設定が変更されない/探索したルートが削除された**	
	操作のあと、すぐに電源を切った。 ● 再度操作してください。	—

ナビゲーション

	内　容	ページ
動作	**戻るを選んでも、前の画面に戻らない**	
	画面によっては、戻るを選んでも前の画面に戻らない場合があります。	—
	地図画面上でフリック/ドラッグ以外の操作ができない	
	フリック/ドラッグ操作でスクロール中は、画面上でそれ以外の操作はできません。 ● 約1秒間何も操作せずに、地図モード画面になってから操作してください。	—
案内	**音声案内されない**	
	ナビ案内音量の設定で、音量が「消音」に設定されている。 ● ナビ案内音量の設定を調整してください。	17
	ルートから外れている。 ● 現在地画面で自車がルート上にあるかを確認し、ルートに戻ってください。 ● 再探索してください。	36、37 69
	自動再探索が「しない」に設定されている。 ●「する」に設定してください。	177
	ルートに対して逆走行している。 ● 目的地の方向を確認してください。 ● 再探索してください。	37 69
	各コードの接続を確認してください。	取付説明書
	オーディオの音声は出力されるのに、ナビゲーションの音声案内が出力されない	
	ナビ案内音量の設定で、音量が「消音」に設定されている。 ● ナビ案内音量の設定を調整してください。	17
	ルート案内中に料金案内されない	
	ルートが有料道路上から始まっている。 ● 有料道路上で自動再探索や再探索してルートが有料道路上から始まっているときは、料金案内されない場合があります。	—
	有料道路以外で有料案内する	
	地図データで有料道路判定をするため、最近無料化された道路などは、実際と異なり有料案内することがあります。	—
	料金所が入口付近になくても、有料道路の手前で音声案内します。	—
	高速道路を走行中に一般道路の案内をする/一般道路を走行中に高速道路の案内をする	
	高速道路と一般道路が平行にあるときは、誤った道路が案内される場合があります。 ● ランチャーメニューから、道路切換を選んでください。	38
	一般道優先で探索しているのに、有料道路上にルートを作る	
	現在地と目的地の場所によっては、一般道優先で探索しても有料道路上にルートを作ることがあります。(故障ではありません。) ● 通りたい一般道路上に経由地を設定してください。	57、60、61

オーディオ[TV]

	内　容	ページ
映像／音声	**映像も、音声も出ない**	
	本機が異常に高温になっている。 ● 車内の温度を下げてから、本機の電源を入れなおしてください。	—
	受信状態が悪い。 ● 車のある場所や方向により、受信状態が変化します。受信状態の良い場所に移動してください。	—

オーディオ[TV]

	内　容	ページ
映像／音声	**電源を入れても映像がすぐに出ない**	
	本機は電源を入れても、ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合があります。(故障ではありません。)	—
	映像や音声が出ない(ときどき出なくなる)/映像が静止する(ときどき静止する)	
	車のある場所や方向により受信状態が変化します。 視聴中に、受信状態により「黒色」画面になることがありますが、故障ではありません。	—
	車両の搭載機器(電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、HIDランプなど)の動作によってノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。	—
	自動車/バイク/高圧線/ネオンサイン等の近くを車が通過したとき、アンテナレベルが低下することがあります。	—
	受信状態の良くないときに、受信モードが「地上D」になっている。 ●受信モードを「自動切換」または「ワンセグ」に切り換えてください。	89
	地上デジタル放送が受信できない/受信状態が悪い	
	地上デジタル放送の放送エリア外にいる場合、受信できません。 また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	ホームモード/おでかけモードが正しく設定されているか確認してください。	89
	周波数再編(リパック)が実施された。 ●エリアプリセットを解除して、再スキャンを行ってください。	89、90
	地上デジタルアンテナの接続を確認してください。	取付説明書

オーディオ[FM/AM]

	内　容	ページ
動作	**エンジンをかけると、車のラジオアンテナが上下する**	
	エンジンをかけるタイミングにより、上下する場合があります。(故障ではありません。)	—
音声	**●ラジオが受信できない　　●ノイズが多い**	
	放送局の電波が弱い。 ●放送局を変えてください。	91
	ラジオアンテナが十分に伸びているか確認してください。	—
	周波数再編が実施された。(これまで受信できた放送局が受信できなくなった) ●新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。	91
	ワイドFM非対応のラジオアンテナでFM補完放送を受信しようとした。 ●ラジオアンテナがワイドFMに対応していない場合は、FM補完放送を受信できません。	—
	●ラジオアンテナの接続・設定を確認してください。 ***●ラジオアンテナのケーブルを他のコードと束ねたり・重ねたり・交差させたりせず、できるだけ離してください。***	取付説明書

オーディオ[Blu-ray Disc] [DVD]

	内　容	ページ
動作	**タッチパネルを操作しても、動作しない**	
	ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。	—
	BD-Jディスクは、メニュー画面を直接タッチして項目を選択できません。 ●カーソルで項目を選んでください。	95

オーディオ[Blu-ray Disc] [DVD]

	内　容	ページ
動作	**設定した字幕言語/音声言語/アングルが切り換わらない**	
	複数の字幕/音声/アングルが記録されていないディスクでは、切り換えられません。 ●トップメニューなどで切り換えたり、特定の映像のみアングルなどを切り換えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
	設定した字幕言語/音声言語で再生されない	
	設定した字幕/音声が記録されていないディスクでは、設定どおりの字幕/音声で再生されません。 ●トップメニューなどで切り換えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
	メニュー画面のメッセージが希望の言語にならない	
	「言語設定」でメニュー言語の設定を確認してください。	97、100
	ディスクを挿入しても再生できない	
	ディスクを正しい面で挿入しなおしてください。	92
	再生できるディスクを使用してください。	92、196
	ディスク挿入後、またはBlu-ray Disc/DVDに切り換えたあとに、フォーマットが識別される少しの間、音がとぎれることがあります。	—
音声	**再生中に小さい音が聞き取りにくい**	
	「ダイナミックレンジ圧縮」の設定を、「ON」に設定してください。	97、100
	Blu-ray Disc/DVD再生の音量が小さい	
	音楽CDとBlu-ray Disc/DVDの録音レベルには差があります。 ●Blu-ray Disc/DVD再生時には、音楽CD再生時よりも音量を上げてください。	17
	音質が悪い(音がとぶ)	
	本機の取り付けを確認してください。 ***●角度を40°以内に調整し、振動しないようにしっかりと取り付けてください。***	取付説明書

オーディオ[MP3/WMA(CD-R/CD-RW)]/[SD]/[USB]

	内　容	ページ
動作	**再生するまで時間がかかる**	
	記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。 ●MP3/WMA以外のファイルや必要ないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。	—
	順番どおりに再生されない	
	書き込んだ順番に再生されます。 ●再生したい順番に、書き込んでください。 ●ファイル名の頭に「001」～「512」などと入力することで順番を設定できるライティングソフトもあります。	— —
	再生できない	
	使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって、正しく再生されない場合があります。	—
	ビットレート/サンプリング周波数が誤っている。 ●ビットレート/サンプリング周波数を確認してください。	200
	ファイルが破損している。 ●本機が再生できる形式で、ファイルを作りなおしてください。	200

*斜体の項目*の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

オーディオ [MP3/WMA (CD-R/CD-RW)]/[SD]/[USB]

	内 容	ページ
動作	**再生できない**(続き)	
	ファイルには以下の拡張子を必ず付けてください。 ●MP3ファイル：拡張子「mp3(MP3)」 ●WMAファイル：拡張子「wma(WMA)」 ●AACファイル：拡張子「m4a(M4A)」	—
音声	**音質が悪い(音がとぶ)**	
	ディスクの汚れをクリーニングしてください。	198
	音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートの設定などにより異なります。詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。	200、201
	低倍速で、再度データを書き込んでください。	—
	再生経過時間は表示されているが、音が出ない	
	ミックスモード(第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマット)のディスクの第1トラックを再生した。 ●ミックスモードで再生しようとした場合、MP3/WMAファイルが無音で再生されることがあります。	—
表示	**●ファイル名/フォルダ名が正しく表示されない** **●曲情報が正しく表示されない**	
	規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。	200
	使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって文字などが正しく表示されない場合があります。	—
	再生経過時間の表示が実際と一致していない	
	再生中、ACCをOFFにした。 ●他のファイルを選んで再生すると、正常に戻ります。	—
	可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。	—

オーディオ [MEMORY MUSIC]

	内 容	ページ
録音	**録音設定の切り換えができない**	
	録音中である。 ●録音を停止してください。	105
動作	**CDから録音した曲が再生されない**	
	曲のファイルが破損している。 ●再生されない曲を削除し、再度CDから録音してください。	105、111
表示	**録音した音楽CDのアルバム名/曲名が表示されない**	
	新譜などのため、Gracenoteデータベースにタイトル情報がない。 ●タイトル検索ソフトを使用してタイトル情報を取得してください。	113、114
音声	**音質が悪い(音がとぶ)**	
	ご使用になるSDメモリーカードによっては、再生時の音飛びが発生する場合があります。いったん音楽データを削除してから、再度録音してください。 ●改善されない場合は、本機またはSDフォーマッターでSDメモリーカードを初期化し、再度録音してください。なお、初期化するとデータは全て削除されます。必要なデータはあらかじめパソコンにバックアップを取ってください。 ●それでも改善されない場合は、転送速度の速いSDメモリーカードに変更してください。	105、111 179、199 —

オーディオ [iPod]

	内 容	ページ
動作	**iPodが正しく動作しない**	
	iPodが正しく認識されていない。 ●***接続を確認してください。*** ●iPodをリセットしてから再度接続してください。	取付説明書 —
	Lightningコネクターを持つiPod/iPhoneを接続している。 ●Lightning-USBケーブルによる接続では、Drive P@ssとiPodミュージックを同時に利用することはできません。配線を変えてください。	121
	iPodビデオが映らない。 ●Lightningコネクターを持つiPod/iPhoneは、iPodビデオ再生には対応していません。	121
	iPodのバージョンが古い。 ●iPodのバージョンを確認してください。	120

BLUETOOTH

	内 容	ページ
登録	**BLUETOOTH対応機器を本機に機器登録できない**	
	BLUETOOTH対応機器のBLUETOOTH機能がOFFになっている。 ●BLUETOOTH 対応機器を操作して、BLUETOOTHをONに設定してください。	—
	BLUETOOTH Audio機器がA2DP(Advanced Audio Distribution Profile)に対応していない。 ●BLUETOOTH Audio機器は、A2DPに対応したものを登録してください。	—
	携帯電話がHFP(Hands-Free Profile)に対応していない。 ●ハンズフリー用の携帯電話は、HFPに対応したものを登録してください。	—
	BLUETOOTH 対応機器のファームウェア(ソフトウェア)が古い。 ●ファームウェアを最新にしてください。	—
	BLUETOOTH対応機器の登録機器リストで本機の機器名称(Strada)を選択しても、本機を登録できない	
	デバイスアドレスが本機のものと異なる。 ●本機と同じ名称の、別の機器が選択されています。本体情報画面でデバイスアドレスを確認して、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから、本機と同じデバイス機器アドレスの機器を選んで登録してください。	134、139
接続	**本機に接続できない**	
	BLUETOOTH対応機器が本機に機器登録されていない。 ●機器登録してください。	134
	携帯電話がHFP(Hands-Free Profile)に対応していない。 ●HFPに対応していないとBLUETOOTH接続できません。 (機種によっては、HFPに対応していなくても本機に登録される場合があります。)	—
	携帯電話がSPP(Serial Port Profile)に対応していない。 ●SPPに対応していないとスマホ連携接続できません。	—
	携帯電話の受信状態を確認してください。	—
	BLUETOOTH対応機器から本機までの距離が離れすぎている。 ●BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。	—
	自動的にペアリング情報が削除された。 ●本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機(Strada)を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	134、135
	自動接続が完了していない。 ●BLUETOOTH対応機器が本機と自動接続されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。	—

BLUETOOTH

	内 容	ページ
接続	**登録したBLUETOOTH対応機器が自動的に本機と再接続されない**	
	BLUETOOTH対応機器のBLUETOOTH機能が無効になっている。 ●BLUETOOTH機能を有効にしてください。	—
	BLUETOOTH対応機器が省電力モードに設定されている。 ●一定時間経過後に自動的にBLUETOOTH接続が解除される場合があります。BLUETOOTH対応機器の設定を変更してください。	—
	BLUETOOTH対応機器を操作して、BLUETOOTHによる本機との接続を解除した。 ●BLUETOOTH対応機器を操作して、再度本機とBLUETOOTH接続してください。 ●それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機(Strada)を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	136、137 134、135
	BLUETOOTH対応機器が操作待ちになっている。 (機種によっては、本機からのBLUETOOTH接続に対し、確認操作が必要なものがあります。) ●BLUETOOTH対応機器を操作してBLUETOOTH接続を許可してください。	—
	本機の近くに、他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ●混信するため、他の機器を本機から離してください。 ●それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	203 —
	BLUETOOTH対応機器が金属物に触れている。 ●金属物から離してください。	—
	BLUETOOTH対応機器と本機の間に障害物がある。 ●BLUETOOTH対応機器と本機の間の障害物を取り除いてください。	—
	BLUETOOTH対応機器から本機までの距離が離れすぎている。 ●BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。	—
	BLUETOOTHによる自動接続に失敗した。 ●いったんBLUETOOTH対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。 ●それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機(Strada)を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	— 134、135
	携帯電話がBLUETOOTH接続待機状態になっていない。 ●携帯電話がBLUETOOTH接続待機状態でないと、本機とBLUETOOTH接続されません。携帯電話を接続待機状態に設定してください。	—
	BLUETOOTH Audio BLUETOOTH Audio機器が自動接続に対応していない。 ●オーディオをBLUETOOTH Audioに切り換え、本機から手動で接続してください。	137
	ハンズフリー通話 携帯電話がハンズフリー接続待機状態になっていない。 ●携帯電話がハンズフリー接続待機状態でないと、本機とハンズフリー接続されません。携帯電話を接続待機状態に設定してください。	—
音声	**音質が悪い(音がゆがむ・ノイズが発生する)**	
	本機の近くに、他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ●混信するため、他の機器を本機から離してください。 ●それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	203 —
	携帯電話の受信状態を確認してください。	—
	BLUETOOTH対応機器の電池残量が少ない。 ●充電してください。	—

BLUETOOTH

	内 容	ページ
スマートフォン連携	**「Drive P@ss」「ここいこ♪」のデータを本機で取得できない**	
	スマートフォンが本機に正常に接続されていない。 ●BLUETOOTH接続状態を確認してください。 ●本機のスマホ連携接続の状態を確認してください。 ●スマホ連携接続をいったん解除してから、再度接続しなおしてください。	— 136 136
	iPhoneまたはiPodを本機のケーブルで接続した状態でiPhoneをBLUETOOTH接続しようとした。 ●iPhoneまたはiPodをケーブルで接続すると、ケーブルでの接続が優先されるため、iPhoneで「ここいこ♪」を利用することはできません。iPhoneまたはiPodをケーブルから取り外してください。	—
	「Drive P@ss」「ここいこ♪」を終了してもBLUETOOTH接続が解除されない	
	●手動でBLUETOOTH接続を解除してください。	136
	スマホ連携の接続が完了しない	
	●接続をいったん中止し、再度接続しなおしてください。	136
	スマホ連携の切断が完了しない	
	●スマートフォンを操作して切断してください。	—
	「Drive P@ss」が正しく動作しない	
	「Drive P@ss」がダウンロードされていない。 ●「Drive P@ss」の利用には、スマートフォンへ「Drive P@ss」のダウンロードが必要です。	144
	スマートフォンが本機にスマホ連携接続されていない。 ●本機のスマホ連携接続の状態を確認してください。	136
	スマートフォンが本機に正しく接続されていない。 ●ケーブルの接続を確認してください。	147 取付説明書
	「Drive P@ss」が起動されていない。 ●スマートフォンの「Drive P@ss」が起動されていることを確認してください。	—
	オーディオのHDMIの画面を表示させている。 ●オーディオのHDMIの画面では、「Drive P@ss」の操作はできません。本機で「Drive P@ss」を起動させてください。	148
ハンズフリー通話	**本機に機器登録された携帯電話でハンズフリー通話できない**	
	通話が携帯電話に切り換わっている。 ●ハンズフリー切換を選択し、ハンズフリー通話に切り換えてください。	140
	携帯電話のサービス圏外で使用している。 ●サービス圏内で使用してください。	—
	BLUETOOTHによる接続がされていない。 ●再度接続してください。	136
	携帯電話がマナーモードになっている。 ●機種によっては、マナーモードに設定していると本機から着信音が出力されない場合があります。マナーモードを解除してください。	—
	発着信時に相手の名前が表示されない	
	携帯電話の電話帳が本機に登録されていない。 ●電話帳を本機に登録してください。	142
	ハンズフリー通話中、エコーやハウリングが起こる	
	受話音量が大きすぎる。 ●音量を下げてください。	17、140

BLUETOOTH

	内 容	ページ
ハンズフリー通話	**通話中、相手の音声が聞き取りにくい**	
	自分と相手が同時に発声した。 ● 交互に話してください。	—
	受話音量が小さい。 ● 音量を上げてください。	17、140
	着信履歴から発信できない	
	番号非通知の相手にかけようとした。 ● 番号非通知の相手には発信できません。	—
	国際電話を受けた。 ● 携帯電話の契約によっては、国際電話への発信ができない場合があります。	—
	携帯電話の機種によっては、相手先の電話番号を本機に通知しないものがあります。 ● 携帯電話の着信履歴から直接発信してください。	—
	● 通話音量が大きすぎる/小さすぎる ● 通話しづらい	
	マイクと話者の距離が近いまたは離れている。 ● 適切な距離でお話しください。	—
	エアコンの送風音をマイクが拾っている。 ● エアコンの送風を弱くするか、止めてください。	—
	● 携帯電話の通話中に、自動的にハンズフリー通話に切り換わる ● 本機と接続中、携帯電話で通話できない	
	機種によっては、BLUETOOTHにより接続されると自動的にハンズフリー通話しかできなくなる場合があります。 ● 携帯電話で通話するときは、携帯電話を操作して本機とのBLUETOOTH接続を解除してください。	—
	走行中にハンズフリー通話していたら、回線切断のメッセージが表示された	
	携帯電話の電波が弱い。 ● 電波の状態が良い場所でご使用ください。	—
	電話帳転送ができない	
	携帯電話がOPP(Object Push Profile)またはPBAP(Phone Book Access Profile)に対応していない。 ● OPPまたはPBAPに対応していないと、電話帳転送できません。 (機種によっては、OPPに対応していても電話帳転送できない場合があります。)	—
BLUETOOTH Audio	**BLUETOOTH Audio画面から操作できない(再生はできる)**	
	BLUETOOTH Audio機器がAVRCP(Audio/Visual Remote Control Profile)に対応していない。 ● BLUETOOTH Audio機器がAVRCPに対応していない場合は本機から操作できません。BLUETOOTH対応機器で操作してください。	—
	機種によっては、AVRCPに対応していても一部の操作ができない場合があります。 ● BLUETOOTH対応機器で操作してください。	—
	音量が小さい	
	● BLUETOOTH機器の音量を調整してください。	—

BLUETOOTH

	内 容	ページ
BLUETOOTH Audio	**音質が悪い(音がゆがむ、音が途切れる、ノイズが発生する)**	
	BLUETOOTH Audio機器から本機までの距離が離れすぎている。 ● BLUETOOTH Audio機器を本機に近づけてください。また、BLUETOOTH Audio機器の向きを変えてみてください。(BLUETOOTHアンテナが本体に向くように)	203
	「電話1」「電話2」「スマホ連携」に設定された携帯電話/スマートフォンのうち、本機と接続されていないものがある。 (例:電源がOFFになっている、車内に持ち込まれていない) ● 対象機器のハンズフリー、およびスマホ連携の接続設定を解除してください。	136
その他	**● P.187～191の処置をしても問題が解決しない/その他の問題がある**	
	いったんエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。	—
	いったんBLUETOOTH対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。	—
	機器登録を削除し、再度登録しなおしてください。	134、135
	それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—

音声認識

	内 容	ページ
動作	**音声認識を利用できない**	
	● スマートフォンにDrive P@ssをインストールして、本機と接続してください。 ● スマートフォンをWi-Fi®で接続している場合は、携帯電話回線に切り換えてください。 ● スマートフォンの省電力機能はOFFにしてください。 ● Drive P@ss以外のアプリを起動している場合は、終了してください。 ● スマートフォンにDrive P@ss画面が表示されているか確認してください。	136、144 — — — —
	サーバーへの接続が失敗する	
	スマートフォンの電波状況によりサーバーに接続できなくなることがあります。 ● 場所を移動して、電波状況の良好な場所でお使いください。 ● しばらくしてから接続を行ってください。 ● Wi-Fi®機器を利用して接続する場合、音声が途切れたり、通信が切断される場合があります。	— — —
	誤認識が多い	
	● 車の窓を閉め、同乗者に会話を控えてもらい、適正な音量ではっきり発声してください。 ● マイクは発声する人の口元に向けて20 ㎝～40 ㎝離してください。 ● 効果音が鳴ってから、続けて発声してください。	153 取付説明書 —
	音声認識に失敗する	
	● 声が小さすぎると認識されません。適正な音量ではっきり発声してください。 ● ***マイクの接続を確認してください。***	153 取付説明書
	音声が出力されない	
	● 本機またはスマートフォンの音量が小さい場合は、音量を調整してください。	17

*斜体の項目*の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

Android Auto

	内 容	ページ
接続	**Android Autoとの接続ができない**	
	スマートフォン側でAndroid Autoアプリが異常終了した。 ●スマートフォンをiPod/USB接続用中継ケーブル(別売品)から取り外し*1、スマートフォンの電源を入れ直してから、再度ケーブルを接続してください。	157
	使用中にスマートフォンの電源を切った。 ●スマートフォンをiPod/USB接続用中継ケーブル(別売品)から取り外し*1、スマートフォンの電源を入れ直してから、再度ケーブルを接続してください。	157
動作	**Android Auto Musicが再生されない**	
	再生中にエンジンを止めて再度エンジンをかけたときは、自動再生されない場合があります。 ●手動で操作して再生してください。	157
	Android Autoで電話中に相手の音声が聞こえない、相手に声が伝わらない	
	BLUETOOTH接続ができていない。 ●BLUETOOTH接続を確認してください。	136
	「接続した端末をハンズフリー登録できませんでした。Android Auto の電話機能はご利用になれません。」と表示される	
	接続したAndroid端末とのBLUETOOTH接続が失敗しています。 ●スマートフォンをiPod/USB接続用中継ケーブル(別売品)から取り外し*1、ハンズフリー携帯電話登録一覧、およびBLUETOOTH Audio 登録機器一覧から接続する端末の登録を削除してから、再度ケーブルを接続してください。	135、157

＊1 スマートフォンだけを取り外すのではなく、USBケーブル(汎用品)とiPod/USB接続用中継ケーブル(別売品)の接続を外してください。

こんなメッセージが出たときは

	内 容
か	**高温のため、動作を停止しています。 エアコンをかけ車内の温度を下げてから安全な場所に停車し、エンジンをかけ直してください。**
	本機の内部温度が異常に高い。 ●内部温度が下がるまでお待ちください。
	この画像は表示できません。表示可能サイズを超えているか、不正な画像ファイルです。
	再生できない形式の静止画データを再生した。 ●ファイルを確認してください。
	この曲は再生できません。
	再生できない形式の音楽データを再生した。 ●ファイルを確認してください。
	このSDカードは書き込み禁止です。
	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側(LOCK)になっている。 ●書き込み禁止スイッチを解除してください。
さ	**再生可能なファイルがありません。**
	異常のある動画を再生した。 ●ファイルを確認してください。
	再生できるファイルがない。 ●再生できるファイルのあるメディアを挿入してください。
	再生可能なディスクを入れてください。
	ディスクが汚れている、裏返しになっている。
	ディスクが音楽用でない、録音されていない。
	ディスクにキズが付いている。
	再生できないディスクを使用している。(P.92、197) ●ディスクを確認してください。
	車速信号が検出できません。 車速信号コードの接続をご確認ください。
	車速信号コードまたは車速信号中継コードの接続を確認してください。(取付説明書) ***それでも改善しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。***
	受信できません(0020)
	地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが低い。
	受信できません(E202)
	地上デジタル放送/ワンセグの電波を受信できていない。
	受信できません(E203)
	地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが非常に低い。
	放送休止のチャンネルを見ている。
	情報を受信していません。
	VICS情報がない。 ●FM VICSチューナーの周波数設定を確認してください。
	走行中はスクロールできません。
	市街地図を表示した状態で、走行中に地図をスクロールした。 ●安全な場所に停車して、パーキングブレーキを引いてご覧ください。
	パーキングブレーキを引いているにもかかわらず、メッセージが表示される場合は、サイドブレーキコードが正しく接続されていない。 **●*サイドブレーキコードの接続を確認してください。***
た	**●地図カードを挿入してください。** **●地図カードがありません。**
	地図SDHCメモリーカードがしっかりと挿入されているか、確認してください。
	地図データ異常により正常に起動できませんでした。
	地図SDHCメモリーカードに異常がある。 **●*お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にお問い合わせください。***
	地図SDHCメモリーカードは、お買い上げ時に挿入されていた機器でのみ使用できます。他の同型の機種に挿入しても、使用できません。

故障かな!?

*斜体の項目*の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなメッセージが出たときは

	内　容
た	**電源を入れ直してください。**
	アンプに異常が発生した。 ●いったんエンジンを止めて、もう一度エンジンをかけてください。
は	**配線の不良または機器の故障の可能性があります。 お買い上げの販売店またはお近くのサービス窓口にご相談ください。**
	正しく配線されていない。 ●***配線を確認してください。***
	本機が故障している。 ●***お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理を依頼してください。***
	DC24 V車に取り付けている。 ●***ACCをOFFにしたあと、電源コード/接続ハーネスを抜いて本機を取り外してください。***
	本機に接続しているiPod/USB接続用中継ケーブルに異常がありました。 ケーブルにキャップをした後、電源を入れ直してください。
	ケーブルが金属物に触れている。 ●金属物から離してください。
	接続している機器やケーブル(iPod/USB接続用中継ケーブル、およびUSBケーブル)に異常がないことを確認してください。 ●***それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理を依頼してください。***
	本機は12 V車専用です。 24 V車には使用できません。 事故・故障の原因となります。 使用を中止し、本機を取り外してください。
	DC24 V車に取り付けている。 ●***ACCをOFFにしたあと、電源コード/接続ハーネスを抜いて本機を取り外してください。***
ら	**ルート探索ができません。**
	極端に長い道のりのルートを探索しようとした。 ●目的地、経由地を近くに設定して、もう一度ルートを探索してください。
	録音できませんでした。 SDカードの状態を確認してください。
	SDメモリーカードが本機に挿入されていない。 ●SDメモリーカードを本機に挿入してください。
	録音可能な容量を超えました。 これ以上録音できません。
	SDメモリーカードに十分な空き容量がない。 ●不要な音楽データを削除してください。
S	**SDカードが書き込み禁止になっています。**
	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側(LOCK)になっている。 ●書き込み禁止スイッチを解除してください。
記号	⃠
	ディスクまたは本機で禁止されている操作です。

結露について

冷暖房を入れた直後など、車内の急激な温度変化のために、本機内部のピックアップレンズやディスクに露(水滴)が生じることがあります。正常な動作をしない場合には、ディスクを取り出して、約1時間ほど放置してください。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。

万一、故障や異常が起こったら

車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理をご依頼ください。お客様による修理は、絶対におやめください。

●故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

文字入力のしかた

1 入力したい文字の種類を選ぶ

●選ぶごとに種類が切り換わります。
●[か　な]:ひらがな/漢字
●[カ　ナ]:カタカナ
●[英　数]:英字/数字
●[記　号]:記号

2 文字を入力し、[変換]または[無変換]を選ぶ(右記)

●[変換]は、ひらがなのときのみ選べます。
●記号入力時は、[変換]/[無変換]を選ぶ必要はありません。
●[←][→]:カーソルを移動
●[修正]:1文字削除
　1秒以上押して、全文字削除

3 文字入力が終わったら[決定]を選ぶ

携帯電話のボタンの感覚で入力する

1 [入力切換]を選ぶ

2 文字の種類を選び、入力する

ひらがな/漢字を入力する

●[←][→]:変換する範囲を変える
●[無変換]:ひらがなのまま入力
●[変　換]:変換の候補を表示

カタカナを入力する

●[半角]/[全角]:半角・全角の切換
　・[半角]を選ぶと、[全角]が表示されます。

英字/数字を入力する

●[半角]/[全角]:半角・全角の切換
　・[半角]を選ぶと、[全角]が表示されます。
●[小文字]:大文字・小文字の切換
　・選ぶごとに切り換わります。

記号を入力する

お知らせ

●入力できる字数は、項目によって異なります。詳しくは、各項目の説明をご覧ください。
●入力できる文字の種類は、機能によって異なります。(例:名称検索(P.52)で入力できるのは、「ひらがな」のみです。)
●**デジタルTVの文字入力のしかたについて**
　・基本的な入力方法は上記と同じです。
　・漢字は入力できません。

ディスクについて

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。

ディスク＼フォーマット	BDMV	BDAV	AVCHD*3	AVCREC*3	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3*4	WMA*4
Blu-ray	○	—	—	—	—	—	—	—	—
BD-R/RE	○	○	○	—	—	—	—	—	—
DVD	—	—	—	—	○	—	—	—	—
DVD-R/RW*1	—	—	○	○	○	○	—	—	—
CD	—	—	—	—	—	—	○	—	—
CD-R/RW*2	—	—	—	—	—	—	○	○	○

＊1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。
＊2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。
＊3 AVCHD、AVCREC形式のDVD-R/RWを本機に挿入すると、Blu-ray Discのアイコンが表示されます。
＊4 MP3 PRO、MP3i、WMA Professional、WMA Loss-less、WMA Voiceには対応していません。

お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。

Blu-ray Discについて

- パスワード確認入力画面が表示されるディスクを再生する場合は、パスワードを入力してください。
- 2枚以上セットになっているBDMVは、1枚目を見終わってディスクを取り出したあと、次のディスクを挿入するよう指示する表示が出たままになる場合があります。
- BD-Live（BDライブ）対応のディスクは、BDライブ対応コンテンツ部分の再生はできません。
- 3D対応のディスクは、再生できません。

無許可コピーコンテンツの利用制限について

Cinaviaの通告

- この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。
- Cinavia技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.comのCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。
- この製品はVerance Corporation（ベランス・コーポレーション）のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。
- CinaviaはVerance Corporationの商標です。 Copyright 2004-2014 Verance Corporation.
- すべての権利はVeranceが保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止が施された音楽CDは、本機での再生や録音は保証できません。通常のCD再生には支障がなく、コピーコントロールCDの再生のみに支障がある場合は、そのCDの発売元にお問い合わせください。

BD-R/RE・DVD-R/RW・CD-R/RWについて

- 使用したライティングソフトやドライブ、またその組み合わせによって、正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- レコーダーで記録したディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- 通常のBlu-ray Disc、DVD、音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- マルチセッションで書き込まれたディスクや、形式の異なるデータが混在しているディスク（CD-Extra、CD-DAとMP3/WMAが混在したディスクなど）は、正常に再生できない場合があります。また、パケットライト方式で書き込まれたディスクは正常に再生できないことがあります。書き込みには、ディスクアットワンスをおすすめします。
- ディスクの特性により読み取れない場合があります。
- BD-RE、DVD-RW、CD-RWは、挿入してから再生が始まるまで、通常のディスクと比べて時間がかかる場合があります。
- MP3/WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。
- 片面2層のDVD-R、また録画/編集に使用したレコーダーやディスクによっては、正常に再生できない場合があります。

ディスクに記載されているマークについて

■ リージョンコード/リージョン番号

- 発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた番号。ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。
- 製作者の意図により特定の地域・国で再生不可と認定されているディスクは、再生できない場合があります。

・本機のBlu-rayのリージョンコードは、「A」です。
「A」（Aを含むもの）が表示されている、ディスクが再生できます。

・本機のDVDのリージョン番号は、「2」です。
「2」（2を含むもの）または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。

■ 字幕言語数 **■ 音声言語数** **■ アングル数**

■ 画面サイズ（横：縦の比）*1

4：3の標準サイズ

レターボックス

16：9のワイドサイズ

画面サイズが標準（4：3）のときは、レターボックスで再生されます。

画面サイズが標準（4：3）のときは、パン＆スキャンで再生されます。

＊1 映し出される映像のサイズは、画面比率の設定とディスク側の画面サイズによって異なります。

再生できないディスク

- 8 cmディスク*2
- NTSC以外の方式（PAL、SECAM方式など）で記録されたディスク
- ファイナライズされていないDVD-R/RW
- BD-RE Ver.1.0
- BDXL
- BD-ROM
- DVD-ROM
- DVD+R
- DVD+RW
- DVDオーディオ
- DVD-RAM
- クローズセッションされていないCD-R/RW
- CD-ROM
- フォトCD
- CD-G
- ビデオCD
- CDV
- SVCD
- SACD
- CD-EXTRA*3
- VSD
- CVD
- DivX Videoディスク
- DualDisc*4
- HD DVD-Video
- HD DVD-R
- HD DVD-RW
- HD DVD-ROM
- HD DVD-RAM　など

＊2 シングルアダプターも使用できません。無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
＊3 ファーストセッションが音楽データ（CD-DA）の場合は、再生できます。
＊4 ディスクに傷が付いたり、ディスクが詰まって本機から取り出せなくなるおそれがあります。

ディスクについて

ディスクの取り扱い

■持ちかた

記録面に
触れないように持つ

■ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい
布で拭いたあと、乾いた
布で拭く

- 回転する方向に拭かないでください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光の当たるところ
  （車のシート、ダッシュボードの上など）
- 暖房器具の熱が直接当たるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気に触れるところ
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすいところ

下記のようなディスクは使用しないでください

本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損や本機の故障の原因となります。

ラベルなどを貼り付けたディスク

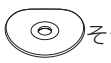
シールや
テープ、のりが
付着している

プリンター
で作成した
ラベル

プロテクト
フィルム、
保護シート

ディスクアクセ
サリー（スタビ
ライザーなど）

破損・変形したディスク


そっている

ひびやキズ
がある・欠け
ている

透明なディスク

全体が透明

一部が透明

円形以外の特殊な形状のディスク

ハート形

カード型

三角形

バリがある

お手入れ

本体・液晶画面のお手入れ

- 本体は、電源を切り、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 液晶画面は、市販のクリーニングクロスで拭いてください。
- ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは、使用しないでください。（塗装が変質するおそれがあります）
- 化学ぞうきんは、注意書きに従って、お使いください。

ピックアップレンズについて

長期間使用すると、空気中やディスクに積もった細かいほこり、またはゴミが付着し、汚れてしまいます。

- ディスクの読み込みがよくない場合には、まず、ディスクの汚れを確認してください。
- それでもよくならない場合は、レンズの交換修理が必要です。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。保証期間後の修理は、有償です。

汚れを防ぐために

ディスクを使用する前など、ときどきディスクの表面のほこりやゴミ、指紋などを取り除いてください。

- ディスクを使用しないときは、必ずケースに入れて保管してください。

お願い

- 市販のレンズクリーナーディスクは、レンズに損傷を与え、故障の原因となりますので、使用しないでください。

SDメモリーカード・USBメモリーについて

SDメモリーカードについて

■本機で使用できるSDメモリーカード

※本書では特にことわりのない限り、下記のメモリーカードを「SDメモリーカード」と表記しています。

- SDHCメモリーカード（32 GB以下）*1
- SDメモリーカード（2 GB以下）
- microSDHCメモリーカード（32 GB以下）*1*2
- microSDメモリーカード（2 GB以下）*2
- miniSDメモリーカード（2 GB以下）*2

＊1 SDHCロゴのある（SD規格準拠）カードのみ使用できます。

＊2 カードをSDメモリーカード挿入口へ挿入するときは、必ずカードに付属の専用アダプターを装着してください。
取り出すときも、必ずアダプターごと取り出してください。

■SDメモリーカードは、使用する前に本機で初期化してください。（P.179）

- または、パソコンで「SDフォーマッター」（フォーマットソフトウェア）を使って初期化してから使用してください。SDフォーマッターについては、下記サイトをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/sd_w/download/

お知らせ

- SDXCメモリーカードは使用できません。
- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

USBメモリーについて

■本機で使用できるUSBメモリー

- USBマスストレージ規格準拠
- ファイルシステム：FAT 16、32
- USBコミュニケーションフォーマット：USB2.0（12 Mbps）
- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USBメモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

お知らせ

- 規格に準拠したUSBメモリーでも、本機では使用できない場合があります。
  正常に動作しないときは、接続したUSBメモリーを本機から取り外してください。

SDメモリーカード・USBメモリーの取り扱いについて

- **読み書きしているときに以下のことはしないでください。**
  ・SDメモリーカードを取り出す
  ・USBメモリーを取り外す
  ・機器の電源を切る
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、SDメモリーカード・USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカード・USBメモリーには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDメモリーカードに貼られているラベルをはがさないでください。
- SDメモリーカードにシールやラベルを重ねて貼り付けないでください。
- SDメモリーカードは、本機から取り出したら、必ずケースに収納してください。

データ作成時の留意点

音楽データについて

音楽データの規格について

ファイル形式	MP3	WMA	AAC
使用可能なメディア	CD-R/RW、SD、USB	CD-R/RW、SD、USB	SD、USB
対応規格 バージョン	MPEG1 Audio Layer3 MPEG2 Audio Layer3	Windows Media Audio Version 7/8/9 ※Stantardのみ	Low Complexity
ファイル拡張子	MP3、mp3	WMA、wma	M4A、m4a
最大フォルダ名/ ファイル名文字数	CD-R/RW：全角32文字/半角32文字 SD、USB：全角32文字/半角64文字		
フォルダ名/ファイル名 使用可能文字	A～Z（全角/半角）、0～9（全角/半角）、_（アンダースコア）、 全角漢字（JIS第一水準）、ひらがな、カタカナ（全角/半角）		
最大フォルダ階層	8階層		
1フォルダ内の最大ファイル数	255（ファイル+フォルダ数：ルートフォルダ含む）		
1メディア内の最大ファイル数	CD-R/RW：512 SD、USB：10 000		
1メディア内の最大フォルダ数	CD-R/RW：255 SD、USB：400		
表示可能なタグ	CD-R/RW：トラック名/アーティスト名/アルバム名 SD、USB：トラック名/アーティスト名/アルバム名/ジャンル名		
タグ表示可能文字数	ID3タグ Ver 1.0/1.1： 全角15/半角30文字 ID3タグ Ver 2.2/2.3： CD-R/RW：全角30文字 半角60文字 SD、USB：全角32文字 半角64文字	CD-R/RW：全角30文字 半角30文字 SD、USB：全角32文字 半角64文字	全角32文字 半角64文字
サンプリング周波数	16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/ 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz	16 kHz/22.05 kHz/ 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz
ビットレート(kbps)	8 kbps～320 kbps、VBR	48 kbps～320 kbps、VBR	8 kbps～320 kbps
ジャケット写真	CD-R/RW：非対応 SD、USB：対応		

- m3u/MP3iフォーマット/MP3 PROフォーマット/ディエンファシスには対応しておりません。
- WMA9 Professional/WMA9 Losslessには対応しておりません。
- DRM（デジタル著作権管理）には対応しておりません。
- 著作権保護された音楽ファイル（SD-Audio規格など）は再生できません。
- 2チャンネルを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。

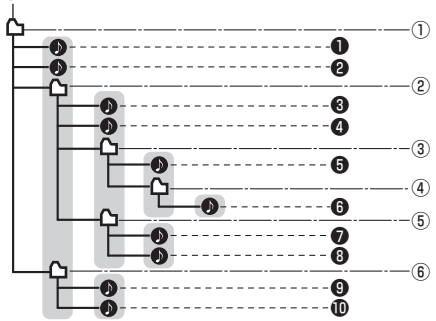
お知らせ

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMA/AACファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発声、また再生できない場合もあります。
- MP3/WMA/AACファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3/WMA/AACファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。クローズセッションしていないディスクは再生できません。
- 再生できないファイルがある場合、そのファイルはスキップします。（再生しません。）
- **不正なファイル（例えばMP3以外のファイルに“MP3”の拡張子を付けたファイル）は、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。**
  音楽データ以外のファイルに音楽データの拡張子を付けないでください。MP3/WMA/AAC以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

階層と再生順序について

再生順序：♪ ファイル ❶～⑩
　　凸 フォルダ ①～⑥

ルートフォルダ
(CD-R/RW、SDメモリーカード、USBメモリーの直下の階層)



同じ階層(　で囲まれた範囲)内のファイル・フォルダは、書き込まれた日時順に並べ替えて再生します。(下記)

[CD-R/RWのMP3/WMAの場合]

- ルートフォルダは1つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、1つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器（プレーヤー）によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、❶～⑩の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps以上、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
- 音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

音楽ファイルの再生について

- 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- リストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が想定している順とは異なった順で表示されることがあります。
  ※正しい順番で表示するには、ファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてパソコンで期待する順番（名前順）などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

ファイル名について

- フォルダ名とファイル名の合計が半角250文字、全角125文字を超える場合、再生できません。

ジャケット写真について

JPEG形式のみに対応しています。
他の形式の場合、正常に表示できません。

- 音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
- 176×176ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示される場合があります。
- 1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

データ作成時の留意点

静止画データについて

本機は、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した画像データを再生できます。

■本機で再生できる画像データ

項　目	内　容	
対応形式	JPEG（ベースライン）	
拡張子	JPG、jpg（大文字、小文字どちらでも使用可能）	
最大階層	8階層	
最大ファイル数	メディア全体	10 000（ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計）
	1フォルダ内	255（ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計）
最大フォルダ数	100	
使用可能文字	A～Z（全角/半角）、0～9（全角/半角）、_（アンダースコア）、漢字（JIS第一水準）、ひらがな、カタカナ（全角/半角）	
ファイルサイズ	10MB以下	
画像解像度	16×16～4 092×4 092	

- 解像度が高い画像は画面に合わせて縮小して表示します。
- 以下のようなファイルは再生できません。
  ・プログレッシブ方式
  ・RGB以外（グレースケール、CMYKなど）

動画データについて

本機は、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した動画データを再生できます。

■本機で再生できる動画データ

項　目	内　容	
対応規格 プロファイル	MPEG-4 AVC（Simple Profile レベル3まで）、H.264（Baseline Profile レベル3まで）	
拡張子	MP4、M4V、mp4、m4v（大文字、小文字どちらでも使用可能）	
	映像	音声
コーデック	MPEG-4 AVC、H.264	AAC-LC
ビットレート	216 kbps～4 Mbps	8 kbps～320 kbps
フレームレート	15 fps、30 fps	
最大解像度	720×480	
サンプリング周波数		16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
最大階層	8階層	
最大ファイル数	メディア全体	10 000（ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計）
	1フォルダ内	100（ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計）
最大フォルダ数	100	
最大表示文字数	半角32文字（全角16文字）	
使用可能文字	A～Z（全角/半角）、0～9（全角/半角）、_（アンダースコア）、漢字（JIS第一水準）、ひらがな、カタカナ（全角/半角）	
ファイルサイズ	1 GB以下	

- ビットレートが低いと、十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート（VBR）で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなることがあります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる場合があります。
- 上記の仕様から外れたファイルは、再生できなかったり、音飛びする可能性があります。
- 動画ファイルの作成方法・エンコーダソフトなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れる場合があります。
- Windows Media Videoには対応していません。

BLUETOOTHについて

■使用周波数帯

本機では、BLUETOOTH接続中は、2.4 GHz帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあり、その機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します。）があります。

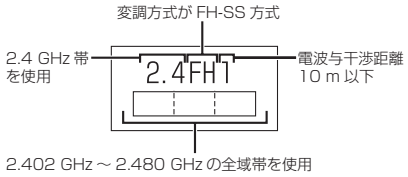
1 BLUETOOTHを使う前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認する。
2 万一、「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が生じた場合や、何かお困りのことが起きたときは電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店または「サービスご相談窓口」へご相談ください。（P.235）

■機器設定（無線局の免許は不要です。）

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。ただし、次のことは、法律で罰せられることがあります。

- 分解・改造をする
- 製品銘板をはがす

■周波数表示の見方（製品銘板に記載）



■使用可能距離

見通し距離約10 m以内でご使用ください。間に障害物がある場合や、建物の構造などにより、使用可能距離は短くなります。

■他機器からの影響

- 本機と他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器の距離が近いと、電波干渉により、正常動作しない、雑音の発生など、不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近く電波が強すぎる場合も同じです。

■使用制限

- 全てのBLUETOOTH対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信するBLUETOOTH対応機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定める認証が必要です。ただし、認証されていても対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- ワイヤレス通信時は、使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますのでご注意ください。（BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。）
- ワイヤレス通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■用途制限

- 本機のBLUETOOTH機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器がBLUETOOTH標準規格Ver.1.2以降に対応している必要があります。
- 本機のBLUETOOTHの各機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器が下記のプロファイルに対応している必要があります。
  ・BLUETOOTH Audio
  →Advanced Audio Distribution Profile（A2DP）
  →Audio/Video Remote Control Profile（AVRCP）
  ・ハンズフリー通話
  →Hands-Free Profile（HFP）
  ・電話帳転送
  →Object Push Profile（OPP）または Phone Book Access Profile（PBAP）
  ・「ここいこ♪」/「Drive P@ss」/「CarAV remote」
  →Serial Port Profile（SPP）
  ・音声認識
  →Serial Port Profile（SPP） Hands-Free Profile（HFP）
- BLUETOOTH対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。

言語コード一覧表

下記の言語コードは、本機でのみ有効です。

コード	言語名称
1027	アファル語
1028	アブハジア語
1032	アフリカーンス語
1039	アムハラ語
1044	アラビア語
1045	アッサム語
1051	アイマラ語
1052	アゼルバイジャン語
1053	バシキール語
1057	ベラルーシ語
1059	ブルガリア語
1060	ビハーリー語
1061	ビスラマ語
1066	ベンガル、バングラ語
1067	チベット語
1070	ブルトン語
1079	カタロニア語
1093	コルシカ語
1097	チェコ語
1103	ウェールズ語
1105	デンマーク語
1109	ドイツ語
1130	ブータン語
1142	ギリシャ語
1144	英語
1145	エスペラント語
1149	スペイン語
1150	エストニア語
1151	バスク語
1157	ペルシャ語
1165	フィンランド語
1166	フィジー語
1171	フェロー語
1174	フランス語
1181	フリジア語
1183	アイルランド語
1186	スコットランドゲール語
1194	ガルシア語
1196	グアラニ語
1203	グジャラート語
1209	ハウサ語
1217	ヒンディー語
1226	クロアチア語
1229	ハンガリー語
1233	アルメニア語
1235	国際語
1239	国際語
1245	Inupiak 語

コード	言語名称
1248	インドネシア語
1253	アイスランド語
1254	イタリア語
1257	ヘブライ語
1261	日本語
1269	イディッシュ語
1283	ジャワ語
1287	グルジア語
1297	カザフ語
1298	グリーンランド語
1299	カンボジア語
1300	カンナダ語
1301	韓国語
1305	カシミール語
1307	クルド語
1311	キルギス語
1313	ラテン語
1326	リンガラ語
1327	ラオス語
1332	リトアニア語
1334	ラトビア、レット語
1345	マダガスカル語
1347	マオリ語
1349	マケドニア語
1350	マラヤーラム語
1352	モンゴル語
1353	モルダビア語
1356	マラータ語
1357	マレー語
1358	マルタ語
1363	ミャンマ語
1365	ナウル語
1369	ネパール語
1376	オランダ語
1379	ノルウェー語
1393	プロバンス語
1403	(アファン) オロモ語
1408	オリヤー語
1417	パンジャブ語
1428	ポーランド語
1435	パシュトー語
1436	ポルトガル語
1463	ケチュア語
1481	ラエティ=ロマン語
1482	キルンディ語
1483	ルーマニア語
1489	ロシア語
1491	キニヤルワンダ語

コード	言語名称
1495	サンスクリット語
1498	シンド語
1501	サンゴ語
1502	セルビアクロアチア語
1503	シンハラ語
1505	スロバキア語
1506	スロベニア語
1507	サモア語
1508	ショナ語
1509	ソマリ語
1511	アルバニア語
1512	セルビア語
1513	シスワティ語
1514	セストゥ語
1515	スンダ語
1516	スウェーデン語
1517	スワヒリ語
1521	タミール語
1525	テルグ語
1527	タジク語
1528	タイ語
1529	ティグリニャ語
1531	トゥルクメン語
1532	タガログ語
1534	セツワナ語
1535	トンガ語
1538	トルコ語
1539	ツォンガ語
1540	タタール語
1543	トウィ語
1557	ウクライナ語
1564	ウルドゥー語
1572	ウズベク語
1581	ベトナム語
1587	ボラピュク語
1613	ウォロフ語
1632	コーサ語
1665	ヨルバ語
1684	中国語
1697	ズール語

ナビゲーションシステムとは

ナビゲーションシステムとは、地図上に目的地や目的地までのルートを登録することにより目的地までの道案内をするシステムのことです。

自車位置測位の仕組み

■GPS(Global Positioning System)

アメリカ国防総省が配備を進めた人工衛星を利用した位置検出システムです。高度21 000 kmの宇宙にある3つ以上の人工衛星からの電波を受信し、三角測量の原理を利用して測位を行います。本機ではこのGPS衛星の電波を受信して自車の位置を測位します。

■現在地を測位するまでの時間

本機を最初にご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、自車の現在地を測位するまでに、5分程度かかります。また、通常は見晴らしの良い場所(GPS衛星の電波をさえぎる建物や樹木のない場所)で、2分程度で測位します。
電源を入れてすぐに走行すると測位するまでの時間が長くなるため、見晴らしの良い場所で測位ができるまで停車していることをおすすめします。

■GPS信号を受信しにくい場所

次のような場所では受信できないことがあります。

- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- 樹木の間

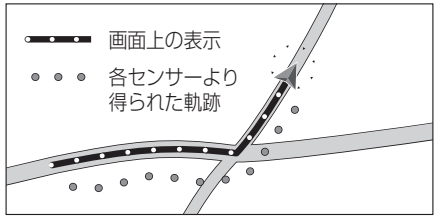
■準天頂衛星「みちびき」

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) によって打ち上げられた、日本の準天頂衛星システムの初号機です。米国のGPS衛星に加え、日本の真上から電波を送る「みちびき」によって、受信の難しいビル街や山間部でも測位が可能になり、さらに測位の精度が向上します。

※現在、準天頂衛星システムは電波を受信できる時間帯が限られます。また、衛星側の都合により、精度が落ちたり・電波を利用できなくなることがあります。

■マップマッチング

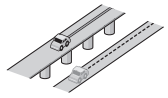
GPSやジャイロなどによる測位には誤差があるため、現在地が道路以外の場所になる場合があります。マップマッチングは、誤差を補正して地図データ上の道路に自車マークを表示させる機能です。



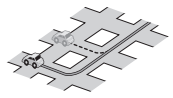
自車位置精度について

走行環境やGPS衛星の状態により、自車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

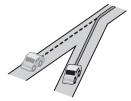
- 高速道路と一般道路が近くにある



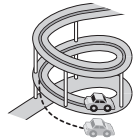
- 碁盤目状の道路を走行している



- 角度の小さなY字路を走行している



- らせん状の道路などを走行している



そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して自車マーク位置は自動的に補正されます。

下記の場合も、自車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

- エンジンスイッチON(電源ON)後、GPS信号を受信できるまで
- 本機を取り付けて初めて走行するとき
- タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤを使用時
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと
- 勾配の急な山岳などを走行しているとき
- 直線路を長い間走行したあとに、右左折したとき
- 道幅の広い道路で蛇行運転したとき
- 雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき、またはタイヤチェーン等を装着して走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場で、らせん状の道路を走行したあと一般道に出たとき
- エンジンスイッチOFF(電源OFF)状態で、ターンテーブルなどで旋回したとき

自車位置精度について（続き）

GPS衛星はアメリカ国防総省により管理されており、故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは、自車マークがずれる場合があります。

■3Dセンサーによる高架判定について

自車が都市高速に入ったときなど車の上下移動を3Dセンサーで感知して、自車位置を測位します。（高架判定）

- 3Dセンサーによる高架判定は、センサーの補正が完了後に動作可能です。車両信号情報画面で「3D」の学習レベルの状態を確認してください。
- 高速道路など一定速度で走行が続くような場合、補正完了まで50 ㎞程度の走行を要する場合があります。
- 道路状況や走行状況により正しく高架判定できない場合があります。（道路の傾斜がゆるやか、発進・停車の繰り返し、急ハンドルによる車の横揺れなど）
- 下記の場合には、必ず車両信号情報画面でセンサー学習値初期化を選んでください。（P.19）
  ・別の車に載せかえた
  ・取付位置を変更した
- 3Dセンサーの高架判定は、地図データと3Dセンサーからの情報で行います。（一部地域のみ）

ルート探索・ルート案内について

次のような場合は、故障ではありません。

- 通行不可能な歩道、階段などを含めたルートを作ることがあります。
- 新道の開通などにより通行できない場合があります。
- 点線で表示されている道路は、地図データ作成時点での建設予定道路のためルート探索できません。
- 実際に通行できない道を表示する場合があります。
- 再探索してもルートが変わらない場合があります。
- ルートが渋滞している場合があります。
- 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は、目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- 高架下の一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
- Uターンするルートを表示する場合があります。
- 交差点で曲がるのに、案内されない場合があります。
- 交差点名称が案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点等で曲がったときなどに音声案内される場合があります。
- 方面案内が表示/案内されない高速道路・有料道路があります。
- 交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。
- 案内距離が多少ずれることがあります。
- 探索されたルートは参考ルートであり、お客様の意図したものとは違う場合があります。

電話番号検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号の情報（ピンポイント情報）がないため、正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

■本機に登録されている個人名について

登録されている個人名は、公開電話番号の登録者名に基づいています。複数の読み方ができる「名字」については、実際とは異なる読みかたで登録されている場合があります。

例：「河内」という名字の場合、実際の読みが「こうち」でも、「かわち」や「かわうち」で登録されている場合があります。

名称・ジャンル・周辺施設検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号まで正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

マップコードとは

株式会社デンソーが、カーナビゲーションでかんたんに目的地を設定できるようにするために開発した、日本全国のあらゆる場所を最大13桁の数字で表したものです。各種情報機器や各種情報メディアでかんたんに位置情報を伝達したり、住所や電話番号で表せない場所を特定することができます。詳しくは、マップコード公式サイトをご参照ください。

http://www.e-mapcode.com/

ETC2.0（電波ビーコン5.8 GHz）について

電波ビーコン5.8 GHzを受信するには、別売のETC2.0車載器が必要です。

■電波ビーコン5.8 GHzの受信について

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 大型車と並走
- 高速高架道路の下（高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路の電波ビーコン5.8 GHzを受信してしまう場合があります。）
- 雪などの悪天候
- フロントガラスの汚れ

お知らせ

- 赤外線反射ガラスまたは電波不透過ガラス装着車両では、電波ビーコン5.8 GHzの受信ができないことがあります。
  取り付けの際は販売店にご相談ください。

FM多重/光ビーコンについて

光ビーコンを受信するには、別売の光ビーコン対応ETC2.0車載器が必要です。

■FM多重放送の受信について

下記のような場所では受信できない場合があります。

- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- サービスエリア外

お知らせ

- FM多重の場合、一定周期で情報が更新されるので表示するデータが揃うのに時間がかかる場合があります。（約3分）
- 車のエンジンをかけた（またはACCをONにした）あと、しばらくは情報が表示されません。

■光ビーコンの受信について

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 雪などの悪天候
- アンテナ受信部の汚れ
- フロントガラスの汚れ
- アンテナの上に物を置く

お知らせ

- 赤外線反射ガラス装着車両では、光ビーコンの受信ができないことがあります。
  取り付けの際は販売店にご相談ください。

VICSについて

●VICSの車載機の動作、その他に関するもの
●VICSのサービスエリアに関するもの
●その他、上記に類するもの

これらの内容は、お買い上げの販売店またはお近くの「サービスご相談窓口」にお問い合わせください。

VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは、VICSセンターへお問い合わせください。
(ただし、地図表示型の表示内容は除く)

VICSセンター
受付時間　9:30～17:45
(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
電話番号　0570－00－8831
● 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
● PHS、IP電話等からはご利用できません。
FAX番号　03-3562-1719(24時間受付)

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。
このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

(約款の適用)
第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。
(約款の変更)
第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。
(用語の定義)
第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
(1)VICSサービス：当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
(2)VICSサービス契約：当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
(3)加入者：当センターとVICSサービス契約を締結した者
(4)VICSデスクランブラー：FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

(VICSサービスの種類)
第4条　VICSサービスには、次の種類があります。
(1)文字表示型サービス：文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
(2)簡易図形表示型サービス：簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
(3)地図重畳型サービス：車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス
(VICSサービスの提供時間)
第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契約

(契約の単位)
第6条　当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。
(サービスの提供区域)
第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。
(契約の成立等)
第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。
(VICSサービスの種類の変更)
第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。
(契約上の地位の譲渡又は承継)
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。
(加入者が行う契約の解除)
第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
(1)加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
(2)加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき
(当センターが行う契約の解除)
第12条　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料金

(料金の支払い義務)
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保守

(当センターの保守管理責任)
第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。
(利用の中止)
第15条　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑則

(利用に係る加入者の義務)
第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
(免責)
第17条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]　視聴料金　300円(税抜き)
ただし、車載機購入価格に含まれております。

地図ソフトについて

重 要 !!

本使用規定（「本規定」）は、お客様と株式会社ゼンリン（「（株）ゼンリン」）間の「本機」（「機器」）に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ（「本ソフト」）の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使 用 規 定

1. （株）ゼンリンは、お客様に対し、機器の取扱説明書（「取説」）の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器で使用する権利を許諾します。
2. （株）ゼンリンは、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、（株）ゼンリンが定める時期、方法によりこれらがないものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者（「メーカー」）の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
   （1）必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
   （2）車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
   （1）本ソフトの著作権は、（株）ゼンリンまたは（株）ゼンリンに著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
   （2）本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、（株）ゼンリンは何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、（株）ゼンリンは故意または重過失の場合を除き何ら保証しないこと。（本ソフトにおける情報の収録は、（株）ゼンリンの基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。）
   （3）本規定に違反したことにより（株）ゼンリンに損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
   （1）本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
   （2）第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。）の全部または一部を使用させること。
   （3）本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
   （4）本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段（コピープロテクション）が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
   （5）その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

⚠ 警告

操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。
安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。
本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があり、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。

一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。
一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。

運転者は、走行中に操作をしないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

運転中は、画面を注視しないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。
本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

地図ソフトについて

【収録情報について】

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5 千分の1地形図を使用しています。(承認番号 平26 情使、第244-B226号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。
  (承認番号 国地企調発第78 号 平成16 年4 月23日)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用しています。(承認番号 平25 情使、第798-040 号)
- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。
  (測量法第44 条に基づく成果使用承認13-061・13-063)
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 本ソフトを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 本ソフトに使用している電話番号検索はタウンページ2015年11月のものを使用しています。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- “ゼンリン” および “ZENRIN” は、株式会社ゼンリンの登録商標です。
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2015年12月、国道、都道府県道についてはおおむね2015年10月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
  - ◆3D 交差点…… ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
  - ◆ジャンクションビュー… ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
  - ◆方面看板…… ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。(全国の主要交差点)
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
- 細街路規制データは、おおむね2015年7月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。
- 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。
- 「市街地図」データは(株)ゼンリン発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」には、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 電話番号検索データはタウンページ(2015年11月発行)をもとに作成しています。タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- 個人宅電話番号検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。

- 2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、東北・関東地方の被災地域においては、表示される地図が現地の状況と異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。
- 本ソフトに使用している渋滞統計情報は、過去の統計情報を基にした渋滞情報表示となります。(予測データ提供元:NTT データ　予測の元となる情報:JARTIC／VICS センター)なお、ご使用のカーナビゲーション機器によっては、渋滞統計情報が表示されない場合があります。
- VICSリンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会、公益財団法人日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。
  ※ 本ソフトの収録エリアには2016年6月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICS サービスの開始時期については一般財団法人道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

VICSに関するお問い合わせ

一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)

電話番号: 0570-00-8831
電話受付時間: 9:30 ～ 17:45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※PHS、IP 電話等からはご利用できません。
FAX: 03-3562-1719(24時間受付)

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。(一部新規開通道路を除く)

- ■ 道路:2015年12月(高速・有料道路)／2015年10月(国道・都道府県道)
- ■ 交通規制*1　:2015年11月
- ■ 住所検索　:2015年11月
- ■ 電話番号検索:2015年11月
- ■ 郵便番号検索　:2015年11月
- ■ ジャンル検索:2015年10月
- ■ 高速・有料道路料金*2:2015年12月
- ■ 市街地図　:2015年7 月
- ■ 個人宅電話番号検索　:2015年8 月

＊1:交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。
＊2:料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。また、増税などにより実際の金額とは異なる場合があります。地図データの作成時期の都合により、新規開通道路にはETCレーン、および料金のデータが収録されていない場合があります。また新規開通道路のパーキングエリア(PA)、サービスエリア(SA)の施設情報は表示されない場合があります。

【VICS レベル3 対応データ収録エリア】全国47 都道府県

※ただし、本ソフトの収録エリアには2016年6月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICS サービスの開始時期については一般財団法人道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

2016年6月発行　製作／株式会社ゼンリン
© 2013 一般財団法人日本デジタル道路地図協会
© 2015 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION
© 2015 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION
© ジオ技術研究所
© 2016 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

市街地図の収録エリア

北海道	**札幌市**、*函館市*、小樽市、*旭川市*、**室蘭市**、*釧路市*、帯広市、*北見市*、*夕張市*、岩見沢市、*網走市*、*留萌市*、*苫小牧市*、*稚内市*、*美唄市*、*芦別市*、**江別市**、赤平市、*紋別市*、*士別市*、*名寄市*、*三笠市*、*根室市*、*千歳市*、滝川市、砂川市、歌志内市、*深川市*、*富良野市*、*登別市*、*恵庭市*、*伊達市*、**北広島市**、*石狩市*、*北斗市*、*当別町*、*七飯町*、*八雲町*、*江差町*、*岩内町*、*余市町*、*奈井江町*、*鷹栖町*、*東神楽町*、*美瑛町*、*斜里町*、*白老町*、*洞爺湖町*、*新ひだか町*、*音更町*、*清水町*、*芽室町*、*幕別町*、*池田町*、*釧路町*
青森	*青森市*、弘前市、八戸市、*黒石市*、*五所川原市*、*十和田市*、**三沢市**、*むつ市*、*つがる市*、*平川市*、*藤崎町*、*大鰐町*、**田舎館村**、*野辺地町*、*東北町*
岩手	盛岡市、*宮古市*、大船渡市、*花巻市*、北上市、*久慈市*、*遠野市*、*一関市*、**陸前高田市**、*釜石市*、*二戸市*、*八幡平市*、*奥州市*、滝沢市、*雫石町*、*岩手町*、*紫波町*、*矢巾町*、*金ケ崎町*、平泉町、*大槌町*、*山田町*、*岩泉町*
宮城	**仙台市**、*石巻市*、**塩竈市**、*気仙沼市*、*白石市*、**名取市**、角田市、**多賀城市**、*岩沼市*、*登米市*、*栗原市*、**東松島市**、*大崎市*、*蔵王町*、**大河原町**、*村田町*、*柴田町*、*亘理町*、山元町、**松島町**、**七ヶ浜町**、**利府町**、*大和町*、**富谷町**、*大衡村*、**色麻町**、**加美町**、*涌谷町*、**美里町**
秋田	秋田市、*能代市*、*横手市*、大館市、男鹿市、*湯沢市*、*鹿角市*、*由利本荘市*、潟上市、*大仙市*、*北秋田市*、*にかほ市*、*仙北市*、*五城目町*、*八郎潟町*、*井川町*
山形	**山形市**、*米沢市*、*鶴岡市*、*酒田市*、新庄市、寒河江市、*上山市*、村山市、*長井市*、天童市、東根市、尾花沢市、*南陽市*、*山辺町*、*中山町*、河北町、*高畠町*、*川西町*、*庄内町*
福島	**福島市**、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、*喜多方市*、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、*伊達市*、本宮市、桑折町、*国見町*、*川俣町*、**鏡石町**、*会津美里町*、**西郷村**、**矢吹町**、*石川町*、*玉川村*、*三春町*、*小野町*、*広野町*、*楢葉町*、*富岡町*、*大熊町*、*双葉町*、*浪江町*
茨城	**水戸市**、**日立市**、**土浦市**、**古河市**、石岡市、**結城市**、**龍ケ崎市**、**下妻市**、**常総市**、*常陸太田市*、**高萩市**、**北茨城市**、**笠間市**、**取手市**、**牛久市**、**つくば市**、**ひたちなか市**、**鹿嶋市**、**潮来市**、**守谷市**、*常陸大宮市*、**那珂市**、**筑西市**、**坂東市**、**稲敷市**、かすみがうら市、桜川市、**神栖市**、行方市、**鉾田市**、**つくばみらい市**、**小美玉市**、**茨城町**、**大洗町**、*城里町*、**東海村**、*大子町*、*美浦村*、**阿見町**、**河内町**、八千代町、**五霞町**、**境町**、**利根町**
栃木	**宇都宮市**、足利市、栃木市、*佐野市*、*鹿沼市*、*日光市*、**小山市**、**真岡市**、*大田原市*、*矢板市*、那須塩原市、**さくら市**、那須烏山市、**下野市**、**上三川町**、*益子町*、*茂木町*、市貝町、芳賀町、**壬生町**、**野木町**、*那須町*
群馬	**前橋市**、高崎市、桐生市、**伊勢崎市**、**太田市**、*沼田市*、**館林市**、渋川市、藤岡市、**富岡市**、*安中市*、*みどり市*、**榛東村**、**吉岡町**、*下仁田町*、**甘楽町**、*中之条町*、嬬恋村、*草津町*、*東吾妻町*、*昭和村*、*みなかみ町*、**玉村町**、**板倉町**、**明和町**、**千代田町**、**大泉町**、**邑楽町**
埼玉	**さいたま市**、**川越市**、**熊谷市**、**川口市**、**行田市**、**秩父市**、**所沢市**、**飯能市**、**加須市**、**本庄市**、**東松山市**、**春日部市**、**狭山市**、**羽生市**、**鴻巣市**、**深谷市**、**上尾市**、**草加市**、**越谷市**、**蕨市**、**戸田市**、**入間市**、**朝霞市**、**志木市**、**和光市**、**新座市**、**桶川市**、**久喜市**、**北本市**、**八潮市**、**富士見市**、**三郷市**、**蓮田市**、**坂戸市**、**幸手市**、**鶴ヶ島市**、**日高市**、**吉川市**、**ふじみ野市**、**白岡市**、**伊奈町**、**三芳町**、**毛呂山町**、**越生町**、**滑川町**、**嵐山町**、**小川町**、**川島町**、**吉見町**、**鳩山町**、**ときがわ町**、**横瀬町**、**皆野町**、**長瀞町**、**小鹿野町**、**東秩父村**、**美里町**、**神川町**、**上里町**、**寄居町**、**宮代町**、**杉戸町**、**松伏町**
千葉	**千葉市**、**銚子市**、**市川市**、**船橋市**、**館山市**、**木更津市**、**松戸市**、**野田市**、**茂原市**、**成田市**、**佐倉市**、**東金市**、**旭市**、**習志野市**、**柏市**、**勝浦市**、**市原市**、**流山市**、**八千代市**、**我孫子市**、**鴨川市**、**鎌ケ谷市**、**君津市**、**富津市**、**浦安市**、**四街道市**、**袖ケ浦市**、**八街市**、**印西市**、**白井市**、**富里市**、**南房総市**、**匝瑳市**、**香取市**、**山武市**、**いすみ市**、**大網白里市**、**酒々井町**、**栄町**、**神崎町**、**多古町**、**東庄町**、**九十九里町**、**芝山町**、**横芝光町**、**一宮町**、**睦沢町**、**長生村**、**白子町**、**長柄町**、**長南町**、**大多喜町**、**御宿町**、**鋸南町**
東京	**千代田区**、**中央区**、**港区**、**新宿区**、**文京区**、**台東区**、**墨田区**、**江東区**、**品川区**、**目黒区**、**大田区**、**世田谷区**、**渋谷区**、**中野区**、**杉並区**、**豊島区**、**北区**、**荒川区**、**板橋区**、**練馬区**、**足立区**、**葛飾区**、**江戸川区**、**八王子市**、**立川市**、**武蔵野市**、**三鷹市**、**青梅市**、**府中市**、**昭島市**、**調布市**、**町田市**、**小金井市**、**小平市**、**日野市**、**東村山市**、**国分寺市**、**国立市**、**福生市**、**狛江市**、**東大和市**、**清瀬市**、**東久留米市**、**武蔵村山市**、**多摩市**、**稲城市**、**羽村市**、**あきる野市**、**西東京市**、**瑞穂町**、**日の出町**、檜原村、*奥多摩町*
神奈川	**横浜市**、**川崎市**、**相模原市**、**横須賀市**、**平塚市**、**鎌倉市**、**藤沢市**、**小田原市**、**茅ヶ崎市**、**逗子市**、**三浦市**、**秦野市**、**厚木市**、**大和市**、**伊勢原市**、**海老名市**、**座間市**、**南足柄市**、**綾瀬市**、**葉山町**、**寒川町**、**大磯町**、**二宮町**、**中井町**、**大井町**、**松田町**、山北町、**開成町**、**箱根町**、**真鶴町**、**湯河原町**、**愛川町**、**清川村**
新潟	**新潟市**、長岡市、三条市、*柏崎市*、*新発田市*、小千谷市、*加茂市*、*十日町市*、**見附市**、*村上市*、**燕市**、*糸魚川市*、*妙高市*、*五泉市*、*上越市*、阿賀野市、*佐渡市*、*魚沼市*、*南魚沼市*、*胎内市*、**聖籠町**、*弥彦村*、**田上町**、*湯沢町*
富山	*富山市*、**高岡市**、*魚津市*、氷見市、**滑川市**、*黒部市*、**砺波市**、**小矢部市**、*南砺市*、**射水市**、**舟橋村**、*上市町*、*立山町*、入善町、*朝日町*
石川	金沢市、七尾市、小松市、*輪島市*、**珠洲市**、加賀市、羽咋市、かほく市、*白山市*、**能美市**、**野々市市**、**川北町**、津幡町、**内灘町**、志賀町、*宝達志水町*、*中能登町*、*能登町*
福井	福井市、**敦賀市**、**小浜市**、*大野市*、勝山市、**鯖江市**、**あわら市**、越前市、坂井市、*永平寺町*、*越前町*、**美浜町**、**高浜町**、*おおい町*
山梨	甲府市、**富士吉田市**、**都留市**、山梨市、**大月市**、韮崎市、**南アルプス市**、*北杜市*、甲斐市、笛吹市、*上野原市*、甲州市、**中央市**、市川三郷町、*身延町*、*富士川町*、**昭和町**、**西桂町**、忍野村、*山中湖村*、*鳴沢村*、富士河口湖町
長野	長野市、*松本市*、*上田市*、**岡谷市**、*飯田市*、**諏訪市**、須坂市、小諸市、*伊那市*、*駒ヶ根市*、中野市、*大町市*、**飯山市**、茅野市、塩尻市、*佐久市*、**千曲市**、東御市、安曇野市、軽井沢町、*御代田町*、**下諏訪町**、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、*飯島町*、南箕輪村、*中川村*、*宮田村*、*松川町*、*高森町*、*阿智村*、*喬木村*、*豊丘村*、*山形村*、*筑北村*、*池田町*、*松川村*、*白馬村*、**坂城町**、**小布施町**、*高山村*、*山ノ内町*
岐阜	**岐阜市**、大垣市、*高山市*、**多治見市**、*関市*、*中津川市*、美濃市、**瑞浪市**、**羽島市**、*恵那市*、**美濃加茂市**、**土岐市**、**各務原市**、**可児市**、**山県市**、**瑞穂市**、*飛騨市*、*本巣市*、*郡上市*、*下呂市*、海津市、**岐南町**、**笠松町**、*養老町*、*垂井町*、**関ケ原町**、**神戸町**、**輪之内町**、**安八町**、*揖斐川町*、*大野町*、*池田町*、**北方町**、**坂祝町**、**富加町**、*川辺町*、*八百津町*、*御嵩町*
静岡	**静岡市**、**浜松市**、**沼津市**、**熱海市**、**三島市**、**富士宮市**、**伊東市**、島田市、**富士市**、**磐田市**、**焼津市**、**掛川市**、**藤枝市**、**御殿場市**、**袋井市**、**下田市**、**裾野市**、**湖西市**、伊豆市、**御前崎市**、**菊川市**、伊豆の国市、**牧之原市**、**東伊豆町**、*河津町*、**松崎町**、*西伊豆町*、**函南町**、**清水町**、**長泉町**、小山町、**吉田町**、森町
愛知	**名古屋市**、**豊橋市**、**岡崎市**、**一宮市**、**瀬戸市**、**半田市**、**春日井市**、**豊川市**、**津島市**、**碧南市**、**刈谷市**、*豊田市*、**安城市**、**西尾市**、**蒲郡市**、**犬山市**、**常滑市**、**江南市**、**小牧市**、**稲沢市**、新城市、**東海市**、**大府市**、**知多市**、**知立市**、**尾張旭市**、**高浜市**、**岩倉市**、**豊明市**、**日進市**、**田原市**、**愛西市**、**清須市**、**北名古屋市**、**弥富市**、**みよし市**、**あま市**、**長久手市**、**東郷町**、**豊山町**、**大口町**、**扶桑町**、**大治町**、**蟹江町**、**飛島村**、**阿久比町**、**東浦町**、**南知多町**、**美浜町**、**武豊町**、**幸田町**
三重	**津市**、**四日市市**、**伊勢市**、松阪市、**桑名市**、**鈴鹿市**、**名張市**、*尾鷲市*、亀山市、**鳥羽市**、熊野市、いなべ市、**志摩市**、**伊賀市**、**木曽岬町**、**東員町**、*菰野町*、**朝日町**、**川越町**、*多気町*、明和町、**玉城町**、**度会町**、*南伊勢町*、*紀北町*、*御浜町*、*紀宝町*
滋賀	大津市、彦根市、*長浜市*、近江八幡市、**草津市**、**守山市**、**栗東市**、**甲賀市**、野洲市、**湖南市**、*高島市*、**東近江市**、米原市、**日野町**、**竜王町**、**愛荘町**、**豊郷町**、**甲良町**、*多賀町*
京都	**京都市**、*福知山市*、*舞鶴市*、*綾部市*、**宇治市**、*宮津市*、**亀岡市**、**城陽市**、**向日市**、**長岡京市**、**八幡市**、**京田辺市**、京丹後市、*南丹市*、**木津川市**、**大山崎町**、**久御山町**、**井手町**、**宇治田原町**、**笠置町**、和束町、**精華町**、**南山城村**、*伊根町*、*与謝野町*
大阪	**大阪市**、**堺市**、**岸和田市**、**豊中市**、**池田市**、**吹田市**、**泉大津市**、**高槻市**、**貝塚市**、**守口市**、**枚方市**、**茨木市**、**八尾市**、**泉佐野市**、**富田林市**、**寝屋川市**、**河内長野市**、**松原市**、**大東市**、**和泉市**、**箕面市**、**柏原市**、**羽曳野市**、**門真市**、**摂津市**、**高石市**、**藤井寺市**、**東大阪市**、**泉南市**、**四條畷市**、**交野市**、**大阪狭山市**、**阪南市**、**島本町**、**豊能町**、**能勢町**、**忠岡町**、**熊取町**、**田尻町**、**岬町**、**太子町**、**河南町**、**千早赤阪村**
兵庫	**神戸市**、姫路市、**尼崎市**、**明石市**、**西宮市**、**洲本市**、**芦屋市**、**伊丹市**、**相生市**、*豊岡市*、**加古川市**、**赤穂市**、**西脇市**、**宝塚市**、**三木市**、**高砂市**、**川西市**、**小野市**、**三田市**、**加西市**、篠山市、*養父市*、丹波市、**南あわじ市**、*朝来市*、**淡路市**、宍粟市、**加東市**、**たつの市**、**猪名川町**、多可町、**稲美町**、**播磨町**、*市川町*、福崎町、*神河町*、**太子町**、*上郡町*、*香美町*、新温泉町
奈良	**奈良市**、**大和高田市**、**大和郡山市**、**天理市**、**橿原市**、桜井市、**五條市**、**御所市**、**生駒市**、**香芝市**、**葛城市**、*宇陀市*、**平群町**、**三郷町**、**斑鳩町**、**安堵町**、**川西町**、**三宅町**、**田原本町**、高取町、**明日香村**、**上牧町**、**王寺町**、**広陵町**、**河合町**、*吉野町*、*大淀町*、*下市町*、*黒滝村*
和歌山	**和歌山市**、**海南市**、**橋本市**、**有田市**、**御坊市**、*田辺市*、*新宮市*、**紀の川市**、**岩出市**、*紀美野町*、かつらぎ町、*九度山町*、*高野町*、湯浅町、*広川町*、有田川町、*美浜町*、*日高町*、*由良町*、*印南町*、*みなべ町*、*日高川町*、*白浜町*、*上富田町*、**那智勝浦町**、**太地町**、*串本町*
鳥取	鳥取市、**米子市**、**倉吉市**、**境港市**、*岩美町*、*八頭町*、**三朝町**、湯梨浜町、*琴浦町*、北栄町、**日吉津村**、*伯耆町*
島根	松江市、*浜田市*、*出雲市*、*益田市*、*大田市*、*安来市*、*江津市*、*雲南市*
岡山	**岡山市**、**倉敷市**、津山市、**玉野市**、**笠岡市**、**井原市**、**総社市**、高梁市、新見市、**備前市**、**瀬戸内市**、**赤磐市**、**真庭市**、**美作市**、**浅口市**、**和気町**、**早島町**、**里庄町**、**矢掛町**、**鏡野町**、**勝央町**、**奈義町**、**西粟倉村**、**久米南町**、**美咲町**、**吉備中央町**
広島	**広島市**、呉市、**竹原市**、**三原市**、**尾道市**、**福山市**、府中市、*三次市*、*庄原市*、**大竹市**、東広島市、**廿日市市**、*安芸高田市*、**江田島市**、**府中町**、**海田町**、**熊野町**、**坂町**
山口	*下関市*、**宇部市**、山口市、*萩市*、**防府市**、**下松市**、*岩国市*、光市、*長門市*、*柳井市*、美祢市、**周南市**、**山陽小野田市**、*周防大島町*、**和木町**、*田布施町*、**平生町**
徳島	**徳島市**、**鳴門市**、**小松島市**、*阿南市*、*吉野川市*、*阿波市*、*美馬市*、*三好市*、**石井町**、**松茂町**、**北島町**、**藍住町**、**板野町**、**上板町**、*つるぎ町*、*東みよし町*
香川	高松市、丸亀市、**坂出市**、**善通寺市**、観音寺市、**さぬき市**、**東かがわ市**、三豊市、**土庄町**、小豆島町、三木町、**宇多津町**、綾川町、**琴平町**、多度津町、まんのう町
愛媛	松山市、今治市、*宇和島市*、**八幡浜市**、**新居浜市**、西条市、*大洲市*、*伊予市*、*四国中央市*、*西予市*、*東温市*、*久万高原町*、**松前町**、*砥部町*、*内子町*、*伊方町*
高知	高知市、*室戸市*、*安芸市*、南国市、*土佐市*、須崎市、*宿毛市*、*土佐清水市*、*四万十市*、*香南市*、*香美市*、*いの町*、*佐川町*、*越知町*、*梼原町*、*四万十町*、*黒潮町*
福岡	**北九州市**、**福岡市**、**大牟田市**、**久留米市**、**直方市**、飯塚市、**田川市**、**柳川市**、*八女市*、**筑後市**、**大川市**、**行橋市**、**豊前市**、**中間市**、**小郡市**、**筑紫野市**、**春日市**、**大野城市**、**宗像市**、**太宰府市**、**古賀市**、**福津市**、*うきは市*、**宮若市**、嘉麻市、**朝倉市**、**みやま市**、**糸島市**、**那珂川町**、**宇美町**、**篠栗町**、**志免町**、**須恵町**、**新宮町**、**久山町**、**粕屋町**、**芦屋町**、**水巻町**、**岡垣町**、**遠賀町**、**小竹町**、**鞍手町**、桂川町、筑前町、**大刀洗町**、**大木町**、広川町、*香春町*、*添田町*、**糸田町**、川崎町、**大任町**、*赤村*、**福智町**、**苅田町**、*みやこ町*、**吉富町**、*築上町*
佐賀	佐賀市、唐津市、**鳥栖市**、**多久市**、*伊万里市*、武雄市、*鹿島市*、**小城市**、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、**基山町**、上峰町、みやき町、*白石町*
長崎	長崎市、佐世保市、**島原市**、**諫早市**、大村市、**平戸市**、松浦市、*対馬市*、**壱岐市**、*五島市*、**西海市**、**雲仙市**、**南島原市**、**長与町**、**時津町**、*東彼杵町*、*川棚町*、**波佐見町**、*佐々町*
熊本	**熊本市***、*八代市*、*人吉市*、**荒尾市**、**水俣市**、**玉名市**、*山鹿市*、*菊池市*、**宇土市**、上天草市、宇城市、*阿蘇市*、*天草市*、**合志市**、玉東町、長洲町、*大津町*、**菊陽町**、*南小国町*、*小国町*、*高森町*、*御船町*、嘉島町、**益城町**、*甲佐町*、*氷川町*、*芦北町*、*津奈木町* ＊ 熊本市南区は50％以上収録地域になります。
大分	大分市、**別府市**、*中津市*、*日田市*、*佐伯市*、*臼杵市*、津久見市、*竹田市*、*豊後高田市*、*杵築市*、*宇佐市*、*豊後大野市*、*由布市*、*国東市*、*日出町*、*九重町*、*玖珠町*
宮崎	宮崎市、都城市、*延岡市*、*日南市*、*小林市*、*日向市*、*串間市*、*西都市*、*えびの市*、*三股町*、*高原町*、*国富町*、*高鍋町*、*新富町*、*木城町*、*川南町*、*都農町*、*門川町*
鹿児島	鹿児島市、*鹿屋市*、*枕崎市*、*阿久根市*、*出水市*、指宿市、*西之表市*、**垂水市**、*薩摩川内市*、*日置市*、*曽於市*、*霧島市*、*いちき串木野市*、*南さつま市*、*志布志市*、*奄美市*、*南九州市*、*伊佐市*、*姶良市*、*さつま町*
沖縄	**那覇市**、**宜野湾市**、*石垣市*、**浦添市**、**名護市**、**糸満市**、**沖縄市**、**豊見城市**、**うるま市**、*宮古島市*、**南城市**、**本部町**、*読谷村*、嘉手納町、**北谷町**、**北中城村**、**中城村**、**西原町**、**与那原町**、**南風原町**、**八重瀬町**

● 全面積カバー率
太字：90％以上を収録
細字：50％以上を収録
斜字：50％未満を収録

ジャンル一覧

太字の項目は、小分類を選択できます。

ジャンル	中分類
コンビニエンスストア	―
ガソリンスタンド	―
駐車場	―
交通機関	**駅**
	高速・都市高速・有料道路施設
	道の駅
	フェリーターミナル
	港
	空港
	タクシー
遊ぶ	遊園地(テーマパーク)
	レジャー公園・牧場
	その他レジャー施設
	海洋・海浜公園
	サファリパーク
	海水浴場
	川くだり
	果物狩り
	遊覧船
	遊覧飛行機
	リフト・ロープウェイ
	釣り
	キャンプ場
	公営ギャンブル
	パチンコ
	麻雀
	ゲームセンター
	ビリヤード
	ボウリング場
	カラオケボックス
	マンガ喫茶
	インターネットカフェ
	アニメ・ゲームグッズ
	プラネタリウム
	クラブ・ライブハウス
	マリーナ
	待ち合わせ場所
	趣味・娯楽・教養
観る	動物園
	植物園
	水族館
	美術館
	博物館
	資料館
	文化施設
	ホール会館
	劇場
	映画館
	城・城跡
	史跡
	名所・観光地等

ジャンル	中分類
観る(続き)	**イベント**
	ビューポイント
	住宅展示場
泊まる	ホテル
	ビジネスホテル
	旅館
	ペンション
	公共の宿
	ファッションホテル
	カプセルホテル
	家族旅行村
	国民休暇村
	民宿
	その他宿泊施設
買う	**カー用品**
	ホームセンター
	ディスカウント
	スーパー
	デパート
	複合大型商業施設
	アウトレットモール
	家電
	本
	ファッション
	衣服・呉服・小物
	シューズ
	バッグ・コート・毛皮
	その他繊維製品
	スポーツ
	雑貨
	ドラッグストア
	100円ショップ
	その他日用品・雑貨・文具
	チケット売買・プレイガイド
	携帯電話ショップ
	リサイクルショップ
	おもちゃ屋
	子供用品・服
	酒屋
	食材
	パン・お菓子
	花屋
	園芸店
	家具店
	インテリア用品店
	メガネ・コンタクトレンズ
	釣具店
	アウトドア用品店
	CDレコード店
	中古CDレコード店
	レンタルビデオ・CD
	化粧品・装飾品・民工芸品
	オーディオ・パソコン・OA

ジャンル	中分類
買う(続き)	**金物店・刃物店**
	ガラス・陶磁器
	その他小売店
食べる	**ファミリーレストラン**
	ファストフード
	ラーメン
	うどん・そば
	日本料理
	中華
	イタリア料理
	寿司屋
	回転寿司
	フランス料理
	カレーハウス
	焼肉・ホルモン
	韓国料理
	お好み焼き
	とんかつ
	持ち帰り弁当
	喫茶
	酒場
	うなぎ料理店
	おでん屋
	海鮮料理店
	懐石料理
	割烹・料亭
	スパゲティ専門店
	ステーキハウス
	てんぷら料理店
	鳥料理店
	ピザハウス
	アイスクリーム
	その他和風飲食店
	その他洋風・中華飲食店
生活施設	**郵便**
	理容・美容
	クリーニング
	温泉
	銭湯
	サウナ・健康センター
	クアハウス・スパ
	教養施設・福祉施設
	写真・写真館
	組合
	人材紹介・代行サービス
	録音スタジオ
	クレジット・質屋・買取
	宅配便・運輸
	リース・レンタル・修理
トイレ	―
銀行	**都市銀行**
	地方銀行
	その他銀行

ジャンル	中分類
公共施設	**役所**
	警察署・交番
	消防署
	図書館
	裁判所
	税務署
	年金事務所
	保健所
	法務局
	運転免許試験場
学校・教育施設	大学
	高校
	中学校
	小学校
	短大
	高専
	中等教育学校
	幼稚園
	保育園
	特別支援学校
	自動車学校
	各種専門学校
	予備校
	その他学校・教育施設
病院	―
冠婚葬祭	冠婚葬祭場
	結婚式場
	霊園・墓地
	造花・装飾・花環
	火葬場
スポーツ施設	**ゴルフ**
	スキー・スケート
	マリンスポーツ
	野球場
	競技場
	プール
	モータースポーツ
	自転車
	テニスコート
	体育館
	武道館
	スポーツクラブ
	バッティングセンター
	公営スポーツ施設
	その他スポーツ施設
神社・仏閣・教会・巡礼	神社
	仏閣・寺
	教会
	全国著名巡礼名所
カーディーラー	スズキ
	スバル
	ダイハツ
	トヨタ

ジャンル	中分類
カーディーラー(続き)	トヨタ部品
	日産
	日産部品
	Honda Cars店
	マツダ
	三菱
	レクサス
	アウディ
	アルファロメオ
	クライスラー
	シトロエン
	ジャガー
	GM
	GMDAT
	BMW
	フィアット
	フェラーリ
	フォルクスワーゲン
	フォード
	プジョー
	ベントレー
	ポルシェ
	ボルボ
	マセラティ
	MINI
	メルセデス・ベンツ
	ヤナセ
	ランドローバー
	ランボルギーニ
	ルノー
	ロータス
	ロールスロイス
	いすゞ
	日野
	三菱ふそう
	UDトラックス
	その他カーディーラー
自動車関連	**自動車整備工場**
	中古車販売
	レッカーサービス
	ロードサービス
	レンタカー
	オートバイ販売・部品・用品
	レンタルバイク
	その他自動車・自転車
エコステーション	―
その他ジャンル	大使館・領事館
	マスメディア
	旅行・観光業
	ペット
	製造・卸売業
	農園・果樹園

さくいん

あ行

あかさたなタッチキー……50
明るさ……170
頭出し……95、99、101、102、103、106、117、119、122、123、151
安心運転サポート情報……37、68、171
案内音声項目設定……176
案内時のAudio音量消音……176
案内出力スピーカー……176
案内スタート……51
案内ストップ……51
案内図表示……31
案内表示項目設定……175、176
案内ルート……37
アーティスト……107
アドレス帳……142
アラーム……73
アルバム……107
アルバム情報保存……109、113
アルバム編集……108
アングル……96、98
一時停止……94、98、103、119、122、123
一時停止案内……41、68
位置修正……73
一般情報……74、76
一般道……40
一般道速度超過警告……41、68
一般道路走行情報……171
一般優先……58、64
緯度・経度……36、55、175
色/10キー……95
イコライザー……128
迂回……61
エリア選局……75
お気に入り……107、110
お気に入り地点……71
おでかけスキャン……89
おでかけモードプリセット……89
おでかけモード……89
音の匠……125
おまかせ……58、64
音楽データ……200
音声……96、98
音声案内……66、67、69
音声認識……152
音声録音……166
音量……17
オーディオチューン……124
オーディオメニュー……24、82
オート放送局サーチ……90
オプションボタン……174

か行

拡大図表示……32
拡張ユニット情報……20
学習レベル……19
画質……166
画質調整……130
画像・音声情報……74、76
画面OFF……18
画面表示……170
画面表示サイズ……130
冠水注意ポイント……34、175
カード入れ忘れ案内……178
カード抜き忘れ案内……178
カード有効期限切れ案内……178
カーブ案内……41、68
ガイダンス……40
カスタムアップデート……113、127
カメラ設定……163、172
カメラ付きリアモニター……163
カメラモニター……167
機器登録……134、144
規制情報……41、49
季節規制考慮……41
起動音……166
急カーブ……166
急加速・急減速……166
急加速・急減速の感知音……166
急加速・急減速の感度……166
休憩メッセージ案内……69、176
距離優先……58、64
緊急警報放送(EWS)……85
緊急情報……78
キー操作音……178
携帯電話切換……140
経由地……57、60、61
経由地マーク……37
県域……84、90
言語コード……204
言語設定……97、100
現在時刻探索……63
現在地画面……36
広域……34、43
広域地図……30
交差点拡大図……32、176
交差点情報表示……36、37、175
後席用モニター……162
高速走行時の音量切換……176
高速レーン減少案内……41、68
交通情報……74、91
合流案内……41、68
合流地点……166
ここいこ♪……150

さ行

細街路探索……64
再スキャン……89、90
再生選択……111
再生モード……101、102、103、106、117、122、123
再探索……69
残距離/到着時刻……37、175
サーチ……96、99
サブウーファー出力……129
市街地図……30、214
市街地図での冠水注意ポイント表示……175
市街地図での盗難多発地点表示案内……178
時間規制道路を考慮……177
自局番号……138
事故多発地点……34、166
事故多発地点案内……41、68
自車位置……15、16、205
自車マーク……34、40
事象・規制マーク……77
自宅……22、55
視聴制限レベル……100
視聴年齢制限……97
視聴予約……87、88
指定方向外禁止案内……41、68
自動応答保留……143
自動再探索……69、177
自動選局……75
字幕……96、98
車種設定……21
車速パルス……19
車速パルス検出レベル……178
車速連動音量……127
車両信号情報……19
車両メンテナンス……159
主/副……96
住所……54
渋滞DB考慮……41、65
渋滞回避……40
渋滞情報……41、48、49、75、177
渋滞情報保存時間設定……177
渋滞データバンク……79
渋滞データバンク探索……63
周波数……91
周波数設定……75
周辺施設……53、207
縮尺……34、43
受信モード……89
出荷状態に戻す……179
出発地……61
手動録画の自動停止……166
受話音量……140、143
詳細……34、43
詳細条件……177
詳細情報……59
情報・設定メニュー……25
情報点滅……40
情報バー……34、175
情報メニュー……25
初期スキャン……89、90
新旧ルート比較……67、177
信号切換……89
シミュレーション……59
シャッフル……122
ジャケット写真……111、200
ジャンクションビュー……33、176
ジャンル……54、107、111、207、216
ジャンルカスタマイズ……109
図形表示型(レベル2)……74、76
スキャン……101、102、106、117
スクロール……42
スクロールタッチキー……50
スタイル切換……96
ステアリングスイッチ……17、23、82、152、157
ストラーダチューン……40
スピーカー出力レベル……129
スピーカー設定……129
スマートIC……65
スマートIC考慮……41
スマホ連携……136、145
スモールランプ……19
スライドショー……118
スロー再生……95、99
制限速度案内……41、68
静止画……118、167、202
設定……36、47、72
設定初期化……166
全画面……118、119、123
全曲……107
選局パネル……86
選曲モード……103、107、117、122
専用レーン案内……66、176
セキュリティ……27、178
センサー学習値初期化……19
走行軌跡……46
走行状態……19
送話音量……140、143
側道拡大図……32
その他設定……175、178
ソフト情報……88

た行

対応サービス……138
台形補正……170
探索条件……60、64、69
タイトルメニュー……98
タイトルリスト……94、98
タイム……96、99
ダイナミックレンジ圧縮……97、100
ダイヤル……141
地上D/ワンセグ切換……90
地上D選局対象……90
地図SDHCメモリーカード……161
地図色……40
地図色設定……174
地図画面……34
地図更新……160
地図情報……175
地図表示型(レベル3)……48、74、77
地図モード……174
地図モード画面……36
地点登録……70
地点メニュー……47
着信音量……140、143
着信履歴……141
チャンネル設定……84
駐車場……40、49
昼夜切換……174
通過交差点情報……171
通話設定……143
ツートップメニュー……24、26、83
提携駐車場……56
停止……94、98
出入口……56
電話する……73
電話に出る……140
電話番号……52、206
電話を切る……140
ディスク……92、196
データベース再検索……109、112、113
データ放送……87
デジタルTVメニュー……88
デバイスID……88
デバイスアドレス……138、139
デバイス名……138、139
デバイス名変更……139
デュアルウィンドウ……131、175
デュアルウィンドウ中の案内割込み……176
テレビ……84
テレビ初期設定……84
動画情報表示……166

さくいん

動画データ……202
到着案内……171
到着予想……177
盗難多発地点……34
盗難多発地点音声案内……15、178
盗難多発地点表示案内……34、178
道路切換……69
登録機器一覧……135、136、137、138
登録地……55、70、72、175
登録地編集……72
登録データの初期化……179
登録ルート……62
時計表示……34、175
取付調整……166
トーン信号……140
トップメニュー……94、98
ドライブレコーダー……20、166
トラック編集……108
トンネル出口案内……66、176

な行

並び替え……73
ナビ設定……16、174
日時指定探索……63
入力切換……170、195
入力履歴の初期化……179
ノイズキャンセル……143
ノースアップ……34、44

は行

バージョンアップ……90、162
パスキー変更……139
パスワード変更……97、100
発信履歴……141
早送り・早戻し……95、99、101、102、103、106、117、119、122、123、151
番組内容……86
番組表……86
番組表表示形式……90
ハイウェイ案内……171
ハイウェイ入口案内……32
ハイウェイマップ……31、48、176
ハイウェイモード……176
ハンズフリー……134、135、136、138、140、144
ハンズフリーパスキー……139
光ビーコン……207
標高地図……30、174
標識拡大表示……40
微調整……36、42
ビーコン受信音……177
ビーコン割込み設定……177
ビーコン割込み……177
ビデオ……122、123
ビデオカメラ……173
ビット・周波数拡張……127
吹き出し……34、174
副映像……96
踏切案内……41、68
分岐案内……171
分岐案内頻度……40
フェリーを優先……177
フォルダ……70、102、117
フォルダ名編集……70、110
プリセット選局……75、91
プリセットメモリー……91
プリセットモード……89
プレイリスト……94、98
プロジェクションユニット……20
フロントインフォディスプレイ……170
別ルート……58
ヘディングアップ……34、44、174
方位マーク……34、44
放送局一覧……89
方面看板……31、176
補助地図……32
保留……140
本体情報……139
ホームチャンネル……90
ホームモード……89
ボタン移動……94
ポップアップメニュー……94

ま行

マーク……72
マップ……40
マップコード……36、55、175、207
マニュアル……90
マルチエクスパンドユニット……20、162
右画面に地図表示……45、174
右画面表示……45、131
右画面用地図設定……174
道幅優先……40
ミュート……17、140
名称……52、72、207
名称の文字サイズ……174
メイン画面用地図設定（1画面・左画面）……174
メモ……72
メンテナンス情報……159
目的地……53、57、60、61
目的地方向……176
目的地方向直線表示……37
目的地マーク……37
目的地メニュー……25
文字サイズ……40
文字入力……195
文字表示型（レベル1）……74、76
モード切換……117、118、119
モニター設定……97、100

や行

優先情報……74、76
郵便番号……55、84、90
有料道……40
有料道速度超過警告……41、68
有料道路優先……40
有料優先……58、64
ユーザーカスタマイズ……21
曜日時間規制探索……64、67
横付け探索……64

ら行

ライト点灯案内……41、68
ラジオ……91
ランダム……101、102、103、106、117
ランチャーメニュー……38
ランドマーク……35、47
立体ランドマーク……35
履歴……53
リアビューカメラ……172
リアル3D……32、176
リジューム……96、98
リスト変更……119、123
リダイヤル……141
リバース……19
リピート……101、102、103、106、117、122、123
ルート……40、51、58、60
ルート案内……206
ルート案内中の画面……37
ルート学習……41
ルート学習結果の初期化……179
ルート情報……31、48、59、176
ルート探索……64、150、206
ルートの全表示……58、175
ルート編集……60
ルート保存……62
録音……105
録音データ初期化……115
ローカルアップデート……112、127

数字・記号・アルファベット

1画面……45
2画面……45
3D……34、44
3D視角調整……174
10キー……95、99
50m市街地図表示……175
+B電圧……19
AAC……117
AUDIO OFF……83、148
AUDIO ON……83
Audio画面中の案内割込み……176
AUDIO情報……175
Android Auto……156
BDデータ消去……97
BD履歴消去……97
BLUETOOTH……132、134、144、203
BLUETOOTH Audio……103、135、137、138
BLUETOOTH Audioパスキー……139
Blu-ray Disc……94、196
CarAV remote……151
CD……101
Drive P@ss……144、146、148
DSP……127
DVD……98
eco……58、64
ecoドライブ……158
ETC2.0……74、76、164、177、207
ETC2.0アップリンク……164、177
ETC2.0自動音声再生……177
ETC2.0受信音……177
ETC2.0ユニット……20
ETC2.0割込み……177
ETC案内……171
ETC音声ガイド……178
ETC管理情報……165
ETC情報……165
ETC履歴……165
ETCレーン……33、175
EWS（緊急情報）の割込み……176
FADE/BALANCE……124
FM/AM……91
FM多重……76、207
FOCUS……126
GPS……15、207
GPS情報……16
GPS受信状態……34
Gracenote……112、113、127、231
HDMI……164、173
HDMI出力音声……97、100
iPod……20、120、122
iPod抜き忘れ案内……15、178
JCTビュー……33、176
LAUNCHER……17、36、38、45、131
MAPCODE……36、175
MEMORY MUSIC……106、108、110、112、114
microSDメモリーカード……93、199
MixToRear……126
MP3/WMA……102、117、200
SA・PA入口案内……33
SA/PA情報表示……45
SA/PAマーク……49
SDカード情報……115
SDカードの初期化……166、179
SDメモリーカード……116、118、199
SRS CS Auto……126
TEL……72
Title Finder……114
TruBass……126
TUNE……40
Tune/Track……36
TVの初期化……179
USB……20
USBメモリー……116、118、199
VICS……40、74、208
VICS WIDE……34、40
VICS案内……67、171、176
VICS考慮……41、65
VICS自動再探索……67、177
VICS情報……48、74、76、78、164
VTR……173

商標などについて

- 本機はMicrosoft® Windows® Automotiveで動作します。
- Microsoft、Windows、Windows Automotive、Windows Media、およびInternet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoft もしくは権限を有するMicrosoftの子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 「ETC」、「ETC2.0」、「DSRC」は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- ITSスポットは、国土交通省の登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー、Dolby Audio、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSの特許については、http://patents.dts.comをご参照ください。DTS Licensing Limitedからの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボルマークおよびDTSとシンボルマークとの複合ロゴはDTS, Inc.の登録商標です。DTS 2.0+Digital OutはDTS, Inc.の商標です。SRS CS Auto は、DTS, LLC の商標です。© DTS, Inc.無断複写・転載を禁じます。
- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- BLUETOOTH®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- "DVD Logo" は、DVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- Blu-ray Disc™、Blu-ray™、BD-Live™、BDXL™、AVCREC™及びその関連のロゴは、ブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- "AVCHD" および "AVCHD" ロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- MHLは、MHL,LLCの登録商標です。
- "ゼンリン" および "ZENRIN" は、株式会社ゼンリンの登録商標です。
- タウンページは、NTT 東日本およびNTT 西日本の商標です。
- 「マップコード」および「MAPCODE」は、株式会社デンソーの登録商標です。
- Google、Android、Android Autoは、Google Inc.の商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi®およびMiracast®は、Wi-Fi® Allianceの商標または登録商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License、AVC Patent Portfolio License及びVC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ・画像情報をMPEG-4 Visual、AVC、VC-1規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVC/VC-1ビデオ）を記録すること。
  - ・個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVC/VC-1ビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVC/VC-1ビデオを再生すること。

  詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

Made for iPod iPhone

- 「Made for iPod」「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod, iPhone 専用に接続するよう設計され、Appleが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
- Appleは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- 本製品とiPod、iPhoneを使用する際、ワイヤレス機能に影響する場合があります。
- Apple, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Lightning は、Apple Inc.の商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

■本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。
(1)パナソニック株式会社(「パナソニック」)により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
(2)パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
(3)GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2(「GPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
(4)GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(「LGPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
(5)GPL, LGPL以外に基づいてライセンスされたオープンソースソフトウェア

■上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、それぞれ、以下のGPLおよびLGPL所定の条件をご参照ください。
GPL：http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
LGPL：http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html

また、上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、多数の人が著作権を保有しています。
これらの著作権者の著作権表示については、以下をご参照ください。
http://car.panasonic.jp/oss/b01qhs03

GPL/LGPLに基づきライセンスされるソフトウェア(「GPL/LGPLソフト」)は、有用であることを願って頒布されますが、全くの無保証です。
商業可能性があることや特定の目的に適合していることについては、黙示的保証も含め、一切保証されません。

パナソニックは、製品発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた全ての方に対してソースコードの提供に必要な物理的コストを上回らない程度の料金と引き換えに、GPL/LGPLソフトに対応した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを提供します。
ソースコードの内容等についてのご質問はお答えできませんので、あらかじめご了承ください。
またインターネット接続環境はお客様ご自身でご用意していただく必要があります。
Webサイトの閲覧中およびダウンロード中のインターネット接続、回線使用料等はお客様ご負担となります。

[問い合わせ窓口]
〒224-8520 神奈川県横浜市都筑区池辺町4261番地
パナソニック株式会社 オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社 技術管理部門 責任者 宛

また、上記のGPL/LGPLソフトに対応したソースコードは、以下のウェブサイトで、誰でも自由に入手することができます。
http://car.panasonic.jp/oss/b01qhs03

■上記(5)に分類されるソフトウェアには、以下のライセンス条件が適用されるソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェアのプログラム(OSS)が含まれています。

・RSA Data Security' s MD5 License
RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm Copyright (C) 1990, RSA Data Security, Inc. All rights reserved. License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function. License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work. RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind. These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software. Please be noted that this software is derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm.

・Independent JPEG Group's License
This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

・Apache License 2.0
This software includes Google Protocol Buffers. You may obtain a copy of the License at "http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0". Please be noted that a portion of this software is made by changing or modifying original source files.

・OpenSSL License
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)
Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.
This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

・Bitstream Vera Fonts
Copyright (c) 2003 by Bitstream, Inc. All Rights Reserved. Bitstream Vera is a trademark of Bitstream, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the fonts accompanying this license ("Fonts") and associated documentation files (the "Font Software"), to reproduce and distribute the Font Software, including without limitation the rights to use, copy, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Font Software, and to permit persons to whom the Font Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright and trademark notices and this permission notice shall be included in all copies of one or more of the Font Software typefaces.

The Font Software may be modified, altered, or added to, and in particular the designs of glyphs or characters in the Fonts may be modified and additional glyphs or characters may be added to the Fonts, only if the fonts are renamed to names not containing either the words "Bitstream" or the word "Vera".

This License becomes null and void to the extent applicable to Fonts or Font Software that has been modified and is distributed under the "Bitstream Vera" names.

The Font Software may be sold as part of a larger software package but no copy of one or more of the Font Software typefaces may be sold by itself.

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL BITSTREAM OR THE GNOME FOUNDATION BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the names of Gnome, the Gnome Foundation, and Bitstream Inc., shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Font Software without prior written authorization from the Gnome Foundation or Bitstream Inc., respectively. For further information, contact: fonts at gnome dot org.

ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

・libtiff License
Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler
Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

・MIT License
The GIFLIB distribution is Copyright (c) 1997 Eric S. Raymond

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

・zlib License
Please be noted that this software is altered from TinyXML, 2.5.3.
Please be noted that this software is altered from zlib, 1.2.8.

これらのOSSについてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下のURLをご参照ください。
http://panasonic.jp/car/navi/license/Strada/

■前記(2)に分類されるソフトウェアには、Oracle Java MEが含まれています。
このソフトウェアのユーザーを規定する契約条件については、以下のURLをご参照ください。
http://car.panasonic.jp/oss/b01qhs03/oracle_licence.htm

Oracle Java MEエンドユーザー使用許諾契約書(END USER LICENSE AGREEMENT)
BEFORE USING THIS IN-CAR BLU-RAY PRODUCT, PLEASE READ ALL OF THE FOLLOWING TERMS AND CONDITIONS OF THIS END USER LICESE AGREEMENT ("Agreement") CAREFULLY. THIS AGREEMENT IS A LEGALLY BINDING CONTRACT BETWEEN END USER ("you") AND PANASONIC THAT SETS FORTH THE TERMS AND CONDITIONS THAT GOVERN YOUR USE OF ORACLE JAVA ME MEDIA PACK FOR CDC (the "program") IMPLEMENTED IN THIS IN-CAR BLU-RAY PRODUCT.

(1)**Java Technology Restrictions.** You are prohibited from creating, modifying, changing the behavior of classes, interfaces, or subpackages that are in any way identified as "Java", "Javax", "Sun" or similar convention as specified by Oracle in any naming convention designation.

(2)**Trademarks and Logos.** You shall acknowledge that Oracle owns the Java trademark and all Java-related trademarks, logos and icons including the Coffee Cup and Duke ("Java Marks") and shall agree to: (a) comply with the Java Trademark Guidelines at http://www.oracle.com/us/legal/third-party-trademarks/index.html; (b) not do anything harmful to or inconsistent with Oracle' s rights in the Java Marks; and (c) assist Oracle in protecting those rights, including assigning to Oracle any rights acquired by you in any Java Mark.

(3)**Third Party Code.** You shall read additional copyright notices and license terms applicable to portions of the programs are set forth below.

==========
COMPONENTS
==========

The following software (or certain identified files distributed with the software) may be included in this product. Unless otherwise specified, the software identified in this file is licensed under the licenses described below. The disclaimers and copyright notices provided are based on information made available to Oracle by the third party licensors listed.

3DES

Des3Cipher - the triple-DES encryption method
Copyright (C) 1996 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1.Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Visit the ACME Labs Java page for up-to-date versions of this and other fine Java utilities:
http:www.acme.com/java/

AES

Cryptix General License
Copyright (c) 1995-2005 The Cryptix Foundation Limited. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1.Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE CRYPTIX FOUNDATION LIMITED AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE CRYPTIX FOUNDATION LIMITED OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

DES

DesCipher - the DES encryption method

@@ The meat of this code is by Dave Zimmerman <dzimm@widget.com>, and is:
Copyright (c) 1996 Widget Workshop, Inc. All Rights Reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for NON-COMMERCIAL or COMMERCIAL purposes and without fee is hereby granted, provided that this copyright notice is kept intact.

WIDGET WORKSHOP MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES ABOUT THE SUITABILITY OF THE SOFTWARE, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. WIDGET WORKSHOP SHALL NOT BE LIABLE FOR ANY DAMAGES SUFFERED BY LICENSEE AS A RESULT OF USING, MODIFYING OR DISTRIBUTING THIS SOFTWARE OR ITS DERIVATIVES.

THIS SOFTWARE IS NOT DESIGNED OR INTENDED FOR USE OR RESALE AS ON-LINE CONTROL EQUIPMENT IN HAZARDOUS ENVIRONMENTS REQUIRING FAIL-SAFE PERFORMANCE, SUCH AS IN THE OPERATION OF NUCLEAR FACILITIES, AIRCRAFT NAVIGATION OR COMMUNICATION SYSTEMS, AIR TRAFFIC CONTROL, DIRECT LIFE SUPPORT MACHINES, OR WEAPONS SYSTEMS, IN WHICH THE FAILURE OF THE SOFTWARE COULD LEAD DIRECTLY TO DEATH, PERSONAL INJURY, OR SEVERE PHYSICAL OR ENVIRONMENTAL DAMAGE ("HIGH RISK ACTIVITIES"). WIDGET WORKSHOP SPECIFICALLY DISCLAIMS ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY OF FITNESS FOR HIGH RISK ACTIVITIES.

@@ The rest of the code is:
Copyright (C) 1996 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1.Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Visit the ACME Labs Java page for up-to-date versions of this and other fine Java utilities:
http:www.acme.com/java/

JPEG library

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.
---
zlib 1.1.3

@@ Acknowledgments:
Oracle gratefully acknowledges the contributions of Jean-loup Gailly and Mark Adler in creating the zlib general purpose compression library which is used in this product.

@@ Copyright notice:
(C) 1995-1998 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:
1.The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2.Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3.This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly　Mark Adler
jloup@gzip.org　madler@alumni.caltech.edu

If you use the zlib library in a product, we would appreciate *not* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code.

If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes.

(4)Others.
(i)You shall not install the programs separately and independently from this Blu-ray product.
(ii)You agree not to reply on the future availability of any programs or services which Oracle will provide.

(5)ENTIRE AGREEMENT

You agree that this Agreement is the complete agreement pertaining to the subject matter hereof (including references to information contained in a URL) and this Agreement supersedes all prior or contemporaneous written or oral agreements or representations existing between you and Panasonic with respect to such subject matter. If any term of this Agreement is found to be invalid or unenforceable, the remaining provisions will remain effective. Panasonic' s failure to enforce any right or provisions in this Agreement will not constitute a waiver of such provision, or any other provision of this Agreement.

■Gracenoteについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.com をご覧ください。

- Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ: copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。
- Gracenote、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および"Powered by Gracenote"ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。

エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンライン サーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得されたGracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenoteソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利をGracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote

仕　様

電源	
電源電圧	DC12 V (試験電圧 13.2 V) マイナスアース
消費電流	2.0 A 以下 (AUDIO OFF時)
液晶ディスプレイ	
画面寸法(幅×高さ×対角)	9V型ワイド　198 ㎜×112 ㎜×228 ㎜
映像入力	RGB (ナビゲーション画面)
画素数	1 152 000 画素 (縦480×横800×3)
有効画素数	99.99 %
表示方式	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ)アクティブマトリックス方式
使用光源	内部光 (LED)
タッチパネル	静電容量方式
アンプ	
定格出力	18 W×4
最大出力	50 W×4
適合スピーカーインピーダンス	4 Ω (4～8 Ω 使用可能)
接続端子	
ビデオ入力レベル	映像：NTSC方式　1.0 Vp-p (75 Ω 3.5 φ 4極ミニジャック) 音声：ステレオ　2.0 Vrms MAX (3.5 φ 4極ミニジャック)
カメラ入力レベル	映像：NTSC　1.0 Vp-p (75 Ω RCAピンジャック)
ビデオ出力レベル	映像：NTSC　1.0 Vp-p (75 Ω RCAピンジャック)
オプションカメラ入力	映像：NTSC　1.0 Vp-p (75 Ω RCAピンジャック)
サブウーファー出力電圧	1.0 Vrms (Vol MAX)
HDMI入力	・HDMI端子：1系統 (19ピン typeA端子) ・映像信号：720p, 1080i, 480p (16:9、4:3) Field Rate：59.94 Hz, 60 Hz ・音声信号：リニアPCM (最大2 ch、 サンプリング周波数 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz)
HDMI 出力	・HDMI端子：1系統 (19ピン typeA端子) ・映像信号：480i, 480p, 1080i, 720p, 1080p (60p/50p) ・音声信号：リニアPCM、Bitstreem
ナビゲーションユニット	
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	178 ㎜×100 ㎜×170 ㎜ (取付奥行き寸法168 ㎜) ※突起部を除く
質量	約2.5 kg
動作温度	－10 ℃～+60 ℃
ディスプレイユニット	
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	240 ㎜×141 ㎜×19 ㎜　※突起部を除く
質量	約1.1 kg
ブルーレイディスクプレーヤー	
信号方式	Y=1.0 Vp-p　Cb=Cr=0.7 Vp-p (内部) NTSC方式　1.0 Vp-p (出力)
周波数特性	5 Hz～22 kHz (サンプリング周波数48 kHz)
信号対雑音比 (SN比)	90 dB (IHF、A)
ワウ・フラッター	測定限界以下

FMチューナー	
受信周波数	76.0 MHz～99.0 MHz
実用感度 (SN比、30 dB)	15 dBμV以下
SN比 (入力54 dBμV)	50 dB以上
ステレオ分離度(入力60 dBμV)	35 dB
AMチューナー	
受信周波数	522 kHz～1 629 kHz
実用感度 (SN比、20 dB)	37 dBμV以下
地上デジタルTVチューナー	
受信可能放送	地上デジタル放送 (ワンセグ対応)
受信周波数	470 MHz～710 MHz (13CH～52CH)
入力信号レベル	－75 dBm～－20 dBm
入力インピーダンス	50 Ω
iPod/USB中継ケーブル接続端子	
通信方式	USB
出力電圧	5 V　2 100 mA
BLUETOOTH	
通信周波数	2 402 MHz～2 480 MHz
RF出力	－4 dBm (0.4 mW)
通信方式	周波数ホッピングスペクトラム拡散
GPSアンテナ	
形式	マイクロストリップ方式
コードの長さ	4 m
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	26 ㎜×14 ㎜×30 ㎜
質量	約50 g (コード含む)
受信周波数	1 575.42 MHz (C/Aコード)
受信感度	－155 dBm
受信方式	パラレル12チャンネル (最大追尾衛星数20基)
地上デジタルアンテナ	
コードの長さ	4 m
外形寸法(幅×高さ)	118 ㎜×81 ㎜
質量	約170 g (コード含む)
出力インピーダンス	50 Ω
マイク	
コードの長さ	4 m
外形寸法(直径×奥行き)	φ11.6 ㎜×35.9 ㎜
質量	約32 g (コード含む)

●液晶ディスプレイのV型は、有効画素の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

●本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
●寸法・質量はおおよその数値です。
●イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
●画面表示などの色は印刷物ですので実際と異なる場合があります。
●URLは、予告なく変更になることがあります。

パナソニック 総合お客様サポートサイト　http://www.panasonic.com/jp/support/

使いかた・お手入れなどのご相談

お客様ご相談センター

電話　フリーダイヤル　ゴー　パナソニック
0120-50-8729
■上記番号がご利用いただけない場合
045-929-0511（有料）
受付時間　9:00～18:30（年中無休）

FAX（有料）**045-938-1573**
受付時間　9:00～18:30
（土・日・祝日・当社休日を除く）

修理に関するご相談

修理ご相談窓口

修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」（P.235）へご連絡ください。

修理ご相談窓口サイト
http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/car/repair.html

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。（パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります。）
- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- 上記の内容は、予告なく変更することがあります。

おぼえのため、記入されると便利です。

製造番号 (Serial No.)	万一の故障や盗難時に必要です。保証書、もしくはナビゲーションユニットの天面にある製品銘板で、9桁の番号をご確認ください。 （　　）
固有番号 (ナビID)	製造番号が不明な場合（盗難時など）の確認用として、必要な場合があります。「システム情報」（P.25）で、番号をご確認ください。 （　　）

パナソニック株式会社
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ社
〒224-8520　横浜市都筑区池辺町4261番地

© Panasonic Corporation 2016

YEFM0600640C　F0316-3117